

シニア海外ボランティア 平成25年度秋 分野別要請集

平成25年10月

独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

シニア海外ボランティア 平成 25 年度秋 分野別要請一覧

職種	国名	要請番号	頁	
計画・行政 (14 件)				
A201	行政サービス	ボツワナ	SL50313D01	1
A201	行政サービス	ボツワナ	SL50313D02	2
A204	防災・災害対策	ネパール	SL06013D02	3
A204	防災・災害対策	ジャマイカ	SL24213D04	4
A204	防災・災害対策	チリ	SL31213D01	5
A204	防災・災害対策	チリ	SL31213D02	6
A204	防災・災害対策	チリ	SL31213D03	7
A204	防災・災害対策	コロンビア	SL31513D02	8
A204	防災・災害対策	トルコ	SL44513D01	9
A221	環境行政	アルゼンチン	SL30313D01	10
A221	環境行政	ポリビア	SL30613D04	11
A221	環境行政	チリ	SL31213D04	12
A241	コンピュータ技術	スリランカ	SL06613D03	13
A241	コンピュータ技術	マーシャル	SL11213D01	14
公共・公共事業 (22 件)				
B111	上水道	トンガ	SL13013D01	15
B111	上水道	ケニア	SL51513D02	16
B121	下水道	カンボジア	SL02113D03	17
B121	下水道	ジャマイカ	SL24213D05	18
B121	下水道	モロッコ	SL46913D02	19
B131	廃棄物処理	タイ	SL01813D04	20
B131	廃棄物処理	ミクロネシア	SL11513D04	21
B131	廃棄物処理	ミクロネシア	SL11513D09	22
B131	廃棄物処理	グアテマラ	SL23313D01	23
B201	道路	カンボジア	SL02113D04	24
B231	港湾	モロッコ	SL46913D15	25
B251	地震	ジャマイカ	SL24213D09	26
B251	地震	ウズベキスタン	SL76313D02	27
B301	土木	ジャマイカ	SL24213D01	28
B301	土木	ジャマイカ	SL24213D07	29
B311	河川・砂防	ジャマイカ	SL24213D06	30
B321	水資源開発	サモア	SL13913D01	31
B332	造園	ウルグアイ	SL33313D07	32
B332	造園	チュニジア	SL47513D04	33
B341	建築	インドネシア	SL00613D04	34
B341	建築	ベトナム	SL02713D06	35
B411	電気通信	モロッコ	SL46913D18	36
農林水産 (25 件)				
C103	野菜栽培	ネパール	SL06013D08	37
C104	果樹栽培	ネパール	SL06013D04	38
C105	組織培養	エクアドル	SL31813D03	39
C106	きのこ栽培	ネパール	SL06013D03	40
C107	病虫害対策	モロッコ	SL46913D17	41
C108	土壌肥料	カンボジア	SL02113D01	42
C108	土壌肥料	パラグアイ	SL32413D03	43
C109	農業協同組合	ネパール	SL06013D06	44
C109	農業協同組合	ネパール	SL06013D07	45

職種	国名	要請番号	頁	
C109	農業協同組合	ペルー	SL32713D01	46
C141	農業機械	バブニューギニア	SL12413D01	47
C151	農産物加工	ネパール	SL06013D05	48
C201	家畜飼育	マラウイ	SL52413D01	49
C201	家畜飼育	ザンビア	SL55113D01	50
C202	飼料作物	エクアドル	SL31813D01	51
C211	家畜衛生	エクアドル	SL31813D02	52
C401	水産開発	ミクロネシア	SL11513D06	53
C401	水産開発	バブニューギニア	SL12413D03	54
C402	養殖	ミクロネシア	SL11513D07	55
C402	養殖	バヌアツ	SL13613D02	56
C402	養殖	アルゼンチン	SL30313D03	57
C402	養殖	エクアドル	SL31813D04	58
C402	養殖	モロッコ	SL46913D13	59
C402	養殖	ガボン	SL60913D01	60
C411	水産物加工	モロッコ	SL46913D12	61
鉱工業 (38 件)				
D201	化学・応用化学	インドネシア	SL00613D01	62
D201	化学・応用化学	チュニジア	SL47513D02	63
D221	板金	セネガル	SL64213D02	64
D222	溶接	ヨルダン	SL42413D05	65
D226	動力発電技術	パラオ	SL16613D02	66
D227	工作機械	メキシコ	SL24513D03	67
D227	工作機械	メキシコ	SL24513D04	68
D227	工作機械	メキシコ	SL24513D06	69
D227	工作機械	チュニジア	SL47513D07	70
D228	冷凍機器・空調	バブニューギニア	SL12413D02	71
D228	冷凍機器・空調	セネガル	SL64213D09	72
D230	電気・電子機器	スリランカ	SL06613D02	73
D230	電気・電子機器	ドミニカ共和国	SL22413D03	74
D230	電気・電子機器	エルサルバドル	SL22713D01	75
D230	電気・電子機器	メキシコ	SL24513D02	76
D230	電気・電子機器	ポリビア	SL30613D01	77
D230	電気・電子機器	ポリビア	SL30613D02	78
D230	電気・電子機器	コロンビア	SL31513D03	79
D230	電気・電子機器	パラグアイ	SL32413D06	80
D230	電気・電子機器	ペルー	SL32713D02	81
D230	電気・電子機器	セネガル	SL64213D01	82
D230	電気・電子機器	セネガル	SL64213D08	83
D231	電気・電子設備	チュニジア	SL47513D06	84
D233	建設機械	ブータン	SL04813D05	85
D233	建設機械	モロッコ	SL46913D01	86
D233	建設機械	ザンビア	SL55113D02	87
D234	船舶機関	サモア	SL13913D02	88
D234	船舶機関	モロッコ	SL46913D16	89
D235	自動車整備	マレーシア	SL00913D02	90
D235	自動車整備	バングラデシュ	SL05113D01	91
D235	自動車整備	バブニューギニア	SL12413D04	92

シニア海外ボランティア 平成 25 年度秋 分野別要請一覧

職種	国名	要請番号	頁
D235	自動車整備	エルサルバドル	SL22713D03 93
D235	自動車整備	ボリビア	SL30613D03 94
D235	自動車整備	パラグアイ	SL32413D01 95
D235	自動車整備	ペルー	SL32713D03 96
D235	自動車整備	ケニア	SL51513D04 97
D235	自動車整備	ザンビア	SL55113D03 98
D241	繊維	チュニジア	SL47513D05 99
エネルギー (2 件)			
E102	再生可能・省エネルギー	インドネシア	SL00613D02 100
E102	再生可能・省エネルギー	モロッコ	SL46913D03 101
商業・観光 (22 件)			
F111	経営管理	ドミニカ共和国	SL22413D04 102
F111	経営管理	ジャマイカ	SL24213D02 103
F111	経営管理	ジャマイカ	SL24213D08 104
F111	経営管理	パラグアイ	SL32413D02 105
F111	経営管理	パラグアイ	SL32413D04 106
F111	経営管理	ペルー	SL32713D04 107
F111	経営管理	ペルー	SL32713D05 108
F112	品質管理	フィリピン	SL01213D02 109
F112	品質管理	ラオス	SL02413D01 110
F112	品質管理	ベトナム	SL02713D01 111
F112	品質管理	ベトナム	SL02713D02 112
F112	品質管理	ベトナム	SL02713D03 113
F112	品質管理	グアテマラ	SL23313D02 114
F112	品質管理	メキシコ	SL24513D01 115
F112	品質管理	メキシコ	SL24513D05 116
F112	品質管理	コロンビア	SL31513D01 117
F112	品質管理	コロンビア	SL31513D04 118
F112	品質管理	ヨルダン	SL42413D01 119
F112	品質管理	ウズベキスタン	SL76313D01 120
F113	マーケティング	ドミニカ共和国	SL22413D05 121
F113	マーケティング	ドミニカ共和国	SL22413D07 122
F201	観光	バヌアツ	SL13613D01 123
人的資源 (41 件)			
G102	環境教育	アルゼンチン	SL30313D02 124
G102	環境教育	ウルグアイ	SL33313D01 125
G126	サッカー	カンボジア	SL02113D05 126
G130	柔道	ラオス	SL02413D02 127
G130	柔道	ベトナム	SL02713D04 128
G130	柔道	エルサルバドル	SL22713D04 129
G130	柔道	パラグアイ	SL32413D05 130
G130	柔道	ペルー	SL32713D06 131
G130	柔道	ウルグアイ	SL33313D05 132
G130	柔道	ケニア	SL51513D05 133
G130	柔道	セネガル	SL64213D10 134
G131	空手道	モロッコ	SL46913D14 135
G131	空手道	セネガル	SL64213D06 136
G132	合気道	ヨルダン	SL42413D02 137

職種	国名	要請番号	頁
G132	合気道	セネガル	SL64213D07 138
G133	剣道	ドミニカ共和国	SL22413D02 139
G151	PC インストラクター	セネガル	SL64213D03 140
G152	視聴覚教育	ペルー	SL32713D07 141
G153	音楽	タイ	SL01813D03 142
G153	音楽	チュニジア	SL47513D03 143
G154	美術	ドミニカ共和国	SL22413D01 144
G154	美術	ドミニカ共和国	SL22413D06 145
G156	教育行政・学校運営	インドネシア	SL00613D05 146
G158	理科教育	バブアニューギニア	SL12413D05 147
G158	理科教育	パナマ	SL25113D01 148
G159	数学教育	パラオ	SL16613D01 149
G161	体育	チリ	SL31213D07 150
G183	幼児教育	モロッコ	SL46913D10 151
G183	幼児教育	ガボン	SL60913D02 152
G183	幼児教育	セネガル	SL64213D05 153
G201	機械工学	ボリビア	SL30613D05 154
G202	電子工学	ケニア	SL51513D01 155
G208	科学	南アフリカ共和国	SL53913D01 156
G213	動物学	チリ	SL31213D13 157
G215	学芸員	マレーシア	SL00913D01 158
G215	学芸員	ケニア	SL51513D03 159
G231	デザイン	スリランカ	SL06613D01 160
G231	デザイン	スリランカ	SL06613D04 161
G236	家政・生活改善	ミクロネシア	SL11513D08 162
G238	料理	モロッコ	SL46913D04 163
G238	料理	チュニジア	SL47513D08 164
保険・医療 (22 件)			
H105	看護師	ラオス	SL02413D03 165
H105	看護師	ブータン	SL04813D01 166
H105	看護師	パラグアイ	SL32413D08 167
H105	看護師	モロッコ	SL46913D07 168
H105	看護師	セネガル	SL64213D04 169
H106	保健師	ウルグアイ	SL33313D02 170
H108	臨床検査技師	カンボジア	SL02113D02 171
H108	臨床検査技師	サモア	SL13913D03 172
H108	臨床検査技師	パラグアイ	SL32413D07 173
H112	言語聴覚士	タイ	SL01813D01 174
H112	言語聴覚士	ジャマイカ	SL24213D03 175
H113	作業療法士	ニカラグア	SL24813D01 176
H113	作業療法士	チリ	SL31213D08 177
H113	作業療法士	チリ	SL31213D09 178
H113	作業療法士	ウルグアイ	SL33313D04 179
H113	作業療法士	ウルグアイ	SL33313D06 180
H113	作業療法士	チュニジア	SL47513D01 181
H115	医療機器	ネパール	SL06013D01 182
H115	医療機器	ザンビア	SL55113D04 183
H131	栄養士	ミクロネシア	SL11513D02 184

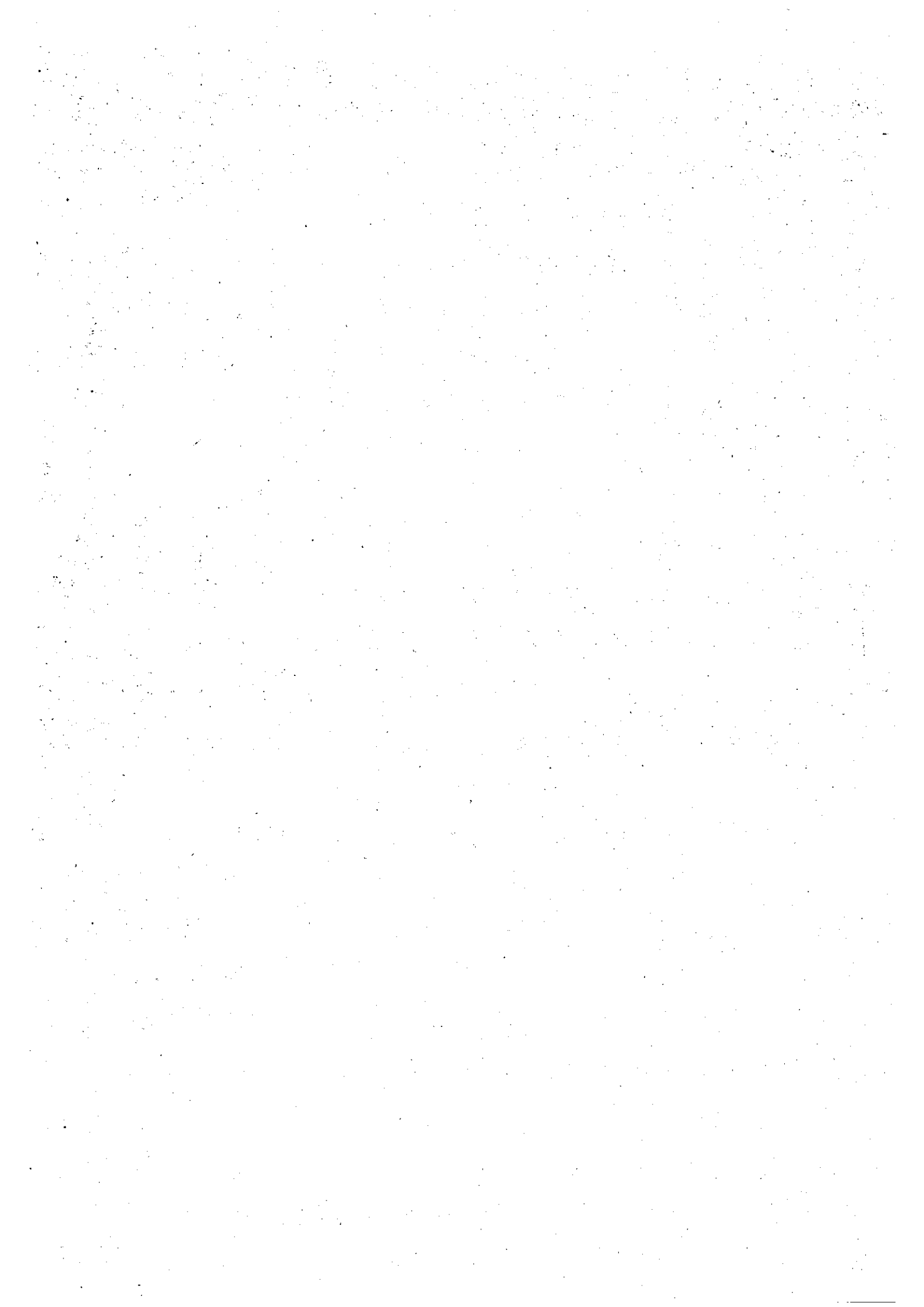
シニア海外ボランティア 平成 25 年度秋 分野別要請一覧

職種	国名	要請番号	頁	
H131	栄養士	ミクロネシア	SL11513D05	185
H132	公衆衛生	ミクロネシア	SL11513D03	186
社会福祉 (14 件)				
I101	ソーシャルワーカー	マレーシア	SL00913D03	187
I101	ソーシャルワーカー	ブータン	SL04813D03	188
I102	障害児・者支援	フィリピン	SL01213D01	189
I102	障害児・者支援	ブータン	SL04813D04	190
I102	障害児・者支援	チリ	SL31213D10	191
I102	障害児・者支援	ヨルダン	SL42413D03	192
I102	障害児・者支援	ヨルダン	SL42413D04	193
I102	障害児・者支援	ヨルダン	SL42413D06	194
I102	障害児・者支援	モロッコ	SL46913D09	195
I102	障害児・者支援	モロッコ	SL46913D11	196
I102	障害児・者支援	ウガンダ	SL54513D01	197
I102	障害児・者支援	セルビア	SL73013D01	198
I103	福祉用具	チリ	SL31213D11	199
I111	労働安全衛生	ブータン	SL04813D02	200
渉外促進 (1 件)				
J101	渉外促進	チリ	SL31213D12	201
日本語教育 (15 件)				
G157	日本語教育	インドネシア	SL00613D03	202
G157	日本語教育	インドネシア	SL00613D06	203
G157	日本語教育	インドネシア	SL00613D07	204
G157	日本語教育	タイ	SL01813D02	205
G157	日本語教育	ベトナム	SL02713D05	206
G157	日本語教育	スリランカ	SL06613D05	207
G157	日本語教育	ミクロネシア	SL11513D01	208
G157	日本語教育	エルサルバドル	SL22713D02	209
G157	日本語教育	チリ	SL31213D05	210
G157	日本語教育	チリ	SL31213D06	211
G157	日本語教育	ペルー	SL32713D08	212
G157	日本語教育	ウルグアイ	SL33313D03	213
G157	日本語教育	モロッコ	SL46913D05	214
G157	日本語教育	モロッコ	SL46913D06	215
G157	日本語教育	モロッコ	SL46913D08	216

この要請集は平成 25 年 8 月末までの各国からの要請をとりまとめたものです。要請国の事情により、募集から選考までの期間内に、要請の追加・変更・取消が行われることがあります。これらの追加・変更・取消要請に関する情報については、JICA ボランティアウェブサイトをご覧ください。



<http://www.jocv-info.jica.go.jp/sv>



平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

要請番号 (SL 503 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード A201)	○グループ型 ◎個別	◎新規 ○交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ボツワナ	行政サービス			◎2年 ○1年 ○ヶ月	1 26 / 1 2 / 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 防衛・内務・治安省				
	2) 配属先名 (日本語) ボツワナ警察 人事部				○ NGO
	3) 任地 ハボロネ JICA事務所の所在地(ハボロネ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハボロネ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 ボツワナ警察は、ボツワナ国民の生命、身体及び財産の保護を目的とし、ボツワナ国内の治安対策、犯罪取締り、及び交通の取締り、その他公共の安全と秩序の維持に当たっている。24時間体制で国民の生活を守っている。年間予算は約1,400億円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 警察本部では国民の期待にこたえるべく業務に取り組んでいるが、所内の書類管理、証拠品管理その他多くの業務において作業効率が改善されておらず、結果として市民サービスが十分とはいえない状況である。人事部では、Business Process Reengineering (BPR)及び日本の改善手法を用い業務の質向上を目的とした人材育成を行う計画である。ボツワナでは改善を指導できる人材がきわめて限られているため日本人ボランティアの派遣を希望している。担当者とともに作業し監督・指導できる人材を求めている。ハボロネ市内には8つの警察署があり、チームが随時訪問し、業務効率に向けた指導の実施も求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先と協議し以下の活動に取り組む。 1. Business Process Reengineering (BPR)チームのメンバーに改善手法の知識(SSなど)と取り組み方法を指導する。 2. 改善の取り組みについてモニターを行う。 3. ハボロネ及び地方の警察署の状況について調査し改善についてアドバイスを行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特に無し				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 人事部部長 男性 警察署人事部職員 38-46歳 7名 警察学校生徒、全国の警察官8,000人			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由:職場の特殊性のため ・学歴 (大卒) () 理由:同僚の教育水準にあわせる ・経歴 () () 理由: 警察もしくは公務員の実務経験 5年以上 理由:経験に基づいた指導が必要			活動上の単車/自転車の必要性 ○単車 ○自転車 ◎不要 現職教員特別参加制度 ○可 ◎不可	
地域 概況	気候(サバンナ) 気温(0~40℃位) 電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 通信(☑インターネット可 ☑電話可 ☐無線)			水道(◎安定 ○不安定 ○なし)	
特記 事項					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

要請番号(SL 503 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A201)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 26 / 1	
ボツワナ	行政サービス			1年	2 /	年 月 から
				ヶ月	3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) インフラ科学技術省					
	2) 配属先名 (日本語) インフラ科学技術省 ビルディング・エンジニアリングサービス部				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ハボロネ JICA事務所の所在地(ハボロネ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハボロネ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 インフラ科学技術省は質の高いインフラ建築及び維持管理、科学技術・研究による社会経済への貢献、核の安全利用を目的としている。ビルディング・エンジニアリングサービス部(DBES)は、国内の建築物(公務員住宅、学校、病院、官庁など)の新規建築、維持管理等を行っている。年間予算は約30億円					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ビルディング・エンジニアリングサービス部(DBES)は国民の期待にこたえるべく上記業務に取り組んでいるが、所内の書類管理、物品発注、在庫管理、人員管理など多くの業務において作業効率が高く多方面に支障をきたしている。その結果としてサービス提供が十分とはいえない状況である。人事部では、Business Process Reengineering (BPR)及び日本の改善手法を用い業務の質向上を目的とした人材育成を行う計画である。ボツワナでは改善を指導できる人材がきわめて限られているため日本人ボランティアの派遣を希望している。担当者とともに業務に取り組みその過程で改善の指導ができる人材を求めている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先と協議し以下の活動に取り組む。 1. Business Process Reengineering (BPR)チームのメンバーに改善手法の知識(5Sなど)と取り組み方法を指導する。 2. 改善の取り組みについてモニターを行う。 3. カスタマーの満足度について調査する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 主任エンジニア 男性・経験2年 主任人事担当 女性・経験8年 その他 現場での技術者及び部内職員			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準にあわせる ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 ・ 建築関連での実務経験 理由: 経験に基づいた指導が必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(サバンナ) 気温(0~40 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号(SL 060 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A204)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 26 / 1 / /	
ネパール	防災・災害対策		1	2	3	日系/短期
					年 月 から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省					
	2) 配属先名 (日本語) 警察本部 災害管理部				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ市 JICA事務所の所在地(ライトプール)から 北 方向 8 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 ネパール警察は、警備、治安、交通部門含め、多岐にわたる分野にて、国民の安全と秩序維持のための直接的な活動を実施している。全国規模で各開発区警察本部地方警察官含め、総員約6万名ほどが従事している。配属先である災害管理部は国家警察本部内にて全国各管区警察の災害救助部門を統括している。ネパール警察へは、自動車整備JVを過去多数派遣実績あり。また、他部門にも警察力向上のためにスポーツ等のボランティア派遣を実施した。現在も警察車両管理力の向上のためSVを派遣中である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ネパールは周期的な地震発生地とされており、地震防災対策の実施が急務となっている。カトマンズ盆地内には脆弱なレンガ造りの建物が密集しており、地震発生による大規模被害が予想される。その他自然災害も多発している当国において自然災害救助にかかる出動要請は多い(洪水・土砂災害など)。しかしながら全国的に自然災害救助に向けた資機材が不足しており、訓練は実施してはいるものの、予想される大規模な自然災害において対応が危惧されている状況である。慢性的に不足している資機材の調査や、警察官の自然災害救助における技術レベルのさらなる向上のための提言ならびに訓練の実施が求められていることから要請に至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 自然災害救助にかかる訓練の実施、訓練カリキュラムの改善に向けた提言など。 2. 自然災害救助に向けた資機材の調査や活用に向けた提言の実施。 3. 地方出張による調査・指導も実施する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 救援にかかる資機材、執務用具など					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 部長(40代)、担当(30代)他と共に活動する。 指導対象者は、研修に参加する警察官(20~50代)他			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 経歴に基づいた指導が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 25 日

要請番号(SL 242 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード A204)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
ジャマイカ	防災・災害対策			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1
			2 26 / 2		
			3 /		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 総理府				
	2) 配属先名 (日本語) 国家防災庁				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は1980年に創設された政府機関で国内の災害リスク管理の責務を負っている。現在、職員は70名、そのうち約15名が技術職である。同国はハリケーン、大雨、地震、津波などの自然災害により洪水、土砂崩れなどのリスクに曝されている。脆弱なインフラ、不十分なコミュニティの組織化、国民の防災意識の低さなどが災害の被害を増長し、包括的な災害管理体制の障壁になっている。政策策定、プログラム立案をはじめコミュニティでの防災教育、コミュニティベースの災害被害軽減プロジェクト、早期警戒体制の確立、災害救援などの業務を行っている。H26年度から特定地域の災害対策にJICA個別専門家の派遣が要請されている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は2012年-2015年の計画で優先的に実施する以下の4事業を上げている。 1. 災害に対応できるコミュニティの能力を向上する。 2. 中央から地方行政と主要セクターを結びつける災害リスク管理システムを確立する。 3. 災害リスク管理情報を利用して社会すべてのレベルで防災文化を構築する。 4. 災害への備え、被害の軽減、緊急対応及び復旧事業までの一連の体制を強化する。 これらの成果を達成するため、リスク評価、緊急対応体制の整備にボランティアの派遣が要請された。コミュニティとの対話ができ、災害緊急対応の経験者が求められている。JICA個別専門家と一部共同で活動する可能性もある。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは以下の活動が求められている。 1. 災害リスク管理戦略の開発支援を行う。 2. 現行体制を見直し、評価報告書を作成する。 3. 災害リスク管理すべての局面で必要な助言、提案をする。 4. 主要プロジェクトの監督、関係者との交渉を行う。 5. 配属先職員への教育を実施する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC, GISデータおよび配属先が開発したアプリケーション				
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚 男性 都市工学、都市計画、災害リスク管理 同僚 女性 労働安全、災害リスク管理 同僚 女性 災害リスク管理、広報 同僚 女性 経営企画 活動対象者は地方の行政担当者、コミュニティ組織の代表者など			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 高度で理論的な知識が必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 現場での経験実績が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
資格条件等					
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22~32℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通勤等で車を運転するため免許があった方がよい				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A204)	◎ グループ型 ○ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年	1 26 / 1	
チリ	防災・災害対策			○ 1 年	2 26 / 2	年 月 から
				○ ヶ月	3 /	
1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁 2) 配属先名 (日本語) タルカワーノ市役所 ○ NGO 3) 任地 タルカワーノ JICA 事務所の所在地 (サンティアゴ) から 南 方向 500 Km 主要都市 (コンセプション) までの交通手段及び所要時間 (車 で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 活動先となる市役所の企画事務局は、市開発政策・予算の策定、開発計画事業策定・調整・評価を行うと共に、市長及び市議会に対し技術的助言を行っている。同事務局は市長直轄部署で、部署内に管理課、開発・投資誘致課、調査・事業課、都市計画課、災害リスク管理課がある。企画事務局の職員は約40名。年間予算は3.6億円(うち3億円が公共事業費)。2010年チリ地震・津波後UNDPの協力で震災復興支援プロジェクトを実施。2012年からSATREPS津波プロジェクトにて2010年以降の経験を共有中。2015年10月迄市民参加型地域リスク管理モデル構築プロジェクトをEU支援で実施中。						
1) 要請理由・背景 2010年チリ地震・津波により人口160,000名の港町タルカワーノ市では死者37名、被災者53,637名の被害が出た。配属先ではUNDPの震災復興支援プロジェクトにより8分野からなる復興計画を策定し、震災教訓ガイド、防災ガイドを作成した。また、住民参加型による災害マネージメントサイクルに対応すべく、災害統合リスク管理課をあらたに設立した。同課では2013～2014年の取り組みとして①市内災害リスクの分類化、②住民リスク管理センターの稼働、③住民による自主防災推進協議会の設立、④災害モニタリングに必要な条件の確認、⑤機能する緊急時ネットワークの確認、⑥市災害管理計画と行動手順の策定、⑦WEB上の災害情報管理システムの設置開始、⑧災害リスクシナリオ作成を計画しており、②及び③の活動において阪神淡路大震災以降蓄積されてきた自主防災組織の経験を基に日本からの協力が期待されている。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 自主防災組織の取り組み状況把握を目的とした現場視察及び自主防災推進協議会との話し合い 2. 課題点を見出すために配属先及び自主防災推進協議会への助言 3. 配属先及び自主防災推進協議会に対し日本の自主防災組織についての経験の紹介・発表 4. 配属先及び自主防災推進協議会と共に日本の成功事例を参考にした訓練・活動の実施 5. 配属先及び自主防災推進協議会と共に日本の成功事例を参考にした活動手引書の作成 6. 配属先及び自主防災推進協議会と共に市内モデル地域の緊急時対応手順作成(グループ共同活動)						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC等執務室で必要な機材 折り畳み式担架、救急道具等訓練に必要な資機材						
4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 30代後半男性(土木工学士) 都市計画・市民参加業務(災害対応も含む)6年 災害リスク管理課長 集団研修「巨大地震災害軽減のための総合戦略」帰国研修員(2012年)				5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (ハ・ル: D) 又は スペイン語 (ハ・ル: D)		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 具体的な助言の為に必要 理由:				活動上の単車/自転車 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可		
地域概況 気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)						
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A204)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
チリ	防災・災害対策			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
		3	/			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁					
	2) 配属先名 (日本語) タルカワーノ市役所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 タルカワーノ JICA事務所の所在地 (サンティアゴ) から 南 方向 500 Km 主要都市 (コンセプション) までの交通手段及び所要時間 (車 で約 0.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 活動先となる市役所の企画事務局は、市開発政策・予算の策定、開発計画事業策定・調整・評価を行うと共に、市長及び市議会に対し技術的助言を行っている。同事務局は市長直轄部署で、部署内に管理課、開発・投資誘致課、調査・事業課、都市計画課、災害リスク管理課がある。企画事務局の職員は約40名。年間予算は3.6億円(うち3億円が公共事業費)。2010年チリ地震・津波後UNDPの協力で震災復興支援プロジェクトを実施。2012年からSATREPS津波プロジェクトにて2010年以降の経験を共有中。2015年10月迄市民参加型地域リスク管理モデル構築プロジェクトをEU支援で実施中。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2010年チリ地震・津波により人口160,000名の港町タルカワーノ市では死者37名、被災者53,637名の被害が出た。配属先ではUNDPの震災復興支援プロジェクトにより8分野からなる復興計画を策定し、震災教訓ガイド、防災ガイドを作成した。また、住民参加型による災害マネジメントサイクルに対応すべく、災害統合リスク管理課をあらたに設立した。同課では2013～2014年の取り組みとして①市内災害リスクの分類化、②住民リスク管理センターの稼働、③住民による自主防災推進協議会の設立、④災害モニタリングに必要な条件の確認、⑤機能する緊急時ネットワークの確認、⑥市災害管理計画と行動手順の策定、⑦WEB上の災害情報管理システムの設置開始、⑧災害リスクシナリオ作成を計画しており、②及び③の活動において阪神淡路大震災以降蓄積されてきた自主防災組織の経験を基に日本からの協力が期待されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 自主防災組織の取り組み状況把握を目的とした現場視察及び自主防災推進協議会との話し合い 2. 自主防災組織推進の為に市役所支援における課題点を見出すために配属先への助言 3. 配属先及び自主防災推進協議会に対し自主防災組織推進の為に市役所の取組に関する日本の経験の紹介・発表 4. 配属先及び自主防災推進協議会と共に日本の成功事例を参考にした市役所における訓練・活動の実施 5. 配属先及び自主防災推進協議会と共に日本の成功事例を参考にした市役所からの支援プログラムの提案 6. 配属先及び自主防災推進協議会と共に市内モデル地域の緊急時対応手順作成(グループ共同活動)					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC等執務室に必要な機材 折り畳み式担架、救急道具等訓練に必要な資機材					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 30代後半男性(土木工学士) 都市計画・市民参加業務(災害対応も含む)6年 災害リスク管理課長 集団研修「巨大地震災害軽減のための総合戦略」帰国研修員(2012年)			5) 活動使用言語 (ス페인語) 6) 生活使用言語 (스페인語) 7) 選考指定言語 英語 (ハハ: D) 又は スペイン語 (ハハ: D)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 具体的な助言の為に必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード A204)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
チリ	防災・災害対策			1	26 / 1
		2	26 / 2		
		3	/		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁				
	2) 配属先名 (日本語) タルカワーノ市役所				<input type="radio"/> NGO
概要	3) 任地 タルカワーノ JICA事務所の所在地 (サンティアゴ) から 南 方向 500 Km 主要都市 (コンセプション) までの交通手段及び所要時間 (車 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 活動先となる市役所の企画事務局は、市開発政策・予算の策定、開発計画事業策定・調整・評価を行うと共に、市長及び市議会に対し技術的助言を行っている。同事務局は市長直轄部署で、部署内に管理課、開発・投資誘致課、調査・事業課、都市計画課、災害リスク管理課がある。企画事務局の職員は約40名。年間予算は3.6億円(うち3億円が公共事業費)。2010年チリ地震・津波後UNDPの協力で震災復興支援プロジェクトを実施。2012年からSATREPS津波プロジェクトにて2010年以降の経験を共有中。2015年10月迄市民参加型地域リスク管理モデル構築プロジェクトをEU支援で実施中。				
要請概要	1) 要請理由・背景 2010年チリ地震・津波により人口160,000名の港町タルカワーノ市では死者37名、被災者53,637名の被害が出た。配属先ではUNDPの震災復興支援プロジェクトにより8分野からなる復興計画を策定し、震災教訓ガイド、防災ガイドを作成した。また、住民参加型による災害マネジメントサイクルに対応すべく、災害統合リスク管理課をあらたに設立した。同課では2013～2014年の取り組みとして①市内災害リスクの分類化、②住民リスク管理センターの稼働、③自主防災推進協議会の設立、④災害モニタリングに必要な必要条件の確認、⑤機能する緊急時ネットワークの確認、⑥市災害管理計画と行動手順の策定、⑦WEB上の災害情報管理システムの設置開始、⑧災害リスクシナリオ作成を計画しており、②及び③の活動において阪神淡路大震災以降蓄積されてきた自主防災組織の経験を基に日本からの協力が期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学校での取り組み状況把握を目的とした現場視察及び関係者との話し合い 2. 様々な教科を通じ地元で起こりうる災害(津波、土砂崩れ、大雨による洪水、地滑り、森林火災、危険物質の流出)への理解を深め、備えの重要性を伝える為に配属先及び学校関係者に対する日本での取り組みについての紹介・発表 3. 配属先及び学校関係者と共に日本の成功事例を参考にした自主防災組織との連携による学校での訓練・活動の実施 4. 配属先及び学校関係者と共に日本の成功事例を参考にした学校向け活動手引書作成 5. 配属先及び学校関係者と共に市内モデル地域の緊急時対応手順作成(グループ共同活動)				
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC等執務室に必要な機材 折り畳み式担架、救急道具等訓練に必要な資機材				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 30代後半男性(土木工学士) 都市計画・市民参加業務(災害対応も含む)6年 災害リスク管理課長 集団研修「巨大地震災害軽減のための総合戦略」帰国研修員(2012年)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 具体的な助言の為に必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

要請番号(SL 315 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A204)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
コロンビア	防災・災害対策			2	26 / 1	日系/短期 年 月 から
				3	26 / 2	
			/			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 防衛省					
	2) 配属先名 (日本語) 文民防衛団				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 クンディナマルカ県ボゴタ市 JICA事務所の所在地(ボゴタ市)から 西 方向 10 Km 主要都市(ボゴタ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は自然災害対策や自然環境保全を目的とした活動を行う機関。日本の消防団と同様に民間のボランティアを中心に活動が行われている。国内全ての市を活動範囲とし、活動を行うボランティアは12万人に上る。国内5か所に訓練校を持ち、ボランティアへの技術指導を行っている。年間予算は約1,000万米ドル					
要請概要	1) 要請理由・背景 コロンビア国は大規模な地震や水害などの災害に常に悩まされている。脆弱なインフラ環境もあり、こうした災害による直接的な被害に留まらず、被災者救援の遅れなどによる二次的な被害も大きな問題となっている。こうした状況から災害現場における初期活動の重要性が認識され、実際に現場で活動する団員の技術向上を考えた際に、訓練教官の指導レベル向上が必要となり今回の要請に至った。なお1999年1月に当国アルメニア市で起きた地震災害においては、我が国の国際緊急援助隊もコロンビア国政府からの要請を受け活動を行った。こうした過去の我が国の援助活動に対する評価も高い。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 被災者捜索・救援、災害現場での効果的な応急処置法の技術向上を目的に以下の活動を行う。 1. 訓練校における教官の指導を観察し、改善点を抽出した上で教官への指導を行う。 2. 教官への指導の一環として、民間ボランティアへの直接指導を行う。 3. 日本の災害現場における活動経験の講話などによる紹介も期待される。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 訓練設備、一般事務設備					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・カウンターパートとなる指導教官は指導経験20年以上の男性 ・配属先職員は総勢160名			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づく指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(高地) 気温(5~30℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 2 日

要請番号 (SL 445 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード A204)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
トルコ	防災・災害対策			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ブルサ県庁				
	2) 配属先名 (日本語) ブルサ県防災研修センター				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ブルサ JICA 事務所の所在地 (アンカラ) から 西 方向 382 Km 主要都市 (ブルサ) までの交通手段及び所要時間 (車 で約 4.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 トルコは地震多発国である。1999年のマルマラ地震以降、災害リスク管理を一元管理する機関として首相府災害危機管理庁(AFAD)が設立された。また、各県においては、県知事の指示命令系統の下、AFADの地方事務所が存在する。AFADの地方事務所は、特に、各県の防災にかかる計画づくりや各種災害対策を県レベルで実施している。ブルサ県では、県の予算を用いて、トルコで最初の防災研修センターを建設し、AFADブルサ局長をセンター長に今後運営を行っていく。				
要請概要	1) 要請理由・背景 活断層付近に位置するブルサは、防災対策に対し積極的に取り組んでいる。その中でも、トルコで最初の防災研修センターは日本の防災をテーマにした施設を参考に建設したものであり、学校や地域への啓発及び民間企業やNGOの研修などを行うことを目的にしたものである。その後、ブルサ県が独自予算で日本(兵庫県など)を訪問し、運営のノウハウなども吸収してきたという経緯がある。その中、ここを拠点に防災教育プロジェクトの成果を活用し、防災教育の機能を学校教育の枠を超えて地域コミュニティに展開・拡大させることを目指している。なお、現在、JICAで実施中の「防災教育プロジェクト(国民教育省)」、「災害リスクに基づく効果的な災害リスク管理能力向上プロジェクト(AFAD)」及び「マルマラ地域における地震・津波防災および防災教育プロジェクト(ボアンジ大学など)」がブルサ県を対象にしている状況。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 防災研修センターのスタッフと共に以下の活動に取り組む。 ①ターゲットグループ(地域住民や学校)の同センターに対するニーズを明確にする。 ②そのニーズを基に、防災教育プログラム及び研修プログラムの開発を行う。 ③防災教育プログラム及び研修プログラムを実施・評価する。 ④防災研修センターの年間活動計画の策定・改訂にかかる支援を行う。 ⑤広報活動を含む地域社会における防災研修センターの位置づけについて明確にする。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 防災教育センター執務室				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 防災研修センター長(兼AFADブルサ局長)(男性、50代)、同センター職員約10名			5) 活動使用言語 (トルコ語) 6) 生活使用言語 (トルコ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒以上であるため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 経歴に基づいた指導を行うため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(-16~30 °C 位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号(SL 303-13-D-01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード A221)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 /
アルゼンチン	環境行政			1	年 月 日 から
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 内閣総理府・環境・持続開発庁				
	2) 配属先名 (日本語) 環境・持続開発庁固形廃棄物部				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 フェノスアイレス市 JICA事務所の所在地(フェノスアイレス市)から 南 方向 1 Km 主要都市(フェノスアイレス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同庁は、国の環境政策を所掌する行政機関で、①環境政策の企画立案・推進②環境実態調査の診断方法の策定③廃棄物対策、有害廃棄物の輸出入規制④大気汚染、水質汚濁等の公害防止規制、監視④土地環境及び環境管理の実施に向けた法的整備⑤自然環境の保全等を所掌している。過去には、気候変動対策としてJICAの技術協力「CDM植林推進のための技術強化プロジェクト」(2007～10)を実施した。また、同機関からこれまでに25名(内、2名は固形廃棄物)のJICA研修員を受入れた実績を有す。固形廃棄物に関しては、世界銀行の融資を得て固形廃棄物の減量化に向けた「全国都市固形廃棄物管理プロジェクト」を推進している。				
要請概要	1) 要請理由・背景 当国の廃棄物管理は、各市町村の直営、もしくは、外部委託で行われているが、大部分の最終処分方法は、衛生管理が不十分なオープンダンプ方式で行なわれている。このため、これらの最終処分場周辺では、地下水や土壌汚染、自然発火による煙の発生等が深刻な環境問題となっている。そこで、配属先は、廃棄物管理の段階的な改善を目指し、廃棄物の減量化・適正な処分方法等の推進のためのプロジェクト「都市固形廃棄物総合管理国家戦略(2005～2025)」を策定した。この目的は、①オープンダンプ処分場の閉鎖及び新規の処分場の建設②市町村での持続的廃棄物管理の実現に関する指導、助言③廃棄物減量化推進政策の策定等である。現在、世界銀行の融資(「全国都市固形廃棄物管理プロジェクト」)を得ているが、廃棄物管理の実態調査項目(指標の設定)に関し、より専門的な知識、経験を有した人から指導、助言を得たいとして本要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 「都市固形廃棄物総合管理国家戦略」を国、州及び市役所レベルで調査し、課題の整理を行なう。その上で、 ①国、州及び市役所レベルにおける固形廃棄物管理の実態調査項目(指標の設定)に関する改善についての指導・助言を行なう。 ②固形廃棄物の発生、分類等に関する実態調査項目(指標の設定)調査実施方法の指導・助言を行なう。 ③国、州、市役所レベル毎に既存の処分場の閉鎖、新処分場の建設に関する技術的な支援を行なう。 ④処分場に関するCDMの適用に関する指導・助言を行なう。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プロジェクター等				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚: 経営技師: 女性、50代(経験年数20年) 経済学士: 男性、40代(経験年数18年) 土木技師: 男性、50代(経験年数35年) 化学技師: 女性、50代(経験年数26年) 経済学士: 2女性、20代(経験年数5年) 会計士: 女性、20代(経験年数5年)			5) 活動使用言語 (英語)) 6) 生活使用言語 (スペイン語)) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 ()) 又は ()) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 配属先関係者と同等レベル ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 業務上必要不可欠 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(温暖) 気温(0～35℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号 (SL 306 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード A221)	◎ グループ型 ○ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年	◎ 1 年
ポリビア	環境行政			○ 2 年	○ 1 年
				1	26 / 1
				2	26 / 2
				3	/
年 月 日 から					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 環境・水資源省				
	2) 配属先名 (日本語) コマラバ市役所 ○ NGO				
	3) 任地 サンタクルス県コマラバ市 JICA事務所の所在地(ラバス市)から 南東 方向 800 Km 主要都市(サンタクルス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 サンタクルス市から245kmに位置するコマラバ市は人口16,698人を擁し、イチゴ、リンゴ、モモ等の果樹栽培が盛んである。配属先は職員数60名体制で、環境担当は1名である。同市では、NGOの支援により、ごみの分別回収やごみの堆肥化等の活動を実施している。市の年間予算は約380万米ドル。ドイツの支援による植林活動等も行われている。また、過去に保健師1名(1998~2000)、村落開発普及員2名(2002~2004、2005~2007)の3名のJICAボランティアが派遣されていた。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同市では、NGOの環境改善プロジェクトが実施され、ごみの分別回収は約5,000世帯の内800世帯が実施し、回収された資源ごみ(びん・カン・ダンボール・紙等)は売却され、市場等から回収された生ごみも堆肥にされ、販売されている。浄水場も整備されており、地域の環境改善モデルケースとして注目されている。環境改善に関する活動は市として取り組んでいるが、全世帯にごみ分別意識は広まっていない。諸環境問題に関連するデータの分析・評価を行い、戦略的な環境アセスメントの構築を期待され今回のボランティアの要請に至った。なお、同市には環境教育・土壌肥料・果樹栽培の協力隊員、また、近隣市役所からも環境教育ボランティアが要請されており、コマラバ市のみならず、他市役所のボランティアとも協働した環境改善に向けた活動も期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 地域住民や教師・生徒の環境に関する意識改革を促すために、カウンターパートと地域を巡回し以下の活動を行う。 1. 諸環境問題に関連するデータを分析・評価する。 2. 環境マネジメントの方策・方針に対して技術的な提言を行う。 3. 戦略的な環境アセスメントを構築する。 4. GIS(Geographic Information System)の使い方を指導する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 市役所内執務室、事務機、パソコン、プリンター、GIS				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・カウンターパート環境担当、男性、20代(農業技術者、環境分野経験2年)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります)				活動上の單車/自転車の必要性
	・免許 () 又は ()				○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要
	・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:業務上必要 理由:				現職教員特別参加制度
				○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(高地寒冷) 気温(-10~20℃位)		電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 水道(◎安定 ○不安定 ○なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 11 日

要請番号(SL 312 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード A221)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 26 / 1
チリ	環境行政			1年	2 26 / 2
			ヶ月	3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁				
	2) 配属先名 (日本語) ラ・カレラ市役所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ラ・カレラ JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 北西 方向 120 Km 主要都市(バルパライソ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 第5州バルパライソ州に属する人口約5万人、面積約40平方kmの地方工業都市。世帯数約1万4千。主要産業として農牧業のほか、過去に近郊で石灰が産出したため大手セメント会社の工場がありその他多くの企業の工場による雇用を生んでいる。世帯の97%は都市部に集中している。 要請元のラ・カレラ市役所は職員数約110人、年間予算約9億円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同市は、港湾都市バルパライソと大消費地である首都サンティアゴのほぼ中間に位置する地方工業都市で、近年多くの企業の工場が立地するようになったが、それに伴い大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、ゴミの不法投棄等環境に悪影響を与える問題が多数生じてきている。そこで過去高度成長期に公害問題に直面しそれを克服してきた日本の廃棄物行政、環境行政の専門的知識を持つボランティアからの助言を得たいという要望があり本要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同市役所の公共計画局に所属し、 1) 公害発生状況調査の手法、評価等に関する助言 2) 公害の評価指標、生産活動の環境に対するインパクト評価マトリクス作成等に関する助言 3) 地域主要産業の環境評価作業への助言、地域との共生に関する助言 等の活動を通し、地域の短期・中長期の公害防止・環境改善活動に貢献する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 市役所内の執務スペース、PC、プリンター等の一般OA機器				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 C/P: 公共計画局環境課担当2名、いずれも男性・30歳代 職場同僚: 企画部環境課職員12名 活動対象者: 地元住民、地元企業等			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 業務遂行上必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 066 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード A241)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
スリランカ	コンピュータ技術			2	26 / 1
			3	26 / 2	年 月 から
1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省					
2) 配属先名 (日本語) 職業訓練大学					<input type="radio"/> NGO
3) 任地 コロンボ県モラトワ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 南 方向 15 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1983年に国立技術教員養成校として設立され、2009年に職業訓練大学に昇格したされた比較的新しい大学である。産業職業技術学部、訓練技術学部の2学部に、食品加工学科、メカトロニクス学科、情報通信技術ネットワーク学科、情報通信技術ソフトウェア学科など9学科があり、3年間で学位を取得する。					
1) 要請理由・背景 要請のあった情報通信技術ネットワーク学科は2011年に開始された新しいコースであり、情報通信技術ソフトウェア学科、情報通信技術マルチメディア・web技術学科と合わせて、情報通信技術分野をカバーしている。2013年6月現在、1年生60名(パートタイム生32名を含む)、2年生40名、3年生53名が在籍しており、うち2、3割は職業訓練校の現役教員である。教授陣は、常勤教授4名に加え、非常勤講師10名で学生の指導にあたっている。上記3コースの学生は、最初の1年半は共通の内容を学び、後半1年半で各専門分野に分かれて学ぶ。2013年末を目処にCisco Labo を立ち上げる予定で、配属先はCiscoの認定資格を取得できるようにしたいと考えている。Cisco Labo の維持管理、学内ネットワークの保守維持管理、各種設定に加え、ネットワーク科学生への指導を目的としてボランティアが要請された。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・同僚教授と協力して、学生を対象にネットワーク分野の指導を行う。 ・Cisco Laboratoryの運用、維持管理について同僚教授に助言を行う。 ・同僚教授と協力して、任国で必要とされているネットワーク技術に沿った学内プロジェクトを立ち上げ、プロジェクトを通じて現場で使える技術を学生に伝える。 ・可能な範囲で、Ciscoの資格試験、学内の資格試験に対する助言を行う(オプションの活動)。					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Ciscoルータ(2901SEC/K9、2901V/K9、901CME-SRST/K9)、電子テスタ、ネットワークテスタ、デスクトップPC90台(Win7Pro、Core2Duo)、Office等					
4) 配属先同僚及び活動対象者 ・常勤教授(4名。30~40代。ICT分野で修士or学士取得。指導経験7~13年) ・非常勤講師(10名。30~40代。ICT分野で学士を取得。指導経験数年~10年) ・学生(1~3学年150名強、全員NVQ=国家職業訓練資格レベル6を取得済。正確ではないが、入学時は日本の高専卒レベルに相当)				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学での活動に必要 ・経歴 () () 理由: ・ IT分野の指導または実務経験3年以上 理由: 指導に必要				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況 気候(熱帯) 気温(22~38 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 23 日

要請番号(SL 112-13-D-01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード A241)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	派遣希望時期	日系/短期	
マーシャル	コンピュータ技術			1	26 / 2	年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) マーシャル諸島通信局					
	2) 配属先名 (日本語) マーシャル諸島通信局				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 マジュロ環礁デラップ地区 JICA事務所の所在地(マジュロ)から 北 方向 0 Km 主要都市(マジュロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 マーシャル諸島通信局は国内の通信業務全般を管理・運営し、国民に通信手段を提供する政府出資の公社として1987年に設立された。国内電話はもちろん、国際電話、FAX、携帯電話、インターネット、衛星TVなど幅広い業務を手がける同国唯一のプロバイダーである。総スタッフ数は70名で、年間予算は約800万ドル。外国からの支援は無い。					
要請概要	1) 要請理由・背景 マーシャル諸島通信局は、近年の国の近代化に伴い情報流入が急増したことからインターネット事業を開始し、光ファイバー、ADSL、WiFiをインフラとした国内インターネットの整備を進めてきた。それに伴い局内IT課のコンピュータ技術者の育成が必要となるが、マーシャル諸島ではコンピュータ技術者が慢性的に不足している。これら背景からコンピュータ技術者の育成を期待し、JICAボランティアの要請を継続している。初代SVは主にLinuxのトレーニングを行い、2代目SVはサーバー仮想化(VMware)トレーニングを実施している。その結果サーバーについては自己管理ができつつある状況である。しかしながらサーバーの運用管理のサービスレベルは十分ではなく、これらを引き上げることを期待し同分野の経験豊かなボランティアに対するSV、JVの継続要請がなされた。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) JICAボランティアには、顧客の要求するサービスレベルの実現への支援が求められている。併せてそれに伴う運用管理技術者の育成が期待されている。具体的には以下の2点となる。 1)配属先のスーパーバイザーに対し、サービスレベルの定義作成(例として障害からの復旧時間)、運用項目のリストアップ、人的管理の方法、それらを含めたサービスの実行を共に活動しながら教授する。 2)配属先のコンピュータ技術者に対し、仮想サーバ500台以上を対象とした死活監視、システムリソース監視、故障管理、データバックアップ等を教える。(運用管理技術ツールのインストールおよびセットアップはできる状況にある)					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 VMwareインフラを構成するPCサーバ及びストレージ、シンクライアント端末、コピー機等					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先スタッフ IT課 9名(男性 24~35歳 短大卒レベル) 課長 1名、Assistant IT Supervisor 1名、IT Specialist 6名		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります)			活動上の單車/自転車の必要性		
	・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:実践的で高い技術が求められるた理由:			<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(海洋性熱帯気候) 気温(28℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 30 日

要請番号 (SL 130 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B111)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 4 代目	○ 2 年	1 26 / 1	
トンガ	上水道			○ 1 年	2 26 / 2	年 月 から
				○ ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 公営企業省					
先	2) 配属先名 (日本語) トンガ水道公社 ○ NGO					
概	3) 任地 スクアロファ市内 JICA事務所の所在地(スクアロファ市内)から 南 方向 1 Km 主要都市(スクアロファ市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.3 時間)					
要	4) 配属先の規模・事業内容 スクアロファ首都地区と主要離島部における上水道の供給、及び地方の村の水道委員会が運営するコミュニティの給水施設への技術的指導と支援を担当している。職員は約110名、年間予算は約2億円。上水道施設管理SVが派遣されている。					
要	1) 要請理由・背景 トンガタブ島では井戸水を水源とし減菌(次亜塩素酸ソーダの点滴注入、あるいは次亜塩素酸カルシウム錠剤の溶解)後、自然流下で配水している。しかしながら、水需要の増加およびEU援助の取水施設の老朽化と配水管の漏水で慢性的な水圧不足が続いている。取水施設の老朽化は離島も同じであり、崩壊した井戸を捨て一つの井戸から多くの水を汲み上げるため塩分混入の監視は欠かせない。エウア島は沢水を水源としており、フミン質由来の色度が除去できていない。また、配水流量計が稼動せず、水道メータの故障が多く家庭での使用量が正確につかめない事等もあり、漏水率は諸データを勘案して推定している。なお、水質検査は月に一度、細菌、残留塩素、導電率を計測している。このような状況から上水道に関する総合的かつ、具体的なアドバイスが引き続き必要として後任が要請された。					
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 専門を活かした水道全般に関する活動とアドバイスを行う。 ② 未収水量(特に漏水率)のより客観的な算定ができるようにアドバイスをする。 ③ 地方の村が運営する水道施設の調査、改善に協力する。 ④ 水質管理についての提案を行う。 人口増加に鑑み10年後の水道の未来像を天水(雨水貯蔵)との共存を図りながら提案できると良い。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 漏水検知器(音調棒、電気式漏水探知機、相關式漏水探知機)					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 40代のシニアエンジニア(個室)6人がそれぞれ計画、管網維持改善、取水場維持管理、地方の村水道への技術支援、水質、水道メータ管理を担当していて、日頃接しているテーマについての知識は深い。別に、配管工、メカニック、重機運転手等が15人程いる。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 経歴に基づいた指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(15~33 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)			
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 515 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B111)	○グループ型 ◎個別	◎新規 ○交替 代目	1	JOCV/SV
ケニア	上水道			◎2年 ○1年 ○ヶ月	2
				3	26 / 1 26 / 2 /

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 水灌漑省
	2)配属先名 (日本語) エンプ上下水道信託会社 ○ NGO
	3)任地 東部州エンブ県エンブ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 北東 方向 200 Km 主要都市(ナイロビ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)
	4)配属先の規模・事業内容 配属先はケニア全国に120余りある水供給会社(WSP)の一つで、同国東部州の州都エンブとその周辺地域に対する給水と下水道サービスを行っている。同会社は2002年に敢行された同国の水セクター改革を経て、2005年に民営化され、現在、独立採算制を取り入れ操業している。組織は業務執行取締役のもと経営部門と技術部門で構成されている。同会社は、わが国の無償資金協力により取水施設・浄水施設・貯水槽(小水力発電設備を含む)等が整備され、2012年より整備された施設は本格的に稼働した。同会社の2011年度の年間予算は約1億4千万円。

要 請 概 要	1)要請理由・背景 配属先では、わが国の無償資金協力「エンブ市及び周辺地域給水システム改善計画」により、取水堰の改修、導水管・送水管・配水管の敷設、浄水場・貯水池の建設と、必要な機材供与等一連の施設整備が実施され、2012年より稼働が本格化した。また、2011年7月よりJV(水質検査)が派遣され、浄水場の水質管理の指導にあたっている。当該JVが指導している、現地で求められる適正な水質を維持するために必要な検査及び水質モニタリングは、徐々に定着しつつある。派遣されるSVは、ケニアにおいては先進的なWSPである配属先において、配属先スタッフとの現場での協働を通して、安全な水の安定給水を実現するための、継続可能な浄水プラントの運転管理手法と施設の維持管理手法の定着を目的とする活動に取り組む。
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 実際のプラントオペレーション(施設の運転と維持管理・各種データの管理)を通じ、現地の事情に即した適正、かつ、安全で高効率なプラントオペレーションの実現とその定着を支援する。 ・設備管理に対する支援(施設・機器の維持、管理等) ・オペレーション管理に対する支援(生産管理、給水管理、水質管理等) ・コスト管理に対する支援(施設、生産、給水、顧客等のデータ管理とその活用等)
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 浄水プラント(緩速濾過方式)、PC、プリンター、コピー機
4)配属先同僚及び活動対象者 業務執行取締役(50代男性、専門分野で20年以上の業務経験) 技術管理責任者(40代男性、専門分野で15年以上の業務経験) 浄水場運転管理者(20代男性、専門分野で1年以上の業務経験) ラボ技師 (40代女性、専門分野で15年以上の業務経験)	5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (スワヒリ語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚と同等の学位が必要 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: プラント運転経験に必要 ・ 水道施設管理技士2級 理由: 本邦での業務資格に準じる	活動上の單車/自転車の必要性 ○單車 ○自転車 ◎不要
		現職教員特別参加制度
		○可 ◎不可

地域概況	気候(高原) 気温(10~25 °C位) 電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 通信(☒インターネット可 ☒電話可 ☐無線) 水道(◎安定 ○不安定 ○なし)
------	--

特記事項 水道施設管理技士資格は、平成16年開始の比較的新しい資格のため、資格を有さない場合でも、十分な経験があれば条件緩和可能。



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

要請番号(SL 021 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B121)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
カンボジア	下水道			2	26 / 1
			2	26 / 2	年 月 日
			3	/	から
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 公共事業交通省				
	2) 配属先名 (日本語) シェムリアップ州公共事業交通局・下水道ユニット				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 シェムリアップ JICA事務所の所在地(ブンベン)から 北西 方向 290 Km 主要都市(シェムリアップ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 シェムリアップ公共事業交通局は、州政府と連携しながら公共インフラの整備と管理を行う組織である。局は、①総務事務所、②計画・経理事務所、③公共工事事務所、④交通事務所、⑤河川港と駐車場ユニット、⑥下水道ユニットに分かれている。下水道と河川排水路の工事は海外の開発ローンを活用して実施され、下水道ユニットは現場において工事の施工と完成施設の管理に責任を持つ。職員は24名で、その内技術系職員は5名。運営費は年間45,000ドル程度で、下水収益によるものである。				
要請概要	1) 要請理由・背景 アンコール世界遺産を有するシェムリアップ市は、近年、観光産業の発展に伴い急速にホテル、商店、住宅の建築が進んできた。そのため、従来の雨水防災機能として存在していた水路網や池が消滅して洪水氾濫が起こりやすくなっている。また、人口の増加で、ホテルや住宅からの生活排水が河川や池を汚濁している。そのため、2006年からAFD(フランス開発庁)やADB(アジア開発銀行)の支援により排水路や下水処理施設プロジェクトが実施された。また、2013～2016年度に草の根技術協力事業にて、下水道の維持管理技術の指導及び住民や事業者への適正使用の啓発などの活動が実施されている。配属先では、工事業者の施工の監理、工事検査、点検などの日常的な維持管理など、優良な施工のための監督や工事関連の指導に関する技術支援のニーズが高く、本件要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・下水道に関する施工の管理、監督、工事検査を配属先スタッフに指導する。 ・日常的な点検業務を通じ、維持管理の方法を配属先スタッフに指導する。 ・上述の草の根技術協力事業を配属先が実施する際の側面支援も期待される。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務スペース、バキュームカー、トラックなど				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ユニット長、技術課長、総務課長ほか職員総勢24名(うち女性2名)、うち、技術系職員5名(男性、25～40代、高卒～大卒、経験年数5～20年)		5) 活動使用言語 (英語)		
		6) 生活使用言語 (クメール語)			
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)			活動上の単車/自転車の必要性	
	・免許 () 又は ()			<input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
	・性別 () 理由: () ・学歴 () () 理由: () ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由: 技術、維持管理指導をするため 理由: ()			現職教員特別参加制度	
					<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22～38 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 25 日

要請番号(SL 242 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード: B121.)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ジャマイカ	下水道			◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 水・国土・環境・気候変動省				
	2) 配属先名 (日本語) 国家水委員会				○ NGO
	3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は、全国の主要な上下水道事業を行う公営企業である。2011年の収入は約165億円。同国の上下水道の普及率はそれぞれ人口の70%と14%。従業員2100名。140の井戸と260か所の河川取水施設及び酸化溝、活性汚泥、安定化池を含め下水道処理施設は全国で約68か所ある。中央下水道処理場は5か所。過去に上水道施設への円借款、技術協力プロジェクトを実施した。また、米州開発銀行からの融資も受けている。JICAの研修に参加した職員が多く、ボランティアとの協働が期待されている。2013年4月から10か月間短期ボランティアが活動している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 下水道処理場と下水道の建設計画、設計、建設、運転、維持管理などプロジェクト実施にかかる組織的な能力向上を図ることは常に必要とされている。そのため設計、建設、下水道処理場運転、維持管理、及び企画部/課に対して総合的な見地から能力向上に貢献できるコンサルタント/アドバイザーが要請された。ボランティアの協力により、配属先のサービスが向上し、下水道処理施設の維持管理が改善されることが期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 着任後、配属先と協議して、主に以下の業務から活動内容を決定する。 1. 下水道処理場の再評価、改善計画、建設計画、処理場のデザインなどについて専門的なアドバイスを提供する 2. 設計思想、建設特性、労働安全の見地から施設の運転、維持管理について世界標準のベストプラクティスを検索し、基準となる手順を作成する。労働安全については現行の工場労働にかかる法律の研究が必要となる 3. 下水道処理場運転員の能力評価と評価チェックリストの作成、運転・維持管理マニュアルの作成、更新 4. 下水道処理場の運転、維持管理、検査、監視に関するセミナー、ワークショップやトレーニングを企画運営する 5. 既存の地理的評価システムや資産評価システムと関連した運転、維持管理の報告様式を作成する				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Bentley suite-sewerGEMS, Sewage Flow Meter, GIS/AMS Data base, CIS、その他機材				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 40から60名のスタッフと関わる。年齢は20代から55歳まで。高卒から大学院卒業まで幅広い。職位は処理場の管理者、チームリーダー、スーパーバイザー、技師、技術管理職			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 高度で専門的な知識が必要 ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由: 事業について深い経験が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域 概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22-32 °C位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記 事項	通勤等で車を運転するため免許があった方がよい				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 19 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B121)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
モロッコ	下水道		<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1	26 / 1	年 月 から
				2	/	
			3	/		

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省
	2) 配属先名 (日本語) カディアヤッド大学水エネルギー国立研究センター <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 マラケシュ県マラケシュ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 334 Km 主要都市(マラケシュ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 カディアヤッド大学は1978年設立のマラケシュ唯一の国立総合大学であり、5学部と8研究機関を擁し、水エネルギー国立研究センターは同分野の幹部養成および研究のため2000年から開始された高等教育・科学研究・幹部養成省の5か年計画に基づき設立された。主な研究テーマは、下水処理と農業用水への再利用、廃棄物処理とその有効利用、冷房、太陽熱など。下水処理の分野では、カディアヤッド大学・島根大学・モロッコ水電気公社の三者が共同で多段土壌層下水処理法の研究を行っており、同処理法による実験をアルハウズ県庁に派遣された上下水道JVが手がけてきた。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 モロッコでは都市部における上下水道は発達しているものの、村落部における上下水道、特に下水処理の施設は十分に整備されておらず、生活廃棄物処理の未整備もあいまって、家庭排水が土壌を汚染し農作物への影響が出たり、河川に汚染水が流出し生活用水の有毒化が問題となっている。特にマラケシュに隣接するアルハウズ県ではその傾向が強く、下水処理施設の設置が喫緊の課題となっている。水エネルギー国立研究センターは同地区における多段土壌層下水処理法の妥当性も含め研究を行っており、今回の要請に至った。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 下水処理研究における次のような支援を行う。 ・下水の処理、再利用、有効利用に関する技術・専門知識の紹介 ・下水処理システムに関する専門知識の紹介 ・下水処理プロトタイプの実験室レベルから現場レベルに至る検証 ・下水処理プロトタイプの実験室レベルから現場レベルに至る検証 ・下水処理プロトタイプの実験室レベルから現場レベルに至る検証 ・下水処理の研究計画策定
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 島津製作所分光測光器AA type6300/GFA-EX7i、島津製作所イオンクロマトグラフィーPIA-1000、加圧蒸気滅菌器AE-150、遠心分離機ROTANTA 460R HETTICH他多数
	4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長(50代女性・博士) 同僚研究者(20代-40代・修士/博士)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学内研究機関のため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 同僚への助言指導をするため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(内陸性気候) 気温(0~45℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

特記事項	
------	--

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 018 - 13- D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B131)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
タイ	廃棄物処理			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1	年 月 から
					2 26 / 2	
			3 /			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 工業省					
	2) 配属先名 (日本語) 産業振興局 裾野産業開発課					<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 バンコク クローンテーイ区 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北 方向 0 Km 主要都市(バンコク)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 裾野産業開発課は、工業省内に1988年に組織され、現在はタイ国内の4,000社の中小企業に対し、技術開発、コスト削減、品質管理、合理化などの支援を実施している。対象となる企業は、金属、機械、繊維、食品、農業製品などと幅広い。職員数約63人。年間予算は2億6千万円。同配属先には2013年8月から廃棄物処理(排水処理)のSVが活動している。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 工業化が進むタイにおいても環境についての社会的な意識は年々高まりつつあり、企業も同様に問題意識を持っている。しかしながら、中小企業においては、その対策に対する資金や技術的な問題があり、取り組みが困難となっている。工業省の裾野産業開発課では、グリーンテクノロジープロジェクトとして、工場の製造過程において発生する排気ガスの適切な処理方法の改善提案についての支援の取り組みを新たに開始したいと考えている。配属先スタッフは専門知識がなく、排水処理に関してはSVが支援してきたが、排気ガスについても同様の取り組みを行いたいと考えているため、今回の要請にいたった。なお、中小企業とのコミュニケーションは、タイ語で行われるため、タイ語能力があれば望ましい。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 地方事務所やセミナーを通じて対象訪問企業を選定し、排気ガス処理状況を把握、分析し、経済的で対応可能な問題解決策の助言、指導を行う。 2 排気ガス処理に関する資料やマニュアルを作成し、セミナーや企業訪問時に活用する。 3 配属先の排気ガス処理のメンバーへのOJTによるスキルアップ支援を行う。 4 工業省が実施しているグリーンインダストリー認定工場の大気部門の審査活動の支援を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 携帯排気ガス濃度計(NOX、SOX、CO、CO2等)、ダイオキシン分析装置、コンピューター					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 30代、男性、博士(金属)、排ガス処理未経験。 現在、ダイオキシン関連の業務を担当			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (VAM: C) 又は (VAM:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 幅広い適切な助言が必要な為 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
					現職教員特別参加制度	
					<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

要請番号(SL 115 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B131)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	JOCV/SV	日系/短期	
ミクロネシア	廃棄物処理			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1	年 月 から
					2 26 / 2	
			3 /			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ヤップ州政府					
	2) 配属先名 (日本語) ヤップ州環境保護局				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ヤップ州コロニア JICA事務所の所在地(ボンベイ州コロニア)から 西 方向 2,250 Km 主要都市(ヤップ州コロニア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.2 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 廃棄物、上下水、土壌、海洋汚染等の環境に関わる法律の監督・執行機関で、1986年に設立。現在は、SV及びAVI (Australian Volunteer International) ボランティアを含む計8名が在籍している。環境保護・水質保全、危険物管理(欠員)、環境教育及び啓発(休止中)の4部門で構成。以前は環境教育の協力隊員が活動し、現在は平成24年度1次隊SV(2代目)が活動している。2011年の年間予算は、約106千米ドル。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ヤップ州では廃棄物対策が重要課題となっている。そのため、配属先は前任者の協力の下、草の根・人間の安全保障無償資金協力を活用し、計画から3年越しの最終処分場(福岡方式)建設に取り組んで、2013年秋の完成を目指している。今後はその運営(配属先は浸出水管理)を軌道に乗せる必要がある。また、完成後は、隣接する旧処分場の改善措置や村落に点在する私設処分場の停止が求められている。また、活動中の前任者は、上述の支援の他、島内の廃自動車、金属類、ペットボトル等の有価物を対象とし、島外搬出を視野に入れたリサイクル制度導入のための現状把握と、その提案を実施している。その他、ごみ減量のための廃棄物の選別、リサイクルや買物時のプラスチックバッグの使用停止等も計画されているため、継続して共に活動する後任の要請が出された。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.新設の最終処分場(福岡方式)の管理運営支援 2.旧処分場の改善計画及び私設処分場停止の為の行動計画支援 3.ごみ選別のガイドライン作り、プラスチックバッグ使用停止のための法整備等、配属先への助言 4.廃棄物とその処理方法に関する知識について、配属先との共有とコミュニティへの啓発活動 5.配属先の日常業務(来航船舶臨検、土壌・海水採取、上水試料採取、不法投棄取締り、開発現場視察受入等)への応援					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー及びスキャナー汎用機(秘書室)、プリンターHP Officejet Pro K8600(職員部屋)					
要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 局長:女性(30代前半)大学卒 C/P:男性(50代前半)環境保護チームリーダー その他職員:男性2名(40~50代)、女性2名(20~40代) 法律専門家(弁護士):豪人女性(20代後半)AVI派遣			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 専門的な知識が必要 ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 現場での経験実績が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温 (25~35 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号 (SL 115 - 13 - D - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B131)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 2 代目	○ 2 年	1 JOCV/SV	
ミクロネシア	廃棄物処理			○ 1 年	2 26 / 2	年 月 から
				○ ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) コスラエ州政府		○ NGO			
先概	2) 配属先名 (日本語) コスラエ州公共事業局					
要	3) 任地 コスラエ州トフォル JICA事務所の所在地 (ボンベイ州コロニア) から 南東 方向 500 Km 主要都市 (コスラエ州トフォル) までの交通手段及び所要時間 (徒歩 で約 0 時間)					
要	4) 配属先の規模・事業内容 コスラエ州の道路、公共建築物、上下水道等の設備の点検・修理・保守管理を実施するとともに、州都トフォルにある最終処分場の管理を行っている機関。年間予算は、28万米ドル/約2400万円。日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力で2008年11月に最終処分場(福岡方式)が完成し、運営を開始。2010年5月、再び同協力事業によって、2台のゴミ収集車が供与された。現在、長期SV(2012年3月～2014年3月)が活動中。					
要	1) 要請理由・背景 短期SV(2010年8月迄派遣)は、最終処分場でのゴミの分別方法や、供与されたゴミ収集車による分別収集などの廃棄物処理に係る助言等を中心に活動を行い、州の廃棄物対策支援の基礎を固めた。また、現在活動中の長期SVは、最終処分場の維持管理改善策を提案し、関連機器の導入を進めている。ゴミ処理システム改善の一例として、老朽化した医療廃棄物焼却炉を見直し、新たな複合型焼却設備の導入に向け、具体的な計画を進めている。一方、限られた予算と外国の資金援助を受け、これらの設備や機器の導入を進めなければならない。このため、同SVの活動期間中に、人材育成を含めた上述の計画を終了することは困難であることから、引き続き協力してほしいとの要請が出された。配属先は、ゴミ収集車をはじめ、道路や公共施設の保守・管理用に、ブルドーザーなどの重機を所持しており、これらをどのように廃棄物対策に活用するかを考えることになる。					
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) コスラエ州の廃棄物処理状況を調査し、問題点を抽出。その改善に向けた必要な対策を指導・助言する。 1.最終処分場(福岡方式)で、浸出水処理法や、持ち込まれるゴミの分別方法等の指導を行う。 2.ゴミ収集車等による同処分場へのゴミの収集を、更に進めるため、4つの全自治体が参加出来るよう基盤整備(収集車の運営費用の捻出方法や各家庭のゴミ収集方法など)について助言を行う。 3.州立病院の医療廃棄物が、最終処分場に持ち込まれないように、処理方法の提示や啓発活動を支援する。 4.同僚や住民に対する環境教育活動(ゴミの分別・収集、4R等)を行う。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、いす、電話					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同局には33名の高校・短大卒の20歳代～60歳代の職員が勤務。この中から、廃棄物最終処分場のモニタリングや不法投棄防止のための職員を配置。ゴミの分別方法などの環境教育は、一般市民向けにも行う。		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:現場での経験実績が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(30 ℃位)		電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 水道(◎安定 ○不安定 ○なし)			
特記事項	通信 (☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号 (SL 233 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B131)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
グアテマラ	廃棄物処理			1	26 / 1	年 月 から
				2	/	
		3	/			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 大統領府企画庁
	2) 配属先名 (日本語) ケツアルテナンゴ市役所 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ケツアルテナンゴ県ケツアルテナンゴ市 JICA事務所の所在地(グアテマラ市)から 西 方向 206 Km 主要都市(ケツアルテナンゴ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ケツアルテナンゴは人口約40万人を有する国内第二の都市であり、配属先は同市の行政全般を司る機関である。同市役所内に設置されている環境サービス課では3名の職員が勤務しており、市内の清掃・ゴミ収集・廃棄物処理や住民への環境教育など、市内の環境に係る業務全般を担当している。配属先全体の予算は約3,500万米ドルであり、そのうち同課の予算は約240万米ドルである。これまで、2004～07年にJICAから上水道整備に向けた研修を受けた経験がある他、ノルウェー政府の協力により環境教育活動を行った経験がある。

要請概要	1) 要請理由・背景 当国では法律により各自治体が各市の廃棄物処理を行うことと定められており、同配属先の環境サービス課では2社のゴミ収集業者と契約し、ゴミ収集及び廃棄物処理に関する業務を行っている。しかしながら、同市は適切なゴミ処理施設を有しておらずゴミ集積場にて分別せずに焼却処理している状況で、さらに昨今の経済成長及び人口拡大に伴う廃棄物量の増加により、現在のゴミ集積場の集積能力を超えることが懸念されている。また、同市では新たにゴミ処理施設の建設を予定しているものの、予算の都合上、早期の建設は困難な状況である。そのため、現状を少しでも改善するために同市の廃棄物処理に関するシステムを見直すとともに、3Rや分別収集に関する住民への啓発活動の必要性を認識し、この度、日本の廃棄物処理に関する経験を持つボランティアの要請がなされた。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①同市の廃棄物処理における状況を把握し、問題点を整理・分析する。 ②上記の問題点解決のために、現状において実施可能な市の廃棄物処理システム改善案を配属先に提案する。 ③ゴミ収集量の削減及び効率の良いゴミ収集を行うために、住民への3Rや分別に関する啓発活動についてアイデア提供を行う。 ④上記活動による成果の確認を行うとともに、新たに明らかになる課題に対する解決案を検討する。 ⑤可能であれば、配属先と協力関係にある市庁連合を通じ、近隣の市役所(8市)にも同様のアドバイスを行う。

要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務用品一般
	4) 配属先同僚及び活動対象者 環境サービス課課長 男性 50代 勤続10年 同課環境教育担当官(C/P) 男性 50代 勤続8年 その他同課秘書 女性 1名

5) 活動使用言語 (スペイン語)
6) 生活使用言語 (スペイン語)
7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 経験に基づく提案を行う理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(高山) 気温(0~25 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

要請番号(SL 021 - 13- D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
カンボジア	道路			2	26 / 1
			0 1年	2	26 / 2
			0 ヶ月	3	/
年 月 から					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 公共事業交通省				
	2) 配属先名 (日本語) シェムリアップ州公共事業交通局・公共工事事務所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 シェムリアップ JICA事務所の所在地(フノンペン)から 北西 方向 290 Km 主要都市(シェムリアップ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 シェムリアップ公共事業交通局は、州政府と連携しながら公共インフラの整備と管理を行う組織である。局は、①総務事務所、②計画・経理事務所、③公共工事事務所、④交通事務所、⑤河川港と駐車場ユニット、⑥下水道ユニットに分かれている。配属先である公共工事事務所は、国道、シェムリアップ州道路、主要ローカル道路、シェムリアップ州の道路改良と管理が主要な業務である。職員は現在11人体制で、その内技術系職員は4名である。海外からの専門家やボランティアの配置はない。年間予算は125万ドル程度である。				
要請概要	1) 要請理由・背景 アンコール世界遺産を有するシェムリアップは訪れる観光客が年々増加し2010年には200万人に達している。観光産業の発展に伴い急速にホテル、商店、住宅の建築が進み、人口も20万人に達している。国道6号線を中心に交通量も増加し、朝夕の交通渋滞が見られるようになった。また、観光客の道路横断や歩道通過の際、安全が確保できないほど車が駐車され、無秩序の道路管理になっており、今後、観光客を呼び込む障害になると考えられている。しかし、経験のある技術者が不足しており、道路交通、駐車ルールの改善にむけて、交通管理に豊富な経験を有するボランティアの要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・交通渋滞解消に向けた交通量調査の方法を指導する。 ・バイパス計画、一方通行の設定、及び交通信号の配置等を指導する。 ・無秩序、不法な駐車を改善する対策、制度の制定に関する指導をする。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務スペース				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 事務所長、技術課長、総務課長ほか職員総勢11名、うち、技術系職員4名(男性、20~40代、高卒~大卒、経験年数5~20年)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (クメール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 技術指導をするため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 15)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード: B231)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年	1 26 / 1	
モロッコ	港湾			<input type="radio"/> 1 年	2 /	年 月 から
				<input type="radio"/> ヶ月	3 /	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 設備・運輸省 2) 配属先名 (日本語) 国家港湾庁 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 カサブランカ JICA 事務所の所在地 (ラバト) から 南西 方向 85 Km 主要都市 (カサブランカ) までの交通手段及び所要時間 (鉄道 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 2006年に設立された設備運輸省管轄の港湾庁で大小合わせて33の港湾施設の管理、運営を行っている。カサブランカ港は毎日5千台のトラック、2万人が出入りしており、管理区域内の安全、保安、輸出入コンテナの積載物の内容チェックを行っている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 モロッコ最大の物流拠点の港湾施設TangirMEDおよび拡張建設中のMed-IIIは、アメリカ貿易開発庁(USTDA)の協力を得ながらタンジェ地中海特別庁(TMSA)が管轄し、国際条約に沿った運営を行っている。一方、既存港湾施設は港湾庁(ANP)が管理しており、カサブランカ港湾施設内の実施体制について、2002年に国際海事機関で採択された国際条約(SOLAS条約)およびそれに準拠した国内法に沿った運営になっているか、現状評価および助言指導のためボランティアの要請があった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ANP本部があるカサブランカの港湾施設を主な活動先として以下の支援を行う。 ・ISPSコードに沿ったリスク評価、保安指標の設定(火災、爆発、毒物、廃棄物など)および提言 ・港湾施設内の保安措置(救助、防護、予防、対応などのシステム)の改善 ・緊急対応アセスメントとマニュアル整備に対する提言 ・研修、操練、記録、改善に対する支援 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室、PCほか 4) 配属先同僚及び活動対象者 港湾局長官 保安管理局長 カサブランカ地方港湾局長 その他地方港湾局長 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 実践的助言が必要 ・ 1級港湾保安管理士 理由: 業務内容に準拠			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性) 気温 (5~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	(Blank)					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 25 日

要請番号(SL 242 - 13 - D - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B251)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
ジャマイカ	地震			2	26 / 1
			0 2 年	2	26 / 2
			0 1 年	3	/
			0 ヶ月	年 月 から	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 科学技術・エネルギー・鉱業省
	2) 配属先名 (日本語) 西インド諸島大学 地震研究所 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 ジャマイカ唯一の地震研究所。短周期地震計を備えた12か所のステーションによる地震観測網と8か所の加速度計で地震観測を行い地震情報を収集、発表している。また、発震機構解や地震波形の解析、マイクロゾーニング、25か所のGPSステーションを活用して断層の挙動の研究を行い、震災被害予測情報を関係機関に提供することで政府の防災対策にも寄与している。地震被害の評価、地震に対する脆弱性調査、津波に関する研究や古地震学の研究も実施している。予算約26百万円。アメリカ科学財団、カナダ政府、ユネスコなどから資金提供を受けて研究を行った。防災教育担当のスタッフはJICAの研修を受講した。

要請概要	1) 要請理由・背景 同国では過去に2度大きな地震(EMS IV~X)が発生し甚大な被害をもたらした。さらに、現在もジャマイカとキューバの間にあるカリビアンプレートの活動等により、年間14程度の有感地震を含め200以上の地震が発生している。そのため、政府はハリケーンに加え地震防災についても国民の啓発を行っている。当配属先は政府の防災対策へ対応する必要から、研究能力の向上を目指している。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.研究所スタッフへ発震機構解、地震波形及びマイクロゾーニングについて先進的な解析手法を指導する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Mark L-4地震計、Guralp40T地震計、ArcGIS、Seisan(地震解析ソフト)など
	4) 配属先同僚及び活動対象者 所長 40代 男性 地球物理学博士 ネットワーク技師 40代 男性 電子工学修士 教育担当 40代 女性 災害管理 修士 地震解析 30代 男性 地学 学士 IT担当 20代 男性 コンピュータ技術 学士 学生

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) () 理由:地震学の専門家が必要 ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由:地震学の専門家が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22~32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項	通勤等で車を運転するため免許があった方がよい

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 30 日

要請番号 (SL 763 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B251)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
ウズベキスタン	地震			1	26 / 1	年 月 日 から
				2	26 / 2	
		3	/			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 中高等専門教育省					
	2) 配属先名 (日本語) トリノ工科大学タシケント校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 タシケント州タシケント市 JICA事務所の所在地(タシケント)から 西 方向 0 Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、ウズベキスタン国内の自動車工業会や民間企業及びイタリアのトリノ工科大学の支援を受け、2009年に設立された。同国の工学分野をリードする大学の一つとして位置付けられている。現在、土木工学、情報技術、エネルギー、自動車工学の4学科を有し、ボランティアの活動する地震工学研究室は土木工学に属する。学生数は約700名、教員数は約70名。2013年度の予算額は500万米ドル。2011年度のJICAフォローアップ協力により、地震計などの機材が供与されている。過去にボランティアの派遣実績はない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 大学構内には、中央アジアにおける地震工学の拠点を目指して建設されたテクノパークと呼ばれる地震工学及び機械工学用の実験棟がある。2013年度中には同実験棟に大型振動台を導入する予定で、すでに振動台据え付け用の基礎が敷設されている。さらに、2011年度のJICAフォローアップ協力により、振動計、地震計などの機材が供与され、これから本格的な研究に乗り出す段階にある。しかし、配属先では、最新の機材を使いこなして実験や研究を進めるための知識や経験を持った人材が不足しているため、既存の機材の活用法や新たに導入される予定の大型振動台を使った実験・研究などについて指導できるボランティアの派遣を望んでいる。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・同僚に対して、振動計や地震計を用いたデータ収集・解析等の指導を行う。 ・学習用の小型振動台の製作支援及び操作方法の指導を行う。 ・大型振動台の設置支援及び操作方法の指導を行う。 ・文化財(建築物)等の耐震測定の実験を行う。 ・可能であれば、学生を対象にした地震工学の基本的な講義を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 振動台実験設備(大型振動台は2013年度中に導入予定。振動台設置用基礎は完工)、振動計(CMG-5U、CMG-5TDE)、地震計(CMG-3TDE)					
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:男性3名 ①テクノパーク所長(40代)、②地震工学研究室長(30代)、③ エンジニア(50代) カウンターパートは、JICA研修経験者でもある地震工学研究室長。			5) 活動使用言語 (英語)		
				6) 生活使用言語 (ウズベク語)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (博士) () 理由: 同僚が全員博士号取得者のため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 応用的指導が必要なため 理由:			7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(大陸性ステップ) 気温(-20~40 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
通信	(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					
特記事項						

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号 (SL 242 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B301)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 2 2 / 3 /
ジャマイカ	土木		日系/短期 年 月 日 から		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 運輸・公共事業・住宅省				
	2) 配属先名 (日本語) 公共事業局				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、国のインフラについて計画、設計、施工管理、保守、修理を実施する組織で主要な道路約5000km(道路全延長の19%)と800の橋梁、河川および海岸線の管理をしている。首都の本部以外に全国の14教区に教区事務所、4か所に地域事務所を持っている。全職員数は約400名で半数は本部に属し技術設計部には約25名(技術者は約10名)が勤務している。2011年から中国政府からの借款(US\$ 400万)を受け、インフラ開発計画(JDIP、2015年終了)の新規道路事業が進行中である。年間の予算規模は約100億円。これまで5名のSVが派遣された。				
要請概要	1) 要請理由・背景 国土の約80%が山地、丘陵に覆われ、地質は表層が脆弱なため、河岸や斜面などは毎年ハリケーンシーズンの大雨で崩壊が頻繁に起こるなど、インフラの置かれている環境は厳しく困難な問題が山積している。そのため配属先ではビルや道路、橋梁の基礎工事について先進的な手法で分析し、適切な工法の提案ができるボランティアを必要とする。ボランティアは、プロジェクトに参加しながら、特に若手技師に対して技術的助言をすることが期待されている。前任者は擁壁崩壊現場の修理工事、ビルの改築増設の可能性調査、数か所の橋梁工事等について調査段階から助言を行っている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.道路構築物、橋梁、ビル建設などの工事について土質工学的知見に基づいて、特に若手技師への技術指導と適切な工法の提案をする。 2.工事現場の調査に同行し、工法などについてレポートを作成する。 3.配属部署内の能力開発を行うために必要な研修セッションや新しいソフトウェア導入について提案する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC, CADなど業務に必要な機材は揃っている。				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚・活動対象者:エンジニア 3名 学士及び修士 30代 その他 河川系、測量、環境系の技師など 14名			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (業務関連分野) 理由: 同僚への指導上必須 ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由: 同僚への指導上必須 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯海洋性気候) 気温(22~32 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 通勤の便宜上、運転免許証があった方がよい				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 25 日

要請番号 (SL 242 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B301)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 3 代目	派遣希望時期	日系/短期
ジャマイカ	土木			○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 運輸・公共事業・住宅省				
	2) 配属先名 (日本語) 国家公共事業局				○ NGO
	3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は全道路の約19%を占める総延長約5000kmの幹線道路ネットワークと排水路の建設計画、施工、維持管理、修理に責務を負っている。また、治水システムの建設計画や河川の保全や海岸の護岸工事、さらに政府所有ビルの改修や維持管理の責任を持つ。年間予算約13億円。2010年に始まった中国からの約340億円の借款による道路建設プロジェクトは全島に渡り、2015年までに主要道路の整備が進む予定である。配属先はこのプロジェクトの管理を担当している。土質工学と排水対策の2代目SVがそれぞれ活動中。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 洪水の影響を軽減する目的で洪水制御の基本となる治水マスタープランがほぼ完成したが、各地の治水工事は本格的に始まっていない。そのため将来の治水工事に向けて、組織の能力向上のために水理学を専門としたボランティアが継続して要請された。また、配属先から国家水委員会の水道部門と水資源開発公社への協力として、効率的な貯水池や水路などのインフラ建設の計画やデザインについて技術的支援をすることも期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.雨水排水路、洪水制御システム建設プロジェクトチームへの支援 2.国家水委員会の水道部門への集水・給水施設建設計画の支援 3.水資源開発公社への水理学的技術支援 4.既存治水施設の評価と改善のための提案 5.プロジェクト計画作成時の地形図、地質図データの分析 6.地図、設計図、航空写真及びその他のレポートの評価 その他関連業務を含め、活動内容を選択しつつ指導する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 GIS、RiverCAD、StormNET、AutoCAD、Jmaicall(Hydrologic Excel Software)などのアプリケーション				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:水理学エンジニア 30代 男性 修士 活動対象者:土木技師 20代~30代		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (土木工学) 理由: 高度な専門知識が必要 ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由: 高度な専門知識が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域 概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22~ 32 ℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記 事項	通勤等で車を運転するため免許があった方がよい。現場訪問が頻繁なので体力が必要。				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 25 日

要請番号 (SL 242 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B311)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
ジャマイカ	河川・砂防			2	26 / 1
			3	26 / 2	年 月 から
1) 受入省庁名 (日本語) 水・国土・環境・気候変動省					
2) 配属先名 (日本語) 水資源開発公社					<input type="radio"/> NGO
3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は水資源を持続的に利用するために水資源の配分、利用規制、保全等について責務があり、水文学的データの収集・分析、マスタープランに沿った水資源調査・評価・開発計画、および環境モニタリングと影響評価を主な業務としている。133か所の河川水、1802の地下水観測点を定期的にモニターしており、管理しているデータベースには1950年代からの測定データが集積されている。水資源の汚濁防止目的に水質の検査も定期的を実施している。また、防災の面での活動は洪水警報システムの設置と洪水マップの作成などがあり、国家防災庁へ情報を提供している。年間予算は約1.4百万米ドル。EU、UNDPなどから協力の実績がある。					
1) 要請理由・背景 ジャマイカは、毎年のようにハリケーンや大雨で土砂崩れ、洪水の被害を蒙っている。そのため、複数の組織が防災やインフラ管理のために正確な水文学的情報を必要としている。同配属先は水文学的データを収集・管理・分析し、各機関へ提供する責務を負っているが、防災に必要な基礎的な知見を集積しているものの、技術者の経験不足や資金不足などから組織としての能力が伸び悩んでいる。そのため治水管理について水理学的解析、水文学的モデリングの技術強化を図るべく、経験の長いボランティアが要請された。防災については国家防災庁、国家公共事業局もかかわっており、それぞれに土木関連のSVが派遣されているので、ボランティアを通じて各機関の連携が進むことも期待される。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.河川水量、降水量データからの洪水レベルのシミュレーション手法を技術者に指導する。 2.洪水予測マップの作成を支援する。					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、オフィスソフト、モデリング用ソフト、Arcview など					
4) 配属先同僚及び活動対象者 主任水文学者 同僚は25歳から60歳までの男性で、学士、修士の資格を持った約51名、平均経験年数は5年。 指導対象者は研修生で学士、修士を持っている。				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 同僚や対象者が男性のため ・学歴 (修士) (土木工学) 理由: 指導する対象の学歴が高い ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 高度な実務の指導が必要 GISの経験 理由: マップ作成に必要				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
資格条件等		地域概況 気候(熱帯海洋性) 気温(22~ 32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項 通勤等で車を運転するため免許があった方がよい					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

要請番号 (SL 139 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B321)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	1	JOCV/SV	
サモア	水資源開発			◎ 2 年 ◎ 1 年 ○ ヶ月	2	26 / 1
				3	26 / 2	年 月 日 から
					/	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 天然資源・環境省					
	2) 配属先名 (日本語) 水資源部					○ NGO
	3) 任地 ウポル島 ソギ JICA事務所の所在地(アピア)から 西 方向 2 Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 天然資源・環境省は乱開発を防止し、未だ自然が多く残るサモアの自然環境を維持するための様々な政策・施策を行う省庁である。この中には災害対策、環境保全、森林、気象など現在12の部署があり、本要請はその中のひとつである水資源部からのもの。工業用水や生活用水などの給水については施設整備、管理、給水に至るまで別の公的機関が行っており、本部門は自然環境保護のための機関である。サモアの豊富な自然を持続可能な方法で保全することは国家開発戦略にも掲げられており、JICAの重点課題でもある。年間予算は約4,800万円。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 天然資源・環境省の中の一部門である地下水及び表層水の水質をモニタリング・評価する水資源部への配属となる。地下水の発生・循環・配水について調査し、再補給可能量・流出メカニズム・排出量についての調査も行う。当国の発展及び人口増加に伴い地下水への重要性が高まる中、水資源部は2006年に設置され、ヨーロッパ連合と豪国の援助により現在までに7箇所の試掘孔が設けられた。水資源部は、これら7箇所より地下水をモニタリングするために下記3)ボランティアが使用する機材に記した機材を用いている。地下水資源のモニタリング及び評価への助言、同僚(カウンターパート)の技術・理解向上のため、今回の要請に至った。また現在7か所の試掘坑があるが、更なる地下水のサイトを掘り当てるための助言も必要としている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 下記内容は、カウンターパートと共に行う。 1. 地下水の質とレベルの管理体制をモニタリングする(サイト訪問も含む)。 2. 地図・記録・報告書を用い、上水道による給水について調査する。 3. 表面構造を測定し、試掘しながら調査する。 ※赴任後に改めて活動内容を配属先と協議する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 TLCメーター、ディップメーター、マルチパラメータ、WQC-24、GPS					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート(男性、20代) 他同僚 3名			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせるため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 技術的な助言が必要なため 理由:				活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
					現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(20~35℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)	
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 26 日

要請番号(SL 333 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B332)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	1	JOCV/SV
ウルグアイ	造園			2	26 / 1
				3	26 / 2
					年 月 日
1) 受入省庁名 (日本語) モンテビデオ県庁 2) 配属先名 (日本語) モンテビデオ県庁公共地・建設・住宅課 緑地サービス <input type="radio"/> NGO 3) 任地 モンテビデオ市 JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 モンテビデオ県庁公共地・建設・住宅課緑地サービスは、県内の街路樹、公園の管理等を行っており、日本庭園(平成苑)を管理・運営している。同庭園は2001年9月、日ウ修好80年を記念して竣工された広さ約2500㎡、回遊式の庭園で市民から広く親しまれている。これまでに長期SV3名(職種:造園)、短期SV2名(職種:都市計画、日本庭園建築)が派遣され、庭園の改善・整備及び維持管理に協力してきた。					
1) 要請理由・背景 これまで派遣されたSVにより、同庭園全域における手作業での改良工事が引き継がれてきた。2012年9月まで派遣されていた長期SVは担当の県庁職員とともに、中高木の生育への対処、枯損木撤去後の造作等を行いながら、庭園管理全般の技術向上に向けた総合的支援を行った。また、約80mの竹垣施工、飛び石の据付、園路工事、延べ段の設置、上木・下木の植え付けなどの改修工事も行い、同庭園の一連の改修工事に完了の目処をつけた。今後は、県庁スタッフのみで同庭園の維持管理を行っていくことが喫緊の課題であり、ボランティアによる維持管理・整備技術の一層の定着が期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 本案件の先行案件としてH25年度第2回短期募集で短期案件(7か月)が要請されている。短期ボランティアからの引継ぎ事項も含め、以下の活動が求められている。 1.担当の県庁職員とともに、中高木の生育への対処、枯損木撤去後の造作等を行いながら、現地スタッフのみで十分な庭園管理が行えるように、庭園管理全般に必要な技術指導を行い、その定着を図る。 2.改修工事は一応の完了を見るが、さらなる改修工事の必要性等があれば、関係者に対して提案を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 梯子、庭木用鋏等、造園機材一式。個人用の腰道具(剪定鋏、のこぎり、黒シュロ縄等)程度は持参の方がよい。 4) 配属先同僚及び活動対象者 緑地管理主任1名:農業技師、男性40代 作業員1名:男性20代 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)					
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由:造園全般の知識と技術が必要 日本庭園の管理経験 理由:造園管理の指導が求められる				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
資格条件等					
地域概況		気候(温暖) 気温(3~34 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 29 日

要請番号 (SL 475 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B332)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
チュニジア	造園			<input type="radio"/> 2年 <input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 2
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省				
	2) 配属先名 (日本語) チュニス市役所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 チュニス県チュニス市 JICA事務所の所在地(チュニス)から 北 方向 0 Km 主要都市(チュニス)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先であるチュニス市役所は、人口約70万人のチュニス市民に対し、一般的な行政サービスを行っている。中でもボランティアが配属される公園・緑地管理課は同市の緑地・公園の造成や維持管理及び鑑賞用植物の栽培などを行っている。同課の年間予算は2000万円。外国からの支援実績はなし。同配属先へのボランティア派遣の実績はないが、2004年から2007年まで別機関である国立環境保全局(ANPE)に2名のSVが派遣され、同配属先が管理する日本庭園の設計・建設に協力を行った。チュニス市役所のサイトは以下 http://www.commune-tunis.gov.tn/publish/content/				
要請概要	1) 要請理由・背景 チュニス市内の「地中海公園」の中に位置する「日本庭園」は、国立環境保全局(ANPE)に派遣されていたSV2名の協力の下に、2006年に「日本・チュニジア国交樹立50周年」を記念して、開園計画の第1フェーズ終了後に開園された。しかし現状は、日本庭園の維持・管理に係る正しい知見を持った職員や造園士はおらず、管理・手入れは適切に行われていない。その様な背景下、今回の要請は、同計画の第1フェーズ終了後の評価及び計画の見直し、また第2フェーズ計画策定に向けた支援を行うことを目的として上げられた。なお、同国においては、観光業が主要産業の一つであるため、同市中心に位置する「日本庭園」が適切に管理され広く市民から有効活用される様になれば、観光資源の一つとなることも期待できる。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同市役所の公園・緑地管理課において、C/Pと共に以下の業務を行う。 ①チュニス市内の「日本庭園」プロジェクトに係る第1フェーズの評価及び修正 ②上記を基にした第2フェーズ原案の作成とそれに係る概算予算の算出 ③日本庭園の適切な維持・管理に係る助言及び指導				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務室・パソコン・電話・造園に必要な道具一式				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・緑地管理課の職員:12名(男性9名、女性3名) ・C/P:造園士1名、技術士2名(男性、40代)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由:実施計画を実行する能力が必要 ・ 造園施工管理技士 理由:専門性を求められるため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~46℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	現地においては、フランス語も通用するが、一般的に口語においては、アラビア語チュニジア方言が使われている。				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

要請番号 (SL 006 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B341)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV	
インドネシア	建築			2	26 / 1	日系/短期
				3	26 / 2	
				年	月	
				から		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 公共事業省 研究開発局					
	2) 配属先名 (日本語) 人間居住研究所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 西ジャワ州バンドン市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 南東 方向 200 Km 主要都市(バンドン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 1953年に発足した当研究所では建築関係の様々な実験、材料単価調査、建築関連国家技術基準の策定、それらに関する研修を実施している。1986年から2007年までJICAは個別専門家(建材開発、住宅政策)、プロジェクト(集合住宅適性技術開発)、研修員受入等の協力を実施してきた。職員数は約200名(約35%が学士、約20%が修士、博士が約2%)である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 人間居住研究所の建築構造分野では、民間で開発した新しいタイプの構造の安全性の確認実験の他、当国内で問題となっている小規模住宅の構造実験を実施しているが、その結果を用いての新たな解析手法、現場で適用可能な具体的安全検証手法の開発、更なる研究開発への足掛かりとするには職員の経験・能力不足が課題となっている。現在、初代SVが派遣中であり、建築構造研究・解析手法研究・開発の経験をスタッフに指導している。同研究所は引き続き、後任のSVによる指導が必須であるとの理由から要請に至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) SVIは以下の①～④の活動を行う。 ①構造実験についての助言 ②振動台の基本設計についての助言 ③研究者の育成 ④主な活動は当センター内で行われるが、必要に応じて、①～③を配属先以外の現場で行うことも期待されている。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 反力壁、反力床を有した構造実験棟及び構造実験に必要な計測機器、アクチュエーター、500トン万能試験機等					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 構造実験棟の土木技術者10名の内の修士レベルの30代男性数名が活動対象者となる。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) (建築学) 理由: 配属先の同僚は修士が多い ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 初代SVと同等以上が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(20~30 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 027 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード B341)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
ベトナム	建築			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1	年 月 から
					2 26 / 2	
			3 /			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 科学技術省					
	2) 配属先名 (日本語) 第3品質評価・測定・認定機関				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ホーチミン市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 南 方向 1700 Km 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 科学技術省系列の品質標準機関(STAMEQ)傘下の機関。製品・原料の試験・検査、計測機器の校正、品質認証、企業へのコンサルティング、標準化に係る研究・開発、人材養成、バーコードの普及・管理など標準化、品質に係る業務を当国南部で幅広く独立採算制の元で行っている。2008年には顧客管理、建設検査1名ずつの短期SVが、2008年と2010年には長期SV1名(品質・生産管理)が継続派遣された。2012年には電気機器標準化のJICA専門家が派遣された。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2000年以降5%以上の成長を継続しているベトナムでは、2009年の金融危機以降少し建築ラッシュは収まったものの、未だ急速なペースでビル建設が進んでいる。南部の中心都市ホーチミンでも高層ビルの建設が盛んに行われているが、高層ビル建設に伴う検査、試験、監理を行える技術者が不足している。このため、高層ビル建設の安全性、保全状況チェック、改修の評価を行う技術要員を指導できるSVの派遣が要請された。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の同僚と協力して、事務所内及び建築現場で以下の活動を行い、OJTを通じて同僚の能力向上を図る。 *ビルの安全性、保全状況、改修状況の検証及び監理 *構造設計の検証及び監理 *欠陥の分析と診断 *ビル基礎の検証及び監理 *工事のリスクを含む監理 *高層ビルの検査・監理の手順確立 *日本の建設会社との関係構築					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電話、PC等のオフィス機器。WIFI環境。					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・第6検査部長:男性、40代後半 ・第6検査部スタッフ:約15名(建設での検査・監理に熟練しているが、高層ビルでの経験は未だ少ない。検査部長以下英語でのコミュニケーションが可能である。) ・対象:南部地域で高層ビルを建築する内外の建築業者。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (一級建築士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (建築学) 理由:同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:実践的な支援のため ・設計事務所又は建設会社での勤務経験 理由:実践的な支援のため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(サバナ) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	事務所のみでなく、現場での実践的指導も求められる。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 18)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード B411)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
モロッコ	電気通信			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省
	2) 配属先名 (日本語) マラケシュ応用科学大学 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 マラケシュ県マラケシュ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 320 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 4 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は全国に15校ある総合大学の1校であるマラケシュのカディ・アヤド大学に属する教育機関として2000年に設立された5年制のエンジニアコースで約300名の学生が学んでいる。毎年1万名以上の受験者から約80名が選抜されるエリート校で、電子工学、情報工学、ネットワーク・通信工学および産業工学課程が設置されており、28名の研究者が指導にあたっている。2006年から電子工学で2名のSVが派遣された他、現在、電気通信で1代目のSVが派遣されている。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 マラケシュ応用科学大学はモロッコの産業活性化に貢献する人材育成を目指す教育機関であるが、指導にあたる教授陣の経験不足が問題となっている。ネットワーク・通信工学課程は研究者5名(ネットワーク専門2名、通信専門3名)が指導にあたっているが、研究主任は40歳代前半と若く、重要科目(LINUXネットワーク管理、コンピューターネットワーク、第3世代・第4世代の移動通信、無線通信)の指導を強化するために経験豊富で指導力のある人材が必要とされており、SVの派遣が要請された。現在派遣中のSVは1)次世代SDH伝送技術、2)Cdma2000 1x EV-DO移動体通信技術、3)ネットワーク計画技術、IPマルチメディア移動通信技術の指導にあたっている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) SVは次のいずれか一つあるいは両方の指導(研究・論文指導含む)にあたる。 1.コンピューターネットワーク(IPv6、LINUXネットワーク管理など) 2.無線通信(第3・第4世代移動通信、ミリ波伝送技術など)
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ルーター、切り替えスイッチ、CISCOファイアウォール、DSPカード、FPGAカード、電子通信カード、ネットワーク分析器、アンテナ(円錐形、パラボラ)等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 大学長(50歳代男性) ネットワーク・通信課程研究者(20~30歳代男性5名) 学生(21~24歳男女35名程度)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) () 理由: 大学で指導する為 ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 研究、論文の指導を要する 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域 概況	気候(半乾燥) 気温(5~35 ℃位)	電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)	水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

特記 事項	
----------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13 - D - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C103)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 / 3 /
ネパール	野菜栽培		<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	日系/短期 年 月 から
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省				
	2) 配属先名 (日本語) 中央野菜種子生産センター				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ラリトプール郡クマルタール JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 南東 方向 4 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 政府の中央野菜種子センターが持つ農場で種子生産、野菜栽培を行いながら地方農業開発事務所を通じて種子を農家へ提供している。また、トレーニングセンターを併設しており、JT(Junior Technician)と呼ばれる地方農業開発事務所の技術者への研修、農家への栽培技術、病虫害対策に関するコンサルテーションを行っている。年間予算は650万円であり、ネパール固有の野菜種子の調査や保護にも取り組むなど、農業の発展と保護に重要な役割を果たしている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 首都カトマンズ近郊で急速に都市化が進む中、市場の変化に合わせ同センターでは近郊農家でのビニール栽培の普及を進めている。また近年、気候の変化も影響し、農家は病虫害の被害が増加しており、その対応が求められている。同センターではビニールハウスでF1ハイブリッド種のトマトの栽培が行われているが、ビニールハウス栽培経験者が少なく、農家の要請に応えるべくSVの継続要請が行われた。前任SVは上記要請内容をもとに活動を進めているが、対象が農作物であることから、技術の移転に時間を要するため、配属先は後任を強く要望している。また、ネパールに、十数年前に持ち込まれた大根などは交雑が進み品質の劣化が著しい為、現在活動中のSVは同センターの事業内容である原種の生産及び採取を同センターの保有する圃場にて行っているが、現地の技術者は種子生産についても十分な知識がないため技術移転が求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の担当者と協力し、以下の活動が期待されている 1. 農民、農業開発事務所の技術者へのビニールハウス栽培、病虫害対策におけるアドバイス及び研修の実施 2. 配属先圃場でのビニールハウス栽培、デモンストレーション 3. 同圃場での原種の栽培及び採取				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター、実験農場、種子採取用ビニールハウス圃場、ヤンマー小型耕運機QT15、農作業・農業指導を行う基本的な農具、研修室				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 事務所長 1名 40代 野菜担当主任 2名 30代 技術者 6名 30~50代			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 学歴社会であるため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 技術者への指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域 概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記 事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 060 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C104)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期	
ネパール	果樹栽培			1	26 / 1	年 月 から
				2	/	
3	/					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省 2) 配属先名 (日本語) 中央園芸センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 カトマンズ郡キルティプール JICA事務所の所在地(ライトプール)から 南西 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は日本の協力により設立され、1988年から12年間温帯果樹栽培技術の開発普及プロジェクトが実施された。その後2002年から5年間ボランティアプロジェクト園芸普及計画が実施され、主に日本種の甘柿の栽培普及に取り組んだ。事業内容としては主に温帯果樹の栽培技術研修、品種の保存、一般配布用の種苗の生産を行っている。年間予算約1200万円。					
要請概要	1) 要請理由・背景 1985年から行われたプロジェクトの期間中、柑橘を代表とした様々な温帯果樹の品種が導入された。柑橘は同国の主要な果樹生産品目であり特に丘陵地の農民の収入向上に貢献している。しかし、栽培品種は限られており、収穫後の保存技術も乏しいため、果樹栽培農家の収入を向上させるには、新たな品種の導入によって収穫期間を伸ばす必要がある。しかし、配属先には最近の柑橘品種に関するノウハウがなく、またグリーンング病対策も必要とされ、今回の要請に至った。前任者のSVは日本種甘柿の栽培普及を主眼に活動しているが、柑橘栽培の専門性を活かし同要請の先駆け的活動を行っている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.園芸センター職員を対象とした柑橘の栽培・試験栽培の技術指導 2.グリーンング病対策指導 3.柑橘栽培組合や農家への栽培指導 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本事務機器、栽培指導に必要な道具はそろっている 4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長 50代 男性 技官果樹開発、土壌、植物病理、農業普及(各1~2名) 技官補及びアシスタント 各1名 いずれも15~25年の経験あり 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (英検: C) 又は (英検:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 職員と同程度の学歴が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 柑橘栽培経験が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 1 日

要請番号 (SL 318 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C105)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
エクアドル	組織培養			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1 26 / 1	年 月 から
					2 26 / 2	
			3 /			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) エクアドルセントラル大学					
	2) 配属先名 (日本語) エクアドルセントラル大学 化学工学部技術移転・開発センター				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ビテンチャ県キト市 JICA事務所の所在地(キト市)から 北 方向 0 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バスで約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 エクアドルセントラル大学は当国最大の国立大学で、40,000人余の学生が在籍し、建築学部、医学部、農学部、理学部をはじめ文系・理系を合わせて16の学部を有している。科学、技術、文化の様々な分野で高いレベルの人材養成を目指している。化学工学部技術移転・開発センターの予算は約8万ドル。同センターは大学の研究をサポートし、官民への技術移転を推進している。また、同大学は当国の大学ネットワークに加入し、大学間で連携した研究などを行っており、国家高等教育科学技術庁などから助成金も受けている。過去にJV(美術)が活動していた。 http://www.uces.edu.ec/					
要請概要	1) 要請理由・背景 エクアドルセントラル大学化学工学部技術移転・開発センターは、同大学生物学センターの協力を受け、キノコ・コケ類への気候変動の影響などを調査するプロジェクトを実施している。また、同プロジェクトでは、分類学、遺伝子工学、生物学などの観点から、キノコ・コケ類の種を研究しており、大学の敷地内に専用の試験圃場を建設し、当国に存在するキノコ・コケ類の栽培を計画している。しかしながら、同分野における最新技術が不足していることと、さらなる人材育成が必要なことから、ボランティアが要請された。					
	2) 予定されている活動内容 (最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 化学工学部技術移転・開発センターの研究者に対し、キノコ・コケ類の栽培・増菌に関する助言を行う。 ② 同分野に対する分析及び生物統計を行う。 ③ 上記結果を基にデータベースの作成を行う。 ④ キノコ・コケ類の栽培方法を立案し、それに協力する。 ⑤ キノコ・コケ類の標本の特定及び分類を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 研究分析機材一式(クリーンベンチ、オートクレーブ、インキュベーター、高速液体クロマトグラフィ、ガスクロマトグラフィ、原子吸光分析機、超遠心粉碎機、ファーマンタ他)、事務用品					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 同センター研究者(30代男性、キノコ類専門、生物学博士課程在籍中) 同センター研究者(30代女性、コケ類専門)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:理論と実践が求められているため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務遂行上必須 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(山岳高地乾燥) 気温(10~25 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 060 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C106)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 / 3 /
ネパール	きのこ栽培				日系/短期 年 月 日 から
配属先名 (日本語) ネパール農業研究評議会 植物病理部			<input type="radio"/> NGO		
3) 任地 ラリトプール郡ラリトプール市 JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 南東 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は農業分野の研究開発を行う、政府から独立した研究機関である。植物病理部ではきのこ栽培の研究開発のほか、植物の病害診断や予防、減農薬栽培に関する研究を行っている。過去に数代きのこ栽培JVの支援を受けており、当時作られた研究施設の改修工事が、2011年4月より派遣されたきのこ栽培SV指導のもと取り組まれていた。また同SVは九州大学との共同研究として野生菌株の収集と栽培化及び母菌の長期保存に取り組んでいる。					
1) 要請理由・背景 ネパールでは、近年国内のきのこ市場が開拓されたことに伴い種菌生産者、きのこ生産者ともに増加傾向にある。前任者SVは、配属先のきのこ培養棟の改築工事の支援、野生菌株の収集と栽培化及び母菌の長期保存、きのこ生産者、種菌生産者の巡回指導などに取り組んだ。また、JVと協力フィールドでのシイタケ原木栽培普及などにも取り組んだ。今後、前任者の支援で改修された研究施設を活用し、新品種の導入による生産の多様化や、同国に適した母菌保存技術の確立による品種改良などが必要となる。配属先では若手研究者の配置を検討中であり、研究活動の支援とともに技術者を育成指導する必要がある、SVの派遣要請が出された。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の研究者とともに以下の活動にとりくむ。 1.きのこ栽培に適した培地の改良 2.改良したきのこ栽培技術の普及試験 3.きのこ育種技術の導入及び種菌生産者に対する良質種菌の提供 4.配属先技術者への技術指導					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、クリーンベンチ、オートクレイブ、水分計、ホットオープン、インキュベータ、電子天秤等					
4) 配属先同僚及び活動対象者 部長 50代男性 シニアサイエンティスト 50代男性 修士 1名 シニアテクニカルオフィサー 40代男性 大卒 1名 技術アシスタント 50代男性 1名				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:きのこ栽培の専門知識が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:技術指導を行うため 理由:				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
資格条件等		地域概況 気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 17)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C107)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 5 代目	JOCV/SV	日系/短期
モロッコ	病虫害対策			◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 26 / 1 2 / 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・漁業省				
	2) 配属先名 (日本語) 農学研究地域センター				○ NGO
	3) 任地 ケニトラ県ケニトラ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 40 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は全国に10カ所ある農業研究機関の一つで、農業の生産性向上、農作物の品質改良ならびに食の安全に関する研究を行っている。この研究所は5つの研究室に分かれており、研究員19名と助手29名が勤務しており、ケニトラ大学の大学院生も研究活動を行っている。これまで4代のJICAボランティアが派遣されており、農業の人体への影響や農業に代わる病虫害防除方法の研究を行ってきた。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 モロッコ政府は農業政策「緑のモロッコ計画」を策定し、高付加価値農産物の生産振興および小規模農業者支援による貧困対策を進めている。配属先となるINRAがあるガルフ地方は同政策の重点地域であり、野菜、かんきつ類、穀物、甜菜などの作物の病虫害対策、とりわけ効率的、かつ人体および環境に安全な病虫害対策の研究が進められている。これまで4代のSVが派遣され、農業に代わる自然農業(木酢液やにんにく)を使った研究や農薬を使用せずに柑橘幼木をエスカルゴから守る研究(塩とペットボトルを使用)を行い、高い評価を得ている。引き続き、効率よく安全な病虫害対策研究が重要課題となっており、同分野の研究者派遣が要請された。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 農業に代わる病虫害防除方法の研究 2. 微生物や植物抽出物に由来する生物農薬の研究 3. 高付加価値農産物を生産する技術の研究				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 植物病理および農業に関する研究用汎用機器				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:研究員(男性、40歳代、博士。植物病理学専門。研究所に20年勤務(JICA研修経験有) 植物病理学研究室:研究員1名(留学中)、技術者1名、博士・修士課程学生数名			5) 活動使用言語 (英語) ~ 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (博士) (理系) 理由: 研究機関勤務のため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 検査機器の取り扱いと助言 ・ 植物保護、高付加価値農産物生産研究 理由: 同分野の研究が活動となる為			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域 概況	気候(半乾燥) 気温(5~35 ℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記 事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号(SL 021 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C108)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
カンボジア	土壌肥料			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
		3	/			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育青年スポーツ省					
	2) 配属先名 (日本語) バタンバン大学 農業・食品加工学部				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 バタンバン JICA事務所の所在地(ブノンペン)から 北西 方向 290 Km 主要都市(バタンバン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 2007年に設立の総合大学であり、5学部(経営学部、理工学部、農業・食品加工学部、社会学部、人文教育学部)と外国語センターからなる。施設の充実化を図っており、図書館建設やラボの増設も進められている。農業・食品加工学部は、農学科、動物科学科、食品加工学科、生産養殖学科からなる。学生数も年々増加し、現在全学でおよそ5,000名、うち農学科は約400名。敷地内には組織培養ラボ、ナマズ養殖、食用コウロギ、蘭栽培施設がある。ドナーからの支援も複数あり、一例として、日本の草の根無償によるキャッサバの苗木農場、日本の測定器メーカー支援によるSeed Certificationラボ設置などがある。					
要請概要	1) 要請理由・背景 農業・食品加工学部 農学科は土壌学、土壌生物学、土地利用学、土壌水資源学の4科目を扱う。USAIDのHarvest Projectにも共同参加しており、2015年のプロジェクト終了後は大学に機材と運営が引き渡される予定となっている。しかし、このプロジェクトが土壌関連に特化しているにも関わらず、土壌の専門家が十分に育っていないため、大学スタッフの知識向上とその他実践的な指導のためにSVの要請に至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 若手職員5名に対して以下の指導をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・土壌分析技術の定着化 ・肥料等の分析にかかる環境整備、手法 ・実験室整備および運用に関する助言 ・研究業務全般への助言 ・シラバスやカリキュラムへの助言 ・関連分野に関して、学生や講師陣のニーズに合わせた短期講座の実施 					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室(恒温器、分光光度計、蒸留水製造装置、製氷機、冷蔵庫)					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 学部長(男性、博士、昆虫学、30代) 農学科の若手職員5名(男性4名、女性1名、大卒、21~25歳、農学部卒、専門は農学/園芸学)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (クメール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: ・理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
	地域概況 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			特記事項		



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 5 日

要請番号 (SL 324 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード: C108)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
パラグアイ	土壌肥料			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1	年 月 から
					2 26 / 2	
			3 /			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 企画庁					
	2) 配属先名 (日本語) 日系農業協同組合中央会 セタパル財団				<input checked="" type="radio"/> NGO	
	3) 任地 アルトパラナ県イグアス市 JICA事務所の所在地 (アスンシオン) から 東 方向 280 Km 主要都市 (アスンシオン) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 1962年に日本人移住者の営農の安定と振興を図るために開設されたJICA直営の農業試験場であったが、その後統合され「日系農業協同組合セタパル財団」(通称CETAPAR)として、日系人農家に限らず地域農家を対象とした様々な農業分野の技術支援活動を展開してきた。2010年4月に管理はJICAから日系農協中央会へと移管され、新たに財団としてパラグアイ東部の地域支援機関として始動したが、JICAからの技術支援は継続しており、現在もSV1名(農業成分分析)が活動中。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同財団はパラグアイの基幹産業である農業において、農家に向けてさまざまな情報技術サービスを提供している。その中において土壌分析研究室では、特に主要輸出品である穀物・採油種子類に対して、土壌や葉分析の技術を用いた診断試験や栽培試験を行い、収量・品質の向上に繋がる調査、研究業務を行っている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 財団内の土壌分析研究室において、スタッフと分析業務を行いながら、下記事項について技術的な支援を行う。 1. 主要穀物・採油種子を対象にした、土壌肥料分析試験の技術向上。 2. 主要穀物・採油種子を対象にした、土壌肥料試験のデータに基づき、施肥標準を策定する。 3. パラグアイ東部地域の土壌に適した栽培品種の試験と分析。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電子天秤、播種機械、土壌水分計、その分析実験用器具一式					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート(農学士、土壌肥料分野技術者) 分析業務補助員 分析業務アシスタント(女性)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 同僚が同等の資格を持つ ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 技術者へ指導助言が求められる理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	中南米地域の土壌の特性に関する知識、分析技術の経験を持った方が望ましい。					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C109)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 / 3 /
ネパール	農業協同組合		年 月 から		
配属先			<input type="radio"/> NGO		
1) 受入省庁名 (日本語) 協同組合・貧困緩和省 2) 配属先名 (日本語) ネパール農業協同組合中央連合会 3) 任地 ラリトプール郡ラリトプール市 JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 北 方向 1 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は農業協同組合の全国連合会として農業開発銀行、小規模農家開発銀行や財務省との連携のもとに2008年に設立された新組織である。現在315組合が加盟している。この間、ドイツやカナダの援助機関の支援を受け、マイクロファイナンス事業を柱に、会員組合に対する運営指導や農産物のマーケティング、収入向上につながる換金作物やオーガニック栽培などの指導を行っている。					
1) 要請理由・背景 配属先の会員組織は小規模ながらも貯蓄信用事業を柱に、農民への資金貸付とともに種子や肥料等の販売も行っている。近年、組合からのローンを活用し農家の生産活動が活発化する中、配属先に対し会員組合より農産物の流通販売支援の要請が出されてきた。配属先では会員協同組合の事業発展を促す意味でも、連合会としての協同事業を模索しており、SV派遣の要請が出されている。前任者は会員組合のマイクロファイナンス事業調査や新規卸売市場開設のための提言などに取んでいる。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 組合リーダーに対する協同組合運営に関する研修 2. 個別組合の訪問指導 3. 連合会と会員組合の協同事業の指導 4. 配属先の新規事業計画作成の支援					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC					
4) 配属先同僚及び活動対象者 理事長 男性 40代 専務理事 男性 40代 スタッフ 男性 3名 女性 5名 20~30代				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 職員と同程度の学歴が必要 ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 組合指導を行うため 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況 気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 060 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C109)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 / 3 /
ネパール	農業協同組合		年 月 日 から		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 協同組合・貧困緩和省				
	2) 配属先名 (日本語) ジュナール中央協同組合連合会				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ JICA事務所の所在地(ライトプール)から 北東 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はジュナール(ネパールオレンジに似た柑橘類)栽培農家の全国連合会である。同連合会にはシズリ郡を中心に活動する28のジュナール生産組合が加盟している。生産組合のひとつは関連施設としてジュナール加工センターや冷蔵センターを持ち、生産指導と販売支援を通じ農家の収入向上を支援している。年間予算は約110万円。現在はカトマンズに組合店舗を開設する予定で、ジュナールの生産、流通及び販売を担う農業協同組合連合会として事業を行っている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 ジュナールに関しては約20年前にJICAのHDP(Horticulture Development Project)農業支援により、日本の枳殻(カラタチ)を台木とする接木技術がネパールに導入された。その結果品質が安定し、生産量が伸び、ジュナール生産が飛躍的に発展し始めた。生産地域であるシズリには治安の悪化によりボランティア派遣が一時中断されたが、農民達が協同組合を立ち上げ、ジュナール栽培技術の共有化を行い独自の努力を行ってきた。シズリ地域では1995年より交通アクセスを改善し、沿線地域の社会・経済活動の活性化と地域住民の生活向上をめざす無償資金協力「シズリ道路建設計画」が実施されており、相乗効果が期待されている。現在活動中のSVは協同組合のマネジメント指導、市場開拓、販売活動への助言等を行っている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは以下の活動が期待されている。 1.農業組合マネジメント指導 2.ジュナール市場の開拓、販売活動の指導 3.民間セクターとの連携促進 4.組合店舗開設後の運営指導				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 理事長 1名 (30代) 理事 9名 常勤職員 3名		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 協同組合事業の指導を行う為 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 5 月 24 日

要請番号(SL 327 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C109)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
ペルー	農業協同組合			2	26 / 1
			3	26 / 2	年 月 から
			○ 1年	/	
			○ 2ヶ月		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁				
	2) 配属先名 (日本語) サラ・ラフォッセ社会調査促進センター				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 ラ・リベルター州ビル郡 JICA事務所の所在地(リマ市)から 北 方向 560 Km 主要都市(トルヒーヨ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1991年設立のローカルNGO。ラ・リベルター州を中心とした地方集落における貧困対策に取り組んでいる。本NGOは、住民の自立意識向上と地域資源の活用により、社会的に疎外された地域住民の生活改善を目指している。代表者は2010年度「アンデス地域一村一品研修」の帰国研修員。これまで日本大使館に草の根・人間の安全保障無償資金を申請し、山岳貧困地域における西洋カリ加工施設の建設など、3回支援を受けている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 Inter American Foundationからの資金協力を得て2012年11月から2015年11月までトルヒーヨ市から南に63km離れた地域で①牧畜②小規模漁業③観光(海岸沿いのバンガロー経営)④農業組合組織化の観点から貧困層である小規模農民(漁民)の支援事業を展開している。支援金額は3年で30万米ドル。現在獣医師、農業、観光、ソーシャルワーカーの現地専門家がこの地域で活動を行っている。配属先は、地域住民自らが組織化と運営を行い、住民自身で問題解決を図ることが重要であると認識しているが、現地で農業協同組合運営に精通している専門家を確保することが難しく、ボランティア要請に至った。支援地域の人口4,500人のうち組合員は現在20人。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①農業組合の幹部に対する組織運営に関する指導 ②組合員拡大のための支援 主に農業組合の組織に対して働きかけを行うが、可能であれば組合員が行っている次の事業において、付加価値の付与等の助言を行う。①牧畜、②小規模漁業、③観光事業				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務機、PC(インターネット環境有)、事務用品				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長:40代女性 配属先スタッフ:常任4人、契約4人。 農業組合員:20人。			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由:組織運営に必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(砂漠) 気温(12~28 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

要請番号(SL 124 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C141)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 26 / 1	
パプア ニューギ ニア	農業機械			1年	2 26 / 2	日系/短期 年 月 から
				ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 東ニューブリテン州政府		2) 配属先名 (日本語) 農業畜産局 <input type="radio"/> NGO			
概要	3) 任地 ココボ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北東 方向 810 Km 主要都市(ココボ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
要請	4) 配属先の規模・事業内容 東ニューブリテン州は、治安が良く行政が機能している州であり、ココボ市はココナツオイルやコーヒープランテーションが盛んな中堅都市である。配属先は州全体の農畜産業の振興に向け、方策の策定及びその実施のため各地区担当官の指導やモニターを主な業務としている。食料自給・換金作物・コーヒー/ココナツ・畜産などで部門が分かれている。稲作普及はNGOのオイスカ・インターナショナル(以下OISCA)が中心に行っており、農業局はサポート的な業務を行っている。					
概要	1) 要請理由・背景 都市部においては、伝統的なイモ類・サゴヤシから、主食が米食に移りつつある。米はほとんどが輸入米であり、村落部でも現金で米を購入するようになってきている。食糧安全保障の観点から、米の自給率の増加は重要課題となっており全国で稲作普及が進められてきた。 JICAは小規模稲作普及プロジェクトを実施し、陸稲育成のための技術指導および教材の開発・研修などを行ってきた。ボランティアは州農業局に派遣され、市内近郊の2か所の精米所、およびOISCAが所有する精米所での活動が中心となる。州農業局は常に人材不足であり、予算も限られている。その中で、専門的な農業知識ではなく、他州農業局のボランティアと連携しつつ、アイデアを出しながら粘り強く普及活動を進めていく前向きな人材の派遣が求められている。					
要請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 派遣されるボランティアには下記の活動が期待されている。 ①州内の精米機稼働状況の把握、修理・メンテナンス業務。 ②村人を対象としたメンテナンス講習の実施。 ③NGOのOISCAと協業しての、メンテナンスワークショップの企画・実施 ④稲作普及ボランティアへの技術支援 国内の他州農業局には、稲作普及員のボランティアが派遣されている。SVIは精米機の技術アドバイザーとして、ボランティアの相談役も期待される。					
要請	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 小型精米機(主に中国製)、スコップなどの農機具、事務スペース、小規模圃場 OISCA機材 脱穀機:クボタ製917008/HMD60 精米機:細川製作所製R552EN/HE120 トラクター・耕運機など					
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 部門長 40-50代 3名 普及担当者 20-30代 3名 他部門の職員やモデルファーマーと協力しつつ活動を進める。NGOの農業技術学校卒業生から、普及の協力が得られる場合がある。		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: 0) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上の理由 ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 高い修理技術が求められる 普通自動車運転免許 理由: 治安上の理由		活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	治安上の理由により、自家用車の準備と運転が必要となる。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 060 - 13- D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期		
ネパール	(コード C151) 農産物加工			<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1	26 / 1	年 月 日 から
					2	/	
			3	/			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業開発省						
	2) 配属先名 (日本語) ネパール農業研究評議会 食品加工研究課				<input type="radio"/> NGO		
	3) 任地 ラリトプール郡ラリトプール市 JICA事務所の所在地(ラリトプール)から 南東 方向 5 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)						
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は農業分野の研究開発を行う、政府から独立した機関である。ネパールは中山間地に多くの農家を抱えており、農産物が市場に届く前に多くのロスが発生している。食品加工研究課は、収穫後の果物や野菜のロスを減少し農家の収入向上に向けた、生産技術と農産物の加工技術支援を行っている。また農産物の品質評価や農薬指導など、農産物の安全にかかわる指導や調査も行っている。配属先には、研究部門とパイロットプラントの2部門があり、年間予算は約780万円。						
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ネパールではJICAを始めとするさまざまな農業技術支援により、農業生産が向上し農家も市場指向の高価値農産物の生産をめざすようになってきている。しかし、収穫後の果物や野菜の取扱い技術の知識が普及しておらず、市場に届くまでに多くのロスを生み出している。一方、生産現場では農薬の使用基準を理解しないまま、多量の農薬が使用されている実態もある。配属先では、そのような農家の実態から、大豆製品の開発、食用油の開発、紅茶やコーヒーの品質管理指導、乳製品の開発指導等、農業使用実態調査などに取り組んでいる。配属先では農産物加工の技術支援とともに、保存や輸送を含めた技術の向上も必要と考え、今回の要請となった。						
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 食物調査課のスタッフとともに以下の活動に取り組む。 1.果物や野菜の加工処理の研究と技術指導。 2.果物と野菜の収穫後のロスの減少をめざす効率のよい保存技術の指導。 3.配属先職員や農家への農産物加工技術トレーニングの実施と指導。						
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 分光器、蒸留セット、デジタル・バランス、遠心分離機、果物ジューサー、タンパク消化セット、赤外線水分計、マルチ穀物水分計、製麺機、顕微鏡、インキュベーター、オートクレーブ等						
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 所長 50代 技術者 4名 30代(大学院卒3名) スタッフ 5名			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:職員と同程度の学歴が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:食品加工を指導するため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号(SL 524 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C201)	◎ グループ型 ○ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年	1 26 / 1
マラウイ	家畜飼育			○ 1 年	2 26 / 2
			○ ヶ月	3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・食糧安全保障省				
	2) 配属先名 (日本語) ブランタイヤ農業開発局				○ NGO
	3) 任地 ブランタイヤ市 JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南 方向 320 Km 主要都市(ブランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 農業食糧安全保障省は全国を8地域に分け、それぞれに農業開発局(ADD)を設置している。その下部組織に、7つの県農業開発事務所(DADO)があり、同県事務所が普及所(EPA)を管轄している。配属先は管轄内の同組織と連携して、畜産・酪農振興や、農業関連技術の支援を行っている。畜産課においては、現在政府が提唱したone cow a family projectが開始されているが、圧倒的に牛の数が不足しており、人工授精事業を含めた、畜産・酪農事業の拡大が期待されている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先の下部組織の一つであるチラズル県農業開発事務所は、ミコロングウェ地区を管轄しており、政府直轄のミコロングウェ獣医所(Veterinary Station)がある。活動先の一つとなる同獣医所は、ミコロングウェ牧場(作物生産部、家畜部、国立人工授精所)、養鶏課、獣医短期大学から成り、ボランティア農民間人工授精師養成プロジェクト(2006年～2011年11月)の拠点として講義や研修を実施してきた。既に同プロジェクトは終了しているものの、フォローアップとして、他地域で家畜飼育のJV4名が人工授精業務普及に向けて活動しており、また、現在同地域に2件の家畜飼育JVの後任要請があがっている。人工授精業務については、ミコロングウェ牧場内の液体窒素製造機が壊れ、同業務が停滞していたが、現在は再開できている。ブランタイヤ地域の畜産・酪農事業を拡大するためにも、引き続き、ボランティアの活動が期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①配属先管轄地域の畜産・酪農事業全体の拡大を支援する。 ②ミコロングウェ牧場における人工授精業務及び、飼育管理の助言や支援を行う。 ③定期的な巡回指導が可能となれば、他のボランティアが活動している地域を訪問し、情報共有及び県事務所畜産課の現状把握を行う。 ④国立人工授精所の液体窒素製造機械等機材の管理を支援する。 ⑤その他、ボランティアの専門性に合わせた活動も可能となる。(養鶏課、獣医短期大学等において)				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 牛はフリージャン種、マラウイゼブ(在来種)、ホルスタイン、交雑種、液体窒素製造機(Cryogenic Processing Machine: Plant/Model AL300)等、現在2台稼働中				
要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先: プログラムマネージャー 50代・男性、家畜衛生開発オフィサー(CAHLDO)・女性 人工授精師 ミコロングウェ牧場: 事務所長 50代・男性、人工授精コーディネーター 40代・男性、その他スタッフ			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (V・M: C) 又は (V・M:)	
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (家畜人工授精師免許) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (畜産学) 理由: スタッフに指導するため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 経歴に基づいた指導が必要 理由:				
資 格 条 件 等	活動上の單車/自転車の必要性			○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
	現職教員特別参加制度			○ 可 ◎ 不可	
地域 概況	気候(サバンナ) 気温(10~30℃位)		電気(○ 安定 ◎ 不安定 ○ なし) 水道(○ 安定 ◎ 不安定 ○ なし)		
特記 事項	通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号(SL 551 - 13- D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 /	
ザンビア	家畜飼育		1	2	3	日系/短期 年 月 から
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・畜産省					
	2) 配属先名 (日本語) マザブカ畜産研究所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 南部州マザブカ郡マザブカ郊外 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 南西 方向 130 Km 主要都市(マザブカ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.25 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 同施設は広大な敷地を有し、1928年に東部・南部アフリカの広域畜産センターとして設立され、1950年頃まで、獣医の研究施設として使用されていた。現在は、敷地の規模は当時と比べ縮小しているものの、農業・畜産省管轄の畜産研究所として主に肉牛、乳牛の人工授精や鶏の交配に関する調査を行っている。2000年頃まではベルギー、最近まではチェコの援助が入っており、人工授精に係る設備には比較的最新の機材が設置され同施設の研究スタッフが日々使用している。また、70年代中盤から90年代後半頃まで、南部州では多くの家畜飼育JVが活動を行っていた。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ザンビア国の南部州では一般的に畜産農家が多く、放牧が盛んに行われている。しかし小規模農家レベルでは、自然交配を繰り返している為に純粋な良品種が減少している。同施設では、人工授精を通してザンビア南部州の伝統的な品種の保存だけではなく、質の良い肉牛、乳牛の調査を行っており、他国の支援を受け人工授精に関する情報や冷凍保存用の機材はアップデートされている。調査を行う職員は農業大学や短期大学を卒業し、知識は身に付けているが、実務経験が浅く、経験豊富なスタッフが不足している。農業・畜産省畜産局の中にはJICAの制度にて日本で研修を受けた事もある職員が複数おり、長期間ザンビア国で指導できる経験豊富な人材を求めており、今回の要請へとつながった。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) テクニカルアドバイザーとしてこれまでの経歴をもとに、配属先同僚に対する以下の事を可能な範囲で行う ・家畜の人工授精や品種改良の指導 ・牧草栽培の指導 ・放牧地管理の指導 ・養鶏施設管理の指導 ・その他、配属先の日常業務や本配属先以外の関連機関においても配属先同僚と共に巡回指導が期待されている					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室(机、椅子など)、家畜人工授精に係る設備(採精所、人口腔、電子顕微鏡、ストロー印刷機、凍結器、保管庫など)、放牧農場、養鶏施設、牧草農地					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 施設長 50代 男性 大卒(人工授精専門) 研究員 20代~40代 大卒5名 短大卒5名 その他、一般職員 20代~40代 男女 20名		5) 活動使用言語 (英語)			6) 生活使用言語 (その他)
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 同僚が大卒レベルであるため ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 指導に実務がともなうため 人工授精の実務経験 理由: 指導に実務がともなうため			7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	同配属先からJVの要請も上がっており、同僚として活動を共にする可能性あり。 配属先敷地内の職員住宅が提供される予定。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 1 日

要請番号 (SL 318 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C202)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 3 代目	○ 2 年	JOCV/SV	
エクアドル	飼料作物			○ 1 年	1	26 / 1
				○ ヶ月	2	26 / 2
				3	/	
日系/短期 年 月 から						
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) モロナ・サンティアゴ県庁 2) 配属先名 (日本語) モロナ・サンティアゴ県庁生産振興部 ○ NGO					
概要	3) 任地 モロナ・サンティアゴ県マカス市 JICA事務所の所在地(キト市)から 南 方向 350 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)					
要請	4) 配属先の規模・事業内容 モロナ・サンティアゴ県は当国南東部、県土の大部分がアマゾン地帯に位置する人口約13万人の県である。県庁所在地のマカス市は標高約1,100mに位置し、人口約2万人程度。県民の大多数が農畜産業に従事している。県庁では県条例及び開発計画に基づき、環境・自然資源の保護、インフラ設備の充実、教育の向上をはじめとする県民の生活レベルの改善、生産性向上、産業振興、観光開発などに取り組んでいる。年間予算は約130万ドル。過去にJV(家畜飼育)が2名活動していた。 http://www.moronasantiago.gob.ec/					
概要	1) 要請理由・背景 モロナ・サンティアゴ県は、畜産においては主に南部(標高600m~2,000m、降水量1,750mm~3,000mm)で乳牛・肉牛の放牧を行っており、品種の割合はシャロレーが約60%、ブラウンスイスが約30%、ホルスタインが約10%となっている。県庁生産振興部は乳製品加工工場及び、牛肉加工工場を建設しており、また、牛の品種改良も行うなど、畜産業の振興に力を入れている。加えて同部では30haの圃場を有し、在来種をはじめとする様々な種類の牧草の播種・栽培実験を行っている。しかしながら牧草・飼料の管理技術が高くないため、生産性が上がり、農家の生活向上にも結び付いていない現状にある。このため、同県に適した牧草・飼料の改善及び、技師の能力向上のため、ボランティアが要請された。					
要請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 任地に適した牧草・飼料の選定及び栽培方法について助言を行う。 ② 牛用飼料の製造方法について助言を行う。 ③ 牛用牧草・飼料の栄養及び生産に関する研究を行う。 ④ 牛用牧草・飼料の栄養及び生産に関して、新たな手法の提案・導入を行う。					
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務用品一式、実験圃場					
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 獣医1名(県庁勤務、30代男性) 農業技師14名(現場勤務)		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 草地に関する高い技術が必要 ・経歴 (指導経験) (10年以上) 理由: 技術者に指導を行うため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可		
地域概況	気候(熱帯) 気温(20~30 ℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)					
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 1 日

要請番号(SL 318 - 13- D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C211)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
エクアドル	家畜衛生			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
3	/					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国立ロハ大学 2) 配属先名 (日本語) 国立ロハ大学 獣医畜産学部 獣医畜産研究室 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ロハ県ロハ市 JICA事務所の所在地(キト市)から 南 方向 620 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)					
概要	4) 配属先の規模・事業内容 ロハ大学は150年の歴史を持ち、当国南部の高等教育の中核を担う国立大学である。教育、法律、エネルギー、農牧、保健の学部があり、学生数12,000名、教職員数400名を有する。獣医・畜産学部は常勤の教員が約30名在籍している。年間予算は大学全体で約3,800万ドル。研究分野ではプロジェクト部門に当国教育省からの予算の他、ベルギーなどからの援助がある。2013年7月現在、SV(遺伝子バイオテクノロジー(植物)分野)が活動中である(~2014年3月)。 http://www.unl.edu.ec/					
要請概要	1) 要請理由・背景 獣医畜産学部は畜産、家畜公衆衛生における高いレベルの人材育成と、自然資源を有効に用いた社会・経済発展への寄与を目的とし、基礎調査・研究を行っている。同学部の獣医畜産研究室では、エクアドル南部地域の飼料に関する分析データを有しており、飼料中のタンパク質の分析、灰分の測定、生物資源の分析などに関する試験、飼料が筋肉に変換される消費量などの調査研究を行っている。今後は研究室を改築し、畜産栄養学に関する研究をより深めていく予定である。このような状況において、ボランティアには栄養分析及び、畜産栄養学分野における教員・学生への助言及び指導が求められている。					
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 畜産栄養学分野における人材育成のため以下の活動を行う。 ①動物の栄養(飼料)に関する分析を行う。 ②畜産栄養学分野の研究プロジェクトチームに対して助言を行う。 ③教員・学生に対して、畜産、栄養分析についての助言及び指導を行う。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、事務用品、研究機材一式(電子天秤(ザルトリウス・オーハス)、電気炉(間接炎式炉)(ナーバザム)、ソックスレー抽出器(GCA)、粗繊維定量装置(VELP)、遠心分離、層流キャビネット等)					
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 コーディネーター:大学教員(50代男性、修士) 同僚:大学教員(40代男性、修士、研究員) 活動対象者:大学教員、学生		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (畜産学) 理由: 大学での指導となるため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 理論と実践が求められているため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(山岳高地乾燥) 気温(10~25℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	(Blank space for special notes)					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号 (SL 115 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C401)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /	
ミクロネシア	水産開発				日系/短期	年 月 日
1) 受入省庁名 (日本語) ヤップ州政府 2) 配属先名 (日本語) ヤップ州漁業公社 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ヤップ州コロニア JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 西 方向 2,250 Km 主要都市(ヤップ州コロニア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ヤップ州によって設立された漁業公社である。現在は保有船のリース料、水産物の売り上げなどで運営を行っており、年間予算は1600万円程度。2005年から2009年に、(財)海外漁業協力財団による漁業振興・流通活動促進のプロジェクトが実施され、漁船の供与と修理工場・製氷室、鮮魚処理場・販売店などの設置がなされている。2011年7月から2年間、長期SVが派遣されていた。						
要請	1) 要請理由・背景 配属先では、(財)海外漁業協力財団の支援により、漁船や施設の整備・管理・運営の基礎が出来、鮮魚の買取システムの構築や簡易な水産物加工品の開発がなされた。漁獲量に対して市場がまだ小さいため、州内市場の更なる開発と拡充をはかり、加えて販路をヤップ州内から海外のグアム、パラオなどへ拡大したいとの期待がある。配属先には、市場調査、流通方法や輸出に関する諸手続きについての知識や経験を持つスタッフがおらず、この分野での協力を得るために前任のSVが派遣された。前任者は、離島を含むヤップ州の魚場などを調査し、コスト管理を意識した漁業のあり方の提言や練り製品等の水産物加工品の試作紹介と市場化のための活動を行った。前任者が初代であり、活動実績を定着させていくために後任を要請している。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.国内水産市場の活性化のための市場調査の実施を支援する。 2.海外(グアム、パラオなど)での水産物に関する市場調査を支援する。 3.市場調査に基づき、流通方法や法整備についての助言を行う。 4.鮮魚を市場に流通させるに当たり、加工・保存・運搬方法などについて助言を行う。 5.前任者によって蓄積された水産物の流通、市場の動き、消費状況などの各種情報を元に、コスト管理を意識した水産開発を支援する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC(Dell/Windows XP、Microsoft Office 2003)、スキャナー、FAX、プリンター、コピー機、インターネットの使用 4) 配属先同僚及び活動対象者 代表・男性・40歳代(2008年7月に就任) 同公社の修理工場・製氷室、鮮魚処理場・販売店などには、10名程度の職員が配置されている。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:商品化への指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温 (30℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25年 7月 30日

要請番号 (SL 124 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C401)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
パプア ニューギ ニア	水産開発			1 26 / 1	年 月 から
		2 26 / 2			
		3 /			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ウェスタン州政府 2) 配属先名 (日本語) ウェスタン州水産資源局 ○ NGO 3) 任地 キウंगा JICA事務所の所在地 (ポートモレスビー) から 北西 方向 810 Km 主要都市 (キウंगा) までの交通手段及び所要時間 (車 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 水産資源局が設立するフライ河州水産開発センターは、研究・行政支援・研修部門からなる。研究部門は、水産開発に必要な適正技術の研究・検証を行い、行政支援部門は、検証された技術を用いた水産開発の実施のため地方自治体を支援する。研修部門は、地方自治体水産農業普及員に対して水産技術研修を実施し能力向上を促す。計画では約2千万円の年運営経費が州政府から支出される。さらに、センターの活動とセンターが支援する水産開発事業は、国際機関や国内機関等の技術・人材・財政支援を受けながら実施される枠組みが出来ており、これらの機関と連携を取りながら活動を行う。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 フライ河(水量世界第5位)の水産資源は、林業資源と共に、ウェスタン州(フライ河州政府)のオクテディ鉱山閉鎖後の最も重要な再生可能資源と期待されている。しかしながら、豊富な水産資源が地域住民の生計向上に結びつく経済開発に有効に利用されているとは言えず、SV(養殖)の派遣されるセンターはその実現を可能にするための州政府の水産研究開発機関である。州政府にとっては、同センターの運営は新たな試みであり、その設立に貢献したSVの後任による継続的支援に大きな期待を寄せており、本要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①フライ河州水産開発センターの設立・運営指導 ②フライ河流域の水産資源を利用した、住民裨益のプロジェクトの立案・調整・実施 ③職員への養殖技術向上のための助言(在来魚の養殖化・種苗生産・飼料開発) ④内水面漁業やポストハーベスト技術など、広い技術対応と職員への指導 ※養殖対象魚種にはフライ河在来魚の他に、ティラピア・コイ及びニジマスが含まれる。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 素掘り池(200m)、孵化棟(150m)2トンファイバーグラスタンクx8面、10トン屋外コンクリートタンクx2面、2トン屋外セメントタンク、20リットル室内水槽x10個。観察分析機器一式。 4) 配属先同僚及び活動対象者 センターの3部門に一人ずつの学士レベルの職員が配置される予定(要請段階では、養殖10年以上の経験がある大学生物学部出身者1名以外は未決定)。その下に水産・農業専門学校卒業レベルの技術者が各セクションに2~3名配置される。既存職員以外は新規採用となるため、水産経験年数は浅い事が予想される。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)				
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上の理由 ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚は全て大卒のため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 水産系の実務経験 ・ 普通自動車運転免許 理由: 治安上の理由			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地 域 概 況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35℃ 位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)				
特 記 事 項	治安上の理由により、自家用車の準備と運転が必要となる。				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号 (SL 115 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C402)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 /	日系/短期 年 月 から
マイクロネシア	養殖		1	2	3	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省					
	2) 配属先名 (日本語) ミクロネシア短期大学 ランドグラント計画					<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ポンペイ州コロニア JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 南西 方向 1 Km 主要都市(コロニア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.2 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先のマイクロネシア短期大学におけるランドグラント計画は、米国のランドグラント計画システムの74機関のひとつとして、マイクロネシアの産業開発・育成における社会・経済・技術の発展を目指して設置されている。年間予算は、同計画を初めとする様々な機関から確保され、136万米ドル程度。本SVが配置されるのは、同計画本部の水産養殖研究・普及部になる。					
要請概要	1) 要請理由・背景 本SVの配置される水産養殖研究・普及部は、マイクロネシアの社会・経済・技術の発展を目標とし、一般市民を対象に真珠貝産業の開発・普及・育成(輸出)を目指して2001年に設置され、真珠貝の養殖に成果を上げている。米国による財政援助に依存的な当国において、水産資源の有効活用は、経済的自立を果たす上で重要であり、島嶼国における国民への現金収入確保の手段をもたらすものとしても期待されている。同部では、真珠貝に続きナマコの養殖にも取り組んでいる。しかし、大量人口種苗生産についての知識や技術をもつ人材が当国には存在せず、本SVを要請するに至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.水産養殖研究・普及部の試験場で、ナマコの大量人工種苗生産について、実践を交えて助言する。 2.同試験場でのナマコの種苗から育成までの一連の調査・研究活動を支援し、結果を踏まえてポンペイ州の水産養殖業者への助言を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 水産養殖試験場に、温度/採光管理室、人工孵化室、養殖場の運営に必要な一般的な機材を備えている。 同試験場内及び、ポンペイ本島環礁内の小島での海面養殖場施設。					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:男性、50歳代、大卒/水産分野経験はフィールドのみに限られる。 研修生、漁民(20代~40代歳)/養殖経験または専門知識は有しない。 同部並びに同試験場を兼務する責任者は、同計画直接雇用の研究者である。				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
					現職教員特別参加制度	
					<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況		気候(熱帯雨林) 気温(30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項		通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 5 日

要請番号(SL 136 - 13- D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C402)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
バヌアツ	養殖			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 農林畜産漁業・検疫省				
	2) 配属先名 (日本語) 水産局				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 シェファ州エファテ島ポートビラ市 JICA事務所の所在地(ポートビラ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ポートビラ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 農林畜産漁業・検疫省水産局は漁業権の管理、漁具等の販売、漁業者への技術指導や教育支援、水揚げデータ記録を通じ、漁業に関する振興・開発全般を所掌し、バヌアツ国全域における漁業振興並びに沿岸漁業資源の管理を行っている。現在、JICAでは、水産局サンマ州事務所及びマランバ州事務所にJVを派遣している。また技術協力プロジェクト「豊かな前浜プロジェクトフェーズ2」をエファテ島、マレクラ島、アナイチウム島の対象地域で実施している。JICA以外では、フランスの開発調査機関(IRD)や太平洋共同体(SPC)が海洋資源の保全保護分野で協力を行っている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 水産局では沿岸漁業者の現金収入向上及び安定的な水産物の供給並びに沿岸水産資源の回復を目的にティラピア・オニテナガエビ養殖を振興している。しかし、現在の施設では規模が小さいため、草の根・人間の安全保障無償資金協力により養殖種苗生産施設の申請を行い、2013年度中に完成する予定である。これによりティラピアの種苗生産拡大を図ると共に、新たな対象種としてフィジーで広く養殖が行われており種苗生産のための親の入手が容易なオニテナガエビの種苗生産とその種苗を利用した養殖業の拡大を図ることとした。しかしオニテナガエビの種苗生産についての経験は浅く、技術指導を行うことができるスタッフや養殖施設運営に関する知識を持ったスタッフも不足していることから、技術的助言や施設運営への協力を期待されて本要請となった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・オニテナガエビの養殖技術を把握し、種苗生産技術を改善するための助言を行う。 ・養殖家を巡回し、飼料改善・経営改善のための技術指導及び普及についてのアドバイス、指導を行う。 ・養殖種苗生産施設の効率的で適切な運営についての助言を行う。 ・養殖業の拡大に向けた取り組みを漁業局と共にを行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 養殖種苗生産施設(エビの孵化場、ティラピア・テナガエビの中間育成池、稚魚・稚エビの検査場、病気隔離施設及び淡水貯水池)、事務用機器一式				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 水産養殖・研究課スタッフ 課長 40歳代 男性1名 養殖研究スタッフ 30~40歳代 男性2名			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 幅広い経験・知識が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(20~30℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 303 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C402)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年	1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
アルゼンチン	養殖			○ 1 年	
		○ ヶ月	年 月 日		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ネウケン州観光副庁				
	2) 配属先名 (日本語) ネウケン州生態応用センター				○ NGO
	3) 任地 ネウケン州フニン・デ・ロス・アンデス市 JICA事務所の所在地(フエノスアイレス市)から 南西 方向 1600 Km 主要都市(リオグロ州ハリロネ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先であるCentro de Ecología Aplicada Neuquén (CEAN)は、ネウケン州観光副庁に属し、州の観光産業にとって重要な自然環境保護に資することを目的にJICAの協力を得て1986年に設立された州立の自然生態研究所である。同配属先には、遺伝・育種、魚病、魚類栄養、水質、水生生物生態及び陸上生物生態の研究室を有しており、各研究室には1~2人の研究職員が配置されている他、技術者もいる。また、ブラウントラウト、大西洋サーモン、ペヘレイに関する研究も実施しており、サケマス類の養殖振興を目的とした機関でもある。現在、サケマスの魚病の分野でSVが活動中。				
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先の研究所では、州内のニジマス養殖を支援するため、魚病、栄養、遺伝学、水質などの研究を実施している他、ニジマスの種苗生産を行い、養殖業界に配布している。現在、魚病部においては、衛生管理モニタリングの能力向上及び天然魚と養殖魚の病気のコントロールと調査を目的としてSVが活動中である。アルゼンチンでは大型ニジマスの需要が高いが、その飼育過程で多数が死亡してしまい、効率的な経営を阻害しているため、業界からは不稔3倍体ニジマス種苗配布の要望が強い。しかしながら、研究所では第2極体放出阻止法による3倍体作出法が用いられているために全種苗を不稔化できていない。このため、第1細胞分裂阻止により4倍体メス 親魚を作出し、これを用いた安定的な不稔3倍体(全メス3倍体)を大量生産する技術の確立が求められており、本要請に至った。http://www4.neuquen.gov.ar/cean/				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①全メス4倍体ニジマスおよび2倍体機能オス(偽オス)の作出技術指導を行う。 (第1細胞分裂阻止のための高温ショックあるいは高水圧ショック条件の検討およびホルモン処理による性転換条件の検討) ②作出したニジマスの倍数性およびキメリズムの判定技術の指導を行う。 ③日本の3倍体サケマス類の作出方法の紹介等を通じ実践指導、助言を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡(ニコン、Labophop-2)、精子保存機材(IWAKI)、温度調節機材(SAKURA)				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 CEANスタッフ: 30名中18名が技術者。 カウンターパート 30代(13年経歴) 研究職員同僚 20代~40代 男性4名(獣医学、生物学)※1名は帰国研修員 助手 20代~30代 男性3名			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:染色体の作出方法技術が必須 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(温帯) 気温 (-5~30℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項	通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 318 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C402)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
エクアドル	養殖			◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農牧漁業省				
	2) 配属先名 (日本語) 農牧漁業省ゾーン3養殖部				○ NGO
	3) 任地 チンボラソ県リオバンバ市 JICA事務所の所在地(キト市)から 南 方向 200 Km 主要都市(キト市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 農牧漁業省ゾーン3はチンボラソ県を中心とした4つの県(他にトゥングラウア県、コトパクス県、パスタサ県)を管轄する事務所、養殖部は地域の養殖産業の振興・活性化を担う部門として、養殖振興プロジェクトの策定、各地区に配属の現地技術者たちへの指導などを行っている。年間予算は農業畜産部と養殖部を合せて7万米ドル。養殖部配属の獣医師が2012年JICA本邦研修(青年リーダー育成・農村開発)を修了している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 本配属先が養殖業振興のために策定した「村落地域養殖業振興プロジェクト」が2013年9月より本格始動する。プロジェクトは村落部の水資源が豊富な地域を対象とし、特に農業に不向きな高地の産業振興と食生活改善を目的としている。また、十分利用されていない既設の3養殖施設を修復し、稚魚生産センターとして再利用する予定である。村落地域では優良で安価な稚魚の入手が困難であるため、プロジェクトでは稚魚生産センターを中心とした生産・分配システムを作り上げ、安定した稚魚の分配を行うことにより地域全体の養殖産業の発展を目指している。管轄する4県には160の区があり、それぞれに技師が2名、合計320名が配属され一般農家への技術指導を行っているが、養殖分野の知識・技術に不足しており、彼らのレベル向上が課題となっている。SVIには稚魚生産センターの管理運営への助言・指導、および技師たちへの養殖技術の指導が求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 稚魚生産センターにおける稚魚生産に関する幅広い知識や生産技術についてのアドバイス、指導を行う。 2. 中間育成時および肥育時の飼養管理方法の指導を行う。 3. 部職員とともに、現地指導員(技師)への技術指導を行う。 ゾーン3の活動地区の標高は200m~3500m、魚種は高地ではニジマス(Oncorhynchus mykiss)、低地ではティラピア、パイチェ(Arapaima gigas)、カチャマ(Colossoma Macropomum)である。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 稚魚生産施設、事務用機器一式				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 養殖部長:30代女性、修士レベル 養殖部技師:30代男性獣医師 指導対象:現地技師 最大320名			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: CPの技術レベルが高いため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 幅広い知識が要求されるため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(高地半湿潤温帯) 気温(平均12~20℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項	通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線)				
巡回による活動地域はアマゾン地域からアンデス地域にまたがり、高度も数百m~3,500mと幅広い、相応の体力が求められる。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

要請番号(SL 469 - 13 - D - 13)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C402)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
モロッコ	養殖			◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 26 / 1 2 / 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・海洋漁業省				
	2) 配属先名 (日本語) 国立海洋漁業研究所水産物開発技術センター(GSVTPM)				○ NGO
	3) 任地 アガディール県アガディール市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 590 Km 主要都市(マラケシュ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 国立海洋漁業研究所の特別技術センターとして日本の援助で建設され2004年2月に開所したセンターである。水産物加工技術の開発、水産物の付加価値向上、衛生品質管理向上、水産物検査システム、商業活動への最適化、技術革新の方向性など水産業界への技術支援を行うセンターである。2005-2008年、技術協力プロジェクト「水産物付加価値向上促進計画」が実施された。2008年11月、同センターと協力しFAOがアフリカにおける漁業技術、品質保証のワークショップを開催した。なお、国立海洋漁業研究所(INRH)アガディール支所に小型浮魚資源調査能力強化プロジェクトの専門家が1名派遣されている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 モロッコで水揚げされる漁獲量は年々減少しており、漁業従事者、水産加工業者など水産業界は大きな打撃を受け、特に零細漁民や中小企業への影響は大きい。水産物加工による付加価値付け、品質管理を通じた収益の向上、養殖の振興に力をいれており、モロッコのリソースを活用した技術支援が求められている。現在センターには水産物加工機器のある実習室、物理化学、細菌、バイオなどの研究室があり、屋外に養殖施設の設置のため拡張工事が行われており、特に魚、貝など養殖用の餌の開発技術が求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・海洋養殖用の国内原料を用いた餌の開発のための情報収集とマニュアル策定 ・エンジニアに対して餌製造技術方式、方法の指導 ・エンジニアが実施する魚類への餌の配合(量)の実験のサポート ・実験中の養殖魚の状態確認(配合餌、成長率など)を通じた最適化指導 可能であれば水産物加工品の製造機器の活用や研究室の精密検査機器の活用も併せて行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 冷凍庫、燻製装置、真空パック機、定温培養器、電子天秤、原子吸光器など				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 博士、学士レベル、20~45歳 スタッフ 20名 間接的には水産業者(魚・牡蠣養殖、魚粉製造業者など)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) (農学) 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導が求められるため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域 概況	気候(地中海性気候) 気温(5~ 45℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)				
特記 事項	アガディール市郊外のためバスあるいは乗合タクシーの利用となる				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 25 日

要請番号(SL 609 - 13- D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード C402)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
ガボン	養殖			2	26 / 1
			○ 2 年	2	26 / 2
			○ 1 年	3	/
			○ ヶ月	年 月 から	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・牧畜・漁業・地方開発省				
	2) 配属先名 (日本語) ペリエ養殖ステーション				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 エスチュエール州リーブルビル市 JICA事務所の所在地(リーブルビル市)から 北 方向 0 Km 主要都市(リーブルビル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 首都リーブルビル市ペリエ地区にある水産養殖総局(養殖局)の出先機関。リーブルビル市内および郊外における内水面養殖の振興を目的に淡水魚(ティラピア)の養殖、育苗販売、技術指導や研修を行っている。当ステーションでは、2012年からナイジェリアの短期プロジェクトが入り、本格的にナマズの生産が開始された。2013年6月時点で、JICA長期水産専門家が首都リーブルビルに派遣されており、ガボンの水産政策にアドバイスをしている。また、養殖隊員が1名ランバレネ水産支局に配属になっており、浮生質の中での養殖と箱養殖でのナマズの飼育に協力している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同国は、食糧の多くを外国からの輸入に頼っている状況である。近年、食の安全保障が政策に取り入れられるようになり、配属先は自国での食糧生産向上に取り組んでいる。いままでは、同国の養殖ステーションでは、主にティラピアが育てられていたが、成長が早くまたキロ当たりの単価が高いナマズ養殖にシフトしようとする動きがみられる。過去には海外漁業協力財団(OFCF)の援助により、養殖池、排水溝の改修工事や資機材の供与が行われており、日本人の勤勉さ、まじめな仕事ぶりは評価されており、配属先が今後力を入れていきたいとするナマズの養殖に関しても協力を求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・ナマズの種苗生産の補助 ・地方ステーションへのナマズ稚魚の出荷体制づくりの補助業務 ・ステーションの運営と管理の補助 ・ナマズの餌の改良、提案(高価な輸入餌料・飼料を代替する現地で入手可能な餌の開発が求められている) ・その他、当ステーション内で飼育されるティラピアの飼育・管理				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 素掘り養殖池 コンクリート養殖池 養殖関連資機材一式				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先のシェフ 女性 30代 (セネガル研修中 人事変更の可能性あり) 同僚 20代~40代 約20名 近郊の養殖農家			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: D) 又は 英語 (レベル: D)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (農学) 理由: 配属先のレベルに合わせる ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 配属先のレベルに合わせる 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域 概況	気候(熱帯雨林) 気温(28~32 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記 事項					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

要請番号(SL 469 - 13 - D - 12)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード C411)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	
モロッコ	水産物加工			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1	日系/短期 年 月 から
					2 /	
			3 /			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 農業・海洋漁業省					
	2) 配属先名 (日本語) サフィー海洋漁業技術学院(ITPM de Safi)				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 サフィー県サフィー市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 353 Km 主要都市(マラケシュ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 農業・海洋漁業省が管轄する中堅技術学院で、アガディール海洋漁業高等学院(ISPM)を上位校とし、海洋技術学院(ITPM)がアルホセイマとサフィーにそれぞれあり、JICAは1994-2001年に技術協力プロジェクトを実施。また沿岸漁業用訓練船の供与など行った。サフィー校は1953年に水産専門技術訓練センターとして開校し、その後海洋技術学院(ITPM)となった。学生数は約200名で航海士、機関士、水産加工業技術者の技師養成、漁業従事者への水産加工技術、船舶技術、法律、経済、安全等の教育を行っている。 近郊のスィラケディマ漁業支局にはJV2名が活動中である。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 技術協力プロジェクト終了後、水産物加工の技術はアガディール海洋漁業高等学院でSVが引き続き活動し、第三国研修を通じて加工品技術の指導がアフリカ向けに行われたが、サフィーの学院への協力は専門家派遣終了後はSVが一度派遣されたのみで特になく10年が過ぎようとしている。 当時はタコ、イワシ、その他一般的な魚を使った燻製、酢漬け、かまぼこ、さつまあげ、つみれ、冷凍食品などへの加工の技術指導を行ったが、年月が経ち教官が変わり機材が十分に活用されなくなっていることから水産加工製品の技術指導を行うSVの派遣要請があった。 同地域で活動するJVが漁業支局に配属され漁業組合員と活動しているため連携も期待される。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 学院内で主に水産物の加工技術と付加価値向上の指導を行う。 ・指導に必要な専門技術の内容の取りまとめ、情報収集とその提供 ・教官に対して水産物の加工技術および付加価値向上の指導の実施 ・指導教科のプログラムの改善 近郊のスィラケディマ漁業支局派遣の隊員と協力して漁民等への啓発活動も期待されている。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 缶詰製造一式(手動巻き締め機、小型高圧殺菌釜(ガス)、蒸煮機)、フードプロセッサー、シーラー(電気)、二重釜(ガス)、真空包装機、油チヨウ機、その他簡単な実験器具・機材					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 水産物加工の学生、社会人研修生、教官を対象とする 担当教官は2名			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 教官への実践指導を含む為 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域 概況	気候(地中海性気候) 気温(5~45℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記 事項	配属先のウェブサイトは、(http://www.mpm.gov.ma/marin/etablissement/safi.htm) です。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

要請番号(SL 006 - 13- D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D201)	○グループ型 ◎個別	○新規 ◎交替 2 代目	○2年	○1年
インドネシア	化学・応用化学			○ヶ月	1 26 / 1
1) 受入省庁名 (日本語) 工業省工業研究開発局 2) 配属先名 (日本語) セラミックセンター ○ NGO 3) 任地 西ジャワ州バンドン市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 南東 方向 200 Km 主要都市(バンドン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 当センターはセラミック産業の競争力強化のために設立され、セラミック製造に関する研究開発、及び、研修の実施、検査、標準化、認証、各種情報提供等の業務を行っている。職員数134名であり、研究職数は15名を数える。多数の職員が日本での研修経験があるなど日本との関係は深い。年間予算は約1,940,000米ドル。					
1) 要請理由・背景 当センターの業務の内、耐熱材原料、検査方法、耐熱材製造に関する知識経験は十分あるが、窯・焼成炉の検査法及び耐熱材の高温環境下での寿命予測の分野の知識が不足しており、国内の鉄鋼、セメント、アルミニウム精錬、セラミック、ガラス石油、石油化学、繊維各種産業からの同分野の情報ニーズが高まる中、当センターとしては早急な研究者育成が求められている。現在、初代のSVが活動中であるが、配属先の同SVへの評価が高く、継続した協力が必要とされていることから後任が要請されるに至った。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①窯・焼成炉の検査マニュアルの作成指導 ②窯・焼成炉の検査法セミナーの実施 ③工場における耐熱材、窯・焼成炉の検査実施指導 ④耐熱材の利用に関する研修の実施					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 X-RD、SEM、AAS、TG/DTA、Dilatometer、Heating Microscope、Porositymeter、Hazemeter等					
4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:研究者15名(25~60歳 大卒 男性多数)				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (工学) 理由: 同僚とのバランス ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚とのバランス 理由:				活動上の單車/自転車の必要性 ○單車 ○自転車 ◎不要 現職教員特別参加制度 ○可 ◎不可	
資格条件等		地域概況 気候(熱帯雨林) 気温(20~30 ℃位) 電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 通信(☒インターネット可 ☒電話可 ☐無線) 水道(◎安定 ○不安定 ○なし)			
特記事項					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 20 日

要請番号 (SL 475 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	派遣希望 期間	JOCV/SV	
チュニジア	化学・応用化学			1	26 / 2	年 月 から
				2	/	
		3	/			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究省 2) 配属先名 (日本語) シディタベット・バイオテクノロジー大学(ISBST) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アリアナ県シディタベット市 JICA事務所の所在地(チュニス県チュニス市)から 北西 方向 30 Km 主要都市(アリアナ県アリアナ市)までの交通手段及び所要時間(バスで約 0.3 時間)					
概要	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、2004年に設立された高等教育機関で、首都近郊にあるシディタベット・バイオテックパーク内に位置する。同大学は、製薬や健康分野のためのバイオ応用化学研究を行っており、学士課程としては、基礎生命科学、バイオテクノロジー応用学、応用バイオ分析・実験学のコース、修士課程としては、健康関連製品の開発コースがある。その他、同分野における科学的な研究や就職後の卒業生支援なども行っている。年間予算は1800万円。世界銀行などの機関からの援助がある。JICAボランティアの派遣は今回が初めて。同大学のサイトは http://www.isbst.rnu.tn/index1.html					
要請	1) 要請理由・背景 配属先はバイオテクノロジーの分野にて、上述のコースにおいて、実習を通しての技術習得や理論の指導を行っている。今回その中でも特に、環境、製薬分野における浄化や抽出、分析化学の技術支援に係る要請が提出された。日々の研究としては、野菜などの植物や廃棄された食物などの成分を製薬品などに再利用するための化学分析を行っており、その分析技術としては、クロマトグラフィーの利用、分光測定法などを用いている。また通常の実習や研究に加え、現在世界銀行の援助により、同分野のプラットフォーム研究室立ち上げプロジェクトが進められている。2013年6月の現時点では、新しい分析機材の調達準備を行っている。日本人ボランティアには、通常の研究や指導の支援と共に同プロジェクトを円滑に進めるための支援も期待されている。また同僚の女性(1名)は、日本の大学に留学経験があり、日本人の仕事に対する姿勢などに理解がある。					
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において、同僚職員と協力し、以下の業務を行う。 ①研究や実習指導において、同僚研究指導者らを支援する。 ②同分野の学生に対する個々の研究を支援する。 ③指導内容カリキュラム改訂の際などの助言を行う。 ④日本の教育研究機関とのパートナーシップや関係の構築を行う。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 研究室、クロマトグラフィー(ガスと液体)、分光測定器など各種研究用機材一式					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・大学長:40代、男性、微生物学修士保持 ・同僚研究指導者:15名うち7割が女性、40代前後 ・カウンターパート研究者:40代の男性1名、40代の女性1名(日本への留学経験有り) ・校内研究指導者:計35名、うち7割が女性、40代前後 ・指導対象となる学生:学士、修士課程3グループ、15名		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: () ・学歴 (修士) () 理由: 配属先同僚のレベルに合わせて ・経歴 () () 理由: () ・研究者もしくは指導者 理由: 業務内容に合わせて			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~45℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	業務言語は、英語とするが、一般的に口語としては、アラビア語チュニジア方言が使われている。フランス語も広く使われている。その他、通勤には、公共バス(もしくは大学のバス)の利用が必要となる。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号(SL 642 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D221)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV 26 / 1
セネガル	板金			2	26 / 2
			3	/	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 職業訓練・研修・手工業省				
	2) 配属先名 (日本語) 青年職業訓練センター				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ダカール州ダカール県ダカール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 南 方向 15 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1976年にYMCAにより青年育成のもと設立されたが、現在は職業訓練・研修・手工業省の管轄となり土木工学、電気・電子機器、金属加工の3課程があり、修業年限は2年、学費は無料である。総学生数は183名、指導員22名、行政職15名。年間予算は約260万円。電気・電子機器の韓国KOICAボランティアが2012年3月から2014年2月まで活動しているが後任要請はなされていない。技術者向けの免状取得のため2年間の夜間のコースが設けられているが学費は自己負担となる。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 セネガルには小さな板金工場は多数あり様々な製品(かまど、コンロ、ろ過器、バケツ等)を製作している。同様に発注する業者もある。しかしながら、出来上がり製品の質は良くない。ボランティアの技術や助言で品質の向上や技術を習得したいと考えている。製品に対するアイデアや提案にも期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①板金技術の向上を図る。 ②製品の品質向上に対する助言と提案を行う。 ③道具の管理、作業場の整理整頓等、作業効率化・安全性向上に向けた提案を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プレス機、ローラー、溶接機、酸素・アセチレンボンベ、圧縮機、各種ハンマー(製鉄用、リベット用、金具取付用、球状用、板状用)				
要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:50歳代 指導員:30~40歳代 22名(内、板金科指導員3名、板金科指導員助手4名) 行政職:15名 学生:板金課程 33名			5) 活動使用言語 (フランス語)	
				6) 生活使用言語 (フランス語)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:助言や指導を行うため 理由:			7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は フランス語 (レベル: D)	
				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
地 域 概 況	気候(ステップ) 気温(15~40℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号 (SL 424 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D222)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
ヨルダン	溶接			日系/短期 年 月 日 から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省				
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公社ハカマ職業訓練所				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 イルビッド JICA事務所の所在地(アンマン)から 北 方向 80 Km 主要都市(イルビッド)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内約50の訓練校で学生や社会人の技術力向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練所を対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。現在、VTCの訓練所でJV4名(工作機械、経済・市場調査、服飾)及びSV3名(学校運営、経営管理、冷凍機器・空調)が活動中である。ハカマ職業訓練所には金属加工・溶接、自動車整備、冷凍・空調設備、電気、木工、配管など14の訓練コースがあり、訓練生は約270名である。				
要請概要	1) 要請理由・背景 ヨルダンを持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとるとともに、労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。ヨルダンでは、高い失業率(12%)が問題となっているが、特に若年層の失業率が30～40%と高い。ヨルダンにおいてはさまざまな国家プロジェクトが進行していること、応用範囲が広いことから溶接技術の需要は高いと考えられる。しかし、職業訓練所では設備・備品の不備、最新の技術を知る機会が少ないなどの問題がある。安全教育、危険作業の防止を徹底するとともに、訓練生の学習意欲を高め、基本事項をきちんと習得できる訓練環境作りが求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ハカマ訓練所の溶接コースにおいて以下の点で協力を行う。 1. 訓練生の訓練意欲向上と学習支援 2. 訓練コースの補助教材作成 3. インストラクターの指導力向上のための支援 4. 訓練コースの実施に関する側面支援(電気・ガス溶接、TIG、MIG、安全教育) 5. 北部地域の複数のVTIIに対する巡回指導および合同ワークショップの実施 6. 溶接技能として、手溶接・アーク・ガス溶接が必要となる				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ガス溶接機、アーク溶接機、TIG/MIG溶接機、裁断機、折り曲げ機械、ロール機械 等				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長(男性、40代) ・担当インストラクター3名(男性、30～50代) ・訓練生 約20名(男性、10代後半～20代前半) ・他コースの指導員、事務員など(男女約30名)		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レバ: B) 又は (レバ:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 男性向けコースのため ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: インストラクター指導のため 溶接技能者資格 理由: 指導に含まれるため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性) 気温(0～40℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 26 日

要請番号(SL 166 - 13- D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D226)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
パラオ	動力発電技術			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
		3	/			

配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) パラオ公共事業公社	
	2)配属先名 (日本語) 発電部	<input type="radio"/> NGO
	3)任地 コロール JICA事務所の所在地(コロール)から 南西 方向 3 Km 主要都市(コロール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)	
	4)配属先の規模・事業内容 パラオ公共事業公社は旧電力公社と上下水道公社が統合されたもの。発電部門はパラオ国内唯一の電力供給機関として全国に電力を供給しており、年間予算は24百万ドル、総発電能力17MW(2013年)。日本の支援として、これまで発電機の導入や送電線の敷設にかかる協力を行ったほか、2011年には太陽光発電施設の導入にかかる協力やアドバイザー型専門家派遣による電力事業の効率化支援を行ってきた。2012年に首都圏電力供給能力向上計画(無償)のE/Nが調印され、2014年には5MWのディーゼル発電機2基が導入され稼働する予定。	

要 請 概 要	1)要請理由・背景 パラオ公共事業公社電力部門には2010年3月から3年間「電力供給改善」JICA専門家が派遣され、ディーゼル発電機の運転管理者への技術指導ならびにメンテナンス計画策定などの発電機の維持管理にかかる経営指導を行ってきた。しかし、未だに、発電機の維持管理に係る課題は残り、今後も発電機のオーバーホールを控えていることや、自己資金で購入した日本製ディーゼル発電機の運転を始めたもののその維持管理にかかる能力が十分でないことから引き続きJICAボランティアによる支援を要請してきた。同公社傘下の発電機オーバーホール等の立ち合いにより、経験と知見を必要とされる判断能力の改善を促す協力が求められている。	
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・数メガワットのディーゼル発電機のオーバーホール(カムシャフト交換を含む)にかかる技術指導 ・ディーゼル発電機の運転維持管理にかかる指導(マニュアル整備、メンテナンス計画の作成等)。日本製発電機の英訳されたマニュアル類が一部不十分であるためボランティアによる補足指導を期待している。 ・国内の75KW程度の小型高速のものから、5MWの中速のものまでディーゼル発電機全般に係る運転、維持管理、故障対応などに対する助言指導	
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 三菱重工製、新潟原動機製ディーゼル発電機(28HLX型エンジン 16気筒)	
	4)配属先同僚及び活動対象者 電力部部長 男性 アイメリーク発電所22名、マラカル発電所20名、ペリリュウ発電所13名、アンガウル発電所6名、カヤンゲル発電所5名	5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (英語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:同僚への指導のため ・経歴 (指導経験) (5年以上) 理由:技術者に指導を行うため 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
			現職教員特別参加制度
			<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(海洋性熱帯気候) 気温(25~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項	住居の場所によっては通勤に自家用車あるいは自転車が必要。

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号(SL 245 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D227)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
メキシコ	工作機械			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
		3	/			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省産業技術教育局	
	2) 配属先名 (日本語) 第118工業高校 <input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ケタロ州ケタロ市 JICA事務所の所在地(メキシコ・シティー)から 北 方向 200 Km 主要都市(ケタロ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)	
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は教育省技術産業教育総局傘下の433校のひとつであり、1979年にメキシコ国の産業集積地のひとつであるケタロ州ケタロ市に設立され、家電、自動車部品を中心とする地元産業界へ人材を供給してきている。同校は電子・電気・機械工具・メカトロニクス等の学科を有し、現在二部制授業(午前・午後)を実施中。生徒総数2,100名・教員120名を有する大規模の工業高校であり就学対象年齢は15歳以上。これまで、日本以外からの援助受け入れ実績はない。前任者は「メカトロニクス(派遣期間2012.06.26-2014.06.25)」。	

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 自動車、家電産業を中心とする産業集積地のひとつであるケタロ州ケタロ市に位置する配属先においては、専門的能力を持った学生を産業界に供給できるようなカリキュラム改善が喫緊の課題である。本配属先においては、教員及び職員に対し、知識・技術を最新化するための研修を行う必要性があり、具体的にはCNC・AutoCAD・CADCam・PLC・MasterCam・空気圧制御装置等を用いた実習授業の開発等を行うため、本件が要請された。配属先においては本件以外に「渉外促進(派遣期間2012.01.10-2014.01.09)」品質管理(派遣期間2012.10.15-2014.10.14)のSVが活動中である。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 機械科教員のメカトロニクス分野の知識の最新化 2. CNC、AutoCAD、Mastercam、PLC、空気圧制御装置等を用いた実習授業の開発	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 空気圧制御(Festo社TP-201)、フライス盤(AI-Mill社 Masa 9 × 49)、PLC(Siemens社)ほか	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 機械科教員4名(30代から40代) メカトロ科教員4名(30代から40代)	5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: D) 又は 英語 (レベル: D)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)	活動上の單車/自転車の必要性
	・免許 () 又は ()	<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
	・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 教員指導に必要であるため 理由:	現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地 域 概 況	気候(亜熱帯気候) 気温(10~30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

特 記 事 項	
------------------	--

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号 (SL 245 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D227)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
メキシコ	工作機械			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1
			3	26 / 2	
				/	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省産業技術教育局				
	2) 配属先名 (日本語) グアナファト自治大学				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 グアナファト州サラマンカ市 JICA事務所の所在地(メキシコ・シティー)から 北西 方向 350 Km 主要都市(グアナファト)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1945年創立の国立大学(前身は1732年に創設された修道院)で教員総数約2,400名、生徒総数約21,000名。年齢層は18歳から28歳、グアナファト州内4か所のキャンパス(①グアナファト、②レオン、③イラプアト-サラマンカ、④セラヤ-サルパティエラ)に、人間社会科学、自然科学、化学等13の学部と78の学科を有する。2012年度の予算規模は約1億9千万米ドル、敷地面積96,000平方メートル。これまでに日本以外の外国の援助受け入れ実績はない。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 グアナファト州は自動車産業の集積地であり、卒業生の外資自動車企業への就職を有利にすすめるために、大学は即戦力となる人材育成を目標としている。現在、関連学科の授業カリキュラムにおいては、初年時は教育用レベルの機材から実習を始め、卒業時までには工業レベル機材における一応の操作技術は取得できる体制ではあるが「当地に展開する外資系自動車企業において即戦力となる」レベルには達していない。SVの派遣により日本の基準に見合う技術を取得し、日本の企業精神や文化をも学ぶことで、直接的に学生の将来につなげるべく本件要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 上記イラプアト-サラマンカキャンパスで行われる当該分野に関連する講座における活動となる。 ①教員が実施する講義や実習につき診断し、講義内容の質の向上のための助言を行う。 ②教員に対し当該分野(CNC工作機械等)に関するセミナーを実施する。 ③必要に応じ教員と共に、当該分野の既存のマニュアル類の改善する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 CNC工作機械(VIWA社製VCM1050M400、MISTUBISHI社製 A-700、KIWA社 510-COLT)等				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 当該分野の教員6名(博士2名、修士4名)30代から50代			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学教員を指導するため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯気候) 気温(10~30℃ 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号 (SL 245 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D227)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 26 / 2 / /	日系/短期 年 月 から
メキシコ	工作機械					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) メキシコ州教育省 中等及び高等教育次省					
	2) 配属先名 (日本語) 高等教育局					<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 メキシコ州トルーカ市 JICA事務所の所在地(メキシコ・シティー)から 西 方向 60 Km 主要都市(メキシコ・シティー)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 メキシコ州政府教育省管轄下には「3つの次省(基礎教育、中等及び高等教育、企画・総務)」があり、本件受入省庁はその中の一つである。職員総数は約15,000、年間予算は43億2200万ペソ(約3億3200万米ドル)。本省庁の主な機能は中等及び高等教育に関するプログラム策定、州政府の科学・技術教育の評価、新規学部の設定など。配属先は受入省庁管轄下に7つある部局のひとつであり25の大学を管轄しているほか、他の教育機関との連携などを担当する。これまでにJICA等外国援助機関からの援助受け入れ実績はない。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 メキシコ州は外資系家電及び自動車産業の集積地である。配属先は、当地大学生の就職を有利にするために即戦力となる人材育成を目標としており、管轄下の大学においては機械工学及びメカトロニクス分野における教育戦略の策定、CNC、AutoCAD、PLC、空気圧制御装置等を用いた実習授業の改善を行うことは喫緊の課題である。しかし充実しているハード面の設備(資金力)に対し、現在はそれらを十二分に活用しているとは言い難い。かかる状況下、各分野スタッフの知識の最新化や、大学教員に対しアドバイスをを行うこと、及び当該大学が実施する各種カリキュラムに対する改善策の提案、既存のマニュアルの改善に向けての助言が求められている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 本件は特定の大学に席を置いて重点的に指導することは想定しておらず、配属先との打ち合わせを通じて、州内全体にある25の大学を巡回し、診断・助言・指導、をすることが求められている、具体的には以下の通り。 ①配属先管轄下の25の大学に行われる機械工学分野の講義内容を分析し、改善に向けた助言を行う。 ②学生が卒業前の最終学期に行う「民間企業での実習」につきモニタリングを行う。 ③必要に応じて「高等学校(中等教育)を管轄する部局」とも連携し、中等教育レベルでの巡回を実施し、助言を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 CNC工作機械(Trump社製、SIEMENS社製、Concept社製 MILL55)他、※持参することが求められている機材は特に無し。					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 大学教員数十名(学士、修士)指導経験10年以上			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (機械工学) 理由: 大学教員を指導するため ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 大学教員を指導するため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域 概況	気候(亜熱帯性) 気温(10~ 30 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記 事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 29 日

要請番号(SL 475 - 13- D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D227)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
チュニジア	工作機械			1	26 / 2	年 月 から
				2	/	
3	/					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 職業訓練・雇用省					
	2) 配属先名 (日本語) スース溶接プラスチック成形技術訓練センター(CSFSOP)				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 スース県スース市 JICA事務所の所在地(チュニス市)から 南 方向 140 Km 主要都市(スース市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、職業訓練庁(ATFP)傘下で1995年に設立された、溶接・プラスチック成形加工に特化した職業訓練センター。プラスチック技術専門のセンターは、チュニジアには本校のみ。卒業時に取得出来る技術士の資格(BTS、BTP、CAP)によってコースは分かれており、履修期間は2年半もしくは2年間。金型製作・保守、溶接・組み立てなど6つの学科を抱える。学生は校内での授業と実習、そして提携企業での実習とを2ヶ月ごとに繰り返す形で技術を習得する。学生総数約1000名で大多数がプラスチック関連学科に在籍中。職員は約50名、年間運営予算は2500万円。ドイツからの機材供与などの支援を受けている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 本職業訓練センターは、チュニジアにおける唯一のプラスチック関連分野のセンターで、他の教育機関からも多くの研修生が送られている。しかし現状は、創立の95年以来、新たに指導技術や使用機材は導入されず、プラスチック産業の近代化に立ち遅れている。したがって、同産業界で現在必要とされている、新しい知識や技術の導入が喫緊の課題である。また、同校においては、学生は精密金型を作製する機会がないため、企業実習の際に学習する。この度、これらの状況を改善するために本要請が上げられた。JICAボランティアの派遣は今回が初めてである。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において、以下に関して担当教員への技術協力と補佐を行う。 ①精密金型の製作に関する補助、技術指導を行う。 ②同金型のメンテナンス・調整に関するアドバイスや指導を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 工作機械(NCフライス盤:MONAC(伊)/WEBCO(独)/EMNO(オーストリア)、ボール盤、旋盤、グラインダー、研削盤、放電加工機、その他)、実習室					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長:男性1名、50代 ・職員:約50名中、男性:女性=4:1 ・同職種担当教員:男性3名、40~50代 ・学生総数:約1000名、男性が75%			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 同僚・生徒の性別に合わせて ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 業務内容上必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~46℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	現地においては、フランス語も通用するが、一般的に口語においては、アラビア語チュニジア方言が使われている。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 5 月 24 日

要請番号 (SL 124 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D228)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
パプア ニューギ ニア	冷凍機器・空調			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
		3	/			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家漁業公社
	2) 配属先名 (日本語) 国立水産大学 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ケビエン JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北東 方向 870 Km 主要都市(ケビエン市内)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 漁業に携わる人材の育成、能力の向上、漁業資源の確保等を目的として、1997年に日本の援助により設立された、同国で唯一の水産大学であり、国家漁業公社に属している。国家漁業公社は年間予算9,800万キナ(約44億1千万円)を有し、そのうち同大学予算は1,500万キナ(約6億7千5百万円)である。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同校では同国唯一の水産大学として商業漁業、商品加工等、漁業に関わる各種コースを開設している。その一部として魚の保存技術や、大型冷蔵庫、製氷機のメンテナンスを指導するコースがある。これらの機材を扱う技術者は存在するが、その技術は十分とは言えず、より高い技術の習得や、同様の技術を持った人材を多く輩出することを求めている。予算や機材は揃っているものの、それらを扱う技術者が不足しているため要請が行われた。また、指導のみならず、一技術者としての機材の管理も期待されている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 校長や同僚教師の要望を聞きながら、次のような業務を進める。 ① 冷蔵庫及び製氷機整備のためのトレーニングカリキュラムやメンテナンスマニュアルの作成。 ② 冷蔵施設を扱う学生、技術者への指導。 ③ 冷蔵施設の修繕と管理。 ④ 国内全土にある製氷機のメンテナンスとその技術指導。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 大型冷蔵庫5台、中型冷蔵庫4台、小型冷蔵庫14台、製氷機2台、小型漁船1隻
	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長1名、職員59名(内講師及び技術者28名)、現在学生数約130名、年間参加学生人数約650名(18~35歳程度)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上の理由 ・学歴 (大卒) () 理由: 専門的な知識が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 現場での経験実績が必要 ・ 普通自動車免許 理由: 治安上の理由	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項 治安上の理由により、自家用車の準備と運転が必要となる。



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号(SL 642 - 13 - D - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D228)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV	
セネガル	冷凍機器・空調			2	26 / 1	日系/短期
				3	26 / 2	
			〇 〇ヶ月	年 月 から		

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 漁業・海事省
	2) 配属先名 (日本語) 水産局零細漁業部 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ダカール州ダカール県ダカール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北 方向 0 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 セネガル水産業の中心である零細漁業は、全就業人口の17%(約60万人)を抱えると共に、水産物は国内の動物性蛋白質摂取量の約7割を占めるなど、水産業はセネガルにとって多面的に重要なセクターとなっている。水産局は水産資源の持続的開発を目的として水産資源管理、水産施設整備、水産物の衛生・品質管理などを担当している。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 日本の無償資金協力である「ダカール中央卸売魚市場建設計画(1期)、拡充計画(2期)」(1997年供与)、「ロンブール水産センター建設計画」(2004年供与)等により水産施設整備が行われたが、供与された製氷機を含む冷凍機器類は経年劣化とメンテナンス不足により、その機能を十分に果たしていないものがある。こうした状況を改善するために修理等のフォローアップ協力が予定されているが継続的なメンテナンスは機器類の機能維持には必須であり、メンテナンスの技術指導を行うボランティアの派遣が要請された。2012年12月に派遣された短期SVがダカール中央魚卸売市場の製氷機の修理を行った。その機能維持のための保守指導が必要とされている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 首都ダカールの水産局を拠点として、以下の活動を行う。 ①ダカール中央卸売魚市場において冷凍・製氷設備のメンテナンス指導を行う。 ②国内複数個所の水産施設を同僚と巡回訪問し、冷凍・製氷設備のメンテナンス指導を行う。 ③調査結果を水産局に報告する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ダカール中央卸売市場内の専用事務所。主に取り扱う機材はTakagi社製および前川製作所製のコンプレッサー等。

資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 保安管理責任者クラス(40~50代)、冷凍技師(40~50代、専門学校卒経験約30年)、電気技師(20代~30代)、英語のレベルは全員日常会話初歩程度。	5) 活動使用言語 (フランス語)
		6) 生活使用言語 (フランス語)
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は フランス語 (レベル: D)

地 域 概 況	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (社会経験) (5年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 冷凍設備保守実務経験 理由: 実践的な内容の指導に必要	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(ステップ) 気温(25~40℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項	



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 066 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年	◎ 1 年
スリランカ	電気・電子機器			○ 1 年	○ ヶ月
				3 /	年 月 日 から
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 2) 配属先名 (日本語) 職業訓練大学 ○ NGO 3) 任地 コロンボ県モラトワ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 南 方向 15 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1983年に国立技術教員養成校として設立され、2009年に職業訓練大学に昇格した比較的新しい大学である。産業職業技術学部、訓練技術学部の2学部、食品加工学科、メカトロニクス学科、情報通信技術ネットワーク学科、情報通信技術ソフトウェア学科など9学科があり、3年間で学位を取得する。				
要請概要	1) 要請理由・背景 要請のあったメカトロニクス学科は2011年に開始された新しい学科で、2013年6月現在、1年生57名(聴講生37名を含む。聴講生の多くは鉄道会社や飲料メーカーなど民間企業の従業員で、資格取得や技術向上が目的。)、2年生20名、3年生19名が在籍している。教授陣は修士または学士を有しているが、メカトロニクス分野については最も経験年数の少ない1名が修士号を有しているのみである。任国では各産業分野で自動制御機器が利用されているが、輸入や外国人によって現地仕様化されたものが多く、現地人技師が十分に育っていない。従って、特に同分野の実習面において様々な事例経験や知見を基にした教育レベルの底上げが求められている。具体的には①PLC、②自動制御のニーズが非常に高く、これに③ロボット工学、④メカトロニクスソフトウェアの各分野が続く。これら分野に対するレベルの底上げを目的としてボランティアが要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生を対象に以下の分野の指導を行い、同僚教授に対して知見や経験の共有を行う。 ①PLC、②自動制御、③ロボット工学、④メカトロニクスソフトウェア ※ニーズの高い優先順位順。③、④はオプションの活動。 ・ライトレースロボット製作など、小規模な自動制御機器プロトタイプ製作のプロジェクトを同僚教授と行い、必要に応じてスーパーバイザー、相談役をつとめる。 ・学生に対する指導は週平均10~15時間。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PLC(SEAMENS-S7-1200)、ロジックプローブ(LP3500)、デジタルパターン発生器(CPG 1367)、マルチメーター(YX-360TRD)、アンプ、スプナやドライバー等の工具など。 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・教授(5名。30~40代。4名は電気・電子機器分野で修士ならびに学士を取得。1名はメカトロニクス分野で修士を取得。指導経験7~13年。) ・学生(1~3学年で100名弱、全員がNVQ=国家職業訓練資格のレベル6を取得済み。正確な比較ではないが、入学時は日本の高専卒程度のレベルに相当。) 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高等専門学校卒) (電気・電子) 理由: 指導に必要 ・経験 () () 理由: ・ メカトロニクス分野の経験3年以上 理由: 指導に必要			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(熱帯) 気温(22~38 ℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)				
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

要請番号 (SL 224 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 4 代目	○ 2 年	1 26 / 2
ドミニカ共和国	電気・電子機器			○ 1 年	2 /
			○ ヶ月	3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 職業技術訓練庁				
	2) 配属先名 (日本語) 職業技術訓練庁北部地域事務所				○ NGO
	3) 任地 サンティアゴ市 JICA事務所の所在地 (サントドミンゴ特別区) から 北西 方向 180 Km 主要都市 (サンティアゴ市) までの交通手段及び所要時間 (徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 国内の労働市場に対しニーズに即した職業技術訓練を行い、人材養成を行う国家レベルの中核機関。略称はINFOTEP。訓練生は14歳から30歳を中心に、幅広い年齢層から募集され、多様な訓練コースを実施している。2011年予算約4000万米ドル、正職員約740名、本部以外に訓練センターを4ヶ所持つ。フランス、台湾などからの援助がある。国内の訓練センターも含め常時6名程度のSVが派遣されている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同国では産業の発展と共にPLC技術が普及しつつあり社会的要請も増している。前々任SVはシーケンサーZENを使用し、PLC基礎コースをINFOTEP講師及び技術者に対して行い、PLCを購入し指導マニュアルを作成した。前任者は、課題実習盤を導入し回路設計の実習を計画している。また、同SV作成のテキストは、正式に教科書として採用され、今後製本される予定である。INFOTEPでは、週1回/合計100時間のコースが年3回程度行われ基礎知識を教えているが、コマンドレベルの指導にとどまり、実機を独力で立ち上げる力量は講師にはない。先代までの知識の蓄積をより確実にして、講師を育成することを目的に、今回の要請に至った。台湾の支援で、三菱電気製、DELTA社製PLCと周辺機器が供与されており、これらの有効利用について適切なアドバイスを行うことも期待されている。				
	2) 予定されている活動内容 (最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 制御盤・制御回路設計の指導及び技術アドバイス (自動制御及び空圧制御回路の基礎を指導) 2. 制御盤・電気設計及びPLCプログラミングの指導マニュアルの作成 (NSJ10及びCX-ONE、SIEMENS社製LOGOを使用)				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 OMRON製PLC、CQM1CPU21、CP1E-N30DR-A、NSJ10-TV00B-G5D、ZEN 及びCX-ONE、PLC実習盤K96-CS1、SIEMENS製LOGO、パソコン				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 電気講座主任 (男性、経験20年 及び 男性、経験10年)、講師他5名 C/Pは30代 (男性 PLC経験3年、大学の電気学科に在籍中)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由 (カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 専門分野での指導が多いため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候 (熱帯海洋性) 気温 (18~34℃位) 電気 (○ 安定 ◎ 不安定 ○ なし) 通信 (☑ インターネット可 ☑ 電話可 □ 無線) 水道 (○ 安定 ◎ 不安定 ○ なし)				
特記事項	インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

要請番号 (SL 227 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	○グループ型 ◎個別	○新規 ◎交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
エルサルバドル	電気・電子機器			◎2年	1 26 / 1
		○1年	2 26 / 2		
		○ヶ月	3 /		
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育省				
	2)配属先名 (日本語) 高等技術学院サンミゲル校				○ NGO
	3)任地 サンミゲル県サンミゲル市 JICA事務所の所在地(サンサルバドル市)から 東 方向 138 Km 主要都市(サンミゲル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4)配属先の規模・事業内容 高等技術学院は日本の専門学校に相当する技術者養成を目的とした2年制の高等技術教育機関であり、卒業時には技術者資格が与えられる。配属先は国内5校の一つであり、1998年に教育省から教育開発企業財団(FEPADE)に運営委託され、電気工学、土木工学、情報工学の3学科、学生数は約380名、教職員数約30名である。機材供与など韓国をはじめとした国際協力が行われている。2013年6月現在、高等技術学院へのJICAボランティア派遣は4名(本校に自動車整備SV・料理JV、東部2校に青少年JV、前任者となる電子工学SV)、韓国専門家1名、台湾ボランティア1名が活動中。2013年の年間予算は約25万米ドル。				
要請概要	1)要請理由・背景 電気工学科は2年制屋間部であり、2012年の学生数は約100名、教員4名である。当国の電気通信法に基づいた23キロボルト以下の電気工作物(配電設備、屋内配線など)はじめ電気機器全般、照明に関する指導が、理論と実習授業および外部実習から構成されるカリキュラムに基づいて行われており、英語、数学、物理の基礎教科も組み込まれている。電子分野では、同分野全般の基礎的な内容を指導する電子工学の1科目のみである。最近、配送電や工場設備の分野においても電子化が進んでいることから、配電設備やモーター制御(PLC)等電力を扱う分野での電子分野の指導内容を充実させたとしてボランティアが要請された。現在派遣中ボランティア(2004年3月末まで)はこれを受け、パワーエレクトロニクスに焦点をあてつつも、まだ脆弱な基礎的な知識を中心に教員や学生への指導及び同科目カリキュラムの改善点の提案を行っている。				
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の電気工学科に所属し、同僚教員と共に以下の活動を行う。 1.電気工学科指導カリキュラム、特に電子分野の見直しに協力する。 (PLCを用いたモーター制御、直流電流を変換するためのインバータなど) 2.直流回路、交流回路、発電、送電、配電、屋内配線などの、照明、音響 など既存の指導内容の向上を図る。 3.実習室の環境改善に関する助言を行う。(既存の機材は古い物が多く、派遣中ボランティアが修理し使用している物も多い。また、同僚教員の技術者としての経験が不足気味であるため実習の内容向上を図り、学生には実習を通じた電子分野への関心興味を高める。)				
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 オシロスコープ(TEKTRONIX社 TDS1012C-EDU)、PLC実習設備(シーメンス社製)、実験用直流電源、テスター、ファンクション、ジェネレータ、一般工具				
資格条件等	4)配属先同僚及び活動対象者 ・電気学科長:男性、30歳代、(高等技術学院サンタテクラ校自動車科卒業後、大卒) ・常勤教員:男性1名、20歳代、同学科卒業生 ・非常勤教員2名:男性、60歳代、大卒、及び女性、30歳代、同学科卒業生 ・学生:男性111名、女性1名、18~20歳代			5)活動使用言語 (スペイン語) 6)生活使用言語 (スペイン語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高等専門学校卒) (電気・電子) 理由:教員への助言が必要のため ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:教員への助言が必要のため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○單車 ○自転車 ◎不要 現職教員特別参加制度 ○可 ◎不可	
地域概況	気候(熱帯) 気温(15~35℃位)		電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 水道(◎安定 ○不安定 ○なし)		
特記事項	通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号 (SL 245 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
メキシコ	電気・電子機器			○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省産業技術教育局				
	2) 配属先名 (日本語) 第115工業高校				○ NGO
	3) 任地 セラヤ市 JICA事務所の所在地(メキシコ・シティ)から 北西 方向 200 Km 主要都市(グアナフアト)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、JICAの技術協力プロジェクト「日墨技術教育センタープロジェクト」を前身とする教育省産業技術教育局傘下の工業高校であり、電子通信科、産業電子科、プログラミング科、金属製造科、機械工具科等の学科を有する。教員数は約50名。生徒総数は約1,200名。生徒の年齢は16~20歳。卒業後の就職率は約30%(残りは進学)。JICAは、本配属先に対してボランティア派遣以外に、本配属先「第3国研修」などのスキームでの協力を検討している。日本以外に外国援助機関等からの援助受け入れ実績はない。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同校の存在するグアナフアト州は自動車の外装部品(ワイヤーハーネス、ドアトリム等)や白物家電(洗濯機、冷蔵庫等)の製品を中心とする産業が集積し、第115工業高校は多くの中堅技術者を地域の製造業へ供給してきた。しかしながら産業技術の進歩が著しい中適切な、電気・電子機器分野の知識を有し、即戦力となりうる技術者を育成していくためには、同校の教育カリキュラムの再検討及び教員自身の能力強化が不可欠である。かかる状況下、2011年より2名のSV(電子通信、工業電子装置)及び1名のJV(コンピューター技術)を派遣中である。配属先には元JICA研修員として1か月程度の訪日経験を持つ教員が4名おり、中には基礎レベルの日本語を話す職員もいる。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚教員が以下3)の機材を使用して実施する「電気・電子機器関連学科」の授業を診断し、改善に向けての提言を行う。 ①プロセス制御を中心とした工業電子および電気コントロール、デジタルエレクトロニクス関連講義 ②オートメーション制御における工業電子装置関連講義				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 オシロスコープ(Agilent社DSOX2002)、電流プローブ(Agilent社100kHz)、空気圧制御実習装置(Festo社)ほか				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 産業電子科教員1名(修士、40代、男性)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 関連職種での実務経験10年以上 理由:現場での実務指導が必要なため			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可	
地域 概況	気候(亜熱帯性気候) 気温(10~30℃位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし)				
特記 事項					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 SV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

要請番号 (SL 306 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ボリビア	電気・電子機器			◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省				
	2) 配属先名 (日本語) アントニオ・ベルタ職業訓練校				◎ NGO
	3) 任地 コチャバンバ県ティキバヤ市 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 南東 方向 350 Km 主要都市(コチャバンバ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.25 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、カトリック教会系の教育NGO「信仰と喜び」に属する職業訓練校で、「子どもの町学園」内に設置されている。敷地内には「子どもの町小・中学校、高等学校」と「子どもの町児童養護施設」がある。元々は児童養護施設が最初に設立され、その後入所している子どもたちの学習のために小学校・中学校及び高校が、また入所児が成人して就職する際の支援となるよう職業訓練校が設立された。現在は養護施設の児童だけではなく地域の青少年も同校へ通学している。高等学校の学齢の生徒たちが、普通授業の終わった時間帯に自動車整備科、工業機械科、電気科、電子科の4コースのいずれかで学んでおり、主に16~20歳の生徒500名が在籍。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同校の課程(2年間)を修了した学生は中級技術者の資格を得ることができるが、就職機会や賃金の面では上級技術者(3年6か月の資格を得ることがより有利である。そのため、同校では上級技術者の資格を授与できるようカリキュラム整備や実習機材等の調達を進め、当国教育省から認可を受けた。しかしながら、実際に授業を開始するためには、教員に対し実際に適切な授業が行えるよう、教材の整備や教授方法、実習機材の活用法などについての支援・助言を行う必要がある。特に電子科は入学を希望する学生が多い一方で、上級技術者コースの整備が遅れていることから、今回の要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先電子科において上級技術者コースが開設され、円滑に授業を行えるよう同僚教員らに対し以下のような支援を行う。 1. 現在準備されている電子、電気の教科に関するカリキュラムを見直し、適切な内容にする。 2. 実際に授業を行えるよう、教科書や教材、指導書などの準備を行う。 3. 実習教室に実習機材を適切な形で設置し、授業で正しく活用されるよう準備をする。 4. 現在授業が行われている電子科中級コース及び電気科に対しても、内容の精査を行い、質・効果の高い授業となるよう助言をする。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ・PLC(AC入力)(OMRON,ZEN20C3AR-A-V)・PLC(DC入力)(OMRON,ZEN20C3DR-D-V2)・モーター制御、4階エレベータ、X-Y位置決制御用実習装置(自作)等、他				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 子どもの町学園 園長(40代、男性、カトリック神父、イタリア人) 学園コーディネーター(30代、男性、イタリア人) 配属先校長(40代、男性) 配属先コーディネーター(30代、男性、電子工学専門) 電子科学生(16~20歳、1年~3年各クラス約20名)		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: D) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由:業務上必要 職業教育に携わった経験 理由:業務上必要			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域 概況	気候(高地温暖) 気温(5~30℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記 事項	通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線)				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

要請番号 (SL 306 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV
ポリビア	電気・電子機器			2	26 / 1
				3	26 / 2
					年 月 から

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) 財団法人INFOCAL職業訓練学校コチャバンバ校 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 コチャバンバ県コチャバンバ市 JICA事務所の所在地(ラバス市)から 南東 方向 350 Km 主要都市(コチャバンバ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、国内の労働者の技術向上を目的として1988年に国立の職業訓練校として設立された。その後1996年には労働省から非営利財団として独立した。全国9県の県庁所在地に分校があるが、それぞれが各都市の商工会議所などの支援により独立採算で事業展開している。コチャバンバ校は、電子科の他、機械科、自動車整備科、保育科、調理科など9コースを開設しており、中級・上級技術者の育成を行っている。本件前任者である電子科の他、情報科にJV1名が派遣、また教育カリキュラム改善支援のSV1名の計3名が派遣されている。配属先全体の学生数約3000名。電子科の学生は550名。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先は、現在派遣中のSVの協力により電子科の実習環境の整備を進めており、2012年には「草の根・人間の安全保障無償資金協力」によりメカトロロボⅢ、センサー実験装置、三相交流実験装置、PICマイコン制御装置、三次元ロボットアーム、数値制御ルーター、LEGO学習ロボットが導入される運びとなっている。派遣中SVはこれの設置及び操作の指導を行い、教員が授業へ適切に導入できるように支援をすることとしているが、今後も継続的に実習授業で活用されるよう、また適切にメンテナンスが行われるよう支援を行う必要があることから、本要請がなされた。本件は後任要請であるが、特にPICマイコンを活用したアプリケーションソフトの開発指導も求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の同僚教員と協力し、以下の活動を行う。 1. 実習機材を適切に導入・活用するため、特に以下について技術指導・支援を行う。 (1) PLCの操作やPICマイコンの活用の指導を行う。また、同アプリケーションソフトの開発も支援する。 (2) 配属先で作られたロボットアームの開発支援を行う。 (3) LEGO学習ロボットやロボットアームを実習で使用するためのマニュアル作成を支援を行う。 2. 5Sの導入や、定期保守実施の定着により、実習環境を良好に保つことを指導する。 3. その他、授業の質が改善されるよう、種々の助言を行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用機材(エレベータ装置、X-Y位置決め装置、模擬充てん包装装置、モータ制御装置、コンベアー搬送・選別装置、回転式駐車場、その他)の導入機材、実験機材(PLC(オムロン、シーメンス)等)など
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先キャンパス長(30代、男性、機械科長) 学科長(40代、男性、電子工学専門) 同僚教員:制御関係・電子関係各3名、機器関係・基礎関係・電力関係各2名、コンピュータ関係1名 電子科学生約550名(中級及び上級技術者):15クラスで学生数は各クラス15名~40名

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由:業務上必要 PICを使った制御回路設計経験 理由:業務上必要	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(高地温暖) 気温(5~30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

要請番号 (SL 315 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV
コロンビア	電気・電子機器			2	26 / 1
				3	/
					日系/短期

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健・社会保障省
	2) 配属先名 (日本語) 国立職業訓練庁カルダス地域局 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 カルダス県マニサレス市 JICA事務所の所在地(ボゴタ市)から 西 方向 280 Km 主要都市(マニサレス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩)で約 0 時間
	4) 配属先の規模・事業内容 様々な分野の技術者育成を目的に設立された独立性を持つ公的機関。1957年にILO(国際労働機関)、コロンビア労働組合、カトリック教会が主体となり設立された。全国32県とボゴタ首都圏に地域局を持ち、116のセンターにおいて長期(1~2年)・短期(40~80日)の無料職業訓練コースを運営している。年間約70万人の技術資格者を育成し、短期のコース受講者は300万人以上に及ぶ。本件要請は人口約40万人の地方都市に位置する地域局の産業オートメーションセンターが活動先となる。同地域局の年間予算は約160万米ドル。

要請概要	1) 要請理由・背景 同配属先においては貧困層の10代若者を中心に、電気・電子回路の基本を学ぶ基礎的な訓練から、自動制御生産の開発・設計といった応用的な訓練、また民間企業からの委託を受けた機器メンテナンスなどの実践的な訓練に至る、様々なレベルの訓練が実施され、短期・長期を合わせ年間約3万人が受講している。2012年11月より「自動制御生産装置」を専門とするSVが赴任し、主に教員の指導技術レベル向上を目指した活動を行っている。同配属先においては、実際の現場における技術の向上を目指した指導が進められているが、基礎理論の指導については教員側の知識・経験に欠ける部分があり課題として捉えられている。こうした中、同SVは電気・電子分野の基本的な理論の理解の重要性を説いてきた。また自身の経験を活かした太陽光発電技術の紹介なども進めている。こうしたSVとの活動経験を通じ、更なる活動の定着を目的として後任派遣の要請へと繋がった。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先における訓練生への指導内容の観察を通じ改善点を提案する。 2. 上記改善点については技術的な側面以上に基本的な理論指導に焦点を当てた提案が期待される。 3. 電気・電子回路、自動制御の基本理論についての教員を対象とした講義も期待される。 4. 太陽光、風力等の再生可能エネルギーについての実験などを通じた紹介も期待される。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 自動制御生産装置の設計・製作を学ぶのに必要な訓練機材は揃っている。その他、一般事務設備、ソーラーパネル、充電用バッテリーも活用可能。
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・カウンターパートは大卒(電子専攻)の30代男性。指導経験は5年以上。 ・常勤教官は計16名。指導経験年数は2~3年から20年以上まで様々。 ・訓練生は1クラスあたり約25名。貧困層の10代若者が中心。

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (電気・電子) 理由:理論的な指導が求められる ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:経験に基づく指導が求められる 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(熱帯高原) 気温(10~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項	
------	--

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 324 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
パラグアイ	電気・電子機器			2	26 / 1
			○ 2 年	2	26 / 2
			○ 1 年	3	/
			○ ヶ月	年 月 から	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 司法労働省
	2) 配属先名 (日本語) 職業能力開発局 日本パラグアイ職業能力促進センター <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 セントラル県サンロレンソ市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 東 方向 10 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.7 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同センターはパラグアイの産業近代化を図るため、電子技術分野を中心とする技能労働者育成を目的として設立された。首都アスンシオン近郊のサンロレンソ市に立地した施設であり、一般対象の職業訓練短期コースと2年制の短大コースを併設している。受講生は一般コースが年間1000人以上であり、短大コースは各科(5科)各定員15名である。5科とは電子科、電気科、制御科、情報科、冷凍空調科である。2002年から2004年まで職業訓練の提供及び同技術者を養成するための技術協力プロジェクトがJICAにより実施された。本要請の配属先は電子科となる。現在1名のSVが制御科で活動中である(2014年3月まで予定)。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 上記技術協力プロジェクト終了後5年が経過した2009年から当該分野における中堅技術者育成のための2年制の短大コースが新設されている。パラグアイでも徐々にではあるが工業化が進んできており、日進月歩の産業界のニーズに合致した教育・実習内容の改善が課題となっている。特に電子技術分野では優秀な技術者は企業などに就職するケースが多く、教師の育成及び指導内容のレベルアップのためにSVが要請された。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 電子科に所属し以下の活動を実施する 1.教師陣に対しシミュレーションソフトを使ってデジタル回路設計(PLD、DSP、PIC、マイコン)及びアナログ回路設計の指導をする 2.実習機材整備にアドバイスする 3.関連分野の生徒に対して講義を実施する
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パワーサプライ、レギュレータ、信号発生機、オシロスコープ、マルチメータ、シミュレーションソフト(Proteus、Multisim、MPLAB等)、コンピューター等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 教師、男性 20代後半 教師、男性 20代後半 教師、男性 20代前半 生徒 2年制短大コース(1学年15名程度)、短期コース一般生徒

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (電気・電子) 理由: 同僚が同等以上のレベルの為 ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地 域 概 況	気候(亜熱帯) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

特 記 事 項	
------------------	--



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 14 日

要請番号 (SL 327 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D230)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ペルー	電気・電子機器				1	26 / 1
		2	26 / 2			
		3	/			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁					
	2) 配属先名 (日本語) 全国工業労働訓練機関(SENATI)ランバイエケ・北部カハマルカ地方局				○ NGO	
	3) 任地 ランバイエケ州チクラヨ市 JICA事務所の所在地(リマ市)から 北 方向 780 Km 主要都市(チクラヨ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 全国工業労働訓練機関は全国に14か所の地域事務所を持ち、各地域事務所が域内複数のセンターを管轄している。配属先ランバイエケ・北部カハマルカ地方局は、SVが活動するチクラヨセンターを含め3つのセンターを統括。年間予算は約415万ドル。チクラヨセンターでは、電子・電気技術、農産物加工、生産機械、自動車整備、縫製等、各種訓練コースが開講されている。SVが携わる電子・電気技術コースの講師数は25名、学生数はデュアルコースの学生及び社会人コースの受講生合わせて約600名。デュアルコースは6ヶ月単位の2期制で3年で修了。第1期は基礎理論等の学科、第2期以降は主に域内の企業に赴いての実習となる。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 任地はペルー北中部沿岸地域。域内の水力発電事業を基盤として、砂糖(サトウキビ栽培から精製)、コーヒー(精製)、ビール、米(精米)といった農産品の加工プラントが多数ある。地域経済発展に伴い、これらの産業を支える技術者の育成が急務であり、配属先もその一翼を担うべく人材育成に力を入れたい意向である。そのため、特にオートメーションシステム(自動制御)分野において、特にPLC、生産ライン制御、速度制御等の扱いに長けた技術者の育成を目指すため、現在の教授カリキュラムや実習室施設の改善、講師の質の向上を図る方針である。SVは主に実習授業内容の改善や更新及び新しい産業技術に見合った講師の専門性や指導力の向上のために支援する。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 電子・電気技術コースにおいて実習内容の改善、更新、及び講師の専門性や指導力向上のため、次の活動を行う。 ① PLC、生産ライン制御、速度制御等の技術に関する指導助言(講師研修会、学生への実習授業のモニタリング等) ② 現行カリキュラムや指導マニュアル改善のための助言 ③ 実習室の設備改善のための助言 ④ 学生の企業実習の際のモニタリング支援 ※第2期以降は週のうち4日は企業での実習、1日はセンター内での授業となる。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PLC(Siemens S7-200/300, Micrologix 1400 Allen Bradley等)、空圧式・油圧式機械(FESTO)、デジタルオシロスコープ、速度制御機(Siemens)、他					
要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 電気機械工学講師 男性50歳(工業電気機械教諭として経験15年、教員経験22年) 対象者: 電子・電気技術分野講師 25名		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 講師育成のため 理由:		活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可			
資格 条件 等	地域 概況		気候(砂漠) 気温(20~30 ℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)			
特記 事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号 (SL 642 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	○グループ型 ◎個別	◎新規 ○交替 代目	1	JOCV/SV
セネガル	電気・電子機器			2	26 / 1
			○ 2 年	26 / 2	年 月 から
			◎ 1 年	/	
			○ ヶ月		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 職業訓練・研修・手工業省				
	2) 配属先名 (日本語) 青年職業訓練センター				○ NGO
	3) 任地 ダカール州ダカール県ダカール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 南 方向 15 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1976年にYMCAIにより青年育成のもと設立されたが、現在は職業訓練・研修・手工業省の管轄となり土木工学、電気・電子機器、金属加工の3課程があり、修業年限は2年、学費は無料である。総学生数は183名、指導員22名、行政職15名。年間予算は約260万円。電気・電子機器の韓国KOICAボランティアが2012年3月から2014年2月まで活動しているが後任要請はなされていない。技術者向けの免状取得のため2年間の夜間のコースが設けられているが、学費は自己負担となる。卒業直後の就職率は10%であるが、卒業後技術者免状を取得し、3年後までには100%が就職している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同センターの電気・電子機器課程において、指導員は知識はあるが実際の修理、メンテナンスになると経験が少ないため技術がとまなわれないことがよくある。また、同国における電気・電子機器分野への関心も高まっており、公共施設、電気整備会社等からは優秀な人材育成が望まれている。ボランティアは、実習を強化し学生の能力を向上させるとともに、指導員への指導方法や指導案についても提案・助言を行う。対象学生は54名。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①一般家庭用電気・電子機器の修理、パソコンのメンテナンス・修理等において、指導員への提案や助言を行う。 ②指導員の行う授業・実習において、修理・組立実習指導の手法や実習計画立案、実習テキスト作成の協力をを行う。 ③指導員や学生との情報交換、提供を行い学校の活性化に協力する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 配電盤、電流計、変圧器、電圧計、ブレーカー、電力計、各種スイッチ、各種ブレーカー、各種コンセント、各種リレー、分電器、タイマー、基本計測器、配線、鉄製フレーム				
要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:50歳代 指導員:30~40歳代 22名(内、電気科指導員3名、電気科指導員助手4名) (主指導員は3名はPC技術者免状取得後5~10年の実務経験を有する) 行政職:15名 学生:電気電子課程 54名(20~25歳、理系高校2年以上を終了)			5) 活動使用言語 (フランス語)	
				6) 生活使用言語 (フランス語)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります)			活動上の単車/自転車の必要性	
	・免許 () 又は ()			○単車 ○自転車 ◎不要	
	・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:助言や指導を行うため 理由:			現職教員特別参加制度	
			○可 ◎不可		
地 域 概 況	気候(ステップ) 気温(15~40℃位)			電気(○安定 ◎不安定 ○なし)	
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			水道(○安定 ◎不安定 ○なし)	
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号 (SL 642 - 13 - D - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D230)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
セネガル	電気・電子機器			2	26 / 2
			3	/	年 月 日
1) 受入省庁名 (日本語) 国民教育省					
2) 配属先名 (日本語) 理科技術教育設備調整課					<input type="radio"/> NGO
3) 任地 ダカール州ダカール県ダカール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北 方向 0 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、全国に8つある、中学・高校向けの理科教育のための施設を管轄している。当国では各学校に理科室がないため、周辺の複数の中学・高校の理科教育の時間に、生徒を施設に集めて実験授業を行っている。配属先は授業内容などを決定・管理する課と、物品管理およびメンテナンスを行う課からなる。各地方施設で修理できない物品がある場合、配属先の職員が赴き修理する。ベルギーの援助が入り、メンテナンス課に技術者が来て指導をしたり、教員らの研修費用を負担した。					
1) 要請理由・背景 各地方施設に設置された機材は既に十数年使用されており、故障が多い。国民教育省に予算はなく、新たに買わず修理して使っている。配属先のメンテナンス課には電子機器2名、電気機器1名、視聴覚教材1名、PC1名、木工2名、溶接2名の専門職員が配置され、壊れた物品の修理を広く請け負っている。実験を見せるための道具も少なく、自作しているものもある。修理をしているが知識が足りず直せないものがあり、ボランティアの要請となった。また、故障を避けるための維持管理方法、使用方法などの指導も望まれている。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・同僚とともに電流計(アナログおよびデジタル)、電圧計(アナログおよびデジタル)、顕微鏡、双眼鏡、カメラ、プロジェクター、オシロスコープの修理を行う。 ・同僚とともに物品管理表を作成する。 ・同僚とともに軽微なPCの修理を行う。 ・維持管理方法、故障の起きにくい使用方法などを紹介するとともに、簡単な維持管理マニュアルを作成する。 ・工場の整理整頓について指導する。					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 簡単な工具一式					
4) 配属先同僚及び活動対象者 メンテナンス課長(40代/専門学校卒/経験30年)、電気メンテナンス課職員(20代/専門学校卒/経験5年)				5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は フランス語 (レベル: D)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況 気候(ステップ) 気温(25~40 °C位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 29 日

要請番号 (SL 475 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
チュニジア	(コード D231) 電気・電子設備			<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1	26 / 2
					2	/
				3	/	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 職業訓練・雇用省 2) 配属先名 (日本語) クラム職業訓練センター(CFPT) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 チュニス県クラム市 JICA事務所の所在地(チュニス市)から 北東 方向 10 Km 主要都市(チュニス市)までの交通手段及び所要時間(車で約 0.2 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は職業訓練庁(ATFP)の傘下の機関で、1993年に設立された、チュニジアで唯一エレベーター保守の学科を持つ職業訓練センターである。訓練期間は2年間で、3種の異なる技術士の資格(BTP/CAPなど)を取得出来るコースに分かれており、冷凍・空調、電子自動制御、工業機器保守など10の学科がある。訓練生数は約600名、教員数は約50名で年間運営予算は約2千万円である。イタリアの協力で開設したが、現在、外国からの技術援助は特でない。					
要請概要	1) 要請理由・背景 現在、エレベーター保守の2名の教員が指導をしているが、専門的な経験は浅い。また、新たに3基の訓練用エレベーターが既存の2期の老朽機器の代わりに設置されたのに伴い、エレベーターの設置・保守に関して経験のある技術者から知識・技術に関して協力を得ることを目的に要請がなされた。クラスは、2クラスに学生が約20名ずつ在籍しており、学生は、訓練センター内の授業の受講と外部企業における実習とを交互に行っている。なお、チュニジアにおいてエレベーター保守技術者の需要は多く、卒業生自身が会社を設立し後輩を雇用している例もある。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先のエレベーター保守科において、以下の業務を行う。 ①担当指導教員に対し、エレベーター保守技術に係るアドバイスをを行い、授業が円滑に進む様に補佐する。 ②同科目の指導内容改良に関して、アドバイスをを行う。 ③同科学生にも適宜、直接指導を行う。					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 訓練用Hyundai製エレベーター3基(3階まで移動可能)、イタリア製エレベーター2基(取り外してある) 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長を含むセンター教員数約50名、内女性10名。 ・指導対象者:担当科目教員2名(一人は機械、他は電気が専門) ・学生:約600名 平均年齢23歳、女性は数名。 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由:業務内容上必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~46 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	現地においては、フランス語も通用するが、一般的に口語においては、アラビア語チュニジア方言が使われている。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 30 日

要請番号(SL 048 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D233)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	日系/短期
ブータン	建設機械			1	26 / 1	年 月 日 から
				2	26 / 2	
		3	/			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 人事院
	2) 配属先名 (日本語) 建設開発公社ヘソタンカ工場 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ウォンディフォーダン県ヘソタンカ村 JICA事務所の所在地(テンブー市)から 南東 方向 75 Km 主要都市(バジョ町)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は、公共事業省道路局から公社として独立した組織である。幹線道路建設機械を道路局やゼネコンなどに貸し出し、その利益で運営していくことが求められている。建機の多くは我が国で無償供与された機材であり(第1~3次道路建設機材拡充計画)、これらの機材を良好な状態に管理・メンテナンスする整備工場が東部、西部、南部3か所に設置されている。当国西部地区を管轄するヘソタンカ整備工場は、現在7km離れたところに建設中(2013年完成予定)の新工場に移転予定である。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 我が国無償資金協力によって、幹線道路整備のための道路建機が供与され、ブータン東西を結ぶ幹線道路の整備は著しく向上した。しかし、標高3000mを超え、強固な岩盤の地域もある等過酷な稼働環境のため、道路建機の修理頻度が高まっている。さらに、最近の建機は構造が複雑化、電子化していることもあり、ブータン人スタッフでは対応が困難なケースも増えており、経験豊富なJICAボランティアの要請となった。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) <ul style="list-style-type: none"> 故障する道路建機の修理や部品の調達に関する助言。 道路建設機械の保守整備と、建機が適切に管理運営されるシステム作りを支援する。 溶接や組み立て機械の修理や部品の調達に関する助言。 整備スタッフ対象の研修企画・実施
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 掘削機(KobelcoSK-200,115, CAT-312), Wheel Loader(CAT910 916), Bulldozer(CATD4H D5M), Motorgrader(三菱MG330)

4) 配属先同僚及び活動対象者 メカニカルエンジニア17名。(経験:数年~15年、年齢:25歳~40歳、学歴:大学1名、短大4名、高校12名) 溶接10名(25歳~35歳)	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)
--	--

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導上で最低の経験年数 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可
-----------------------	---	---

地域概況	気候(温帯性) 気温(5~35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 13 日

要請番号(SL 469 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D233)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
モロッコ	建設機械			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1 2 / 3 /
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 設備・運輸省				
	2) 配属先名 (日本語) 道路保守・建設機械訓練センター				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 テマラ県スキラット市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 30 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同センターはわが国の無償資金協力により1993年に設立され、モロッコ唯一かつ西アフリカでも有効の建設機械の訓練センターであり、道路整備・保守事業にかかわる技術者を育成している。1993年設立当初よりJICAから機材供与を行うとともに5年間の技術協力プロジェクトを実施し、訓練コースの立ち上げ・運営のための技術支援を行い、重機運転技術、重機整備、道路保守整備、重機整備管理の4部門で訓練を実施している。現在は1名の長期SV(建設機械)が派遣されている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 同センターでは訓練用に主にKOMATSU製のグレーダー、ブルドーザー、振動ローラー、パワーショベル、ホイールローダー、クレーン車、整備設備積載車、ダンプカー、軽油積載車、トラクター式ショベルなどの重機を保有しているが、このうちグレーダーおよびパワーショベルの運転操作につきさらなる技術向上が求められており、今回の要請につながった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.グレーダー、パワーショベルの運転操作について地勢にあわせた運転技術を訓練生に指導する 2.グレーダー、パワーショベルの運転技術指導法を講師に伝授する。 3.グレーダー、パワーショベルの使用年数を伸ばすべく重機の取り扱いについて助言指導する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ブルドーザー KOMATSU D85EX-15、パワーショベル KOMATSU PW200-7K(B)/PC200-7、トラクター式ショベル KOMATSU WB93R等				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長(男性40代) 部門長4名(男性50代中心) 講師13名(男性40-50代)			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (V/M: C) 又は (V/M:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:実務指導を伴うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(5-35 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号 (SL 551 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D233)	◎ グループ型 ○ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	1	JOCV/SV
ザンビア	建設機械			◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	2
				26 / 1	年 月 日
				26 / 2	から
				/	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省				
	2) 配属先名 (日本語) ノーザン職業訓練大学校				○ NGO
	3) 任地 コッパーベルト州ンドラ市 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 300 Km 主要都市(ドラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1959年に設立された歴史のある国立の職業訓練校であり、自動車科、電子工学科、溶接科等の学科を有し、ザンビアの産業人材育成を担う中核校として知られている。学校全体の学生数は約2,400名で、重機修理科は約450名が在籍している。ボランティアが配属される重機修理科は、建設機械の修理技術を学習できる数少ない教育機関で、卒業生は鉱山関連の会社へ就職したり、地方の職業訓練校の講師になったりしている。なお、現在、自動車科において、SVが活動中である。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 急成長しているザンビア産業界において、市場のニーズに合った人材育成は遅れている。そのため、需要があるにもかかわらず建設機械のメンテナンスや修理を外国人技術者が行うことも少なくない。また、職業訓練校の講師は、座学中心で教科書で理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、産業ニーズを汲み取った授業を行うことが難しい。この状況のなか、日本の現場で豊富な実務経験を積んだSVの協力を得て、学校教育の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、ボランティアの要請があった。初代となる同SVには、学生および講師に対する建設機械修理の基礎的な技術指導(理論も含む)が期待される。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生に対し、講義および実習指導を行う。 ・同僚講師の授業に対し、助言および指導を行う。 ・重機修理科に対して、カリキュラム改善等の助言を行う。 ・重機修理科において、5S等のカイゼン指導を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 建設機械(掘削機、ブルドーザー)、各種コンポーネントの不動パーツ(エンジン、トランスミッション等)、油圧シミュレーター、グラインダー、溶接機器、整備工具一式等				
要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・学科長 60代/男性 ・同僚講師 9名/30~60代/男性および女性 指導対象者 ・国家試験合格者(日本でいう高校卒業者)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (V^N: B) 又は (V^N:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)				
資 格 条 件 等	・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 指導上必要 ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導上必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地 域 概 況	気候(サバンナ) 気温(5~35℃位)			電気(○ 安定 ◎ 不安定 ○ なし)	
	通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線)			水道(○ 安定 ◎ 不安定 ○ なし)	
特 記 事 項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

要請番号 (SL 139 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D234)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
サモア	船舶機関			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> 月	1 26 / 1
			2 26 / 2		
			3 /		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 財務省				
	2) 配属先名 (日本語) サモア船舶公社				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ウポル島 マタウツ JICA事務所の所在地 (アピア) から 東 方向 1 Km 主要都市 (アピア) までの交通手段及び所要時間 (徒歩 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 サモア政府経営の国営企業であり、現在5隻のフェリーボート及び1隻の観光船を所有している。フェリーボート3隻は日本で建造し無償資金協力にて供与されている。フェリーは国内航路と国際航路があるが、当国の主要な島であるウポル島とサバイ島を結ぶ航路は1日に何度も往復されており、国民生活及び物流の大動脈となっている。職員数は、事務所及び作業場で65名、船員60名の計125名。2013年には、船員養成校を開校する予定である。2013年3月末までSVが船舶機関として技術者の能力向上のため活動していた。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 日本政府の無償資金協力にて3隻のフェリーボートが供与されており、それらボートのメンテナンス及び船舶運営管理に対する労働者のキャパシティビルディングのため、過去に専門家及びSVを派遣してきた。フェリーボート故障時には、OJTを通して助言してきたが、ワークショップ責任者及び電気系統技術者へは更なる知識・技術向上が求められており、今回の要請に至った。 また、同公社が2013年に開校を予定している船員養成学校にて、電気系統の講義を受け持ち、生徒へ教授することも期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.主に船舶の電気系統の修理及びメンテナンスに係る助言 2.電気関係技術者(メンテナンスチーム)にトラブルシューティングなどのワークショップを行う 3.船員養成校にて英語で講義を行う				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室、コンピュータ				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ワークショップ責任者(男性、40代) 電気系統技術者(男性、20代)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 技術的な助言が必要のため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(20~35 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 16)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D234)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
モロッコ	船舶機関			1	JOCV/SV	年 月 から
				2	26 / 1	
3	/	2	/			
1) 受入省庁名 (日本語) 農業漁業省						
2) 配属先名 (日本語) ララシュ水産技術学院(ITPM)					<input type="radio"/> NGO	
3) 任地 ララシュ県ララシュ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 150 Km 主要都市(タンジェ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 ララシュ水産技術学院は、我が国の無償資金協力により建設された。2001年から5年間、技術協力プロジェクト「零細漁業改善普及システム整備計画」が実施され、学院内に全国水産普及センターが開設された。現在3名の水産普及員が配置されており、全国の普及センター支部との連絡調整、及びララシュ県内の零細漁業者に対する改善普及活動を行っている。						
1) 要請理由・背景 農業漁業省は零細漁業分野の近代化をはかるべく、零細漁村のインフラ整備と漁民の生活レベル向上を漁業振興政策の優先課題として取り組んでいる。その優先課題の中で海難事故防止にかかる安全対策が求められているものの、依然として海難事故が多発していることから、具体的な対応として船外機の保守整備体制の見直しが検討され、技術的なアドバイザーとして経験のあるSVが要請された。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ララシュ水産技術学院で以下の指導を行う 1.船外機保守点検管理の研修実施 2.同学院内の全国水産普及センターと連携し、零細漁民を対象とした保守点検指導のあり方に対する助言						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 船外機カットモデル、船外機(YAMAHA製)、機関科実習室、普及啓発活動用車両(トラック)、製本機、印刷機、PC、プリンター						
4) 配属先同僚及び活動対象者 水産技術学院長(男性・50代) 全国普及センター長(男性・40代) ララシュ地区普及責任者(男性・50代) 水産普及員(男性・40代)				5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は (船用機関整備士) ・性別 (男性) 理由: 同僚の漁民が男性のため ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導者への助言を含むため 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況 気候(半乾燥気候) 気温(5~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

要請番号(SL 009 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
マレーシア	自動車整備			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1	年 月 日 から
					2 26 / 2	
			3 /			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 人的資源省					
	2) 配属先名 (日本語) 上級技術訓練センター(ADTEC)シャーアラム校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 セランゴール州 シャーアラム JICA事務所の所在地(クアランプール)から 南西 方向 40 Km 主要都市(シャーアラム)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 産業界の熟練技能者の養成を目的とし、また地域の職業能力開発の中核的役割を担うために全国に8校配置されているセンターのひとつ。シャーアラム校には自動車製造コース、航空機メンテナンスコース、溶接コース等9コースがあり、これまでに電子、電気、メカトロニクス分野と職業訓練就職課の運営指導分野にSVが派遣されてきた。年間予算は2.8億円。マレーシアでは国産車の品質向上のための技術者養成に取り組み、その一環として配属先ではJETROが実施した貿易円滑化投資事業で海外人材育成協会が日産自動車の協力を得て自動車技能者の人材育成を実施した(MAJAICOプロジェクト2006年~2011年)。					
要請概要	1) 要請理由・背景 職業訓練校としての能力強化の為、各コースの指導力強化と就職支援の両分野にてJICAボランティアを派遣してきている。配属先ではMAJAICOプロジェクト実施前は、自動車関連分野ではメンテナンスコースしかなかったが、MAJAICOプロジェクトにより施設の整備と教師向けの155の講座が実施され、2012年から自動車製造ディプロマコースが新設されることとなった。このディプロマコースでは自動車の製造ラインにある一連の作業である溶接や組み立てライン、配線、ロボット技術等について授業が行われているが、現地人講師のみの授業運営では経験の浅い教師が多く、講義内容や実習の内容に関し知識が不足しているため、講義や実習の質の向上のためSVの要請に至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 日産の自動車製造工程を基本に作られた同校自動車製造ディプロマコースにおいて、ボランティアは以下の業務を実施する。 1.自動車製造ライン(溶接、組立、配線等)のカリキュラム、授業内容に対して必要な助言をおこなう。 2.実習の実施内容に係る改善のための助言を、自動車製造についての授業運営の経験が浅い講師に対しておこなう。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室 パーソナルコンピューター、固定電話、インターネット					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 メカニカル訓練科講師 7名、30代、短大卒、経験5年程度 産業訓練科講師 3名、30代、短大卒、経験5年程度 学生は18歳以上			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) (機械工学) 理由: 教員指導が含まれている為 ・経歴 () () 理由: 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	学内の教員住宅または市内のアパートに居住することになるが、どちらの場合でも生活や通勤に自家用車が必要になる。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 15 日

要請番号 (SL 051 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	◎ グループ型 ○ 個別	○ 新規 ◎ 交替 2 代目	○ 2 年	1 JOCV/SV
バングラ デシュ	自動車整備			○ 1 年	2 26 / 2
			○ ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 地方自治・農村開発・共同組合省				
先	2) 配属先名 (日本語) 北ダッカ市役所 廃棄物管理局 ○ NGO				
概	3) 任地 南ダッカ市内 JICA事務所の所在地(北ダッカ市)から 南 方向 10 Km 主要都市(北ダッカ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1. 時間)				
要	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は廃棄物収集管理事業を運営している機関。当該部署へのJICA支援は、2007～2013年まで技術協力「ダッカ市廃棄物管理能力向上」プロジェクトが実施され、2009年には無償資金協力により100台の廃棄物収集車両が供与された。協力隊事業では2006年より延べ11名の環境教育隊員が南北のダッカ市に、2012年からは車両整備場にシニア海外ボランティア(自動車整備)が派遣されている。なお、2011年12月にダッカ市は南北に分割されたものの、車両整備場は1箇所のみで、北ダッカ市役所が管轄しているが、地理的には南ダッカ市内に位置する。現在南北両市に車両整備場を1箇所ずつ配置する計画が検討されている。				
請	1) 要請理由・背景 南北のダッカ市では、衛生環境や廃棄物に対する社会全体の意識は低く、行政による廃棄物管理強化の取り組みが始まっているものの、急速な経済発展や人口集中に行政の対応が追いついていない状況である。特に住宅密集地域においては、廃棄物収集運搬能力を向上させることが喫緊の課題となっている。このような状況のもと、2009年に低二酸化炭素排出廃棄物収集車両100台が環境プログラム無償によって供与されたが、北ダッカ市の傘下にある廃棄物車両整備工場では、車両の総合的な維持管理を実施するための知識・技術が不十分であるため、専門性の高いボランティアの要請が出された。本案件はグループ型派遣であり、フィールドレベルで廃棄物収集状況をモニタリングする環境教育隊員5名との情報共有や廃棄物収集車両の運行状況改善において連携が求められている。				
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下のとおり、低二酸化炭素排出廃棄物車両の長期使用を前提とした整備工場の総合的な運営指導を同僚および配属先長に対して行う。 ・車両構造や修理マニュアルの活用について指導を行うとともに、整備技術の向上および車両の定期点検導入を支援する。 ・適正部品の調達に関する指導を行うとともに、メンテナンス機器の新規導入について提言する。 ・在庫部品および発注部品の維持管理を含む、部品倉庫の包括的な運営改善を支援する。 ・整備工場の人員配置について助言するとともに、適切な人材確保および運営体制の構築を支援する。				
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 低二酸化炭素排出廃棄物収集車両(日野自動車製のシャーシの上部に新明和工業製の廃棄物収集車体を載せたオーダーメイド製品)、一般整備工具				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 廃棄物管理局長 男性 40代 廃棄物収集運搬担当エンジニア 男性 40代 整備工場長 男性 40代 整備士・アシスタント 男性2名 30代 ほか整備工場スタッフ 男性5～6名 20～30代		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベンガル語) 7) 選考指定言語 英語 (イハール: D) 又は (イハール:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 (男性) 理由: 職場同僚が全員男性のため ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 専門的な指導を行うため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10～40℃位) 電気(○安定 ◎不安定 ○なし) 通信(☒インターネット可 ☒電話可 ☐無線)		水道(◎安定 ○不安定 ○なし)		
特記事項					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 30 日

要請番号(SL 124 - 13- D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 4 代目	○ 2 年	1 JOCV/SV
パプア ニューギ ニア	自動車整備			○ 1 年	2 26 / 2
			○ ヶ月	3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省				
	2) 配属先名 (日本語) ゴロカ大学 自然科学学部 技術訓練教育科				○ NGO
	3) 任地 ゴロカ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北西 方向 430 Km 主要都市(ゴロカ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 ゴロカ大学は、教育学部・人文学部・自然科学学部からなる総合教育大学。学生数は約1800人、年間予算は約2200万キナ(約7億3000万円)と、同国6大学のうち3番目の規模を持つ。2013年6月現在、2人のSV(コンピュータ技術、日本語教育)が活動中。技術訓練教育科は、自動車整備をはじめ、木工、配管、電気など幅広い分野の技術者・指導者を育成している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 これまで技術訓練教育科では、1学期間(14~15週)で終了する短期コースが中心に運営されていたが、2011年より自動車整備士育成の専門コース(3年制)が開設されている。前任者は、短期コースの講義や実習を担当する傍ら、専門コース立ち上げに向けたカリキュラム作成に尽力し、専門コースの運営を軌道に乗せることに成功した。本コースをより充実したものとし、専門性を持った人材の育成を目指すため、引き続きボランティアを要請することとなった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 学科長や同僚スタッフと協議しながら、専門の自動車整備を中心に次のような活動を行う。 ①自動車整備に関する講義や実習、試験や評価の実施。 ②自動車整備士養成コース運営に関する指導と助言。 ③学生の教育実習への同行や助言。 ④各種機器や工具類の使用方法和維持管理方法の指導				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 デジタルマルチテスター、マイクロメーター、バーニアキャリパー、バッテリーチャージャー、電気用工具一式、トルクレンチ、チェインブロック、フロアジャッキ、スタンド(7.5トン)、溶接機材、旋盤など				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長 男性 50代 技術系スタッフ 2名			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上の理由 ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 専門的な講義・実習を行うため 普通自動車運転免許 理由: 治安上の理由			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(10~30 ℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 治安上の理由により、自家用車の準備と運転が必要となる。				

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号 (SL 227 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 3 代目	派遣希望時期	派遣希望時期
エルサルバドル	自動車整備			○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV
				1 26 / 2	年 月 日
				2 /	から
				3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省				
	2) 配属先名 (日本語) 高等技術学院サンタテクラ校				○ NGO
	3) 任地 ラリベルタ県サンタテクラ市 JICA事務所の所在地(サンサルバドル市)から 北東 方向 15 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 高等技術学院は高等技術教育による技術エキスパート養成を目的として開設され、日本の短期大学に相当する。教育省管轄下にあり「高等技術学習における斬新的教育モデルMEGATEC」などを実施しているが、運営は独自に行われている。配属先は国内5校の本部で、自動車工学科など10学科17コース、学生数は約4千名である。過去、英国政府、米州開発銀行の援助があり、2013年7月現在、JICAボランティア派遣は4名(配属先に自動車整備SV・料理JV、東部2校に青少年JV、電子工学SV)、KOICA(韓国二カ国間援助機関)専門家1名、台湾ボランティア1名が活動中である。2013年の年間予算は約120万米ドル。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先の自動車工学科は2年制の昼間部と3年制の夜間部があり、卒業時には技術者資格が与えられる。2013年の学生数は昼間、夜間合わせ約800名、学科長はじめ30名弱の教職員により運営されている。指導内容は自動車整備実習場や外部民間企業での実習と理論授業から構成され、カリキュラムに基づいて総授業時間数約2200時間の授業を行っている。配属先では就職率の向上を目指し、民間企業や自動車ユーザーのニーズに応える人材育成のため、カリキュラムの見直しや実習場の整備(新機材の導入、5S手法や労働安全の視点を取り入れた環境改善など)を進めたいとしている。現在派遣中のボランティア(2015年1月まで)もこの要望に沿って活動しており、ディーゼルエンジンコモンレール、CAM やBUSの制御システムに関する指導も行っている。カリキュラムも膨大であることから、引き続き協力を得たいとして、後任の要請があげられた。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の自動車工学科に所属し、民間企業や自動車ユーザーのニーズに応える人材育成を目指し、同僚と共に活動を行う。 1.自動車工学科指導カリキュラムの見直しに協力する。配属先では日本の自動車整備士育成カリキュラムを参考にしたいとしている。 2.自動車整備実習場の環境改善に関する助言を行う。 3.同僚教員及び学生を対象として、自動車に関する講義を定期的に実施する。特にハイブリッド車、エタノール燃料などの新しい技術に関するものが望まれている。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 四柱リフト、コンプレッサー、実習用乗用車(1990~2003年式のトヨタ・ホンダ・現代・起亜車計7台)、電気溶接機、油圧プレス、工具などの自動車整備実習機材				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・自動車工学科長:男性、40歳代、同学科卒業生 ・同僚教員:男性24名、20~50歳代 ・学生:男性約800名、16~20歳代		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)			活動上の単車/自転車の必要性	
	・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は ()			○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要	
	・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 教員への助言が必要である 理由:			現職教員特別参加制度	
			○ 可 ◎ 不可		
地 域 概 況	気候(熱帯) 気温 (15~35 ℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
	通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線)		水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号 (SL 306 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D235)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ボリビア	自動車整備			<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1 26 / 1	年 月 から
					2 26 / 2	
			3 /			

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) 財団法人INFOCAL職業訓練学校 サンタクルス校 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 サンタクルス県サンタクルス市 JICA事務所の所在地(ラバス市)から 南東 方向 550 Km 主要都市(ラバス市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 同校は、1996年に人間開発省と民間企業連合会により設立された非営利団体である。全国9県の県庁所在地に校舎があり、事業運営は生徒の学費と企業からの寄付で賄われている。サンタクルス校は中堅技術者養成を目的に、在職者用の短期コースと2年間の技術者養成コース(7学科)を開講している。現在、JV2名(自動車整備、映像)、SV2名(品質管理、電気・電子機器)が活動中である。年間予算は約190万米ドル。

要請概要	1) 要請理由・背景 ボリビアは日本製中古車が市場の大半を占めている。2008年末には低年式中古車の輸入規制強化の政令が施行され、近年、高年式車が増加し、自動車整備科ではこういった車両に関する最新技術の知識に対するニーズが高まっている。しかしながら、講師陣はそれに対応可能な十分な知識及び整備経験を備えていないため、ボランティアが要請された。同要請に基づき、現在派遣中のJVがAT車の講習を積極的に行うとともに、CVT、ABS、VSC、エアバック、OBD-IIについての実習指導の支援を行っている。パワーウィンドウの講習も今後行う予定である。なお、同JVの任期中に各講習を来年度のカリキュラムに組み込まれることが予定されており、後任となる本ボランティアには、即戦力として、既に軌道にのっている活動(これらの項目を)講師たちに指導し定着させることが期待されている。	
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 自動車整備科の講師及び生徒に対して以下の事を行う。 1.自動車整備学科の教材及び指導内容、さらには年間授業計画の改善に協力する。 2.最新技術(ハイブリッド車を含む)に関する技術的な支援を行う。 3.可能であれば、自動車車体整備に関するアドバイス。 (配属先では将来、自動車板金・塗装に関する授業の導入も検討しているため)	
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 AT車、ガソリン車、ディーゼル車、ガソリン車電子制御燃料噴射装置、スバルエンジン(EW45)12台、自己診断器、オートマチックトランスミッションの分解・組立用特殊工具	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 整備科講師(男性8名、30~60代) 整備科の生徒数:558名	5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:活動遂行上必要 自動車整備士1級 理由:活動遂行上必要	活動上の單車/自転車等の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(亜熱帯) 気温(15~350 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 20 日

要請番号 (SL 324 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 5 代目	JOCV/SV	日系/短期
パラグアイ	自動車整備			◎ 2 年	1 26 / 1
		○ 1 年	2 26 / 2		
		○ ヶ月	3 /		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省				
	2) 配属先名 (日本語) カルロス・アントニオ・ロベス職業訓練校				○ NGO
	3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地 (アスンシオン) から 南西 方向 5 Km 主要都市 (アスンシオン) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 当職業訓練校は1979年、日本政府の無償資金協力によって建設され、その後も技術プロジェクトなどが実施されてきた。当施設は、職業訓練コース(昼間1年又は夜間2年制)に工業高校(3年制)が併設されている。現在、高校には4科、職業訓練コースには9科(工作機械、建築、電子機器、自動車整備、印刷製本、電気、木工家具等)が設置され、教職員約50名、生徒数約600名である。卒業生は専門技術を活かして国内の様々な事業所で活躍している。2006年度には、無償資金協力により施設の増築と機材供与が実施された。2013年6月現在2名のSV(建築、機械)が活動中。自動車整備前任者は2008年10月まで活動していた。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 1991年から始まったSV派遣はこれまでに約30名に及び、国内の工業分野の人材育成に大きく寄与してきた。自動車整備科には、高校部門及び職業訓練コース(昼間1年又は夜間2年制)が併設されており、入学希望者も多い人気学科である。以前に派遣されたSVが自動車整備の基礎技術を指導してきたが、特に今回は自動車の電子制御技術についての技術を深く学びたいとの理由でボランティアが要請された。当国では近年車輦が急速に増加しており、日本メーカー車も多く流通しており、自動車整備は整備工場など就職にも有利な分野である。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 自動車整備科において下記活動を実施する 1 教師連にエンジンシステムテスター等を使用して自動車の電子制御技術について指導・助言する エンジン(ガソリン及びディーゼル)、電子制御燃料噴射装置(インジェクション)、トランスミッション等 2 自動車の電子制御実習施設の整備にアドバイスする 3 職業訓練コース(昼間)の生徒を中心に実習支援を実施する 4 卒業生を対象とした技術セミナーの実施に協力する				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 エンジンシステムテスター(ボッシュFSA740)、オシロスコープ、自動排ガス測定器(ホリバMEXA-324L)、ディーゼル黒煙測定器、電子制御燃料噴射装置EFI、各種テスター、工具				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・主任教師 男性 40代後半 ・教師 男性 3名 40代前半、50代前半、30代後半 ・教育実習生 ・職業訓練コース 生徒 18~20歳程度 昼間(1年制)30名、夜間(2年制)30名 (2013年6月現在) その他工業高校(3年制)90名 併設			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: D) 又は 英語 (レベル: D)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (2級整備士 (G・D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 同僚が同等以上のレベルのため ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由: 経歴に基づいた指導が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度	
				○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項	通信 (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 327 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
ペルー	自動車整備		年 月 日 から		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁				
	2) 配属先名 (日本語) 全国工業労働訓練機関(SENATI)ロレト地方局				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ロレト州イキトス市 JICA事務所の所在地(リマ市)から 北東 方向 1010 Km 主要都市(イキトス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 全国工業労働訓練機関は全国に14か所の地域事務所を持ち、各地域事務所が域内複数のセンターを管轄している。配属先ロレト地方局は、SVが活動するイキトスセンターを含め3つのセンターを統括。年間予算は約160万ドル。イキトスセンターでは、工業電気、電気機械保守整備、機械保守整備、小型自動車整備の4つの訓練コースが開講されている。SVが携わる小型自動車整備コースは講師4名、自動車整備士数名、学生数はデュアルコースの学生及び社会人コースの受講生合わせて115名。デュアルコースは6ヶ月単位の2期制で2年で修了。第1期は基礎理論等の学科、第2期以降は主に域内の企業に赴いての実習となる。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 任地はペルーアマゾン熱帯雨林(セルバ)地域の中心都市。首都や周辺都市への陸路でのアクセスはなく、市内では自動車ではなく二輪車もしくはオート三輪が主な交通手段となっている。イキトス市にはこれら小型車両(主に二輪車、オート三輪車)の製造工場や修理工場が多く、そこで働く整備士のほとんどが配属先の卒業生である。配属先は域内の労働市場のニーズに即した新しい技術に対応可能な人材育成を目指しており、講師の技術向上やカリキュラムの更新を図りたい意向である。特に電子制御システムやフルインジェクション搭載の二輪車のほか、ディーゼルエンジン搭載の小型機械に関する技術移転が求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 小型自動車整備コースにおいて、主に講師の質の向上及びカリキュラムや実習環境改善のため、次の活動を行う。 ①電子制御システム搭載の二輪車に関する知識、技術習得のための助言・指導 ②域内企業のニーズに適したカリキュラム改善のための助言 ③新たな指導マニュアルの作成支援 ④講師研修会の企画・実施				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 オートバイ(HONDA50cc等)、オートバイエンジン(TOYO等)、発電機(KIPOR KDE6500X、HONDA EP2500CX)船外機(Johnson25)、各種工具				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:小型自動車整備講師 30代男性(実務経験11年) 対象者:小型自動車整備講師4名、自動車整備士数名、学生約120名			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります)				活動上の単車/自転車の必要性
	・免許 (2級整備士 (G-D)) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由:講師への指導のため 理由:				<input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(20~35 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 515 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	○グループ型 ◎個別	◎新規 ○交替 代目	1	JOCV/SV
ケニア	自動車整備			2	26 / 1
			○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	3	26 / 2
					年 月 日
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 森林・野生生物省				
	2) 配属先名 (日本語) ケニア野生生物公社 ナイロビ中央工場				○ NGO
	3) 任地 ナイロビ JICA事務所の所在地(ナイロビ(中心部))から 南西 方向 20 Km 主要都市(ナイロビ(中心部))までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はケニアの国立公園・保護区を所管する政府機関で、野生生物の保全と持続的利用を目的に、公園施設運営・管理、密猟取締り等の各種調査&モニタリング、環境教育活動を行う。これまでに同公社には自動車整備、生態調査、環境教育、視覚教育などの協力隊が合計約70名派遣されている。KWS全体の2010年の事業予算は18億5千万。2011年度のナイロビ中央工場の予算は1500万円。				
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先はKWSの車両を維持管理する最大の工場で、取り扱い車両は一般車両をはじめ大型バス、動物輸送用の特殊車両、更には公園内の道路整備を行う建設機械まで多岐に渡る。同工場はその規模のみならず日常の整理整頓やPGで管理された在庫部品など、他のケニアの整備工場と比べると卓抜した運営を行っている。しかし整備士個々の作業は繊細さに欠けるため、整備完了後短期間での再修理、二重作業などが発生し、また大型車両が作業の大変を占めることから多額の維持管理費用が必要となっている。ボランティアは確実な整備技術の指導を通して、経済的な工場運営を支援することが求められる。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは現場監督として以下の作業を行う。 ・大型車両、建設機械に対する適切な整備指導。 ・特殊工具の適切な使用方法の指導。 ・測定機器の適切な使用方法の指導。 ・上記1~3を实践することによる工場運営経費の削減。 ・電子制御ディーゼルエンジン整備に対する助言。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 KWS取扱車種:いすゞ・フォワードFTS4WD、いすゞD-MAX、UD大型バス、トヨタランドクルーザー、ハイラックス。建設機械:コマツ、CAT、三菱などのモーターグレーダー、ホイールローダーなど				
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 工場責任者をはじめ、事務所スタッフ約10名 各部門現場監督5名 現場整備士27名		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由:現場監督として活動するため 理由:		活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可		
地域概況	気候(高原) 気温(10~30 ℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項	通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線)				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号(SL 551 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード D235)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
ザンビア	自動車整備			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省				
	2) 配属先名 (日本語) カブエ職業訓練校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 中央州カブエ郡カブエ郊外 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 160 Km 主要都市(カブエ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1943年に設立された歴史のある国立の職業訓練校で、自動車科の他に、電気設備、溶接、コンピュータ等の学科を有し、主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業生)を中心に職業訓練が行われている。学校全体の学生数は約800名で、自動車科には約200名の学生が在籍しており、当国職業訓練校の中でも比較的設備や講師が整っている。20年以上前にJV(自動車整備)が派遣され、また、2001年から3年間、長期専門家が電子制御式燃料噴射装置やオートマチック・トランスミッションシステム等の指導を行った。				
要請概要	1) 要請理由・背景 ザンビアでは、日本からの輸入中古車が数多く市場に出回っているが、車両の進化に伴い、しっかりとメンテナンスや修理を行える技術者が不足している。また、職業訓練校の講師は、座学中心で教科書で理論を学んできた者が多く、現場経験が不足しているために、産業ニーズを汲み取った授業を行うことが難しい。この状況のなか、日本の現場で豊富な実務経験を積んだSVの協力を得て、職業訓練校の現場における実務経験不足を補いたいとの考えから、ボランティアの要請があった。同SVには、学生に対する基礎的な技術および理論(特にコンピュータ制御システム)の指導が期待される。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) <ul style="list-style-type: none"> ・学生に対し、講義および実習指導を行う。 ・同僚講師の授業に対し、助言および指導を行う。 ・自動車科に対して、カリキュラム改善等の助言を行う。 ・交換部品不足で有効活用されていない実習機材に対して、修理や部品調達方法のアドバイスを行う。 				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 エンジン・点火装置のカットモデル、パネル教材、実習用エンジン(ニッサンE15)、車検用機器(シャーンダイナモ、ホイールバランス、スピードテスター、ブレーキテスター いずれもニッサルコ)、整備工具一式				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 <ul style="list-style-type: none"> ・自動車科主任 40代/男性 ・同僚講師 6名/20~50代/男性および女性 指導対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・国家試験合格者(日本でいう高校卒業生) 			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) <ul style="list-style-type: none"> ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 指導上必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導上必要 ・ 2級整備士(G-D) 理由: 			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(サバンナ) 気温(5~35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 29 日

要請番号 (SL 475 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード D241)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	
チュニジア	繊維			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	26 / 2
					2	/
				3	/	
年 月 から						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 産業省					
	2) 配属先名 (日本語) 繊維工業技術センター(CETTEX) <input type="radio"/> NGO					
	3) 任地 ベンアールス県ベンアールス市 JICA事務所の所在地(チュニス市)から 南 方向 15 Km 主要都市(チュニス)までの交通手段及び所要時間(車で約 0.3 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、ベンアールス市のビル・エル・カサア産業地帯に位置する公的機関で、繊維業及び衣服業に係る技術的な支援を行っている。設立は1992年。主な事業内容としては、同業界の企業に対して評価や商品開発の支援、新技術や先端技術の指導などの技術支援、繊維に関する研究、企業内・外研修の実施、また同業界における統計などを含めた情報の普及や伝播などを行っている。年間運営予算は、約2億2千万円。これまでに、服飾、スタイリストを中心とした7名のJICAボランティアが派遣されたが今回の要請は、異なる分野。これまでに欧州を中心とした諸外国から支援を多く受けている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 チュニジアにおいて繊維・衣服業は、製造業では第2位を占める主要産業である。国内には2000以上の大・中小企業があり、20万人以上の従事者がいる。とりわけ輸出向けの既製服製造が盛んで生産量の90%以上を占め、特にEU諸国にとっては、中国・トルコなどに次ぎ第5位の輸入国である。その様な背景下、同配属先は上記の様な事業を展開しているが、今回新たに、織物の晒し、染色などの仕上げ技術に係るプロジェクトが立ち上げられた。同プロジェクトは、首都から140キロ離れた繊維業の都市モナスティールの技術資源センターにて今後展開されていく予定。繊維、生地仕上げの開発を目指した同プロジェクトは、染色、仕上げ、デジタルプリント等に係る新技術を各企業、会社に指導していくことを目指す。すでに、事前調査は終了され、今後機材の調達から順にプロジェクトを進めていく予定。本要請は、同プロジェクト展開の支援のためになされたもの。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において同僚職員と共に以下の業務を行う。 ① 上述のプロジェクトに係る必要な機材の調達(染色・デジタルプリント・ラボの染色分析機械など)に関するアドバイスを行う。納入業者の選定の支援。 ② 同プロジェクトの計画策定や見直しに関する支援を行う。 ② 同プロジェクトに必要な設備を整えるためのアドバイスを行う。 ② プロジェクトの監視や評価を行う。 ③ 商品の原価と売値計算等に係るアドバイスを行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務室・事務用品一式(電話・PC・インターネット・プリンター・共有のFAX)、出張時は、車両及び運転手提供可					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・施設長:50代、男性1名、大卒の繊維分野エンジニア(民間企業での経験もあり) ・モナスティール施設のセンター長:大卒の繊維分野エンジニア ・その他、大卒の繊維・化学分野エンジニア等		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)			活動上の單車/自転車の必要性		
	・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚職員のレベルに合わせて ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 業務内容上必要 ・ 繊維仕上げに関する経験 理由: 業務内容上必要			<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~46℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	現地においては、フランス語も通用するが、一般的に口語においては、アラビア語チュニジア方言が使われている。同配属先のサイト http://www.cettex.com.tn/index.php?id=9					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

要請番号 (SL 006 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード E102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	期間	日系/短期
インドネシア	再生可能・省エネルギー			<input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1
			2	26 / 2	
			3	/	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 工業省工業研究開発局				
	2) 配属先名 (日本語) 繊維センター				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 西ジャワ州バンドン市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 南東 方向 200 Km 主要都市(バンドン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 当センターは1922年に設立された職員数約150名の組織であり、インドネシア国の主要輸出品である繊維製品の産業集積地であるバンドン市において、中小の繊維関連企業への技術情報支援の他、各種品質検査、試験、研修等を行っている。1999年～2001年までJICAから縫製・デザインの品質管理で2名、繊維製品染色の品質管理で1名の計3名のSVが派遣されたことがある。多数の職員が日本での研修経験があるなど日本との関係は深い。職員数は132名、そのうち研究者数は16名。年間予算は2,240,000米ドル。				
要請概要	1) 要請理由・背景 世界的な繊維産業集積地であるバンドンには繊維関連企業が約500社あるが、繊維工場は概してエネルギー消費量(電気及び石炭)が大きいことから繊維製品の価格競争力をつける上で省エネルギーの持つ役割は大きい中、当センターの役割の一つである各企業に対する省エネルギーの指導・監督ができる知識レベルには至っていない。現在、2代目SVが派遣中であり、省エネルギーの経験をスタッフに教授している。当センターは引き続き、後任のSVによる協力が必須であるとの理由から要請に至った。3代目のSVとなることから、配属先への協力を完了し、配属先でのエネルギー監査の標準を作ることが期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) エネルギー監査(熱、電気)に関し、 ①同僚研究者に対する省エネルギーに関する基本知識の教授等研修計画の立案・実施。 ②同僚研究者とともに繊維工場等を月に2回程度訪問し、エネルギー消費量、省エネルギーへの取組等を調査し、エネルギー監査のOJTを実施する(含む監査レポート作成)。 ③上記結果を踏まえて工場の問題点に関し、工場の技術者、13名の同僚研究者とともに議論を行い、省エネルギーに関するアドバイスをする。 ④上記結果を踏まえて、エネルギー監査の標準を作成する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電源品質分析器(日置)、電流センサー(共立)、電力品質分析器(日置)、湿度計(TEXTEST)、携帯型湿度計(BACHARACH)、サーモカップル(Hanna Instrument)				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:研究者13名(20代～60代 大卒 男性多数)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (工学) 理由: 同僚とのバランス ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚とのバランス 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25～30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 27 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード E102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
モロッコ	再生可能・省エネルギー			2	26 / 1	日系/短期
				3	/	
年 月 日 から						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省					
	2) 配属先名 (日本語) カディアヤッド大学水エネルギー国立研究センター				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 マラケシュ県マラケシュ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 334 Km 主要都市(マラケシュ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 カディアヤッド大学は1978年設立のマラケシュ唯一の国立総合大学であり、5学部と8研究機関を擁し、水エネルギー国立研究センターは同分野の幹部養成および研究のため2000年から開始された高等教育・科学研究・幹部養成省の5か年計画に基づき設立された。主な研究テーマは、下水処理と農業用水への再利用、廃棄物処理とその有効利用、冷房、太陽熱など。エネルギー関連では太陽光集光器などを使った太陽エネルギー研究などに着手しており、それ以外にも研究計画を展開しつつある。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 モロッコは2000年以降、年平均5%の経済成長を遂げているが、エネルギー需要は2020年までに2倍、2030年までに3倍になる事が想定されている。また、エネルギーの最適ミックスを目指しており、2020年には電力の42%を再生可能エネルギーが占める計画が立てられている。カディアヤッド大学水エネルギー国立研究センターでは再生可能エネルギーの基礎研究を担当しており、モロッコのエネルギー計画に基づく取り組みを推進するうえで今回の要請が出された。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 再生可能エネルギー分野における次のような技術支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・太陽エネルギー、熱エネルギーなどの再生可能エネルギーに関する技術・専門知識の紹介 ・太陽熱エネルギーの実用化に向けた実験室レベルから現場レベルに至る検証 ・太陽熱エネルギーの実用化モデルの策定 ・太陽熱エネルギーの研究計画策定 					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パラボラ型太陽光集光器、熱伝導測定器、流速測定器ほか					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長(50代女性・博士) 同僚研究者(20代-40代・修士/博士)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学内研究機関のため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚への助言指導をするため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
	地域 概況 気候(内陸性気候) 気温(0~45℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記 事項						

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

要請番号(SL 224 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F111)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	JOCV/SV	日系/短期	
ドミニカ共和国	経営管理			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 2	2 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 職業技術訓練庁					
	2) 配属先名 (日本語) 職業技術訓練庁北部地域事務所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 サンティアゴ市 JICA事務所の所在地(サントミンゴ特別区)から 北西 方向 180 Km 主要都市(サンティアゴ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 国内の労働市場に対しニーズに即した職業技術訓練と企業支援を行い、技術者養成を行う国家レベルの中核機関。略称はINFOTEP。訓練生は14歳から30歳を中心に、幅広い年齢層から募集され、多様な訓練コースを実施している。2011年予算約4000万米ドル、正職員約740名、本部以外に訓練センターを4ヶ所持つ。アメリカ、フランスなどからの援助がある。国内の訓練センターも含め常時6名程度のボランティアが派遣されている。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 当国では自由貿易協定批准に伴い、企業の国際的な競争力向上が必須となっているが、INFOTEPの企業指導員の多くは知識はあるものの実務経験が殆ど無いため、継続してSVの要請がなされた。現在活動中のSV(2014年10月まで)は、企業を同僚と一緒に訪問し、対象企業の現状分析と経営課題の抽出・明確化の手法、経営課題への対応、体質改善・強化策の検討とその策定手法、各種計画、施策の推進、フォローアップ、問題が生じた場合の修正手法(PDCAサイクル)についての支援を行っている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同地域事務所指導員と共に、企業訪問を行い、経営、マーケティングに関して支援する。 2. 同地域事務所の指導員及び関係者(20名~30名)を対象に、生産性向上を始めとするテーマで講座を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務機、コピー機など					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 50代女性 修士課程終了 他スタッフ13名 男性5名、女性8名(大卒、修士)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒以上のため ・経歴 (指導経験) (10年以上) 理由: 専門分野での指導が多いため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(18~34 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号 (SL 242 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
ジャマイカ	経営管理			2	26 / 1	日系/短期 年 月 から
				3	26 / 2	
			〇 〇ヶ月		/	
配 属 先 概 要	1)受入省庁名 (日本語) 産業投資商業省					
	2)配属先名 (日本語) ジャマイカ中小企業協会				<input checked="" type="radio"/> NGO	
	3)任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4)配属先の規模・事業内容 配属先は、産業投資商業省の監督下に中小零細企業の振興を目的として1974年に設立されたNPOで、中小零細企業への支援を通じて国民経済へ貢献するという目的のために様々な施策を実施している。様々な業種にわたる会員企業数は500を超える。国内外の企業間のネットワークやビジネスマッチング、企業市民活動の促進、メンバーへの経営相談、ビジネスソフトウェアの普及などを通じて、中小零細企業の振興を図り、売上向上、雇用創出を目指している。また、インフォーマルビジネスのフォーマル化についてもサポートをしている。年間予算は約2,700万円。					
要 請 概 要	1)要請理由・背景 国内には67,000の中小零細企業が営業し、GDPの40%の生産額と43%の雇用を提供していると見積もられているが、昨今の経済低迷による資金調達の困難さから、中小零細企業は多くの問題を抱えている。配属先は中小零細企業を振興するために様々な施策を実施しているが、より多くの会員企業あるいは非会員企業へのサービスを充実する必要を認識し、3か所に地域事務所の設置を計画している。そのため、サービスの拡大に伴って必要となる職員の能力向上についてボランティアの協力が要請された。					
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 職員や会員を対象に開催する、配属先の目的や戦略に関するワークショップへの支援。 2. 中小零細企業に対するカウンセリング技術と会計、税務、在庫管理手法などについて職員の能力向上を図る。 3. 様々な地域で様々な業種の中小零細企業が配属先のサービスを利用できるように、より効率的なサービスデリバリーの手法を確立する。					
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務スペース					
資 格 条 件 等	4)配属先同僚及び活動対象者 同僚: ジェネラルマネージャー(国際経済学・国際法学士・国際関係学士) 同僚: 教育・農業・観光業・企画・マーケティング・ビジネス開発などの専門家、オフィス・マネージャー(ビジネス管理学学士)、顧客取引専門家(経営管理学学士)など。 活動対象者: 上記の同僚と、ジャマイカ中小企業協会の会員。			5)活動使用言語 (英語)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚と同等の資格が必要 ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由: 経営指導ができる経歴が必要 理由:			6)生活使用言語 (英語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
地域概況	気候(熱帯海洋性気候) 気温(22~ 32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
特記事項	通勤の便宜上、運転免許証があった方が良い					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 25 日

要請番号(SL 242 - 13- D - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F111)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 26 / 1
ジャマイカ	経営管理			1年	2 26 / 2
			ヶ月	3 /	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省/労働・社会保障省				
	2) 配属先名 (日本語) ジャマイカ知的障害者協会				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同協会は、政府に先がけ1956年から知的障害者教育を始めたが、教育省は同協会と連携する形で1974年から特別支援教育を開始した。現在、全国28校にて教育省と協働で約1400名(5-20才)を無償で教育をしている。同協会へは教育省から助成があり、教師以外のサポート人員を学校に派遣している。近年、卒業生の職業能力向上のため、キングストン校に職業訓練所が開設された。過去に20名以上のJICAボランティアが派遣され、現在も2か所で3名(障害児教育、体育、手工芸)が活動している。年予算約8千万円。				
要請概要	1) 要請理由・背景 全国に28校ある同協会管理下の学校では、卒業後に少しでも自立の助けになることを期待して、手工芸、木工、園芸などの職業訓練を提供している。しかし、卒業後に学校で習った技術を使って就職することは困難で、卒業後就職できずに家に引きこもる障害者も多い。障害者が卒業した後、社会的生活を送る機会が減少する現実を少しでも改善して障害者の人生を意味のある物にしたいという願いからキングストン校で作業所を開設し、現在は細々とであるがコーヒー豆を使ったアクセサリーを製作販売している。同配属先に派遣されている他のボランティアと協働して、この作業所を発展させ、地方の中心校4校にも同様な作業所を開設する計画を推進するために、日本での起業支援に経験のあるボランティアが要請された。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 学生の卒業後の就業・社会参加について可能性を調査しながら以下の業務を実施する。 1. 作業所など卒業生が就業できるプログラムの改善を図る。 2. 配属先内に就業プログラムを調整するビジネスユニットの設立を支援する。 3. 配属先職員、プログラム担当者に対し起業・経営についての研修を実施する。 4. 全島の関係学校から選ばれたスタッフにプロジェクト開発・管理について研修する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的な事務機器				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 協会本部啓発担当 女性 40代 各学校の校長 50代 各学校の教師 20から40代 コミュニティグループ 障害者			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 会計、経営の知識が必要 ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 現場経験が期待されている 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(22~32℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通勤等で車を運転するため免許があった方がよい				

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 324 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
パラグアイ	経営管理				日系/短期 年 月 日 から
1) 受入省庁名 (日本語) 企画庁 2) 配属先名 (日本語) アスンシオン大学インキュベーションセンター(INCUNA) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 セントラル県サンロレンソ市 JICA事務所の所在地(アスンシオン)から 東 方向 20 Km 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.7 時間)			4) 配属先の規模・事業内容 国立アスンシオン大学は、1889年に設立された国立総合大学であり、12学部、学生約40,000名、教員6,200名が在籍する国内最古、最大、最高レベルの大学である。現在までに数名のSVの派遣実績があるが、当分野への派遣は初となる。配属先は大学内に設立された起業インキュベーターであり、2009年より活動を開始している。年間予算約500万円。今後国の機関からの一部活動資金援助について計画されている。配属先スペイン語ホームページ(http://www.incuna.una.py)。		
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同大学理工学部内に2002年に起業家支援プログラムが設置され、それが発展する形で2009年にインキュベーションセンター(INCUNA)が設立された。起業準備及び起業後の支援を実施している。主な対象としては、同大学の学生・研究者・卒業生等の関係者であるが、それ以外の起業家も対象としている(約7割が大学関係者、3割がそれ以外)。現在8~10の企業の15~20程度のプロジェクトに関わっている。起業家への事務スペースの提供や事務支援についても実施している。起業された会社は他企業との競争から生き残るために、組織強化・経営基盤の確立等が必要とされている。配属先は起業準備者及び起業者に対し、よりよい支援サービスの提供が必要とされており、現在実施中の業務の支援及び今後の改善のためにボランティアが要請された。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 配属先スタッフ及び起業家に対し組織強化についてのアドバイスを行う 2 配属先及び起業家に国内及び国外へのマーケティング・ビジネス開発についてのアドバイスを行う 3 配属先スタッフに中小零細企業支援の手法について指導する 4 起業家へ経営管理について指導する 5 配属先の組織戦略・業務の実施について協力及び技術的なアドバイスを実施する 6 起業家や起業に興味をもつ学生等へのセミナー実施に協力する				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、コンピュータ等事務機器				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・センター長 女性 40代前半 (2012年に日本での数週間のJICA研修経験あり) ・技術担当 女性 40代後半 ・総務担当 女性 30代後半 ・秘書 ・外部アドバイザーとして 理工学部副学部長等の大学関係者、企業家(CSR担当)等数名		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が同等以上の為 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 ・ インキュベーション指導経験等10年以上 理由: 経験に基づいた指導が必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	大卒(経営学専攻)が望ましい。 起業インキュベーターに関わった実務経験が重要である。				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 324 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期	
パラグアイ	経営管理			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1	年 月 から
					2 26 / 2	
			3 /			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) パラグアイ工業連盟(UIP)					
	2) 配属先名 (日本語) パラグアイ品質生産性センター(CEPPROCAL)				<input checked="" type="radio"/> NGO	
	3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 西 方向 5 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 同センターは、商工省傘下の機関として2007年1月、JICAプロジェクト開始とともに新設された独立採算性の民間組織である。当国の中小企業の品質・生産性の向上、マーケティング販売等に関するコンサルタントの育成を目的とともに、コンサルティングサービスの提供を行い、更に企業内研修、公開講座、セミナー等の研修を行うセンターである。これまでJICA専門家及びSV2名の派遣実績あり、2013年3月にはSV(マーケティング)が着任している。年間予算 290,000US\$。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2009年6月から日本人専門家から指導を受けたカウンターパートが講師となり、コンサルタント養成講座が始まった。この受講者の中から選抜を行い、2010年からはOJTによるコンサルタント育成を行っている。2010年9月から経営管理の指導科目でSV1名、2011年9月から品質管理SV1名が派遣されており、組織の運営強化やコンサルタントの育成に貢献した。前任者は、2012年9月まで活動しており、配属先自身についての経営管理分析・アドバイスやコンサルタント対象の講習会などを実施した。今回、さらなる配属先の経験と知識を向上させること、またCSRの普及を目的に要請に至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先同僚コンサルタント達へ中小企業をはじめとする顧客企業等への、コンサルタント業務としての経営管理(予算、コスト管理等)についてアドバイスを行う。企業へのコンサルタント業務に同行し状況分析・改善のための支援を実施する。 2. 顧客企業に対して、経営管理についての手法や事例紹介を実施する。 3. コンサルタント講習会に使用している教材の作成・改訂に協力する。 4. コンサルタントを対象とした講習会を実施する。 5. CSR(企業の社会的責任)のパラグアイ国内での普及のために事例紹介等を実施する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン機器(インターネット可)、プロジェクター、コピー機、電話、FAX、椅子、机 等					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先長、女性 30代後半、修士 コンサルタント部門長、男性 40代前半 研修部門長、男性 40代前半 他 常勤コンサルタント2名(経験5年以上 全員日本での研修経験あり) 及び外部契約コンサルタント5名		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が同等以上の学歴を持つ ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
通信	<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線					
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 5 月 24 日

要請番号(SL 327 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F111)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ペルー	経営管理			◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 生産省				
	2) 配属先名 (日本語) 生産技術センター(ITP)				○ NGO
	3) 任地 カヤオ憲法特別市 JICA事務所の所在地(リマ市)から 北 方向 25 Km 主要都市(リマ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、水産加工センターとして1979年漁業省の外郭団体として水産に関する総合的な科学技術研究を実施するために設立された。現在は生産技術センター(ITP)として生産省の管轄下であり、主に水産物加工に関する新技術の開発研究、新技術の導入・適応、技術移転を行っている。また、水産物加工品、農産物加工品等の消費促進も担っている。同センターは日本の無償資金協力によって建設され、JICAによって水産食品加工技術の開発研究および訓練・普及のための技術協力「ペルー水産加工センタープロジェクト(1975年4月～1984年10月)」が行われた。配属先の年間予算は、825万米ドル。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ペルー水産業は多獲性魚である浮魚の漁獲が大半を占めていることが特徴的であり、水産加工業者もカタクチイワシを主な原料とした付加価値の低い魚粉、魚油が主で、付加価値の高い缶詰製造等は少ない。付加価値を高めることにより、水産加工業界の生産額を向上させる必要性が認識されており、配属先では、民間水産加工業者向けに、豊富な水産資源を利用した付加価値の高い製品の製造技術開発およびその技術普及、研修を行っている。配属先の長は以前生産省の技術革新センター(CITEs)に在籍していた際に、SV(生産性向上、2008年1月～2012年1月)の5Sを普及・定着する活動を見てきたため、配属先が業務の対象としている小規模加工業者にも5S活動などの生産性向上に関する意識付けが必要であると認識し、ボランティア要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) カウンターパートと共に次の活動を行う。 ①10社程度加工業者を選定し、5S指導を通じた生産性向上及び経営全般の改善を目指す。 ②①を通して配属先の職員に対する指導を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務机、PC(インターネット環境有)、事務用品				
要 請 概 要	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート:消費開発・技術移転部部長(企業経営博士、50代男性) 技術移転課:6名 消費開発課:7名 16名(男性6名・女性10名、27歳～65歳、博士1名、修士3名、大卒7名) その他同僚:約140名			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚とのバランス ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由: 同僚への研修を行うため ・水産加工分野での生産性向上実務経験 理由: 特定した産業であるため			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
資格条件等	地域概況 気候(砂漠) 気温(15～25℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)				
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 327-13-D-05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	派遣希望 期間	派遣希望時期
ペルー	経営管理			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 生産省				
	2) 配属先名 (日本語) 生産省 技術革新・技術移転・企業サービス部 技術革新課				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 リマ市 JICA事務所の所在地(リマ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(リマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は生産省の中小零細企業育成支援を行っている部署で、技術革新センター(以下、CITE)を統括している。職員数は計7名、年間予算は約7万5千米ドル。CITEは経営管理、技術革新、品質向上、生産性向上の面から域内企業育成支援を行っている組織で、産業種別に全国に17組織されている。リマ市には木工、皮革、物流産業分野のCITEがある。2008年1月以降、生産性向上分野で2代のSVが派遣され、現在それを引き継ぐ形で3代目のSVが5S・カイゼンの普及促進のため、2012年10月から2014年9月まで活動中。配属先同僚及び活動対象である各CITE職員のうち5名は元JICA研修員(生産性向上分野)。				
要請概要	1) 要請理由・背景 ペルーでは中小零細企業の割合が全企業の95%を占めており、そのほとんどがノウハウ不足から生産性や品質が低く、競争力不足の問題を抱えている。配属先は各CITEとの連携により、CITE職員が各企業を訪問し指導助言する形で、5S・カイゼンの普及・促進を通じた生産性向上と経営に対する意識改革を継続中。これまで派遣されたSVの協力で、CITE職員の能力は向上しつつある。しかし、5S・カイゼンの導入を希望する企業は多く、競争力強化へのニーズも高いため、今後も企業における活動を継続し、企業関係者の主体的参画、目標の設定、標準の設定、PDCAの習慣化等に取り組みながら、OJTを通じた指導者の育成支援がSVには求められている。また、配属先は5S・カイゼンの指導書作成や5S・カイゼン活動が一定レベルに達した企業には資格や証明を与えることも計画しており、これら計画の具現化のための協力も期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①配属先同僚及び各CITE職員とともに、木工、皮革、物流分野の中小零細企業に対する5S・カイゼンの普及・促進を通して、生産性向上及び経営意識の改革を目指す。 ②①を進めながら配属先同僚及び各CITE職員の能力向上のため、助言・指導を行う。 ③5S・カイゼン指導書作成を支援する。 ④5S・カイゼンの資格・証明書発行のための取組みを支援する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務機、PC(WindowsXP)、プリンター、コピー機、プロジェクター、スクリーン等				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:技術革新課生産性向上担当職員 50代男性(CP)、30代女性 対象者:各CITE生産性向上担当職員計6名(各CITE2名:50代男性2名、20代男性3名、20代女性1名)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・製造現場における実務・指導経験10年 理由:指導者育成、指導書作成のため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(砂漠) 気温(15~25 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 20 日

要請番号(SL 012 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
フィリピン	品質管理			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1
			2 26 / 2	3 /	
配属先概要 1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁 ボランティア調整局 2) 配属先名 (日本語) 科学技術省第7地域セブ州科学技術センター(DOST 7) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 セブ州セブ市 JICA事務所の所在地(マニラ市)から 南東 方向 560 Km 主要都市(セブ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 科学技術を活かして地域の経済効果と社会的利益を生み出すことを目的に設立された公共機関。セブ、ポホール、シキホール、ネグロスを管轄している。主に中小企業に対する技術支援プログラム、学生への奨学金制度プログラムを運営。サービスとして①食品や薬品にかかる検査など農業、産業、運輸を含めた公共事業技術支援②インフラ、建設にかかる人材育成強化プログラム③科学技術にかかるデータバンク(図書館)などがある。年間予算は3千万円、JVを受け入れた経験有。日本貿易振興機構(JETRO)、石油開発情報センター(ICEP)、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)、韓国国際協力団(KOICA)との関連有。					
要請概要 1) 要請理由・背景 セブ市は北九州市の協力により1992年から環境保全の施策を推進し、住民レベルの固形廃棄物削減対策の他に、中小企業の公害対策を中心とした環境協力を実施してきている。2000年には北九州市と国際協力銀行(JBIC)との連携事業によりメトロセブにおける環境改善支援調査が実施されクリーナープロダクション(以後CP)導入が検討された。そのような中で配属先は地域の中小企業を対象に、環境に配慮したCPによる省エネ・省資源、廃棄物・汚染物質低減と同時に生産性の向上・コスト低減にかかる取り組みを推進。2009年にJICAの集団研修「生産性向上とクリーナープロダクションのための設備安全管理」コースに参加した職員が中心となり取り組んでいるが、現場での実務経験のある人材の不足により今回の要請に至った。対象企業は食品加工(ドライマンゴー等)、家具・手工芸品、鉄鋼・製造関連で欧米・アジアへ輸出している。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) CPの概念を取り入れ、以下の活動を行う。 1.製造過程での無駄の削減のために、材料採りの方法や管理・保存方法の見直しについて助言する。 2.不良品率を低下させるために、作業工程の見直しや品質管理について助言する。 3.5SやKAIZENを導入し工場内の製造環境の改善に対し助言する。 4.実践した取り組みについての成果分析、評価方法、レポート作成し、次に活かす助言や指導をする。 中小企業24社中8社について集中的に支援する予定。 http://www.ro7.dost.gov.ph/index.php/home-mainmenu-44.html (配属先ホームページアドレス)					
要請概要 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務用品、パソコン、プリンター、インターネット、ファックス 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート(中小企業技術アップグレードコーディネーター)男性 30代 スーパーバイザー(JICA帰国研修員)男性 40代 局長、男性(サイエンスリサーチスペシャリスト) 40代 地方支局長4名40代男性 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 配属先からの要望 ・ GPIにかかる3年以上の経験 理由: 即戦力が必要とされているため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯) 気温(25~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	任地セブは住民の英語利用率が高いため、生活言語も英語で問題ない。				



長期 (**長期 SV**)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

要請番号(SL 024 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	JOCV/SV	日系/短期	
ラオス	品質管理			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 2	年 月 から
					2 /	
			3 /			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 産業商業省					
	2) 配属先名 (日本語) 中小企業振興開発事務所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ビエンチャン市 JICA事務所の所在地(ビエンチャン)から 北 方向 0 Km 主要都市(ビエンチャン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はラオス国における中小企業振興を促進する機関として2002年に設立(2005年に活動開始)され、主に中小企業の生産性及び品質の向上に取り組んでいる。総務、計画、政策方針研究、投資促進、生産性部門の計5部で構成され、アジア生産性機構(APO)、ドイツ国際協力公社(GIZ)等からの支援のほか、日本のJEITA(電子情報技術産業協会)の援助を受け、5S・カイゼンの講習会を開催している。現在、前任者にあたるSV1名(品質管理)が活動中。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 他のアセアン加盟国と比べて国内中小企業(木材加工、食品加工、繊維加工が主な業種)の財務管理、生産性管理、品質管理など、企業経営管理能力の立ち遅れが見られるラオスでは、2015年のアセアン経済統合を迎える前に、国際競争力をつけるための早急な改善が望まれている。これを生産性と品質の面から改善していくに当たり、5S・カイゼン活動などを導入するべく各種中小企業向け講習会や支援を行っている要請元では、これまで2代のSVが協力してきた5S・カイゼン活動の実績をさらに定着させ、同時にISO9001等の品質管理の普及、及び配属先職員のコンサルタント能力向上のために、JICAボランティアによる協力が引き続き求められている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属先が計画する5Sとカイゼン普及活動への助言を行う。 2. 中小企業の経営者や管理者に対して、QC7つ道具などの紹介を交えつつ、生産性・品質の向上に資する現場管理のポイント(一例として、歩留まり改善のための現場観察や材料在庫管理等)に係る助言を行う。 3. 従業員数名~30名の企業の経営者や管理者に対して、ISO9001など一般的な品質管理システムについて、講習会等を通じた普及活動を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ(インターネット接続可)、プリンター、コピー機等					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 職員数23名(うち生産性部門5名) 生産性部門長代理(男性、40代、大卒、機械工学) スタッフ(男性3名、女性2名、20~30代、大卒、全員経営学部卒、全員英語を解する)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ラオス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:実務経験の紹介を期待されている 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(15-35℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 027 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F112)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ベトナム	品質管理			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
		3	/			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 計画投資省					
	2) 配属先名 (日本語) 企業開発庁 北部中小企業支援センター (TAC-HANOI)				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ハノイ市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 計画投資省企業開発庁の下に2004年に設立された機関。2013年夏に新設ビルに移転予定。セミナー等を通じた啓発、各種トレーニングの実施、及び各種コンサルティング等による北部の中小企業振興・支援を中心業務としている。2006年から2年間「中小企業支援センタープロジェクト」(技プロ)を実施し、中小企業支援機能の拡充に資する各種能力向上が図られた。また、2010年6月からSVの複数名同時派遣を通じて、自動車、二輪車、電子・電気、機械加工を中心とする裾野産業振興を図り、当初目標(支援企業数と改善実施数)を達成した。現在活動中のSV7名は今後順次任期終了となり、2014年6月には全員の活動が終了する。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ベトナム国にとり2018年予定のASEAN完全自由化に備えた裾野産業育成が急務であり、また日系進出企業による現地調達率向上の要望は根強い。過去3年間にTAC-HANOIには延べ19名のSVが派遣されその企業の工場現場での直接的な支援活動成果が高く評価されている。しかし、将来的に自律的な中小企業支援ができるよう配属先の企画・運営能力向上が必要であることから、3S/5S等を切り口にした品質改善、生産性向上への仕組を裾野産業の中小企業に浸透させるのに必要な企画・運営力強化を図る新たな取組を開始することとなり、本件要請に至った。SVは目的を同じくするグループとして最大3名が派遣され、各SVが協力して工場現場を分担し支援するとともに、配属先の中小企業支援能力、特に企画・運営能力向上を促進する。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1) 配属先の中小企業支援能力(特に支援プログラムの企画・運営能力)の向上を促進する。 2) 3S/5S等を切り口にし、見える管理の推進、品質改善、生産性向上、コスト低減などの直接的指導を、機械加工や部品製造を中心とする裾野産業の中小企業の工場現場毎にSVが分担して行う。 3) 配属先が開催する品質改善、生産性向上に係る各種セミナー、ワークショップなどに協力する。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電話、PC等のオフィス機器、インターネット環境					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・センター長(男性、40代、理系) ・コンサルティング部長(男性、40代、理系) ・管理部長(男性、30代、文系) ・他職員:12-13名(ほぼ全員文系出身、直接企業支援はSVが中心に実施する。英語会話者3名) ・中小企業の経営者、工場長等			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由: 実践的な支援のため 裾野産業での工場運営経験 理由: 実践的な支援のため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域 概況	気候(温帯夏雨) 気温(10~35 °C位)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記 事項						

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 027 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F112)	● グループ型 ○ 個別	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年	1 26 / 1
ベトナム	品質管理			○ 1 年	2 26 / 2
			○ ヶ月	3 /	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 計画投資省				
	2) 配属先名 (日本語) 企業開発庁 北部中小企業支援センター (TAC-HANOI)				○ NGO
	3) 任地 ハノイ市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 計画投資省企業開発庁の下に2004年に設立された機関。2013年夏に新設ビルに移転予定。セミナー等を通じた啓発、各種トレーニングの実施、及び各種コンサルティング等による北部の中小企業振興・支援を中心業務としている。2006年から2年間「中小企業支援センタープロジェクト」(技プロ)を実施し、中小企業支援機能の拡充に資する各種能力向上が図られた。また、2010年6月からSVの複数名同時派遣を通じて、自動車、二輪車、電子・電気、機械加工を中心とする裾野産業振興を図り、当初目標(支援企業数と改善実施数)を達成した。現在活動中のSV7名は今後順次任期終了となり、2014年6月には全員の活動が終了する。				
要請概要	1) 要請理由・背景 ベトナム国にとり2018年予定のASEAN完全自由化に備えた裾野産業育成が急務であり、また日系進出企業による現地調達率向上の要望は根強い。過去3年間にTAC-HANOIには延べ19名のSVが派遣されその企業の工場現場での直接的な支援活動成果が高く評価されている。しかし、将来的に自律的な中小企業支援ができるよう配属先の企画・運営能力向上が必要であることから、3S/5S等を切り口にした品質改善、生産性向上への仕組を裾野産業の中小企業に浸透させるのに必要な企画・運営力強化を図る新たな取組を開始することとなり、本件要請に至った。SVは目的を同じくするグループとして最大3名が派遣され、各SVが協力して工場現場を分担し支援するとともに、配属先の中小企業支援能力、特に企画・運営能力向上を促進する。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1) 配属先の中小企業支援能力(特に支援プログラムの企画・運営能力)の向上を促進する。 2) 3S/5S等を切り口にし、見える管理の推進、品質改善、生産性向上、コスト低減などの直接的指導を、機械加工や部品製造を中心とする裾野産業の中小企業の工場現場毎にSVが分担して行う。 3) 配属先が開催する品質改善、生産性向上に係る各種セミナー、ワークショップなどに協力する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電話、PC等のオフィス機器、インターネット環境				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・センター長(男性、40代、理系) ・コンサルティング部長(男性、40代、理系) ・管理部長(男性、30代、文系) ・他職員:12-13名(ほぼ全員文系出身、直接企業支援はSVが中心に実施する。英語話者3名) ・中小企業の経営者、工場長等			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由:実践的な支援のため 裾野産業での工場運営経験 理由:実践的な支援のため			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可	
地域概況	気候(温帯夏雨) 気温(10~35 ℃位)		電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号(SL 027 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F112)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ベトナム	品質管理			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
		3	/			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 計画投資省					
	2) 配属先名 (日本語) 企業開発庁 北部中小企業支援センター (TAC-HANOI)				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ハノイ市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 計画投資省企業開発庁の下に2004年に設立された機関。2013年夏に新設ビルに移転予定。セミナー等を通じた啓発、各種トレーニングの実施、及び各種コンサルティング等による北部の中小企業振興・支援を中心業務としている。2006年から2年間「中小企業支援センタープロジェクト」(技プロ)を実施し、中小企業支援機能の拡充に資する各種能力向上が図られた。また、2010年6月からSVの複数名同時派遣を通じて、自動車、二輪車、電子・電気、機械加工を中心とする裾野産業振興を図り、当初目標(支援企業数と改善実施数)を達成した。現在活動中のSV7名は今後順次任期終了となり、2014年6月には全員の活動が終了する。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ベトナム国にとり2018年予定のASEAN完全自由化に備えた裾野産業育成が急務であり、また日系進出企業による現地調達率向上の要望は根強い。過去3年間にTAC-HANOIには延べ19名のSVが派遣されその企業の工場現場での直接的な支援活動成果が高く評価されている。しかし、将来的に自律的な中小企業支援ができるよう配属先の企画・運営能力向上が必要であることから、3S/5S等を切り口にした品質改善、生産性向上への仕組を裾野産業の中小企業に浸透させるのに必要な企画・運営力強化を図る新たな取組を開始することとなり、本件要請に至った。SVは目的を同じくするグループとして最大3名が派遣され、各SVが協力して工場現場を分担し支援するとともに、配属先の中小企業支援能力、特に企画・運営能力向上を促進する。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1) 配属先の中小企業支援能力(特に支援プログラムの企画・運営能力)の向上を促進する。 2) 3S/5S等を切り口にし、見える管理の推進、品質改善、生産性向上、コスト低減などの直接的指導を、機械加工や部品製造を中心とする裾野産業の中小企業の工場現場毎にSVが分担して行う。 3) 配属先が開催する品質改善、生産性向上に係る各種セミナー、ワークショップなどに協力する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電話、PC等のオフィス機器、インターネット環境					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・センター長(男性、40代、理系) ・コンサルティング部長(男性、40代、理系) ・管理部長(男性、30代、文系) ・他職員:12-13名(ほぼ全員文系出身、直接企業支援はSVが中心に実施する。英語会話者3名) ・中小企業の経営者、工場長等			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (15年以上) 理由:実践的な支援のため 金庫加工関連の工場運営経験 理由:実践的な支援のため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域 概況	気候(温帯夏雨) 気温 (10~35 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記 事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 29 日

要請番号 (SL 233 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
グアテマラ	品質管理			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1	年 月 から
					2 /	
			3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 経済省中小企業開発総局 2) 配属先名 (日本語) ケツアルテナンゴ地域事務所 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ケツアルテナンゴ県ケツアルテナンゴ市 JICA事務所の所在地(グアテマラ市)から 西 方向 206 Km 主要都市(ケツアルテナンゴ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
概要	4) 配属先の規模・事業内容 経済省中小企業開発総局は2001年に制定された中小零細企業国家プログラムに基づいて設立され、当国における中小零細企業振興の政策・実施を行っている。また、中小零細企業支援としては優先セクター(観光、輸出、エネルギー、運輸)へ融資と企業支援サービスを提供して生産者への市場参入を促進している。同省はグアテマラ国内13か所に地域事務所を有しており、配属先はケツアルテナンゴ県、サンマルコス県の2県を管轄している。同局の年間予算は155万米ドル。JICA技術協力プロジェクト「地場産業振興」(~2013/9)が同県を含む3県にて実施中。					
要請	1) 要請理由・背景 中米・カリブ各国の中小企業支援機関による日本式品質・生産性向上手法(5S・カイゼン運動)を含めた中小企業支援人材を育成することを目的に、JICA広域技術協力プロジェクト「中小企業の生産性品質向上にかかるファシリテーター能力向上プロジェクト」(~2012/3)が実施された。同省は今後、日本式の品質・生産性向上手法を普及・拡大するため、同省独自にファシリテーター育成を計画している。しかしながら、同省では上記プロジェクトにて育成された人材を有しておらず、新たに研修等を通じて育成を行う計画である。この研修によって育成されたファシリテーターが配属先管轄地域において的確な業務を執り行えるように、同業務に対して助言を行い、日本の知見を共有できる人材が必要とされ、本要請がなされた。また、可能であれば配属先での活動を基に、他地域事務所も含めて同手法の普及にかかる提言や研修会も期待されている。					
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①ファシリテーター(C/P)が行う中小企業支援活動(日本式の5S・カイゼン運動)に同行し、C/Pに対し必要な助言を行う。 ②上記活動がより的確に行えるよう、C/Pや対象企業に対し、中小企業支援に関する研修会・講義等を配属先にて行う。 ③モデル企業選定にかかる助言を配属先に対して行う。 ④対象企業をC/Pとともに巡回し、モニタリング・助言を行う。 ⑤可能であれば、他地域事務所も含めて同手法の普及にかかる提言や研修会を行う。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室(事務机、イス、事務用品、プリンター)、プロジェクター、スクリーン、デジタルカメラ等					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 事務所長 男性、40代 同地域事務所配属予定のファシリテーター1名(C/P) (今後、研修を受ける20名のうち、1名が配属先に派遣される) アシスタント・秘書各1名		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 配属先同僚の学歴に合わせる ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 人材育成のための経験が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(高山) 気温(0~25℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号 (SL 245 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV
メキシコ	品質管理			2	26 / 1
				3	/
				日系/短期	
				年 月 から	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省産業技術教育局
	2) 配属先名 (日本語) 職業能力活性化センター <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 メキシコ・シティートラウアック区セレナ地区 JICA事務所の所在地 (メキシコ・シティ) から 南東 方向 40 Km 主要都市 (メキシコ・シティ) までの交通手段及び所要時間 (鉄道 で約 1.5 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は日本の協力にて設立され、教育省産業技術教育局に属し、メキシコ国公立工業の「現役教員の知識のアップデートと能力強化のための研修」を実施している。またJICAは本配属先に対し、本件ボランティア派遣と並行し、各種研修事業や技術協力プロジェクト「プラスチック成形技術人材育成(専門家派遣)」を実施中である。これまでに日本以外の国からの援助受け入れ実績はなし。

要請概要	1) 要請理由・背景 ① 経済開放政策や自由貿易協定の締結等、メキシコ政府が推し進めている経済政策の中で産業界は新しい技術の獲得と自国製造業の競争力強化を図る必要性に迫られている。 ② 本件ボランティア派遣の目的は、配属先が実施している工業高校「現役教員」に対する集中研修(合宿制)において、SVの知見を活用して日本式生産方式をメキシコ産業界へ広め、産業集積地等における自動車部品、家電製造関連分野への人材供給の増加につなげていこうというものである。 ③ 民間企業での工場管理等の経験を有する前任者は、上記「現役教員に対する研修」を実施する立場である「配属先職員」約60名に対し5S/KAIZENの講座と実習にて計30Hのコースを5回実施し、配属先での5S活動を立ち上げたが、定着させるためには今後も継続的にフォローが必要である。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 「配属先職員」における5S活動のフォローと定着化 ② 下記主任カウンターパートが「配属先職員」に対して行う5S関連の講義に関し、教材作成等のアドバイスを行う。(SVは直接講義を担当せず側面支援にとどまる) ※配属先インストラクターは工場等生産現場での経験がないため、全国から集まってくる研修生(工業高校の現役教員)に対する生産管理・品質管理講座実施に際し、SVの支援が必要であるが、配属先は研修所・研究所のタイプであるため生産現場とは異なる対応が必要である。

要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン(Windows 7)、ビデオカメラ、プロジェクター、プリンター等。※持参することが求められている機材は特に無し。
	4) 配属先同僚及び活動対象者 主任カウンターパート(37歳、女性、修士、勤続8年) その他研修担当インストラクター26名(30歳～50歳)
	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: ・経験 (実務経験) (15年以上) 理由: 工場管理の経験を要するため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(亜熱帯気候) 気温(10~30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号 (SL 245 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
メキシコ	品質管理			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省産業技術教育局				
	2) 配属先名 (日本語) グアナファト自治大学				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 グアナファト州グアナファト市 JICA事務所の所在地(メキシコ・シティー)から 北西 方向 350 Km 主要都市(グアナファト)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1945年創立の国立大学(前身は1732年に創設された修道院)で教員総数約2,400名、生徒総数約21,000名。年齢層は18歳から28歳、グアナファト州内4か所のキャンパス(①グアナファト、②レオン、③イラプアト-サラマンカ、④セラヤ-サルパティエラ)に、人間社会科学、自然科学、化学等13の学部と78の学科を有する。2012年度の予算規模は約1億9千万米ドル、敷地面積96,000平方メートル。これまでに日本以外の外国の援助受け入れ実績はない。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 グアナファト州は自動車産業の集積地であり、卒業生の外資自動車企業への就職を有利にすすめるために、大学は即戦力となる人材育成を目標としている。現在、関連学科の授業カリキュラムにおいては、初年時は教育用レベルの機材から実習を始め、卒業時までには工業レベル機材における一応の操作技術は取得できる体制ではあるが「当地に展開する外資系自動車企業において即戦力となる」レベルには達していない。SVの派遣により日本の基準を経験し、日本の企業精神や文化(5S等)を学ぶことで、直接的に学生の将来につなげるべく本件要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 上記グアナファトキャンパスで行われる当該分野に関連する講座における活動となる。 ①教員が実施する講義や実習につき診断し、講義内容の質の向上のための助言を行う。 ②教員と共に他の大学教員(10名程度)対象の「日本式生産方式(5S,Kaizen等)」に関するセミナーを企画・実施する。 ③卒業生の外資系製造業への就職機会向上に資するための「日本式生産方式講座」導入にかかる支援。 ④必要に応じ教員と共に、当該分野の既存のマニュアル類の改善を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン(Windows7) プロジェクター、デジタルカメラ				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 大学教員(修士)、大学での経験10年(現場での実務経験なし)、40代男性			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 教員を指導するため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯性) 気温(10~30℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 8 日

要請番号 (SL 315 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
コロンビア	品質管理			2	26 / 1	年 月 から
				3	26 / 2	
			/			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健・社会保障省					
	2) 配属先名 (日本語) 国立職業訓練庁ボゴタ首都圏地域局				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 クンディナマルカ県ボゴタ市 JICA事務所の所在地(ボゴタ市)から 南西 方向 20 Km 主要都市(ボゴタ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 様々な分野の技術者育成を目的に設立された独立性を持つ公的機関。1957年にILO(国際労働機関)、コロンビア労働組合、カトリック教会が主体となり設立された。全国32県とボゴタ首都圏に地域局を持ち、116のセンターにおいて長期・短期の職業訓練コースを運営している。年間約70万人の技術資格者を育成し、短期のコース受講者は300万人以上に及ぶ。本件要請は首都圏地域局の交通技術センターが活動先となる。同センターの年間予算は約130万米ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同センターでは自動車整備の訓練コースを主として、公共交通機関運転手また建築機械操縦士育成コースなどの訓練が行われている。同センターの責任者は過去に日本の自動車企業での就業経験があり、今後、国際的な競争力の向上を視野に入れた訓練を進める際に、日本企業が進める生産性向上活動の導入が効果的と考えている。同配属先には、こうした活動についての実践的な経験を持つ職員の在籍は無く、今回のSV要請へと繋がった。また、日本とコロンビアの経済連携協定の締結に向けて、二国間の交渉が進んでいる。JICAとしても官民連携の協力活動を推進していることから、本SV派遣による自動車整備訓練コースへの貢献を通じ、日系企業との連携を視野に入れた活動を期待したい。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 自動車整備訓練コースを中心に施設および訓練実施状況を観察し、5S推進活動の理念に基づく現場改善指導を行う。 2. 上記指導を通じて教官グループへの5S推進活動や現場改善活動の紹介を行い、各部署での導入・普及を目指す。 3. 他地域局への出張また他地域局からの視察の受入を通じた同活動の紹介も期待される。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC(インターネット可)、コピー機(スキャナー機能付)等の一般事務設備が利用可能。 会議室ではAV機器を利用した講義も可能。					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・センター長は50代男性。日本企業(自動車関連)にて就労経験がある。 ・同センターの訓練教官は約200名。技術者がほとんどであり5S等の知識は無い。		5) 活動使用言語 (スペイン語)			
		6) 生活使用言語 (スペイン語)				
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)			活動上の單車/自転車の必要性		
	・免許 () 又は ()			<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
	・性別 () 理由: ・学歴(大卒) () 理由: 同僚との関係から ・経歴(実務経験) (10年以上) 理由: 指導を行うため 理由:			現職教員特別参加制度		
			<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(高地) 気温(5~30℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					
自動車整備コースでの指導となるため、自動車関連産業(整備も含む)での現場改善指導の実務経験が必要。						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号(SL 315 - 13- D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV	
コロンビア	品質管理			2	26 / 1	日系/短期
				3	26 / 2	
					年 月 から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) アンテオキア科学技術センター					
	2) 配属先名 (日本語) アンテオキア科学技術センター				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 アンテオキア県メデジン市 JICA事務所の所在地(ボゴタ市)から 北西 方向 400 Km 主要都市(メデジン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 1989年に公共セクターにより設立され、企業等組織の生産性向上、フォーマル教育強化、セクター別技術振興が事業の3本柱となっている。公共セクターからの委託事業が90%を占め、当該事業の収益金により運営される。常勤職員50名に加え、請負業務により専門技術者等を別途契約している。同僚は本邦でのJICA研修修了者。2011年9月にはアジア各国を歴訪し生産性向上活動の先進的状況を学ぶ等の活動を始めた。APO(アジア生産性機構)への賛助会員としての参加や、JPC(日本生産性本部)からの指導など、今後の具体的な関係構築にも強い関心を寄せている。年間予算は約1000万米ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 2010年10月より「品質管理」SVが赴任し、5S推進活動、生産性向上活動の企業訪問指導、またこうした指導に活用する教材の評価・改定が進められた。現状の課題は同配属先スタッフの改善指導経験の浅さであり、IE(Industrial engineering)手法やQC手法を活用した実地訓練が必要な状況である。同配属先による教育プログラムの実施運営体制の確立、活用中の教材の体系化といった、現在までに得られたボランティアによる成果の更なる定着、また市と連携し進められている中小企業の生産性向上プロジェクトへのサポートも期待され本要請に至った。同配属先は、更なる事業発展を目指したアジア(特に日本やマレーシア)の先進機関(JPC、APO等)との連携促進による知識や技術の吸収を図りたいとも考えており、こうした連携へのサポートも期待されている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 市と連携し進められている中小企業の生産性向上プロジェクトへのサポートを中心に以下の活動を行う 1. 配属先同僚に対するコンサルタント活動の指導 2. 企業訪問を通じた5S推進活動および工程改善等の製造現場改善活動の指導 3. 5S推進活動、IE手法、QC手法、等の現場改善研修にて活用される教材の評価・改良 4. その他、配属先が必要とする支援への対応					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的事務設備					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 活動をともに進める同僚は3名 ・ 主なカウンターパートは生産性向上業務担当の30代女性 2名 ・ 副センター長(50代男性) 3名ともに本邦でのJICA研修修了者 ※他に数名が活動に応じ随時加わる			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・ 経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 経歴に基づいた指導が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(高原) 気温(15~30℃位)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

要請番号 (SL 424 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV	
ヨルダン	品質管理			2	26 / 1	日系/短期 年 月 から
				3	26 / 2	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働省
	2) 配属先名 (日本語) 職業訓練公社 就職支援課 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 アンマン JICA事務所の所在地(アンマン)から 北 方向 0 Km 主要都市(アンマン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 職業訓練公社(VTC)は職業訓練サービスの提供、雇用促進を目的に1976年に設立され、所管する国内45の訓練校で学生や社会人の技術力向上に取り組んでいる。年間予算は約13億円。2006年11月～2010年11月、本部と3モデル訓練校を対象として職業訓練マネジメント強化プロジェクトが実施された。現在、VTCではJV4名(工作機械、経済・市場調査、服飾)及びSV3名(学校運営、経営管理、冷凍機器・空調)が活動中である。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ヨルダンを持続的な経済発展と国際競争力強化のため、投資促進、工業団地建設等の工業振興政策をとるとともに、労働者の生産性、製品水準の向上、労働市場のニーズに十分対応しうる人材育成のための職業教育の充実を、開発計画の主要目標と位置づけている。ヨルダンでは若年層の失業率が30-40%と特に高いことから、就職支援課が訓練校卒業生の雇用促進及び、訓練生のライフスキル教育を目的に2011年に設立された。前任経営管理SVは全国45校から13校を同僚と共に選び、コア訓練校として集中的に5S活動導入支援を実施中である。最終的には2013年末に最優秀訓練校を表彰し、13校への5S活動集中導入支援を完了する予定である。今回、この13校での5S活動定着のためのフォローアップ、並びに全45校への5S活動普及を支援するために本要請が出された。対象は溶接コース等の各作業現場であり、各訓練所の付属倉庫も含まれる。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 全国の職業訓練校のインストラクター及び就職支援課スタッフに対し、以下の点で協力を行う。 1. 全国の職業訓練校への5S活動導入支援。 2. 5S活動導入済みの訓練校に対しては、定着のためのフォローアップ。 3. より進んだ改善手法(在庫管理手法等)の紹介・導入。 また、職業訓練公社以外の公的機関での改善手法に関する講習実施も期待されている。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 使用できるIT機器、事務機器は特にないため、ノートパソコンは持参した方がよい。
	4) 配属先同僚及び活動対象者 職業訓練公社 就職支援課 課長(男性、50代) 職業訓練公社 就職支援課 担当スタッフ3名(男性、30-40代、兼任) 職業訓練公社は総裁を筆頭とし、副総裁3人、地域長3人、4委員会、39課、3補助課からなる。

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:改善手法の専門的な知識が必要 ・経歴 (指導経験) (10年以上) 理由:5S改善の導入・指導経験が必要 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(地中海性気候) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

要請番号 (SL 763 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1
ウズベ キスタン	品質管理			1年	2
			ヶ月	3	26 / 2
					年 月 日
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 司法省 2) 配属先名 (日本語) ウズベキスタン商工会議所 <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 タシケント州タシケント市 JICA事務所の所在地(タシケント)から 北 方向 0 Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
概要	4) 配属先の規模・事業内容 同会議所は2004年に非営利特殊法人として発足。設立目的は、①民間企業を活性化させるための環境作り ②民間企業への法的アドバイス ③海外企業との連携構築支援 ④同国製品の海外市場への販売促進 ⑤投資促進であり、タシケント以外の地方都市には支所が設置されている。現在の会員数は約2万社である。2009～2012年にかけてドイツの協力で中小企業へのカイゼン導入を進めてきた。年間予算は約4億円。品質管理のSVとしては初代となるが、過去にマネージメント及び中小企業育成の職種でSV3名が活動していた。ドイツ、韓国の専門家の協力もあった。				
要請	1) 要請理由・背景 1991年に旧ソ連圏から独立した同国の安定と持続的経済発展のためには、競争原理に基づく市場経済化が重要である。大統領令や閣議令により民営化、市場経済化への取り組みを支援しているが、実質的な進展にはまだ相当の時間が必要である。同会議所の活動も、現状では企業活動にかかる法制度等の情報提供が中心であり、今後は中小企業の抱える経営課題に対応するための経営診断や経営への助言ができるようになることが求められている。そのため、これまでドイツの協力により数名の専門家が短期の出張でカイゼンの指導をしてきたが、より一層の効果上げるため、日本からのボランティアの要請に至った。なお、過去に同会議所に配属されていた3名のSVのうち2名は会員企業に対するビジネスコンサルティングを中心に活動し、1名は対外英文書作成技術等の会議所内部の運営能力改善を支援した。				
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同会議所のカイゼン導入メンバーと良好な関係を築きながら、以下の活動を行う。 ・カイゼンの概念の導入に向け、首都または地方の会員(会員数は約2万社で、農産物加工や繊維関係の業者が多い)を対象に教育研修を企画、立案、実施する。 ・会員企業のうちモデル会社を対象にカイゼンを導入し、企業の経営課題に対応するための診断及び助言を行う。 ・同会議所のカイゼントレーナーを対象にカイゼンの概念を指導する。				
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務机、パソコン(XP、インターネット接続)、プリンター、スキャナー等				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚(カイゼンに関する基礎知識は有している) 40代男性(経済学修士)責任者 60代男性(経済学学士) 20代女性(経済学学士)		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ウズベク語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準に合わせる ・経歴 () () 理由: ・ カイゼン導入・指導の経験10年以上 理由: トレーナー育成に必要			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(大陸性ステップ) 気温(-20～40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

要請番号(SL 224 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード F113)	○グループ型 ◎個別	○新規 ◎交替 2 代目	○2年	○1年
ドミニカ共和国	マーケティング			○ヶ月	1 26 / 2
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 経済企画開発省		JOCV/SV 日系/短期		
先	2) 配属先名 (日本語) サンティアゴ商工業協会		◎ NGO		
概	3) 任地 サンティアゴ市 JICA事務所の所在地(サントドミンゴ特別区)から 北西 方向 180 Km 主要都市(サンティアゴ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)				
要	4) 配属先の規模・事業内容 同協会は、1961年9月21日に設立され、約3,000社の会員を持つ。企業支援を行う非政府機関で年間予算は2,000万円。会員企業は当国北部全域にわたる各種企業。会員の90%が中小企業。現在JICAボランティアのグループ派遣で、4名のSVが同地区の中小企業の総合的な発展を目的に派遣されている。				
要	1) 要請理由・背景 当国ではDR-CAFTA「米国・中米・ドミニカ共和国自由貿易協定」発効に伴い、早急な国際競争力強化が求められており、同協会は各企業経営者からの依頼に基づき、各企業の品質管理の指導から始め、JICAボランティア2代に渡りISO9000の指導を行った。同協会では品質管理についてはアウトソーシングして継続して取り組んでいくが、会員企業の更なる競争力向上を目指し、中小企業指導経験が豊富な商品開発分野のボランティアの要請に至った。前任者(商品開発)は、コーヒー、野菜、フルーツなど農産物生産者団体を訪問し、輸出促進についてのアドバイスを行っている。また、当国の企業を対象に実施されたジャパントレード・セミナーへ配属先を参加させるなど、他機関との連携にも注力し活動を行っている。				
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 市場調査を行うと同時に、会員企業を訪問し下記の業務を行う。 ・事業分析 ・マーケティング戦略の立案 ・製品開発のアドバイス ・コーヒー、野菜、フルーツ他農産物の輸出促進に対するアドバイス ・可能であれば、商品開発に関する手法のセミナーの実施				
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務机等事務用機器				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 事務局員5名(男性1名、女性4名: 大卒) 局長(日系人女性: 40代)		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 企業指導に高い学歴が必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 企業へ直接指導を行うため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○單車 ○自転車 ◎不要 現職教員特別参加制度 ○可 ◎不可	
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(18~34 °C位)		電気(○安定 ◎不安定 ○なし) 水道(○安定 ◎不安定 ○なし)		
特記事項	インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

要請番号 (SL 224 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード: F113)	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 4 代目	1	JOCV/SV	
ドミニカ共和国	マーケティング			2	26 / 2	日系/短期
				3	年 月 から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ドミニカ共和国輸出投資センター					
	2) 配属先名 (日本語) ドミニカ共和国輸出投資センター				○ NGO	
	3) 任地 サントドミンゴ特別区 JICA事務所の所在地(サントドミンゴ特別区)から 北 方向 0 Km 主要都市(サントドミンゴ特別区)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 2003年にドミニカ共和国輸出振興センターとドミニカ共和国投資振興センターが合併し、輸出と投資を促進させる目的で設立された政府組織。国際市場の情報収集・調査・分析を行い、それを基に海外市場へのドミニカ共和国製品のプロモーション、国内輸出業者への情報提供とコンサルティング、新規輸出業者育成などの業務を実施している。2008年に無償資金協力で貿易投資人材育成センター建設を支援し、JICA専門家・ボランティア派遣の受入実績もある。職員数約200名、年間予算は約2百26万ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同配属先は3つのカテゴリー(輸出、企業指導、投資)に分かれており、ボランティア派遣要請があるのは、輸出部門の中の市場調査部である。同部は主に国際市場調査を実施、配属先はその情報をもとにドミニカ共和国(以下ド国)内の輸出業者に対して、各種サービスを行っている。同部は、近年ド国の第2の輸出先国である隣国ハイチ共和国の市場調査に注力し、対ハイチ貿易の質・量ともに向上させ、2国間の貿易関係強化を目指しており、現在派遣中の市場調査SVもその支援を行っている。他方、特に市場動向を知り、将来の傾向を予測し、今後の方策を立てる上で必要なデータ分析の部分で、そのデータが管理されていないばかりでなく、取得したデータをどのように分析し、その結果をどのように役立てるかについての専門的な知識を持った人材が不足しているため、効果が十分に上がっていない現状がある。従って、特にデータ分析を強化するため今回の要請に至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先市場調査部にて、同部同僚約19名と協力しながら、以下の活動を行うことが期待されている。 1. データ収集方法の改善に関する助言 2. 当国の対外輸出に関する統計データの活用に関する助言 3. 中小企業の輸出関連人材育成支援(対外輸出に関する助言) 4. 配属先職員に対する人材育成支援(輸出統計関連)					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務机、PC、プリンター、インターネット					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート:男性、50歳代、市場調査部主任、経済学士 市場調査スタッフ:9名、統計スタッフ 10名			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 配属先CP等の学歴と同等が必要 ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 配属先での活動に必要 輸出統計関連業務経験5年以上 理由: 配属先での活動に必要			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ● 不要		
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可		
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(18~34 ℃位)		電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし)			
特記事項	インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 5 日

要請番号 (SL 136 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード F201)	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
バヌアツ	観光			1	26 / 1	年 月 から
				2	/	
		3	/			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) バヌアツ技術専門学校 観光科 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 シェファ州エファテ島ポートビラ市 JICA事務所の所在地(ポートビラ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ポートビラ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 バヌアツ技術専門学校は30年以上の歴史を持つバヌアツ唯一の国立の職業訓練学校である。自動車整備、木工、土木・建築、電気、商業、観光等のコースを有し、60名の教員と約800名の生徒が在籍している。観光科(Hospitality, Tourism and Leisure Training Centre)は調理、観光、接客、ハウス・キーピングの4つのコースから構成され1年間のコースを開設している。観光科の建物(レストラン、キッチン、教室等)は2006年にEUの援助で改築された。過去に観光産業人材育成、自動車整備等の複数のボランティアを受け入れており、現在は調理のSVが活動している。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 バヌアツでは観光振興に力を入れており、観光に関連する産業がGDPの約7割を占めている。そういった状況の中で、唯一の国立職業訓練校である配属先では、優秀な人材の育成が課題となっており、また観光業界からの期待も大きい。しかし、配属先には質の高い実習指導や観光業界での十分な経験をもった講師が不足しているのが現状である。そのため、接客コースにおいて質の高い実習指導や日本のきめ細やかなサービスを指導できる人材が求められ本要請となった。ボランティアは同校の観光科の1教員として、同僚教員、及び生徒に対して実務としてのレストランでの接客法を教授する。授業は座学の他、実習も多く用意されている(座学30時間、実習120時間/年間)。観光科のレストランは週3回、火曜日、水曜日はランチ、木曜日はディナーのみ一般向けに予約営業を行っている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) <ul style="list-style-type: none"> ・同僚教員と共にレストランでの接客に関する授業運営を行う。 ・授業内容や実習方法の改善や教材の作成を行う。 ・同僚教員への情報提供やワークショップを開催する。 ・生徒のOJT先や就職先の開拓を支援する。 ・可能であれば観光コース(ホテルやツアーの受付等)への支援も行う。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、インターネット、電話、FAX、実習施設(レストラン、キッチンなど)、教室
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 専任2名(仏語系1名 40歳代男性、英語系1名 40歳代男性) 観光科教員8名 指導経験5~10年 各種補助員(コミュニケーション、IT、数学、化学等) 観光科生徒100名(うち接客コース 生徒 約36名 15歳~20歳)

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) <ul style="list-style-type: none"> ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 幅広い経験・知識が必要 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(亜熱帯) 気温(20~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	--

特記事項

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号(SL 303 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G102)	○グループ型 ◎個別	◎新規 ○交替 代目	JOCV/SV		日系/短期
アルゼンチン	環境教育			○2年 ◎1年 ○ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) カンパナ市役所					
	2) 配属先名 (日本語) カンパナ市役所環境部局					○ NGO
	3) 任地 ブエノスアイレス州カンパナ市 JICA事務所の所在地(ブエノスアイレス市)から 北 方向 150 Km 主要都市(カンパナ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 同市環境局環境教育課は、7人の職員を擁し、同市における廃棄物の分別収集や資源化促進のため、住民(一般市民、市民団体、学校、企業等)や資源物の回収・売却等を請け負っているウェスト・ピッカー(CARTONEROS)組合に対し、環境教育や分別状況のモニタリング活動を実施している。過去、JICAが技術プロジェクト「固形廃棄物減量化計画」(2008-2009)やフォローアップ協力(2011)を実施しており、協力終了後も徐々に分別収集地区を拡大してきている。これまでに、JICAボランティア派遣の実績はないが、環境教育分野で2名のJICA研修員の受入実績がある。(2011-2012年)					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同市環境局では、現在、実施している廃棄物の分別収集を市内全域に拡大することを目標としており、現場での環境教育指導者(ボランティア)の育成、教材・パンフレット等の作成等、環境教育の拡充に鋭意取り組んでいる。また、2012年からは、約15,000人以上の市民及び関連企業、学校との協働で「リサイクルキャンペーン」を開始している。このため、現場での環境教育指導者の質の向上、ウェスト・ピッカーの作業の効率化及び収益性の向上のための資源物(主にプラスチック)のリサイクル促進等が求められている。こうした状況から、市環境局環境教育課の指導能力の向上及び学校現場での環境教育の推進等が急務となっており、当該分野について十分な経験と知識を有した人材から支援や助言を受けたいとして本件要請に至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)					
	①環境教育及びリサイクル活動に関するノウハウの実践指導を行う。 ②市環境局が実施するリサイクルを中心とした環境教育セミナー等の開催に対し、技術的な支援や助言を行う。(講師を含む) ③市環境局が実施するNGO、教育機関関係者等を対象にしたリサイクルの基本知識についての啓発活動に助言を行う。 ④環境教育の教材作成に関する助言を行う。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、プロジェクター等					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 代表責任者: カウンターパート:女性(20代)環境教育課職員:経験5年(揚国研修員) 同僚:6名(20代~30代)環境教育職員:経験4年			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります)				活動上の単車/自転車の必要性	
	・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 業務遂行上不可欠 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 業務遂行上必要不可欠 理由:				○単車 ○自転車 ◎不要 現職教員特別参加制度 ○可 ◎不可	
地域概況	気候(温暖) 気温(5~35℃位) 電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 通信(☒インターネット可 ☒電話可 ☐無線) 水道(◎安定 ○不安定 ○なし)					
特記事項						

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

要請番号 (SL 333 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
ウルグアイ	環境教育			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) リベラ県庁				
	2) 配属先名 (日本語) リベラ県庁 保健・衛生・環境局 環境課				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 リベラ県リベラ市 JICA事務所の所在地 (モンテビデオ市) から 北東 方向 500 Km 主要都市 (モンテビデオ市) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 7 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同県はブラジルと国境を接する同国北部に位置し、人口約10万人。同国の中でも社会開発が遅れている県の一つで、貧困問題を始めとして様々な社会問題を抱えている。県庁は公共事業、財務、保健・衛生・環境、振興・開発、運輸交通の5局からなり、こうした社会問題の改善に総合的に取り組んでいる。年間予算約3700万米ドル、県職員約1,000人。県知事、保健・衛生・環境局長は、JICAの廃棄物処理や水環境モニタリングに係る本邦研修を受けた元研修員である。これまで大型車両整備、保健師、花卉栽培、渉外促進の指導科目でSV4名が同県庁に派遣されている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 リベラ県庁は、同国の中でも環境問題対策に力を入れている地方自治体の一つである。2009年からはリベラ市でEUと共同で市内のゴミの分別回収を開始し、社会的弱者の経済的自立を支援するためスカベンチャーグループによる回収有機ゴミのコンポスト化・販売等を支援するなど、社会開発と一体となった環境保全や美化に取り組んでいる。こうした中、配属先の環境課は、出前講座や各種イベントを実施するなどして、地域住民や小中学校の教師・生徒等に対し、水・森林・土壌等の環境保全や美化、リサイクルの重要性等につき啓発活動を行っているが、まだ環境問題に対する市民の意識は十分高まっているとは言えず、引き続き市民の環境意識の向上が大きな課題と認識されている。日本で行われている環境教育の手法等、新しいアプローチや考え方を取り入れ、市民向けの環境教育をより充実し、実効的なものにしていきたくしてボランティアが要請された。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 現在配属先が実施している環境教育プログラムについて現状を分析、課題を整理する。 2. 日本で行われている環境教育の手法や新しいアプローチ、考え方を紹介したり、環境教育教材等の作成に協力しながら、環境教育プログラムの充実・活性化を支援する。 3. 環境保全に関する各種イベントやキャンペーン、出前講座等の企画・実施に協力し、市民の環境意識向上に向けた取り組みを支援する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務機、椅子、インターネット				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先課長:男性 50歳代 同僚:8名(時期によっては大学生のインターンも在籍)		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚と同等以上の学歴が必要 ・経歴 () () 理由: 環境教育関連活動経験 理由: 業務上必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(温暖) 気温(3~34 °C位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 30 日

要請番号 (SL 021 - 13- D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G126)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1		
カンボジア	サッカー			1年	2	26 / 1	年 月 から
				ヶ月	3	26 / 2	
				/			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育青年スポーツ省						
	2) 配属先名 (日本語) カンボジアサッカー連盟				<input type="radio"/> NGO		
	3) 任地 ブンベン JICA事務所の所在地(ブンベン)から 南 方向 0 Km 主要都市(ブンベン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)						
	4) 配属先の規模・事業内容 1933年創立、スタッフ数34名、連盟公認審判員は約40名。年齢制限なしのナショナルチーム、13歳以下及び17歳以下のユースナショナルチームの選手育成、並びに公認審判員の育成を行っている。FIFAやJFA(日本サッカー協会)からの資金援助あり。年間予算は、およそ50万米ドル。同連盟は、サッカーアカデミーを2012年に設立し、海外に通じる選手を育成すると同時に有望な若手人材発掘を進めている。カンボジアサッカー連盟に対して、短期ボランティアがユースコーチとして、また長期SVがサッカー審判の指導者として派遣された実績がある。						
要請概要	1) 要請理由・背景 前述のとおり新規設立されたカンボジアサッカーアカデミーは、日本のJFAアカデミーをモデルにしており、若手サッカー人材の発掘および育成、及び国際大会の場で活躍できる選手の育成が目的である。同連盟は、アジアの中の成功事例として広く知られる日本のサッカーアカデミーと同様の成功を期待し、同アカデミーの設立に至った。そのために、日本で経験を有するボランティアと共に、サッカーアカデミーの基盤を整備し、若手人材を育成することを期待している。						
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. ナショナルサッカーアカデミーの中長期計画を策定する。 2. 同僚コーチと連携し若手コーチをスカウトし、サッカーアカデミーのコーチとして育成する。 3. サッカーアカデミーのコーチに対する研修会やワークショップを開催する。 4. 年少者に対して基本レベルのサッカーを指導する。 5. 同僚コーチとともに若手選手の発掘・育成を実施する。 6. サッカーアカデミーの基本業務計画を設定し、モニタリングを通して改善する。						
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 サッカーグラウンド、練習機材、サッカーボール、レクチャールーム						
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 テクニカルダイレクター:40代 男性(留学経験あり) サッカーアカデミー担当職員:50代 男性 若手育成担当職員:30代 男性 指導対象者:若手コーチ、初心者レベルから基礎レベルまで、学生や年少者			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (クメール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由:コーチへの指導のため ・ JFA B級ライセンス及びキッズリーダー 理由:若手人材への指導のため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 30 日

要請番号 (SL 024 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 5 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 /	日系/短期 年 月 から
ラオス	柔道					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省					
	2) 配属先名 (日本語) ラオス柔道連盟					<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ビエンチャン市 JICA事務所の所在地(ビエンチャン市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ビエンチャン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はラオス柔道の発展・普及のため、柔道選手の強化、指導者の育成、各種国際大会への選手派遣等を行なうと共に、地方部への柔道普及活動も行なっている。これまで、SV4名及びJV2名が派遣されている。現在派遣中の4代目SVの任期は、2013年12月まで。日本の文化無償で、2009年秋に武道センターが完工し、活動の拠点となっている。配属先の年間予算は約250万円である。なお、ラオス国柔道ナショナルチームは、2007年のSEA Games(東南アジアスポーツ大会、於タイ)及び2009年の同大会(於ラオス)において好成績を残した(前者にて金2・銀1・銅3、後者にて金2・銀5・銅4を獲得)。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ラオスでの柔道競技人口は約250人に過ぎず、近隣国に比べて著しく少ないことから、競技レベルの向上には競技人口の裾野拡大が必要である。現在派遣中のSVは本年12月のSEA Games(於ミャンマー)でのメダル獲得に向けナショナルチームの強化に取り組む一方、一般市民向けの講習にも注力し競技人口の拡大に努めている。SEA Games以降もナショナルチームの指導と柔道の普及活動の継続が期待されており、後任を要請するに至った。またラオス南部地域に於ける柔道普及に向けてサバナケット県に本年8月に派遣されるJVと連携した活動も期待される。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. ナショナルチーム及び有段者を対象とし、国際試合で好成績をあげられるレベルに到達するよう指導する。 2. 柔道競技人口の拡大のため、子どもや若年層を対象とする練習会を開催する。また、南部サバナケットに派遣予定のJVと連携し、地方における柔道の普及、振興を図る。 3. 各種競技大会の運営等について助言する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 武道センター(2009年秋、完工)、柔道関連ビデオテープ、テレビ・ビデオデッキ					
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 連盟会長(60代、男性) 連盟スタッフ5名 コーチ3名(指導歴10~15年、23歳・女性・3段、26歳・女性・2段、32歳・男性・3段、全員がナショナルチームのコーチ兼選手) ナショナルチーム選手15名(男性9名、女性6名、上記コーチ3名を含む、16~26歳、初段~3段)				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ラオス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (10年以上) 理由: 国際試合に出場する選手育成、 柔道4段以上 理由: ナショナルチームへの指導				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(15~35 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号(SL 027 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 /
ベトナム	柔道				日系/短期 年 月 から
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ホーチミン市人民委員会				
	2) 配属先名 (日本語) ホーチミン市文化・スポーツ・観光局				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ホーチミン市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 南 方向 1700 Km 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同市のスポーツ関係事業を統轄し、武道連盟を含む各種スポーツ団体に対する管理、及び市内各所でスポーツ関連施設の運営・管理を行い、スポーツの普及・振興に当たっている。1999年から2009年までに、文化・スポーツ・観光局傘下のテニス連盟、卓球連盟に各5名、体操協会に2名、武道連盟、水泳協会、バレーボール協会に各1名、計15名のJVが派遣された。ボランティアは同局に配属され、活動先の武道連盟に派遣される形態となる。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ホーチミン市武道連盟は、同市文化・スポーツ・観光局が所管する有カスポーツ団体の一つであり、柔道の他空手道、テコンドー等の部を擁している。柔道部では指導者の育成、選手の養成、練習生の練習指導を市内各所の施設で行ない柔道の普及・振興に努めているが、経験のある指導者が不足している。このため、日本の伝統に基づき精神面の成長も意識した、系統だった、指導者及び選手の育成とレベルアップを図ることを目的として、今回のSV要請となった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 市営のスポーツ施設において、同僚教官と協力して選手の練習・指導を行い、練習プログラムの改善、同僚教官の能力向上を支援する。ホーチミン市近隣省への遠征・出張もありえる。 1.市代表選手に対し5名の教官と分担・協力して練習・指導を行う。練習は週日06:00-7:30、及び18:30-20:00に行われる。 2.市大会前に特別強化選手に対し5名の教官と分担・協力して短期の特別練習・指導を行う。 3.年数回行われるホーチミン市柔道教官の能力向上研修に協力する。 4.例年行われるホーチミン市柔道大会の運営を支援する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 練習用畳張り柔道専用練習場(36m×18m)、ロッカールーム、トレーニングルーム、屋外グラウンド、隣接競技施設など				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 柔道部長 (男性、40代、4段) 同僚男性教官 (3名、30代~40代、3-4段) 同僚女性教官 (1名、30代、2段) 市代表選手(19歳以上、約30名、国内・国際大会出場予定、1-3段) 市大会特別強化選手(12-19歳、約20名、初段以下)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は (5段以上) ・性別 (男性) 理由: 指導対象の大半が男性であるた ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (5年以上) 理由: 同僚教官とのバランス上必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度	
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(サバナ) 気温(25~35 ℃位)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 30 日

要請番号 (SL 227 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
エルサルバドル	柔道		年 月 日 から		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) スポーツ庁 2) 配属先名 (日本語) エルサルバドル柔道連盟 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サンサルバドル県サンサルバドル市 JICA事務所の所在地(サンサルバドル市)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 柔道連盟は1981年に設立され、首都をはじめ、東部サンミゲル・西部サンタアナにも支部を擁し、柔道競技のレベル向上及び普及活動を行う中核機関である。同国の柔道競技レベルは、中米では常に上位にあり、これまでに多くの中米チャンピオンを輩出し、ロンドンオリンピックにも出場するなど着実に実力をつけているが、スポーツ人口は約1,000名と限られている。2012年の年間予算は15万USDドル。同配属先では本要請の前任者となるSV(2014年1月まで)が活動中である。				
要請概要	1) 要請理由・背景 近年、同国柔道界ではスポーツ人口数が伸び悩んでいる。柔道は道場・畳など多くの器具を擁するため特に地方で普及が困難にしていること、不安定な治安情勢がその主要因と同連盟では考えており、数年前より「運動会」と称し柔道の動きを取り入れた総合レクリエーションを各地で行うことで打開を図ろうとしている。 上記背景に加え、活動中のSVは同国の柔道が勝敗を追求しすぎる嫌いがあり、投げや受け身といった基本技術を学ぶことが疎かにされていることに着目し、柔道の本質を失わないよう根気よく指導者と対話を行い、助言・指導を行っている。また、配属先の強い要望から講道館柔道の「形」や「護身術」の指導を行うなど幅広く活動を展開しており、生徒数も増え、指導者にしても着実に技術を習得している状況である。このため、同SVの活動を軌道に乗せ、同国の柔道の総合的發展に寄与する人物が望まれているために本申請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.乱取り ①指導者に対し、指導力向上のための助言・練習法の改善指導を行う ②児童・成年・シニアの部の柔道教室への支援を行う 2.指導者に対し、講道館柔道の「形」(投げ・固め・柔・五・極・古式の形、計6種)の技術指導を行う 3.連盟で行われている護身術教室への助言と指導補佐を行う 4.「運動会」への参画、他、柔道人口普及活動に係る側面支援を行う 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 柔道連盟道場2カ所(100畳、150畳)、その他バーベル、ダンベル等トレーニング器具 4) 配属先同僚及び活動対象者 連盟技術指導責任者:6段男性 乱取り:指導者5段男性1名他4名、各クラス:児童約30名、成年約10名、マスター約20名 形:指導者初段男性6名、生徒30名 護身術:指導者初段男性2名、生徒約10名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (5年以上) 理由:指導上必要 理由:指導上必要 柔道4段以上		活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯) 気温(15~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 324 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
パラグアイ	柔道			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1
				2 26 / 2	
				3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) スポーツ庁				
	2) 配属先名 (日本語) 柔道連盟				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 南東 方向 10 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 柔道連盟はパラグアイ国内の柔道の普及、強化を目的として設立された40年以上の歴史を持つ団体である。柔道を中心に柔術、空手の指導も実施している。スポーツ庁及びオリンピック委員会に所属しており、連携した活動を実施している。国際大会参加時のスポーツ庁からの一部活動資金援助あり。柔道連盟には1986年から2003年までJV3名とSV1名が派遣されているが、2003年10月以降はJICAボランティアの派遣はない。年間予算約10,000US\$。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 スポーツ庁、オリンピック委員会より国際レベルでの競技力向上を目指したい競技として、柔道が候補として挙げられた。近年ロンドンオリンピック等の国際大会に代表が出場する等、柔道のレベルも徐々に上がってきており、さらなるレベルアップ及び国内での普及拡大のためにスポーツ庁及び柔道協会よりSVの要請に至った。 また、国のスポーツ普及プロジェクトにより柔道は現在5つの小学校で導入されており2013年には10校、2014年には20校と今後拡大予定であり、指導及び普及への支援が求められている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.強化選手(ナショナルチーム)に対する競技レベルの向上を目的とした指導 2.子供など初心者への柔道基礎の指導 3.指導者達への指導方法の伝授 4.柔道を導入している小学校での指導 ※火、木:柔道協会道場での指導 月、水、金:日本パラグアイ人造りセンター内道場での指導 (道場での指導は夜間が中心となる)(小学校での指導は昼間であり曜日などは未定)				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 柔道場2か所:柔道協会内道場(5×8m)、日本パラグアイ人造りセンター内道場(6×10m)				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 協会会長 男性 8段 70代、 コーチ 男性 5段 60代、コーチ 男性 2段 50代、コーチ 女性 4段 40代 選手(生徒) 柔道協会内道場 25名程度(子供7~12歳15名、大人10名) 日パ人造りセンター内道場 23名程度(子供7~12歳 20名、大人3名) 他 対象小学校生徒			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (10年以上) 理由:ナショナルチームへの指導 理由:ナショナルチームへの指導 3段以上			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 18 日

要請番号 (SL 327 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目		JOCV/SV	
ペルー	柔道			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	26 / 1
					2	26 / 2
				3	/	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 体育庁 2) 配属先名 (日本語) 柔道連盟 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 リマ市 JICA事務所の所在地(リマ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(リマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同国政府は、地方における各種スポーツのインフラを整備し、普及、発展、振興を図ることを目的としたスポーツを通じた地方開発プログラムを策定している。体育庁は教育省の傘下であり、次世代を担う青少年の健全育成のためにスポーツ奨励を行っている。礼儀・規律が身に付く日本の伝統武道、特にオリンピック種目でもある柔道はペルーでも広く愛好されており、7つの州に柔道クラブがある。年間予算は約50万米ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 体育庁地方支部で活動した柔道JV(2011年6月～2013年6月)が、在外研修開催型「講道館柔道”形”技術研修」を実施し、中米・カリブから3か国7名、ペルーから4名の柔道家の参加を得て、「形」について研修・デモンストレーションを行った。このデモンストレーションを見た柔道連盟からぜひ「形」の専門家を派遣してほしいと要望が挙げられた。また、首都以外にも国内6つの州で柔道が比較的盛んに行われているが、首都の柔道連盟と他州の体育庁支部(柔道関係者)との連携が密でないため、その関係改善についても助言が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) カウンターパートと共に次の活動を行う。 ①指導者に対する「形」の技術指導 ②指導者に対する柔道を通じた礼法についての講習会や研修の企画・実施 ③「形」指導を通じた柔道連盟と体育庁支部(柔道関係者)との連携強化 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 柔道場、事務机 4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート:40代男性、柔道4段 活動対象者 リマ市:100名 全国:560名 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (V・N: C) 又は (V・N:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (10年以上) 理由:実践指導に必要 ・ 柔道5段以上 理由:有段者に対する指導もあるため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(砂漠) 気温(15~25 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						

平成 25年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25年 7月 26日

要請番号(SL 333 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 26 / 1
ウルグアイ	柔道			1年	2 26 / 2
			〇ヶ月	3 /	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 観光・スポーツ省				
	2) 配属先名 (日本語) ウルグアイ柔道連盟				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 モンテビデオ市 JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 柔道連盟は1955年に同国における柔道の普及を目的に設立され、現在会員数は約650名。柔道教室の開催、国内大会の企画・運営、国際大会参加のための代表選手の選考・育成などが主要な連盟業務である。また、モンテビデオ県庁と協力しながら、貧しい青少年を対象に、無料の食事提供と「学校へ行くこと」「柔道教室に参加すること」を関連付けたプログラムを実施するなど、青少年の健全な育成にも協力を行っている。2011年に日本政府の一般文化無償で、畳175枚、練習用柔道着490着などが同連盟に贈与されている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 同連盟の練習生は現在、大人約300名、子供約350名(そのうち有段者は約90名)。約12名の有段者(2段から6段まで)が指導者として、連盟管轄の14クラブで週3回の練習を行い、技術力の向上に努めている。しかし、指導者のレベルは未だ発展途上で、初心者から有段者までの指導が適切に行われていないところ、指導者に対して経験豊富な日本人有段者による技術と型の指導方法に関する助言や、技術レベルに応じた練習メニュー作成への協力が望まれている。連盟は、こうした指導法の改善・強化、質の高い練習メニューの実践を通し、今後、同国から国際大会で活躍できる人材を育成・輩出したいとしている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 本案件の先行案件として、H25年度第2回短期募集で短期案件(7ヶ月)が要請されている。短期ボランティアからの引継ぎ事項も含め、以下の活動が求められている。 1.指導者への技術と型の指導方法の助言 2.各クラス(初心者、中級者、上級者)の練習メニュー作成への助言 3.全国の指導者に対し、技・型の基本指導(月1回/指導技術のブラッシュアップ)				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 道場、柔道着(練習用、試合用)、スコアボード、電子体重計、柔道着測定器				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 連盟幹事 男性 3段 連盟職員 男性 5段(1名)、2段(2名)、初段(1名)			5) 活動使用言語 (スペイン語)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 柔道5段以上 理由:有段者へ指導するため			6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)	
地域概況	気候(温暖) 気温(3~34℃位)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 515 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G130)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 10 代目	期間	日系/短期	
ケニア	柔道			1	26 / 1	年 月 日 から
				2	26 / 2	
3	/					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 内務省
	2) 配属先名 (日本語) 刑務所職員訓練学校 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 セントラル州ティカ県ルイル JICA事務所の所在地 (ナイロビ) から 北西 方向 35 Km 主要都市 (ナイロビ) までの交通手段及び所要時間 (バス で約 1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 1984年に内務省が管轄する刑務官を養成する訓練学校として設立された。訓練生は約9か月にわたる訓練を受講し、刑務官としてケニア各地に配置される。現在訓練生約2500名、スタッフ約400名。

要請概要	1) 要請理由・背景 刑務官は囚人を制圧する際、銃を使用しないため、セルフディフェンスの教科として、柔道、空手、ボクシング、レスリングが必須となっている。これまでに9名のボランティア(8名JV、1名SV)が派遣されており、前任者のSV(平成17年度派遣)が配属先指導者に柔道の理念及び、基礎技術を指導したが、その後後任が確保できず、今日に至っている。配属先所属の柔道コーチの養成及び、柔道クラブに所属する有望選手の指導等、継続的な協力を希望しており、今般、再度のボランティア要請となった。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①刑務官訓練生への基本技術指導 ・初心者クラス:午前中2時間のクラスを2回、午後1時間半のクラスを1回 ・上級者クラス:午後4時半から6時半まで1回、初心者クラスから有望な訓練生を上級者クラスに選び、柔道クラブの選手と一緒に練習をする。 ②配属先内における指導者への指導法の定着にむけた支援 ③ナショナルチームレベルの柔道選手への実技指導
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 畳30枚程度、柔道着
	4) 配属先同僚及び活動対象者 スポーツオフィサー:男性 30代 柔道2段 柔道コーチ:男性2名 40代1名、30代1名 柔道2段 柔道クラブ員:40名程度

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は (柔道3段以上) ・性別 (男性) 理由: 指導対象者が男性多数のため ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(高原) 気温 (10~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項	
------	--



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号 (SL 642 - 13 - D - 10)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G130)	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 2 代目	○ 2 年	1 JOCV/SV	
セネガル	柔道			● 1 年	2 /	日系/短期 年 月 から
				○ 7 月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) スポーツ省		○ NGO			
先概	2) 配属先名 (日本語) 柔道連盟					
要	3) 任地 ダカール州ダカール県ダカール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北 方向 0 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)					
請	4) 配属先の規模・事業内容 柔道連盟は柔道の普及を目的として1961年に設立され、現在約3000名の会員から構成されている。柔道教室の開催、国内大会企画運営、国際大会参加のための代表選手の選考とトレーニングなどが主な活動である。日本の一般文化無償協力で1988年にはAV機器、筋力トレーニング機器が贈与され、2002年には柔道着500着、畳500枚が贈与された。その他、講道館から日本人講師を招いた経験もある。アフリカチャンピオン大会に参加しているが、世界選手権、仏語圏大会、イスラム圏大会などは予算不足で選手を派遣できないこともある。2013年にJV(短期6ヶ月)が派遣された。					
概	1) 要請理由・背景 有段者コーチ(約12名、2段～7段まで)の指導のもとで、連盟所属の93クラブにおいて週2～3回、1回2時間の練習を行い、技術力向上に努めている。全員がアマチュア選手であるため、ナショナルチームは大きな大会前にものみ招集される。柔道連盟に資金はなく、国際大会への選手派遣費用はスポーツ省からの補助金に頼る。オリンピック参加を目標とし、参加ポイント獲得をできる大会に集中して選手を出場させている。しかし、国際大会などで活躍できるだけの実力には至っていない状況であることから、技、形の基本を習得するとともに、試合のレベルアップを図るための指導者の派遣を求めている。					
要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 首都ダカールを拠点とし、以下の活動を行う。 ①大会前に招集されるナショナルチームの指導を行う。 ②首都中心街のクラブ(約50名、中学生から社会人まで)を中心に複数のクラブを巡回し指導を行う。 ③必要に応じて、同僚とともにセネガル国内各地のクラブに指導を行う。 ④配属先との話し合いにより、警察学校などでの指導を行うことも考えられる。					
請	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 道場(30m四方、畳あり)、各地の道場、連盟の事務所					
概	4) 配属先同僚及び活動対象者 柔道連盟会長(50歳代) 委員会長(30歳代) 技術部長(50歳代) コーチ(日本滞在経験があり日本語で簡単なコミュニケーションできる人がひとりいる)		5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は フランス語 (レベル: D)			
要	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 指導相手は男性比率が高いため ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 柔道 3段以上 理由: 実践的な内容の指導に必要		活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可			
資	地域概況 気候(ステップ) 気温(15~40 ℃位) 電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし)					
格	特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 14)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G131)	○グループ型 ◎個別	○新規 ◎交替 2 代目	◎2 年	1 JOCV/SV	
モロッコ	空手道			○1 年	2 /	日系/短期 年 月 から
				○ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 青年・スポーツ省				○ NGO	
概要	2) 配属先名 (日本語) フェズ支局					
概要	3) 任地 フェズ県フェズ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 東 方向 196 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 3 時間)					
概要	4) 配属先の規模・事業内容 フェズ県内のスポーツ施設の管理、運営を行っている。市内に複合スポーツ施設が幾つかあるが、ボランティアが活動する施設は1997年に完成したスポーツ競技場で設備は整っており、陸上、サッカーをメインに室内においては、器械体操、空手、合気道、卓球、フィットネスなどの教室が行われている。今後隣接した場所に宿泊施設、研修施設、プールなどの建設が予定されている。過去に県内にバレーボールの隊員が派遣されていた。					
概要	1) 要請理由・背景 空手は、同国において身体面、精神面ともに鍛錬することのできる武道として知られている。同施設では青少年向けの各種スポーツ教室を開催しており、県内の人口30%を占める若者に空手を通じた青年育成を隊員と共にやりたいという意向で最初の要請があり、SVが派遣された。同SVの任期終了に伴い、後任による継続的指導が求められ今回の要請となった。現在、空手道教室には、大人約20名、子供、青少年を含め約100名がおり週6日活動している。モロッコの空手スタイルは、競技性、合理性を重視したスポーツ空手であるが、初代SVは、心技体の融合を根源とした日本の空手道、武道を伝えるべく指導を行なった。					
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 青少年を対象にした同施設内の空手教室で、モロッコ人指導者と協力しながら、年齢層、経験の有無に応じた指導を行う。 1.地域の青少年を対象に、空手の基本技を中心に型、組み手の指導 2.空手道を通じた礼儀の指導、武道精神の教示 3.空手連盟、空手アソシエーションとの連携					
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 空手道場、フィットネス機器など					
概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 指導者:男性2名(40代)、女性2名(20代) 指導対象者:フェズ市内の成人、青少年(未経験者、初心者)		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (3年以上) 理由:教室で青少年を指導するため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○單車 ○自転車 ◎不要 現職教員特別参加制度 ○可 ◎不可		
地域概況	気候(内陸性) 気温(3~42℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 水道(◎安定 ○不安定 ○なし)		
特記事項						

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号(SL 642 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G131)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	○ 2 年	1 26 / 2
セネガル	空手道			○ 1 年	2 /
				○ ヶ月	3 /
年 月 日 から					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) スポーツ省				
	2) 配属先名 (日本語) 空手道連盟 <input type="radio"/> NGO				
	3) 任地 ダカール州ダカール県ダカール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北 方向 0 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 セネガル国内の150の空手道クラブ、11の地方リーグを管轄し、ナショナルチームの指導、国内大会の開催計画・実施を行っている。空手人口は小さな子供もあわせて推定5,000名であり、比較的ポピュラーなスポーツである。スポーツ省からの補助は国際大会に出場する時のみであり、スポンサーを募るなど厳しい予算状況のなか努力しながら国内リーグを開催している。2011年に国際交流基金により3名の日本人指導者が数日間セネガルを訪れた。国際空手道連盟から毎年1名の審判指導者(フランス人)を1ヶ月程受け入れている。過去に地方の空手連盟支所にJV2名が派遣されたことがある。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 セネガルにおいて空手道は比較的競技人口の多い武道であるがプロ選手はいない。運営予算はそれぞれのクラブで集めている会費と、スポンサーを探して運営している。厳しい財政のなかで各クラブが空手を教えているが、変化に乏しく停滞しているという問題がある。日本人の経験のある指導者が来て、ナショナルチームやクラブで指導し、刺激を与えること、並びに正しい知識を浸透させることが望まれている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・首都の複数クラブを巡回し、組み手と形の指導を行う。 ・時期によって招集されるナショナルチームの指導を行う。 ・練習は週6回夕方2時間である。 ・当国では松濤館流が主流であるが、新しい知識として糸東流の指導を行う。 ・その他配属先との話し合いにより、地方のクラブ、ダカール大学のクラブ、警察や憲兵学校のクラブなどに赴き指導することも考えられる。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 空手道連盟執務・会議室				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 連盟長 男性1名 50代 副連盟長 2名 40代、事務長2名 40代、会計2名 40代、技術部長			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は フランス語 (レベル: D)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 指導相手は男性比率が高いため ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 糸東流空手道 3段以上 理由: 実践的な内容の指導に必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(ステップ) 気温(25~40 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 SV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 424 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G132)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期	
ヨルダン	合気道			◎ 2 年	1 26 / 1	年 月 から
				○ 1 年	2 26 / 2	
		○ ヶ月	3 /			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) ヨルダンオリンピック委員会 2) 配属先名 (日本語) ヨルダン柔道連盟 (ヨルダン合気道委員会) ○ NGO 3) 任地 アンマン JICA事務所の所在地 (アンマン) から 北 方向 0 Km 主要都市 (アンマン) までの交通手段及び所要時間 (徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 合気道委員会は柔道連盟の傘下にある。会員は約100名、13歳から50代までの男性(女性会員1名)で、ほとんどが30代以下の年齢である。組織としては柔道連盟の傘下であるが、会員は1名を除き柔道の稽古には参加せず、合気道を専門にしている。稽古場所は柔道連盟の所有する道場であるが、運営する予算は主に会費による。					
要請概要	1) 要請理由・背景 ヨルダンの合気道は会員数も限られている。10数年前にJVが派遣されたが、段審査ができなかったことから有段者を育てることができず、隊員帰任後はヨルダン人だけで稽古を続けてきた。外国からの指導者を短期的に招待して段審査を行ってきたが予算が十分でないことから滞りがちであった。前任のSVが派遣されたことにより、会員が徐々に増えて技術も高まってきた。今後、段審査ができるヨルダン人が育ち、世界合気道本部の公認を受けるためには、あと2代のSVの継続した派遣が必要となる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・柔道連盟の道場にて、週5回の合気道指導を行う。 ・指導対象は、初心者から有段者までとなる。 ・指導内容は、体術、剣、杖、短刀である。 ・その他に、要請に応じて警察での指導を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 道場は柔道連盟の道場を共用 剣・杖・短刀 4) 配属先同僚及び活動対象者 合気道3段1名(40代) 2段4名(40代1名 30代3名)、初段1名(20代) (すべて男性)が指導的立場にいる。 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (合気道(合気会) 5段以上) 又は () ・性別 (男性) 理由: 会員がほとんど男性のため ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(0~40 ℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)					
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号(SL 642 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G132)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
セネガル	合気道			<input type="radio"/> 2 年 <input checked="" type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 2
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) スポーツ省				
	2) 配属先名 (日本語) セネガル柔道連盟合気道委員会				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ダカール州ダカール県ダカール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北 方向 0 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 柔道連盟下に属し、セネガル国内の30の合気道クラブ(そのうち22が首都にある)を管轄し、指導、国内大会の開催計画・実施を行っている愛好家による組織である。セネガルの合気道は、1970年代にフランス人指導者が来たことから始まり普及した。警察学校や憲兵隊学校において、武術として教えていることもあった。年数回、委員会の指導者らが地方に赴き、地方の指導者に研修を行っている。スポーツ省からの補助金などは特になく、運営予算はそれぞれのクラブで集めている会費と愛好家の募金による。自身で所有する道場はなく、場所をかりて教室を行っている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 セネガルにおいて合気道の競技人口は400人程度であり多くはないが、情熱のある愛好者が存在し他の武道実施者と協力してデモンストレーションイベントを開く、クラブで指導するなどしている。自分たちで技術の向上を目指しているが、停滞しているともいえ、外からの指導者による改善を必要としている。段審査ができない問題を抱えており、将来的に日本の「合気会」から指導を受け段審査を受けたいと考えている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・首都のクラブを巡回し、合気道の指導を行う。 ・週5回夕方2時間、週末午前中2時間の練習に参加し、指導を行う。 ・指導内容は、体術、剣、杖、短刀である。 ・地方への巡回研修に参加し、指導する。 ・その他配属先との話し合いにより、警察学校や憲兵隊学校で合気道の指導を行うことも考えられる。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 委員長 男性1名 40代 他 クラブ代表者 6名 合気道実施者 6歳~60歳 男性が多い			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は フランス語 (レベル: D)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 指導相手は男性比率が高いため ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 合気道 4段以上 理由: 実践的な内容の指導に必要			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(ステップ) 気温(25~40 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

要請番号 (SL 224 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G133)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 26 / 2 / /	日系/短期 年 月 から
ドミニカ共和国	剣道					
1) 受入省庁名 (日本語) 経済企画開発省						
2) 配属先名 (日本語) ドミニカ剣道連盟				<input checked="" type="radio"/> NGO		
3) 任地 サントドミンゴ特別区 JICA事務所の所在地(サントドミンゴ特別区)から 南東 方向 2 Km 主要都市(サントドミンゴ特別区)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.15 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 ドミニカ剣道連盟はこれまでに国際大会に参加しており、国際剣道連盟への加盟は認められているものの、各地域の道場の活動を基盤に組織されつつあり、会長以下、副会長、書記の3役は決まっているが、組織としての活動が十分にできているとはいえない。2012年度に日本大使館の草の根文化無償資金協力により、サントドミンゴ自治大学に剣道場が整備された。現在SVが活動中で指導者育成、発展可能な組織作りのアドバイスをを行っている。						
1) 要請理由・背景 同国には、複数の剣道教室があるが、各道場の理念に従ったそれぞれの“剣道”が行われている。しかし、日本の正統な剣道を習得したいというニーズはどの道場にとっても共通であり、多くの道場が剣道の指導者を必要としている。前任者は毎月一回試合審判及び剣道形の講習会と共に、サントドミンゴ特別区内の2か所の道場で剣道、居合道の指導を精力的に行っている。その結果、その一つの道場であるサントドミンゴ自治大学剣道部で、現地人のみで試合が開催できるまでになっている。また、今後居合道の有段者を増やすこと、3段を筆頭とした有段者を指導者として育成することを目標としている。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・サントドミンゴ特別区の2道場(週1回)とサントドミンゴ自治大学パラオナ校(月1回)で、技術向上を支援する(剣道の理念、技術、審判規則、試合方法などを含む) ・剣道連盟の活動を発展させるためのアドバイスを行う ・国際大会参加のための選手育成を行う						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 道場施設						
4) 配属先同僚及び活動対象者 ドミニカ剣道連盟会長 2段 男性 50代 【剣道】3段1名 2段1名 初段3名 1級6名 【居合道】1級7名		5) 活動使用言語 (スペイン語)		6) 生活使用言語 (スペイン語)		
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)				
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (5年以上) 理由: 活動上必要なため 剣道5段、居合道3段以上 理由: 有段者が多数いるため		活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
地域概況 気候(熱帯海洋性) 気温(18~34 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)						
特記事項 インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。						

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号(SL 642 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G151)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
セネガル	PCインストラクター			<input type="radio"/> 2年 <input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 職業訓練・研修・手工業省				
	2) 配属先名 (日本語) 青年職業訓練センター				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ダカール州ダカール県ダカール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 南 方向 15 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1976年にYMCAにより青年育成のもと設立されたが、現在は職業訓練・研修・手工業省の管轄となり土木工学、電気・電子機器、金属加工の3課程があり就学年限は2年で学費は無料である。総学生数は183名、指導員22名、行政職15名。年間予算は約260万円。電気・電子機器の韓国KOICAボランティアが2012年3月から2014年2月まで活動しているが後任要請はなされていない。技術者向けの免状取得のため2年間の夜間のコースが設けられているが学費は自己負担となる。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 各課程の学生が卒業後に社会で必要となる基本的な技術を身につけさせるため、専門技術と同時にPCの基本操作方法やワード、エクセル、パワーポイント等のソフトウェアの使用技術を学ばせるという取り組みを行っている。卒業生の就職率が10%と低いため、PCの適正な技術を身につけておくことは有利な条件となり就職支援につながっている。SVの協力により指導員のスキルアップと新しい知識や技術の導入に期待している。183名の全学生を対象とする。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①指導員の行う授業や実習の補佐を行い、指導方法についても助言する。 ②幅広いPCの活用方法を指導員に紹介し、効果的な情報提供・収集方法に関する指導や日本の技術等の紹介を行う。 ③PCのトラブルシューティング対応について、その方法や技術を共有する。 ④同センターのホームページ作成を支援する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC 25台(compac)、windows 7、AutoCAD、office 2010、プロジェクター				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:50歳代 指導員:30~40歳代 22名(内、PC指導員2名) 行政職:15名 学生:183名(全日制)			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は フランス語 (レベル: D)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 助言や指導を行うため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(ステップ) 気温(15~40℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 5 月 27 日

要請番号 (SL 327 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G152)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	26 / 1	
ペルー	視聴覚教育			2	26 / 2	年 月 から
				3	/	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 環境省					
	2) 配属先名 (日本語) ペルー地球物理研究所				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 リマ市 JICA事務所の所在地(リマ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(リマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1922年ワンカイヨに設立された。現在はリマに移転し、地震学、火山学、天文学、気象学、電離層研究、地質学、地磁気学、測地学が研究されている。世界的にも有名な電離層観測レーダーが設置されている観測所は米国コーネル大学との研究協定が結ばれており、経済的な支援も受けている。2008年、日本政府による文化無償資金協力により、ペルー国内唯一となる惑星運動の再現が可能なプラネタリウムが設置された。現在プラネタリウムでSVが活動中(~2014年6月)。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 プラネタリウムは直径7.5mのドームで40人収容できる。プラネタリウムは開所以来多くの学校の児童・生徒および一般人を受入れてきた。現在、月曜日から土曜日までは学校や一般の団体予約、日曜日には一般向けに一日5回投影しており予約なしで受入れている。プラネタリウム番組は全てオリジナル番組で、これまで「我々の太陽」、「オリオン」、「春分」、「彗星ハンター・メンエ」、「たなばた」、「星の王子様」の番組を制作している。しかしながら、番組の質という点ではまだまだ改善の余地があるため、継続支援を求め後任要請がなされた。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ペルー地球物理研究所スタッフに対し次の活動を行う。 ①プラネタリウムの番組制作指導 効果的な番組構成の方法、著作権を考慮した映像素材の入手方法、素材加工の指導等 ②天文学普及のアイデア提供および指導 ③天文イベントの企画のアドバイスおよび指導					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プラネタリウム(メーカー:五藤光学研究所、モデル:GS、投影方式:2光源・2球式・レンズ投影方式、ドームの直径:7.5m)					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ペルー地球物理研究所天文学部責任者(博士、50代男性) ペルー地球物理研究所天文学部コーディネーター(40代女性) ペルー地球物理研究所天文学部契約職員7名(20~30代、男女)			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚とのバランス ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 ・ プラネタリウムでの経験 理由: 専門的な知識が必要			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況		気候(砂漠) 気温(15~25 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 018 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G153)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
タイ	音楽			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省				
	2) 配属先名 (日本語) ラヨンバンヤスクーン学校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ラヨン県ムアンラヨン郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 南東 方向 187 Km 主要都市(ムアンラヨン郡)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1993年に設立された入所型特別支援学校。教育省管轄の知的障害児対象公立校19校のうちの一つでタイ東部4県(ラヨン、チョンブリー、チャンタブリー、トラート)を管轄。幼稚園部から高等部まで414名(入所365名、通所49名)の生徒が在籍している。知的障害、自閉症、聴覚障害が大半を占める。一クラス平均6~8人。教職員49名。作業療法士1名在籍。SV(20年度、養護)派遣実績あり。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先では前述養護SVの活動により学習環境や教員の指導姿勢などに改善が見られ、現在も成果が継続されている。今後はさらに教育の質を向上させるべく、生徒の身体機能の回復・維持と発話・構音機能の向上を促す目的で、音楽やリトミックの授業の充実を課題としているが、音楽療法の専門教員は在籍せず、当国での人材確保も難しい。よって現在の養護教員に対し音楽療法に関する知識・技術のレベルアップを図るため、障害児(特に自閉症児)へのリトミックもしくは音楽療法の指導経験のあるボランティアの支援を希望し要請にいたった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 学内生徒に対してリトミックを用いた音楽の授業もしくは音楽療法を行い、機能向上に協力する。 2 学内養護教員に対し、音楽授業に関する指導及び助言を行う。 3 学内で行われるスポーツ大会や年中行事等へ参加し、生徒対応について協力する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ピアノ、小太鼓、タイ伝統打楽器(アンカルン)				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:男性、大卒、50代、学校長 カウンターパート:女性、大卒、20代、養護教員			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:同僚教師への助言が必要 ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:児童、教員への指導を行うため ・知的障害児・自閉症児への音楽の指導経験 理由:授業の計画~評価を行うため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~28 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
通信	<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 20 日

要請番号(SL 475 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G153)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
チュニジア	音楽			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 2	年 月 日 から
					2 /	
			3 /			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究省					
	2) 配属先名 (日本語) スファックス音楽高等学院(ISM)				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 スファックス県スファックス市 JICA事務所の所在地(チュニス県チュニス市)から 南 方向 270 Km 主要都市(スファックス市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、1990年に設立された高等教育機関で、チュニジア第2の都市で工業都市であるスファックス市の中心に位置する。学院には、音楽理論と音楽学の3年間の学士課程と2年間の修士課程がある、いわゆる音楽大学である。楽器の専攻としては、ピアノ、バイオリン、リュートなどの一般西洋楽器とカヌーンなどのアラブ音楽楽器がある。現在在籍の学生は約350名。外国からの援助はないが、外国人講師が数名在籍している。年間予算は、約1,500万円。なお、同分野においては、現在、2校の音楽学院(コンセルバトワール)にて、バイオリンと音楽の協力隊員、計4名が派遣されている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 チュニジアにおいては、音楽は初等教育から学校のカリキュラムに導入されているが、実際には多くの学校には楽器の設置がなく、理論のみが指導されている。そのため、楽器の演奏技術習得に興味がある子どもたちは、地域の音楽学院(コンセルバトワール)に各自通うなどしている。その後、高等教育として音楽を専攻し、同配属先の様な音楽大学に進学する者もいるが、実際には、まだ学生全体の技術レベルは未熟で、加えて、学院も演奏技術力の高い講師を確保することが困難である。その様な状況から、この度、同学院にてバイオリンの演奏指導の出来るボランティアの要請が上がった。またチュニジアの音楽の特徴として、アラブ音楽の影響を強く受けているという点がある。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において、以下の業務を行う。 ①バイオリン専攻の学生を対象に、個々の演奏テクニックやレベルに合わせた技術指導を行う。 ②同僚職員や指導講師と適宜情報交換、意見交換を行いながら、学生たちの演奏技術の向上を支援する。 ③校内のオーケストラの運営や演奏、またコンサートなどのイベント開催に対し適宜演奏指導やアドバイスを行う。 ④同施設内に併設されている音楽学院(コンセルバトワール)にも適宜協力し、生徒や指導講師に演奏の指導を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 個人レッスン用の教室、学生は各自バイオリンを所有している。参考までに、バイオリンはアラビア音楽でも使用されていることから、国内には、中国製などのバイオリンが流通している。					
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・学院長:50代、男性1名 ・指導対象のバイオリン専攻の学生:18~25才程度、約50名、男女比は、1対1。 バイオリン演奏経験は、平均5~6年程度 ・バイオリン指導講師:5名、そのうち2名はルーマニア人講師 ・その他講師:約50名・中等教育校との兼任講師:11名 ・事務職員など:22名			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (音楽) 理由:配属先のレベルに合わせて ・経験 (指導経験) (2年以上) 理由:指導内容上必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~45℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	現地においては、フランス語も通用するが、一般的に口語においては、アラビア語チュニジア方言が使われている。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

要請番号 (SL 224 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G154)	○グループ型 ◎個別	○新規 ◎交替 2 代目	○2年	JOCV/SV	
ドミニカ共和国	美術			○1年	1	26 / 2
				○ヶ月	2	/
				3	/	
1) 受入省庁名 (日本語) 文化省 2) 配属先名 (日本語) 国立造形美術学校 ○ NGO 3) 任地 サントドミンゴ特別区 JICA事務所の所在地(サントドミンゴ特別区)から 北 方向 0 Km 主要都市(サントドミンゴ特別区)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 スペイン人の彫刻家マノロ・パスカルによって1942年に設立された国立造形美術学校で、14才以上の生徒500人に、デッサン、彫刻、絵画、遠近法、版画、グラフィックデザインなどの授業を行っている。年間予算約17,000ドル。街の歴史地区に位置し、造形美術発展の中心的な役割を果たしており代表的な芸術家を輩出してきた。						
1) 要請理由・背景 配属先は美術的要素が強い陶芸作品の制作に関心があるものの、人材不足のため授業は行っていなかったが、一代目のボランティアが、現在約50名に対して陶芸教室を週5回行っている。参加者の中には学生だけでなく、卒業生や陶芸で生計を立てている者や、土産屋を営んでいる者もあり、新しいものを吸収したいという意欲が強い。2013年6月には初めての作品展を実施するまでになり、受講希望者も増えている。芸術家を目指す学生に、より充実した知識を持ってもらうことを目的に本案件が要請された。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生、卒業生、講師に陶芸の技法を教える ・陶土、釉薬、焼成、電気窯の使用方法を教える						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 小型電気窯(DUNCAN KILN社製)、釉薬(AMACO社製)。また、電気窯(柳北信陶園社製 RT-25FEX<RF>)、陶芸用具セット(ロクロ付)10人用(陶芸.COM社製)を前任者が申請中。						
4) 配属先同僚及び活動対象者 40代男性 1名(造形美術専攻 経験20年) 40代男性 1名(美術専攻技術者 経験4年)				5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (V・N: D) 又は スペイン語 (V・N: D)		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (5年以上) 理由:美術学校で教師に講義を行うため 陶芸10年以上 理由:配属先が求めているため				活動上の單車/自転車の必要性 ○單車 ○自転車 ◎不要 現職教員特別参加制度 ○可 ◎不可		
地域概況 気候(熱帯海洋性) 気温(18~34 ℃位) 電気(○安定 ◎不安定 ○なし) 通信(☑インターネット可 ☑電話可 ☐無線) 水道(○安定 ◎不安定 ○なし)						
特記事項 インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

要請番号 (SL 224 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G154)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
ドミニカ共和国	美術			2	26 / 2	日系/短期
				3	/	年 月 から
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 文化省					
	2) 配属先名 (日本語) 国立造形美術学校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 サントドミンゴ特別区 JICA事務所の所在地(サントドミンゴ特別区)から 北 方向 0 Km 主要都市(サントドミンゴ特別区)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 スペイン人の彫刻家マノロ・パスカルによって1942年に設立された国立造形美術学校で、14才以上の生徒500人に、デッサン、彫刻、絵画、遠近法、版画、グラフィックデザインなどの授業を行っている。年間予算約17000ドル。街の歴史地区に位置し、造形美術発展の中心的な役割を果たしており代表的な芸術家を輩出してきた。2012年10月からJICAボランティア(陶芸)が活動中である。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先の校長は着任3年目で、陶芸、版画、ガラス工芸の3分野について充実させる計画を持っている。教師の中には、保身のため持てる知識を学生に教えない人が多くいたことから、学生の中から教師を育て教育の充実を図ろうとしている。現在派遣されている陶芸職種のSVの活動は、配属先からも高い評価を得ており、任国の陶芸分野全体に影響を与えようとしている。この成果に鑑み、今回版画分野についてもボランティアの要請が提出された。任国では美術分野で生計を立てることは難しいとされているが、版画は生産効率の面からも有利であるため、土産品として販売できる可能性が高いと期待されている。配属先は特にリトグラフ、金属を使用した版画の指導を希望している。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生、卒業生、講師に版画のリトグラフ・金属版画の技法を教える ・材料・機材の取り扱い方法を教える					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プレス機器(CHARLES BRAND MACHINERY, INC.社製 リトグラフ用モデル1210と他1台)、作業台					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 20代女性 1名(版画経験3年) 40代男性 1名(造形美術専攻 経験20年)		5) 活動使用言語 (スペイン語)			6) 生活使用言語 (スペイン語)
		7) 選考指定言語 スペイン語 (V/M: D) 又は 英語 (V/M: D)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)			活動上の單車/自転車の必要性		
	・免許 () 又は ()			<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
	・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (5年以上) 理由:美術学校で教師に講義を行うため 版画10年以上 理由:配属先が求めているため			現職教員特別参加制度		
					<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯海洋性) 気温(18~34 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

要請番号 (SL 006 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G156)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 2 代目	○ 2 年	1 26 / 1
インドネシア	教育行政・学校運営			○ 1 年	2 26 / 2
			○ ヶ月	3 /	

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省
	2) 配属先名 (日本語) 国立バンカ・ペリトゥン工業高専 ○ NGO
	3) 任地 バンカ・ペリトゥン州バンカ島スンガイリアット市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 北西 方向 550 Km 主要都市(バンカルピナン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 当校は1994年に開校した工業高専であり、3年制の電子科、機械保守修理科、機械設計科に約70名の講師、及び約370名の学生が在籍している。当校の特徴は実習を重視したカリキュラム構成(実習2/3、理論1/3)となっており、付設の大規模実習棟での実習が必修となっている。講師陣の一部はオーストラリア等で留学経験があり英語が堪能である。

要請概要	1) 要請理由・背景 当校では日本企業の品質管理の手法を積極的に教育に取り入れており、当校卒業生の産業界での評価は極めて高く、国内主要産業の他、国際企業、多国籍企業等へ人材が輩出されている。 現在、初代SVが派遣中であり、技術協力を実施しているが、より一層良質の教育実施に向けカリキュラムの再検討が必要であると認識しており、日本企業・教育機関での経験、ノウハウを持つ日本人からの支援を引き続き受けるべく、後任のSVが要請されるに至った。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 3学科運営に関し、主に以下の活動を行う。 ・カリキュラム内容の再検討 ・品質管理教育への助言・実施 ・新規導入機材の選定に係る助言 また、現在派遣中のSVが行っている当校と日本の高専との学術交流協定の締結に向けた活動、及び、毎年1回インドネシアで実施されている全国レベルのロボットコンテストへの参加に向けた教師陣及び学生への助言も期待される。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各種工作機械(溶接機、ドリル、研磨機等)、計測機械、オシロスコープ、PLC等、各種CAD用ソフト(ProEngineering, ArtCAM, AutoCAD)
	4) 配属先同僚及び活動対象者 副校長:4名(男性30代 修士) その他講師陣:男性56名及び女性5名(20代~30代、修士15名とその他は学士)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 配属先同僚とのバランス ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 業務上必須 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要
		現職教員特別参加制度
		○ 可 ◎ 不可

地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(○ 安定 ◎ 不安定 ○ なし) 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 □ 無線) 水道(○ 安定 ◎ 不安定 ○ なし)
------	---

特記事項	人口約30万人の地方都市であり、生活環境は厳しい。
------	---------------------------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 30 日

要請番号 (SL 124 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G158)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目			
パパ ニューギ ニア	理科教育			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
		3	/			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省					
	2) 配属先名 (日本語) ディバインワード大学 ラバウルキャンパス				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ココボ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北東 方向 810 Km 主要都市(ココボ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 全国にある初等教育課程の教員養成機関のひとつ。新規教員の養成(2年3学期制初等教育ディプロマコース)及び現職教員の再教育(16週2学期制教員再教育ディプロマコース)を行っている。職員数32名、学生数約700名、現職教員は年間約100名の受け入れ。年間予算約2百50万キナ(約9,250万円)。EUの支援実績あり。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 資格・実力ともに十分な理数科教員が不足している。前任者は、講義を担当しながら、初等理数科教育分野における教員の育成にあたった。全ての教員は実験を全く経験したことがなく、また、生徒は実践的な科学実験を強く希望しているため、実験を取り入れた授業を多く行っている。実験器具・薬品などはほとんどないが、実験器具になり得る自然に恵まれている。前任者は自らが日本より実験器具を持ち込み、これら自然の素材や廃材などを活用した実験・観察方法の紹介、指導を行ってきた。徐々に実践的な指導方法が浸透してきており、継続した指導が求められている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①理数科分野講義を週5~8コマ担当(日本の中学1~2年生レベルを予定) ②同僚理数科講師の教科知識および教授スキル向上のための支援 ③近隣の小学校教員に対して教員研修を実施する(巡回型指導) ④教員実習先小学校で活動する理数科教師JVなどとの連携や助言					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プロジェクター、発電機等(最低限の科学実験機材は前任者が用意したが、試薬・分析器の類はなし)					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 スタッフ32名 指導対象者:学生および現職教員 26才~40才(中等教育修了者)。 数学力は低い。理科実験指導についてほとんど経験がない。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)			活動上の単車/自転車の必要性		
	・免許 (中・理) 又は (高・理) ・性別 (男性) 理由: 治安上の理由 ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 教員教育に携わるため ・ 普通自動車運転免許 理由: 治安上の理由			<input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域 概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記 事項	治安上の理由により、自家用車の準備と運転が必要となる。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 251 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G158)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 2 代目	1	JOCV/SV
パナマ	理科教育			◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	26 / 1
				2	26 / 2
				3	/
年 月 から					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省				
先	2) 配属先名 (日本語) ノルマル教員養成学校				○ NGO
概	3) 任地 ペラグアス県サンティアゴ市 JICA事務所の所在地(パナマ市)から 西 方向 250 Km 主要都市(サンティアゴ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
要	4) 配属先の規模・事業内容 国内唯一の教員養成学校であり、男女共学、高校過程生徒数約1,200名が学んでいる。教員養成課程は3年間で、理科職員12名が在籍。生徒は全国から集まるため寄宿舎も備えている。これまで小学校教諭(算数)JV2名、理数科教師(化学)JV(2013年3月まで)1名が活動。学校の年間予算は教師の給与を除き約US\$9,000。うち理科は、本年度実験室新設との関連で約US\$300(毎年変動)。				
請	1) 要請理由・背景 パナマの理科習熟レベルは中南米の中でも非常に低く、教育省として生徒の理科能力向上は重要な教育課題となっている。理科に対する苦手意識を払拭させるため、生徒が興味を示す授業内容、指導法の確立、また暗記中心の授業が主流である中、生徒が考える授業の導入を目指したプロジェクトが教育省によって立案された。配属先では1学年19クラスと多く、活動中のJVは4年生に絞って指導活動を行い、同学年の実験書を作成している。かかる状況の中、教員養成校である配属先にて、将来教師となる生徒への指導法、教授法、実験指導の向上、また教員対象の研修会の改善向上に対し、引き続きボランティア派遣による協力が求められた。				
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①カウンターパートとともに生徒に対する理科の授業を行いながら、現状の指導法や教授法にかかる助言・支援を行う。 必要に応じ教材作成、改訂にも参加する。 ②生徒の理解を助けるための実験・実習を取り入れた授業の展開支援を行う。 ③教員対象の研修会やセミナーを企画・実施し、分かりやすい理科教授法について指導支援を行う。 ④配属先校において、先生方による研究授業の実施支援を行う。 活動においては、他校派遣の理科教師ボランティアとも協力・連携を行う。				
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室(機材。化学の実験に必要な機材は揃えられている。試薬等はその都度調達する必要あり。)				
資	4) 配属先同僚及び活動対象者 理科部 生物教員6名、化学教員3名、物理教員1名、実習教師2名 多くは50代			5) 活動使用言語 (ス페인語) 6) 生活使用言語 (스페인語) 7) 選考指定言語 스페인語 (V・N: C) 又は (V・N:)	
格	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (中高・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚や上司が大卒であるため ・経歴 (教員経験) (3年以上) 理由: 教師へアドバイスするため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
条				現職教員特別参加制度	
件				○ 可 ◎ 不可	
等					
地	気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位)			電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)	
域	通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線)			水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)	
概					
況					
特					
記					
事					
項					

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

要請番号(SL 166 - 13- D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G159)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目		
パラオ	数学教育			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1
				2	26 / 2
				3	/
年 月 日から					

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) カリキュラム・指導局 教員指導課 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 コロール JICA事務所の所在地(コロール)から 北 方向 0 Km 主要都市(コロール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 カリキュラム・指導局は、パラオ全国の公立小学校及び高校における全教科の1)カリキュラムの制定や改定 2)生徒の理解度を評価するための全国共通テストの実施 3)指導法改善を目的とした各種研修会の開催を担当している。教育省全体の年間予算は、6.9百万米ドル。

要請概要	1) 要請理由・背景 同局では、これまで3代のJICAボランティアが算数・数学分野の教員指導やその質の向上に向けた支援を行ってきた。教師の多くは、指導に対する知識が乏しいため、生徒も十分理解できていないのが現状である。また、2011年8月より従来のアメリカ式の教科書からシンガポール式の教科書に段階的に移行されており、教員達は新たな教授法の知識が求められている。今後もSVを派遣し、教員達に対する指導を引き続き行い、パラオ全体の算数教育レベルの向上に取り組む。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・同僚と一緒に各学校の授業を視察し、数学教師や校長に対して指導法の提案や助言を行う。 ・指導法に対する研修を開催する。 ・全国共通テストの改善を支援する。 ・小学校教諭として派遣されているJICAボランティアと一緒に定期的に開催される算数部会の活動に関わり、パラオ全体の算数教育改善に向けた協力活動をおこなう。主に現場(各学校)と中央機関(教育省)の橋渡しとなり、現場の問題点が上層部に理解できるような役割を果たす。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンター、プロジェクター、インターネット等
	4) 配属先同僚及び活動対象者 算数指導課長: 女性 50代 カウンターパート: 女性 39歳 大学卒 約10年学校教諭経験後、2010年より教育省同局教員指導課に属する。
	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (数学教育関連分野) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 算数教育指導の基礎知識が必要 ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由: 教師への指導のため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(海洋性熱帯気候) 気温(25~ 30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
------	---

特記事項 徒歩圏内で住居を探す事は可能であるが、交通機関がないため通勤に自家用車か自転車が必要になることもありえる。



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 11 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G161)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 /	日系/短期 年 月 から
チリ	体育		1	2	3	
要請理由・背景 配属先では、身体障害者の社会参加促進やコミュニティ内での障害者自助グループ支援を目的としたコミュニティ分野のプログラムの1つとして障害者スポーツがある。配属先のチームはプログラム開発・実施・管理担当者1名及び患者とその家族に直接活動を行う担当者1名、合計2名の運動療法士から成る。スポーツやレクリエーションを通し身体障害者の社会参加をさらに促進させることを目的として、配属先では現在ポッチャ、サッカー、車椅子バスケットボールを障害者に指導していると共に、学校やコミュニティにおいて取り組みやすい環境を作るために教師やインストラクターの育成も行っている。これらの活動における日本の経験を学びたいとしている。						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) ベドロ・アギレ・セルダ国立身体障害者リハビリテーション病院 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サンティアゴ JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンティアゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
要請概要	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はチリ国唯一の国立身体障害者リハビリ専門病院。主に25才迄の身体障害者、さらに切断や脳血管障害による成人身体障害者に対し身体・精神・社会的な視点から統合的リハビリ治療を行う他に、大学教育、人材育成、研究活動も実施。職員149名。病床数39であるが、入院、診察、地域リハビリにより年間5000名を診察。リハビリチームはリハビリ医学、運動療法、作業療法、言語聴覚、栄養、心理、ソーシャルサービス、看護、小児科、神経科、特殊学校から成る。JICAは、身体障害者リハビリテーションプロジェクト、第三国研修等の南南協力、ボランティア(言語聴覚士、歯科衛生士等)派遣実績あり。					
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 病院の患者とその家族への機能障害・可能な動作・本人のやる気等の診断とトレーニング方法の提案 2. 上述1を考慮した病院の障害者スポーツチーム担当者及びリハビリチーム担当者への指導 3. 上述1及び2の活動及び課題点を考慮した上での病院の障害者スポーツチーム担当者及び関連する機関の担当者向け研修実施 4. 病院での関連分野の研究開発支援					
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 スポーツ用車椅子18台、卓球5台、バスケットボール、サッカー・バレーボール・バスケットボール・ハンドボール用ボール、バレーボール・テニス用ネット、レクリエーション活動用機器。					
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 30代後半男性(運動療法士)コミュニティ分野コーディネータ 経験年数14年 集団研修「障害者スポーツリーダー養成」帰国研修員(2003年)		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (LVM: C) 又は (LVM:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:業務遂行上必要 ・障害者スポーツ指導員 中級以上 理由:指導者の指導が必要な為			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 10)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G183)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
モロッコ	幼児教育			2	26 / 1
			3	26 / 2	年 月 から
1) 受入省庁名 (日本語) 国民教育省					
2) 配属先名 (日本語) 教育・人材育成メクネス・タフィラレット州アカデミー					<input type="radio"/> NGO
3) 任地 メクネス県メクネス市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 東 方向 150 Km 主要都市(ラバト市)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 2 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は教育人材育成および教育の質の改善を目的にモロッコ全土に16カ所設置されている公的機関の一つ。地域の教員養成校(教育・研修地方センター)を管轄し、小・中・高等学校教員研修を行っている他、学習指導案の改善、教材開発を行っている。 配属先には教員養成強化を目的に障害児・者支援のSVが派遣される予定である他、管轄地域内で幼児教育、PCインストラクター、小学校教諭のJVが活動している。					
1) 要請理由・背景 モロッコは就学前教育を含む基礎教育就学率の向上および教育の質の改善をめざし、学校建設、教員養成研修等を実施してきた。こうした取り組みにより、初等教育就学率については1999年の71%から2011年には96.6%に到達している。一方、4歳から5歳児を対象とする就学前教育の就学率は全国で60%以下。特に村落部の女兒については30%以下と低い。これを受け、JICAではエルランディア県を中心に幼児教育のJVを複数派遣。「遊びを通じた学び」の普及に努め、就学前教育の重要性に関する保護者、教育関係者への啓発および現場の教員への指導を行い、一定の成果を出した。本件は「遊びを通じた学び」の更なる普及と定着を目的に、現職教員研修実施支援を担うSVが要請されたもの。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 「遊びを通じた学び」を通じた就学前教育の質の改善を目的に、主にメクネス、ケニフラ県に設置されている教員養成校で以下の活動を行う。 - 「遊びを通じた学び」を用いた教材、教案の提案 - 「遊びを通じた学び」を用いた現職教員養成研修実施支援 - メクネス、ケニフラ県の就学前教育を巡回し、現場の課題・問題点に関する情報収集と配属先へのフィードバック					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 黒板、PC等					
4) 配属先同僚及び活動対象者 教員養成校長(男性) 教員養成校管理官(男性) 研修受講者(教員)約50名				5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (幼稚園教諭) 又は () ・性別 (女性) 理由: ・学歴 (短大卒) (教育学) 理由: 同僚とのバランス ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 教員への研修を行うため 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況 気候(半乾燥) 気温(15-35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線)				電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号(SL 609 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G183)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
ガボン	幼児教育			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
		3	/			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国民教育・高等教育・技術教育・職業訓練省					
	2) 配属先名 (日本語) 就学前教育局				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 エスチュエール州リーブルビル市 JICA事務所の所在地(リーブルビル市)から 北 方向 0 Km 主要都市(リーブルビル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 ガボンにおける就学前教育機関の運営全般に関する監督機関であり、幼稚園の運営指導、教育課程・計画の作成指導、教育統計の作成、幼稚園教諭の研修等を行っている。同局の年間予算(人件費除く)は3,098,520FCFA(約62万円)。2013年6月まで長期JV(幼児教育)が活動していた。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 幼児教育分野において長期JVが任国に派遣されており、幼稚園の巡回指導や指導内容の改善に協力するべく講習会の企画や実施を支援している。現在、ボランティア間の情報共有や連携が促進されつつあり、各任地において手遊び、紙芝居、劇や楽器遊びの紹介、教員向けのセミナーを実施するなど、本省や各配属先から高い評価を得ている。就学前教育局としては、この流れを推進しつつ、協力活動の成果をボランティアが派遣されていない地域にも波及させるべく、マニュアル(教材集)の作成を切望しており、幅広い知識と経験を有するSVの要請が出されるに至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先のスタッフ及びリーブルビルの各学区(5学区)の就学前教育担当の指導主事と協力して以下の活動を実施する。 ・リーブルビル市内の公立幼稚園(104園)の中から数園を選び定期的な巡回指導を実施し、当地における就学前教育の状況を把握し、課題及び改善策を提言する。 ・ボランティアが作成した教材等を利用(アレンジ)しつつ、マニュアル(教材集)の作成を行う。 ・学区の指導主事と協力して、身の回りにあるものを活用した教材づくり、また、日本で用いられている遊戯法などの紹介を目的とした現地教員対象の講習会を行う。 ・幼児教育部会のリーダー役として、同分野ボランティアの連携促進、セミナー等の企画・実施を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし。					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 就学前教育局長(女性40代)、就学前教育担当視学官・指導主事、教員(女性及び男性20~40代)		5) 活動使用言語 (フランス語)			
		6) 生活使用言語 (フランス語)				
		7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: C) 又は (レベル:)				
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります)			活動上の單車/自転車の必要性		
	・免許 (保育士) 又は (幼稚園教諭) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 幅広い実践的指導が必須である 理由:			<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(28~32℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号(SL 642 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G183)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
セネガル	幼児教育			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input checked="" type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 2
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国民教育省				
	2) 配属先名 (日本語) 就学前教育局				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ダカール州ダカール県ダカール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北 方向 0 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、全国約2500の就学前教育機関を管轄している。就学前教育についての戦略策定とその活用、就学前教育に係る異なる機関(公立、私立、地域)の連携調整、教育内容の追跡・評価体制、学習の質の改善のためのしくみ、就学前教育におけるコンピューターやタブレット式パソコン利用の浸透などについての検討を行っている。JICAは2006年より仏語圏アフリカ地域別研修「幼児教育」に研修員を送っている。2002年から地方に幼児教育JVを派遣しており、現在も2名が活動している。首都への派遣は初めてとなる。				
要請概要	1) 要請理由・背景 当国の就学前教育には、正式な教育を受けた教員の不足による教育の質の低下などの問題がある。小学校教育が生活用語とは異なるフランス語でなされることから、親からは社会性を身に着けることよりも、小学校に入る前のフランス語習得の場として期待されている。教師は主に怒ることで子供を誘導するため、子供の興味を惹く言葉かけや教材、歌、遊び、ゲームなどの知識が乏しい。幼稚園には予算がなく、遊具、図工材料が買えないなどの問題もあることから、身近にある材料で図工を行うことなどが期待されている。また近年環境問題、衛生、栄養についても教えるべきとされているが、低年齢の子供に理解できるような教え方ができていない問題がある。配属先は教育プログラムの策定を行っているが、ボランティアが現場を見たうえで、今後改善すべき点や方法の提案、アイデア提供することを期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・首都の2~3校の幼稚園を巡回し、教員と協力しながら現地の材料で作れる図工やおりがみを教える。 ・環境問題、衛生、栄養について、わかりやすい教え方のアイデアを教員に提供する。 ・研修を開催し、上記活動を教員らに紹介する。 ・子供の興味を惹きながら、楽しくフランス語を勉強できる方法を提案する。 ・就学前教育局において、プログラムの内容、教員らの組織化、研修などについて提案、アイデア提供を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プリンター、コピー機				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 局長(男性50代)、部長3名(男性30~40代)、他職員7名、会計2名 幼稚園教員(女性、男性20代~50代)			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は フランス語 (レベル: D)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (幼稚園教諭) 又は (保育士) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 教員経験 7年以上 理由: 幅広い知識・経験を要する			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(ステップ) 気温(25~40℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号(SL 306 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G201)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
ボリビア	機械工学			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
3	/					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省					
	2) 配属先名 (日本語) 財団法人INFOCAL職業訓練学校コチャバンバ校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 コチャバンバ県コチャバンバ市 JICA事務所の所在地(ラバズ市)から 南東 方向 380 Km 主要都市(コチャバンバ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、国内市場のニーズに合った労働人材を育成することを目的として、1988年に公立職業訓練校として設立され、1996年に労働省から独立した非営利財団で、民間企業などからの出資金と授業料などの収入で運営されている。全国9県の県庁所在地にキャンパスがあるが、それぞれが独立した運営を行っている。コチャバンバ校では2キャンパスで電子工学科、電気科、機械科、自動車整備科、情報処理科などの9コースを設置しており、3年間の履修で上級技術者の資格習得ができる。コチャバンバ校全体での教員数は163名、学生数は約3000名、機械科では学生約200名が履修している。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ボランティアが活動する機械科では、昨今の市場のニーズに合わせ、機械の保守ができる人材の育成を目指し、3年次の学生が履修する「機械メンテナンス」講座を開設する予定で、授業に必要な実習用機械なども一部設置した。しかし、同校には現在工作機械の保守を指導できる専門の人材がおらず、また国内全体を見ても機械保守を教える職業訓練校が数少ないことから、同校では日本人ボランティアからの技術支援を受け、機械のメンテナンスを指導できる人材を育成すること、ひいてはメンテナンス技術を身に着けた同校の学生の、卒業後の雇用機会が増えることを期待している。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚と協力しながら以下の活動を行う。 1. 機械メンテナンス講座開設に向け、授業計画(座学、実習)、教材の整備を行う。 2. 同僚が学生に授業を行うことができるよう、機械のメンテナンスについての技術指導を行う。 3. 同僚に対し、実際にモデル授業を行って見せるなどし、わかりやすい教授の仕方を指導する。 4. 今後授業を展開するために導入が必要な実習用機械や教材などについてのアドバイスを行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ベルトコンベア用アライメント調整機(レーザー式)張力計(レーザー式及び機械式)トランスミッションシステム、部品組立実習用旋盤、機械部分組立用変速装置、シャフトアライメント調整機など					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 機械科長(30代、男性、大卒) 同僚3名(20~40代、男性、専門学校卒、溶接、製造工程、製造機器制御などが専門) 機械科学生約200名			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (VAM: C) 又は (VAM:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経歴) (10年以上) 理由:同僚への指導を行うため 製造機械などの一般的な保守の経験 理由:同僚への指導を行うため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
	地域概況 気候(高地温暖) 気温(10~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 18 日

要請番号 (SL 515 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G202)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 3 代目	○ 2 年	1 26 / 1	
ケニア	電子工学			○ 1 年	2 26 / 2	年 月 から
				○ ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) モンバサ技術大学 ○ NGO 3) 任地 モンバサカウンティー、モンバサ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 南東 方向 500 Km 主要都市(モンバサ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1951年にイスラム教徒の技術学校として設立、1972年に国立科学技術専門学校として認可、2007年より学士課程を開設。そして2012年12月からは正規の大学に昇格し現在に至る。電気・電子工学、機械、土木建築、IT等13学科を有す。電気・電子工学科は、2006年にイタリア政府より約1.5億円の支援を受け、機材面を拡充。同学科の学生数は3年制専門課程650名、5年制学士課程150名(大学全体では約8,000名)。同学科年間予算は約2億7千万円。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先となる電気・電子工学科は、イタリア政府の支援により最新の電気・電子技術指導教材が導入され、2011年度から学士課程がスタートしたものの、学士課程レベルの指導が出来る教員確保が困難であるため、同分野における経験と知識を有するボランティアを要請するに至った。初代ボランティアは「デジタル信号処理」と「デジタル通信」の両科目を担当したが、前任者より「光ファイバー通信」の指導を開始した。同科目は現在ケニアの通信事情に合致しており、卒業後の就職にも非常に有利に働く事が期待されている。前任者は実技担当教師と協働する事で技術移転を行ったが、依然として十分な知識を備えていない事から、引き続きボランティアによる支援が必要となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先教授陣の一員として、学生に対し以下の業務を担当する。 1、光ファイバー通信及び関連分野におけるショートコース、一般コース(計画中)を担当する。 2、光ファイバー通信の実習場整備。 3、現地教員に対し、光ファイバー通信の指導方法に対する助言を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 光ファイバー融着接続機、光パルス試験器(OTDR) 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長 男性 50才代 講師 男性 40才代 通信工学専門課程卒 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (修士) (電気・電子) 理由: 学士課程の指導に必要 ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 専門コースの学生指導に必要 企業技術部門で10年以上の経験 理由: 専門コースの学生指導に必要			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可		
地域概況	気候(高温多湿) 気温(20-35 ℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☑ 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)					
特記事項	(ここに特記事項を記入してください)					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号(SL 539 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G208)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
南アフリカ共和国	科学			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 科学技術省		2) 配属先名 (日本語) オシズエニ・教育開発センター <input checked="" type="radio"/> NGO		
先概	3) 任地 ムブマランガ州ハルツェバンデ郡ゴーバンムベキ町エンバレン JICA事務所の所在地(プレトリア)から 南東 方向 150 Km 主要都市(セクンダ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間)				
要請	4) 配属先の規模・事業内容 同配属先(www.osizweni.org.za)は合成燃料で有名な化学会社の地域振興事業として1991年に設立され、数学・科学・技術教育の支援を行なっている。主に郡内の学校(小学校355、中等学校(日本の中・高校に相当)122)を対象に教員研修、移動実験室による出張授業、キャリアガイダンス等を実施。2008年には100点以上の展示物、モデル実験室を備えたサイエンスセンターも開館した。全国科学週間では州内の就学前児童から成年を対象に数学・科学・技術のイベントの提供や、地域住民に対してはITリテラシー教育やエンバレンでの就学前教育支援等幅広く活動している。年間予算約1.3億円、総職員数35人。				
概	1) 要請理由・背景 現在同国には20以上のサイエンス・センターがある。大都市のセンターは充実した展示物で来場者を魅了するだけでなく、日常的に各種の科学・技術ワークショップも提供している。一方、地方センターの多くは、展示物・ワークショップとも見劣りする。JICAは同国の複数のサイエンス・センターにボランティアを派遣し、科学技術省が主導するサイエンス・センターの振興を支援してきた。前任者(平成23年度3次隊)は、日用品を活用した科学・技術アクティビティを就学前教育指導者や幼児の保護者及び児童・生徒・教員にワークショップを実施して紹介し、科学・技術の啓発に努めた。後任には、引き続き重要な就学前児童教育プログラムへの支援のほか各種プログラムをより効果的なものにするため、日本の優れた科学・技術教育プログラムの導入、各種ワークショップの継続が望まれている。				
要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の教育部スタッフと共に主に次のような活動を行う。 1 全国科学週間におけるサイエンス・ショー実施と科学・技術アクティビティの紹介 2 就学前教育指導者及び幼児の保護者対象のおもちゃ作りワークショップの計画・実施 3 小学校教員への日用品を利用した理科実験ワークショップの計画・実施 4 中等学校教員対象の新カリキュラム(CAPS:Curriculum and Assessment Policy Statement)理科ワークショップ計画実施 5 同僚スタッフの技術研修、他のサイエンス・センターにおける職員研修の提供 また、同国派遣科学JV/SVとの協働による、サイエンス・センターのネットワーク作りを通じた技術交流も期待されている。				
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 文房具類、コンピュータ(Windows)、プリンター、プロジェクター、コピー機等の一般事務機器、所内LAN(インターネットに接続)				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 教育部マネジャー(男性50代) 教育部スタッフ(男性2名 30代、女性2名、20代) その他、理工学系大卒のインターン数名		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (V^N: A) 又は (V^N:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 治安上 ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 理科教育の知識、技能が必要 ・経歴 () () 理由: ・ 教員または科学館勤務経験(10年以上) 理由: 十分な経験に基づく協力の為			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(温暖湿潤) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	住居は配属先敷地内となるが、公共交通機関へのアクセスは不便である。主要な町まで20km程度あるため、生活・治安の面で私有車を保有することが望ましい。				

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 13)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G213)	○グループ型 ◎個別	○新規 ◎交替 2 代目	派遣希望時期	JOCV/SV	
チリ	動物学			○2年	1	26 / 1
				○1年	2	26 / 2
		○ヶ月	3	/		
年 月 から						
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 都市・住宅省					
	2) 配属先名 (日本語) メトロポリタン動物園 ○ NGO					
	3) 任地 サンティアゴ市 JICA事務所の所在地(サンティアゴ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンティアゴ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 首都サンティアゴに位置するチリ最大の国営動物園として来園者と動物の触れ合いを提供するほか、野生個体数が減少している動物の保護、動物生態系の調査・研究・管理等も行っている。国営としてはチリ最大の総面積722haの動物公園と市内13か所のその他公園の運営管理を含む年間予算は、施設運営費として115万米ドル、改築その他の投資資金として38万米ドルである。スタッフは約50名。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同動物園が現在直面している下記課題に対して技術指導を要するためボランティア要請がなされた。 1. 主にフンボルトペンギン、チリフラメンコ、イワインコ等絶滅の危機に瀕している鳥類の人工ふ化、人工飼育技術の向上 2. 上記鳥類の血統管理、飼育、ケージでの扱い 3. 環境保護の観点から園内教育・展示手法等の改善 現在2011年10月からSV1名が活動中で引き続きの支援を必要としているため本要請に至った。 また同動物園はJICAボランティア派遣前から日本の動物園(江戸川区自然動物園、埼玉県こども動物自然公園)・水族館(下関市立水族館「海響館」)、NPO(ペンギン会議)との技術交流・人材交流等を行っている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. フンボルトペンギンを中心としたチリに生息する希少鳥類の繁殖、人工ふ化、人工飼育の指導 2. 飼育下繁殖個体の血統管理指導 3. 保護活動のための現地調査同行、現場でのアドバイス、報告書等の作成指導 4. 環境保護の観点から園内教育、展示改善に関するアドバイス					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 人工飼育室。孵卵器(昭和フランキP-008A型)、発生器(GQF1554:アメリカ製)					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 飼育場の責任者(生物学専攻)1名、獣医師(30歳代)4名、その他飼育係(20~60歳代)20名		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)			
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)			活動上の單車/自転車の必要性		
	・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 特殊分野のため不可欠 ・主体的なペンギン人工飼育経験3年以上 理由: 特殊分野のため不可欠			○單車 ○自転車 ◎不要		
				現職教員特別参加制度		
			○可 ◎不可			
地 域 概 況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位)			電気(◎安定 ○不安定 ○なし)		
	通信(☑インターネット可 ☑電話可 □無線)			水道(◎安定 ○不安定 ○なし)		
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

要請番号 (SL 009 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G215)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
マレーシア	学芸員			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1
				2 26 / 2	から
				3 /	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) サラワク州経済企画院 2) 配属先名 (日本語) サラワク州立図書館公文書館 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サラワク州クチン JICA事務所の所在地(クアランプール)から 東 方向 700 Km 主要都市(クチン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.4 時間)				
要請概要	4) 配属先の規模・事業内容 1999年にサラワク州条例下に設立された公立図書館および公文書館。サラワク州政府下で運営され、係る条例は2010年に改定された。サラワク州の情報及び知的財産の保管、並びにサラワク州の知的財産、リソース及び情報の提供をミッションに掲げている。州内で発行されている書籍、新聞、雑誌等の保管・保護のほか、圖書の貸し出し、歴史的文献及び公文書の保存・管理を行っている。年間予算は約4億6千万円。職員の総数は図書館関係が37名、公文書館関係が18名。外国からの援助は無い。過去、2001年に養護のJVが派遣され図書館広報活動を実施した。				
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先の公的記録保管サービスセクターには計18名のスタッフがあり、司書が公文書の保管・管理を行っている。しかし、専門的な知識が不足しているために古文書、古写真、行政資料などの整理、保存、管理ができていない。配属先では保管している古文書、古写真、行政資料を整理、保存し閲覧できるように整える作業が必要であるが、ノウハウを持つ職員がいないためボランティア要請に至った。主に紙面保存、修復の技術を持ち合わせている人物が求められている。				
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 収集物が整理、保存、管理、閲覧ができるよう整える。 2. 収集物にかかる技術にかかる技術者を作業員に対し指導する。 3. 行政資料や新聞は1950年以降の比較的新しいものが多く、汚れの除去やしわを伸ばす作業が主になる。 *収集物の種類は多種あるが、まずは古書の保存についての支援が望まれている。				
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 拡大鏡 製本機 超音波加湿器 顕微鏡 保存用筆				
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先カウンターパート:女性、大卒、50代、部長 司書3名、司書助手1名、作業員7名。		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (マレーシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () ・又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準に合わせる ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: スタッフへの指導を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	通勤は公共バスの利用が可能。但し選ぶ住居の場所によっては生活上自己車輻が必要となる。				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 515 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G215)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV	
ケニア	学芸員			2	26 / 1	日系/短期
				3	26 / 2	年 月 から
1) 受入省庁名 (日本語) 国家遺産・文化省						
2) 配属先名 (日本語) ケニア国立博物館		<input type="radio"/> NGO				
3) 任地 ナイロビ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ナイロビ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)						
4) 配属先の規模・事業内容 1930年開館のケニア最大の博物館で、国内各地に分館を持つ。展示部門、学術部門、教育・広報部門等があり、特に始 祖人類に関する人類学研究に関しては、欧州・日本を中心に共同研究や研究者の受入、機材導入が盛んである。博物館 全体での年間予算は約87億円。また国内の小中学校における自然・歴史等に関する教育を行う役割も担う。2011年JICA 一般文化無償により古人類学遺物保存及び視聴覚機材の供与が実施された。2012年10月より2ヶ月間のSVが派遣され、 博物館の展示方法や調査研究に対するアドバイスの提供を行うと共に、配属先が支援しているスラム地区小学校での環 境教育プログラムにも参加した。						
1) 要請理由・背景 国立博物館および各地の分館では、国内の初等・中等教育における自然史・文化史をはじめとする博物館教育を行ってい るが、遠方のため博物館を訪れるのが非常に困難な地域も多い。博物館に向かうことの出来ない学校の児童生徒のため 、親たり触れたりすることのできるインタラクティブな教材を携えて出張教育を行うプログラムの整備を求める声が大き く、教育・広報部門にて少しずつ教材や指導内容、マニュアル等の整備を進めているもの、視聴覚機材や出張教育のア イディア等に関し、より効果的なプログラムや各種マニュアル・ツールの整備について指導することのできる人材が必要と のことから、本要請に至った。						
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは、配属先広報・教育部門スタッフおよび他部門のスタッフ・研究者等と協力しながら博物館教育の推進に関 連する下記業務を行う。 1.博物館教育を出張で行うためのプログラムツール・マニュアル等の作成。 2.よりわかりやすく創造的な出張博物館教育プログラムの作成。 3.プログラム作成のための学校等へのマーケティング戦略の策定支援。 4.プログラム作成・運営のための資金調達(スポンサー獲得等)に関する助言						
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター各4台(共用)						
4) 配属先同僚及び活動対象者 教育・広報部 部長 50代男性 1名 主任学芸員 40代女性 1名 学芸スタッフ 20~40代 7名 小中学生、学校教員等				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (V/N: B) 又は (V/N:)		
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 業務上、専門知識が必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 教員、学芸員が指導対象の為 学芸員資格 理由: 活動上、知識、経験が必要				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況		気候(高原) 気温(10~30℃位)	電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)		
水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		特記事項				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

要請番号 (SL 066 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G231)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
スリランカ	デザイン			2	26 / 1	日系/短期
				3	26 / 2	
			〇 〇ヶ月	3	/	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省					
	2) 配属先名 (日本語) モラトワ大学				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 コロンボ県モラトワ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 南 方向 15 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 モラトワ大学はスリランカ有数の国立大学で、総合デザイン学科は建築学部配下にある。1年次は共通の内容を学び、2年次の後半、あるいは3年次から専攻分野を学ぶ。大学の年度は10月から8月まで。総合デザイン学科の年間予算は約150万円(2013年度)。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先となるモラトワ大学総合デザイン学科では、「プロダクトデザイン」、「メディア・コミュニケーションデザイン」、「ライフスタイルデザイン」の3コースがある。ボランティア要請のあったメディア・コミュニケーションデザインコースは、コンセプトデザイン、グラフィックデザインなどの「①コミュニケーションデザイン」、Webデザイン、インタラクティブデザインなどの「②UI(ユーザーインターフェース)・UX(ユーザーエクスペリエンス)デザイン」、ヴィジュアルデザイン、コピーデザインなどの「③広告デザイン」をカバーする。このうち、主にコミュニケーションデザイン、UI/UXデザインについて、授業内容の質向上を目的としてボランティアが要請された。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚教授・講師とともに、以下の業務を行う。二番目の活動はオプション。可能な範囲で実施する。 ・コンセプトデザインなどのコミュニケーションデザインについて、学生を対象に指導する。 ・WebデザインなどのUI/UXデザインについて、学生を対象に指導する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 AV Studio機器、ビデオ編集機器、Windows機7台、Mac1台、カムコーダー(Sony 170)、デジタル一眼レフ、ビデオ&写真ライティングシステム、机、椅子など。					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・教授(常勤)男女4名、30代、実務経験1~13年 ・非常勤講師6名(広告デザイン、映画、テレビ産業、ビデオプロダクション、印刷デザイン、Webデザイン) ・学生 3年生16名、4年生10名(2013年度)。各年次最大20名。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学で指導するため必要 ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 指導に必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯) 気温(22-38 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
通信	<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線					
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 066 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期			
国名	職種 (コード G231)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1		
スリランカ	デザイン			1年	2	26 / 1	年 月 日 から
				ヶ月	3	26 / 2	
配属先名 (日本語) 視覚・舞台芸術大学		<input type="radio"/> NGO					
3) 任地 コロンボ県コロンボ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北 方向 0 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)							
4) 配属先の規模・事業内容 視覚・舞台芸術大学はコロンボ中心部に位置する2005年設立の4年制芸術系大学である。舞台芸術学部、音楽部、視覚芸術学部の3学部、陶芸学科、西洋音楽学科、デザイン学科など、22の学科がある。要請のあったデザイン学科の年間予算は約550万円(2012年度)。							
1) 要請理由・背景 視覚芸術学部デザイン学科は2011年に創設された比較的新しい学科で、ファッション&イラストレーション、コンピュータデザイン、プロジェクト&ポートフォリオデザイン、繊維被服、伝統繊維、皮革芸術、宝飾、合成繊維、芸術史の各コースがある。1年生14名、2年生12名が在籍し、2013年度は10名が入学予定である。スリランカの伝統衣装としてサリーやバンジャビドレスがあるが、これら伝統的衣装とモダンデザインを融合させたデザインの提案、綿や絹などの伝統的素材と現地の果物などから抽出する新素材繊維(たとえばバナナやパイナップル繊維など、研究段階のものが多い。)を活用した新しいファッションデザインの提案などが求められていることから、ボランティア要請に至った。							
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ファッションデザイン分野において、学生を対象に指導を行う。(上から優先順位順、③以降はオプションの活動) ①ファイバーアート分野のデザイン。 ②現地で研究・開発が進む果物繊維等から抽出した新素材を活用したファッションデザイン。(繊維研究は大学内他部署で行われている) ③モダンファッションの紹介と、伝統衣装の要素を取り入れた新たなファッションデザイン。 ④皮革ファッションデザイン。 ⑤革や繊維、織物を融合させたマルチ素材ファッションデザイン。							
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パターンカッティングテーブル、ダミー、機織、繊維素材、染色資機材							
4) 配属先同僚及び活動対象者 ・常勤教授(4名。50～60代。ファッション、繊維、繊維工学の分野で修士or学士取得。指導経験7～13年) ・非常勤講師(16名) ・学生(2013年時点で1～3学年36名。毎年10～20名程度が入学。)				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:指導に必要 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可			
地域概況 気候(熱帯) 気温(22～38 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)							
特記事項							



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号 (SL 115 - 13 - D - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G236)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV	
ミクロネシア	家政・生活改善			2	26 / 1	日系/短期
				3	26 / 2	
年 月 から						
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ポンペイ州政府					
	2) 配属先名 (日本語) ポンペイ・アイランド・フード・コミュニティ				<input checked="" type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ポンペイ州コロニア JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 南西 方向 1 Km 主要都市(コロニア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.2 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、地元の食材を食することは、文化・健康・環境・経済・食料安全保障に裨益するとの観点で、キャッチフレーズをGo Localとし、地元の伝統的な食物(農産物)の調査や、有用性についての啓発活動等を実施している。年間予算は外部からの支援状況にもよるが、概ね45千ドル(約360万円)。2008年に、草の根・人間の安全保障無償資金協力によって施設が拡張・修理された。2013年3月まで、JV(村落開発普及員)が活動していた。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、当国の輸入食料への依存や生活の欧米化に伴う、生活習慣病蔓延の現状に対し、地元の伝統食の栄養や健康面での価値を、人々に広める活動を行っている。初代の村落開発普及員のJVは、同僚の啓発活動の記録(写真、レポート)、新聞等の広報記事の作成、小学校での食育のワークショップの開催等を行った。また、コミュニティーの人々の食と健康の関係についての調査も行った。当国では、食育はもとより、栄養や健康について学べる機関も少ない。そのため、後任には、前任者が広めてきた食育や健康調査の活動を基盤に、さらに多くの人々やコミュニティーに、地元産品が栄養や健康面で価値があることを広めていくことが期待されている。その際、栄養や健康に関する専門的な知識の裏づけがあることが求められるので、これらの知識や指導経験を持つSVでの後任要請となった。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下の活動を、同僚と協力して行う。 1. 現地の人々の生活を、よく観察・調査する機会を設け、地元産品の栄養について再評価する。 2. 人々の生活習慣(生活習慣病蔓延)が改善されるように、地元産品の栄養価の評価結果等を用い、食育活動の教材作成などを行う。 3. コミュニティや学校において、効果的な方法で、食育活動を実施する。 4. 実施した食育活動について、記録し、新聞・ラジオなどのマスコミに広報する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 電話、FAX、コピー機、PC(Windows XP)、プリンタ等の一般的な事務機器。					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 事務局長(女性1名/食育担当、50代) 総務担当(女性1名、50代) 他国ボランティア(女性1名)AVI(Australian Volunteers International) 本団体の運営方針などは、理事会で決まるが、理事らは常勤ではない。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(30℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 27 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 5 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 / 3 /
モロッコ	料理		日系/短期 年 月 から		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 観光省				
	2) 配属先名 (日本語) アガディールホテル観光技術専門学校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 アガディール・イダウタナン県アガディール市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 590 Km 主要都市(アガディール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 モロッコ観光省の管轄する専門学校は全国に16校あり、各校に料飲部門、ホテル部門、観光部門に学科が設定されている。アガディールホテル観光技術専門学校は、生徒数約300名、修学期間は2年間であり、全寮制ではないが寮施設を有する。2006年からはJICAボランティアが4代続いて派遣されており、料飲部門の調理科の学生を対象に日本料理の授業を行っている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 モロッコ観光産業は、2010年からの10か年計画Vision2020によって外国人旅行者受入数の倍増などを目指している。この計画に基づき、新規に20万ベッドのホテル建設、47万人の雇用創出などがうたわれている。外国人旅行者のうち今後開拓が見込めるのは日本を含めたアジアからの観光客であり、さらなるサービスの向上および日本を含むアジア料理の料理人育成に力が入っており、継続した派遣の要請となった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 調理科の学生を対象にした以下の活動を行なう。 1.モロッコで入手可能な食材を利用した日本料理・アジア料理のレシピ作成 2.日本料理・アジア料理の調理実習指導 3.学内イベント開催時に日本文化の紹介				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 調理用器具				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 25歳までの高校卒業生対象 校長、管理運営部局(総務課、教務課、学生課、経理部で構成)総数約30名			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)			活動上の單車/自転車の必要性	
	・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 学生に指導するため 理由:			<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(0~35℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 475 - 13 - D - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G238)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
チュニジア	料理			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 2 2 / 3 /
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 観光省				
	2) 配属先名 (日本語) ブラレジア観光高等学院(ISPT)				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 スース県スース市 JICA事務所の所在地(チュニス市)から 南 方向 140 Km 主要都市(スース市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、2004年にフランスの協力の下に設立された、観光局傘下の観光に特化した高等教育機関で、地中海リゾート地エル・カンタウィ・スースに位置する。学科コースは、卒業時に取得出来る2種類の技術士資格(BTS:上級技術士、BTP:技術士)によって分かれており、ホテル・料理・レストランサービス・旅行代理店学科などがある。履修期間は、2年又は3年で、学内の講義や実技の受講と外部のホテルなどでの実習とを交互に行っている。全学生数は約350名、教員数は約40名。年間運営予算は約2700万円。現在、PCインストラクターのJVが派遣されている他、韓国料理担当のKOICA(韓国)ボランティア1名も派遣中。				
要請概要	1) 要請理由・背景 チュニジアにおいては、観光業はGDPの7%、外貨収入では1位の20%を占める重要な産業である。2011年1月の革命後は、観光客が多少減少したものの、毎年600万人以上の観光客を受入れている。その中で、同配属先が位置するスースは、海岸沿いの地中海ビーチリゾートとしてヨーロッパ人に人気の観光地で、大型リゾートホテルなどが80軒程立ち並び、その一角に配属先も位置している。その様な背景のなか、日本料理やアジア料理を中心として観光客のニーズに合ったサービスを提供できる人材育成を目指して、本要請が上げられた。因みに、同国においては、日本・中華料理を提供出来るホテルやレストランは未だ殆どないと言える。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において、同僚教員と共に、以下の業務を行う。 ①課外授業(クラブ活動)として、料理学科の学生や同僚教員を対象に、日本料理やアジア料理を中心として、学生たちのレベルや観光客のニーズに合わせた調理技術の指導を行う。 ②果物や野菜などのデコレーションや盛り付けに関する指導を行う。 ③学生や同僚教員に対し、適宜調理機材管理に関する助言を行う。 ④レストランサービス向上に係る助言を適宜行う。 ⑤日本やアジアからの観光客の好みやニーズなどを伝える。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実習用調理室、設備一式(冷蔵庫、ガスコンロ、オーブン、冷凍庫、その他調理器具一式)、実習用レストラン 必要に応じて、調理器具などを購入することも可能。				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長:男性1名 40~50代 ・教員:40名(平均年齢32歳) ・同職種の同僚教員:2名 ・学生数:約350名(年齢17~25歳、男女比 3:1) ・指導対象学科の学生:1及び2学年それぞれ10名			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (V/N: C) 又は (V/N:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由:業務内容上必要 ・ 学生などへの指導経験3年以上 理由:業務内容上必要			活動上の單車/自転車 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性気候) 気温 (3~46 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 現地においては、フランス語も通用するが、一般的に口語においては、アラビア語チュニジア方言が使われている。				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 30 日

要請番号 (SL 024 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H105)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 3 代目	JOCV/SV	日系/短期
ラオス	看護師			◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省				
	2) 配属先名 (日本語) 国立マホソット病院				○ NGO
	3) 任地 ビエンチャン市 JICA 事務所の所在地 (ビエンチャン市) から 北 方向 0 Km 主要都市 (ビエンチャン市) までの交通手段及び所要時間 (徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 中央病院の一つであり、1910年にフランスの援助で設立された。管理部門7科、診療部門30科、ベッド数450床、27病棟からなるラオス最大の総合病院である。救急医療、インターナショナルクリニックの機能も併設している。また、ラオス国内の各県郡の医療・看護スタッフの研修、医学生や看護学生及びメディカル学生の実習病院の役割も持つ。これまで6名の看護師JV、2名の看護師SVが派遣され、同病院の看護管理機能の強化を支援した。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先は、モデル病院として地方病院への情報発信と看護スタッフ研修、看護学生の実習受け入れを行うなど重要な役割を担っている。2011年から2代目SVが、①看護管理、②人材教育、③看護サービスの3つの分野で支援をし、看護管理手法の定着と改善、看護サービスの評価・指導体制の確立などの活動を行ってきた。しかし前任者の離任から7年が経過して看護管理や看護実践能力の低下がみられる中、現SV1代限りの活動をこれらを十分な状態に引き上げることは困難な状況。また臨床実習を指導する人材の不足も課題となっている。院内教育にかかわる人材育成と院内教育システムの構築、看護管理の改善、看護実践能力の向上にむけた引き続きの支援が期待され、本件要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 看護部、病棟における年間看護管理計画の立案・実践・評価の支援 2. 院内教育活動への支援 3. 看護実習指導方法の確立と指導者の人材育成 4. 看護実践能力の評価と看護過程を含めた実践方法改善の取組み 5. JICA「母子保健人材開発プロジェクト」のモデル病院である配属先において、病院とプロジェクトとの円滑な連携に向け必要に応じた支援				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピューター4台、プロジェクター1台、コピー機1台、				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 副病院長 (医療サービス担当 女性 40代 看護学修士) 看護部長 (女性40代 看護学修士) 副看護部長2人 (女性50代) スーパーバイザー (女性40代、看護学修士) 看護職員数400名(看護学士21名)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ラオス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (看護師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚看護師も学士以上のため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 院内教育で指導するため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域 概況	気候(亜熱帯) 気温 (15~35 ℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記 事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

要請番号 (SL 048 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H105)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ブータン	看護師			1	26 / 1	年 月 から
	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別			2	26 / 2	
		3	/			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省					
	2) 配属先名 (日本語) 病院品質管理局				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ティンブー県ティンブー市 JICA事務所の所在地(ティンブー市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ティンブー市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 保健省では2002年から継続して病院品質管理を主眼に置いた部署が設置されており、国内の病院における医療サービスの向上に努めている。2008年から始まった第10次五か年計画を機に、より一層の組織強化がなされ国際基準に即した病院経営管理を目指している。2012年にはそれまで省内に複数あった関連部署を一元化し、各病院においてより効果的且つ迅速に制度やシステムの導入がなされるよう組織の再編が行われた。なお、国内の一部の病院ではJV(看護師、助産師)が活動中である。年間予算2,900万円。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先では2002年の設置から国内の病院において継続した品質管理に関するワークショップを実施している。また、国内の各病院で「病院管理運営チーム」が組織されており、関係者に対して啓発、指導を行っている。最近では、日本の「5S改善」をモデルとした「持続可能な品質改善プロジェクト」の実施を試みるなど、国際基準を満たした医療サービスの導入に積極的な動きを見せている。しかしながら、より具体的な施策の立案やその導入方法、またそれらの効果発現状況を計測するための指針作りを行う上で専門性を有する人材が不足しており、SVの要請に至った。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは主にアドバイザーとして、配属先同僚と協力し以下の業務を行う。 1.既存の「病院品質改善プログラム」のレビュー 2.「5S改善」モデルの導入、強化および促進 3.認定看護師システム導入にかかる基準作成 4.PDCAサイクルに基づく活動モニタリング・評価 5.地方病院での巡回指導					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC(エクセル、ワード)、プリンター					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・主任1名(年齢40代:男性:業務経験26年) ・スタッフ5名(全員年齢30代:男性4名、女性1名:業務経験7年~14年) (2013年8月から新しく2名のスタッフが加わる予定) 主な活動対象者 ・配属先スタッフおよび各病院の医療従事者			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (看護師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 専門的な知識・経験を要するため ・ 病院内における品質改善に関する業務経験 理由: 業務遂行上必須			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温帯性) 気温(-5~30℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	特になし					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

要請番号 (SL 324 - 13 - D - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H105)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
パラグアイ	看護師			1	26 / 1	年 月 日 から
				2	26 / 2	
3	/					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 2) 配属先名 (日本語) アンドレス・バルベロ看護学校本校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 東 方向 0 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)					
概要	4) 配属先の規模・事業内容 同校本校は、パラグアイ国における看護分野人材の育成機関として、1945年に厚生省に所属する機関として設立され、年間300名以上の看護師及び助産師を輩出している。就学期間は4年間で国立大学看護・助産学部該当する。国内4ヶ所に分校が設置されている。年間予算は約6,500千米ドル。生徒数は約1,000名、教員及びインストラクターは約300名。本校には、1985年～97年までにJICAボランティア8名(1名SV)が派遣された実績がある。また、2012年度は帰国研修員に対するフォローアップを通じて実習に必要な機材・教材等購入予定。					
要請	1) 要請理由・背景 パラグアイでは、2001年からJICAの協力により看護・助産継続教育プロジェクトを実施してきたが、一方で、看護・助産分野の基礎教育の質の向上が必要とされている。更なる人材育成のためには、大学卒業後専門コース修士課程などを通じて人材の質の向上をめざしている。特に2010年の調査によると全人口の約8%が60歳以上の高齢者であり、また50～59歳の予備軍もほぼ同様な割合を占めている。年々の高齢者増加により現在看護師に求められるものは変わりつつあるため、同大学としては、ニーズに応じて新規コース(老人看護)を形成していくことを望んでおり、SVの派遣が検討されるに至った。					
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 専門課程において、老人看護コースのカリキュラムを作成する。 2.1. 分野における研修プログラムを提案し助言する。 3. 老人看護分野の指導において、必要とされる参考文献や教材等を提示する。 4. 老人看護分野の教員を対象とした指導を行う。 5. 同校分校に配属予定のJVと連携しながら活動すると共に、県内の他地域に配属されている同職種隊員と積極的に情報交換を行い、医療サービスの向上に尽力する。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン(インターネット接続可)、プリンター、コピー機					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同大学の教師陣 312名 大学生 1,000名 専門課程の学生 平均20～30名			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (看護師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚教師の学歴に同じ ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚教師への指導も含むため 理由: 専門課程での指導のため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0～40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	大学で新規専門コースを立ち上げに係るため、教えることが好きで、バイタリティーのある人を求む。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号(SL 469 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H105)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
モロッコ	看護師			2	26 / 1
			2	26 / 2	年 月
			3	/	から
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省 2) 配属先名 (日本語) ラバト大学小児病院新生児科 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラバト県ラバト市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 0 Km 主要都市(フェズ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、国内唯一の小児専門病院である。そのため、近隣県から移送されてくる患者の最終受け入れ先としての役割を担っている。また、隣接するラバト大学産科病院で出産される新生児(2012年分娩実績 16,395件)へのケアも行っている。大学病院として、専門医の養成及び看護師養成課程の学生への教育的な役割も担っている。しかし、モロッコでは看護師養成課程で小児看護に関する指導が十分とは言えず、看護師の質の改善と向上が求められる状況が続いている。2012年の年間の入院患者 新生児科 2,113名、NICU 1,026名、新外来患者 5,246名、再診患者 5,090名				
要請概要	1) 要請理由・背景 モロッコでは、看護師養成課程で小児科に関する指導が十分に行われておらず、小児病院新生児科に配属される看護職は、小児看護に関する十分な知識を持っていない。従って、患者へのケアにかかる基本的な事項は、配属後に同僚に習うのが普通である。その為、院内感染の頻度が高いことなど患者ケアの質に課題がある状況が続いている。2012年に死亡した入院患者の主たる原因は、感染が原因と分析されている等、看護管理の必要性から本要望が提出された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 新生児科において、看護師管理職と連携し看護職の基本的なレベルの向上への寄与が期待されている。 1.看護職として小児科看護に関する基本的な知識を共有する。 2.患者・物品管理方法などの知識の共有・指導を行う。				
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 新生児科には保育器・インファントウォーマー・呼吸器・光線療法器・自動輸液ポンプ等の基本的な機材が揃っている。機材の管理は、医療機材専門の職員が行っている。 4) 配属先同僚及び活動対象者 新生児専門医 教授クラス 6名、専門医2名、専門医を目指す医師 24名 看護師35名(管理職 新生児科担当1名、NICU担当1名) 新生児科 入院患者、外来患者				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (看護師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 新生児小児科実務経験 5年以上 理由: 専門分野の指導を行うため			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
地域概況	気候(地中海性) 気温(5~ 35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号(SL 642 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H105)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input type="radio"/> 2 年 <input checked="" type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
セネガル	看護師			年 月 日 から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健・社会活動省				
	2) 配属先名 (日本語) グランヨフ病院				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ダカール州ダカール県ダカール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北 方向 0 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 首都にある3次レベル国立総合病院のひとつで、小児科、心臓科、外科、泌尿器科、産科、婦人科、麻酔科、耳鼻科、整形外科、救急医療、検査室、を備える。医師約60名、看護師約400名、その他総務課、メンテナンス課など合わせて約700人のスタッフが勤務している。入院ベット数230床、手術室9室、レントゲン、CT、救急車2台を備えている。2013年の年間総予算約10億円。				
要請概要	1) 要請理由・背景 保健・社会活動省は多額の経費をかけずに病院の質を改善する方法として、5S-KAIZEN-TQMを取り入れることとしている。JICAは2011年に25病院に対して5S-KAIZEN-TQMの研修を実施した。当病院の院長は保健・社会活動省5S委員会のメンバーでもあり、この病院を3次レベル病院の5Sモデル病院とすべく、病院での活動を積極的に進めている。当病院では5Sの意識が浸透しはじめ、質を高めるためのKAIZEN活動につなげていく次の段階にきている。院長およびスタッフの意識が高いものの、具体的にどのように改善していくかのアイデアに乏しいため、ボランティアの要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 医療およびサービスの質の改善につながる以下の活動を行う。 ・看護師の組織、配置体制改善など人材マネジメントに対する提案・アドバイス ・人材評価、研修の方法に対する提案・アドバイス ・各診療科および、各診療科の5S担当の活動に関するアドバイス ・改善案を作成し、配属先と協議のうえ実施				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ノート型パソコン(HP社製)、プロジェクター(InFocus社製)				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 院長(男性、40代)、看護科科長(男性、40代)、看護師約400名(男性、女性、20代～50代)			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は フランス語 (レベル: D)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (看護師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
	地域概況 気候(ステップ) 気温(25~40℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 10 日

要請番号(SL 333 - 13- D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H106)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	1	JOCV/SV
ウルグアイ	保健師			2	26 / 1
				3	26 / 2
				〇	年 月 から
1)受入省庁名 (日本語) リベラ県庁 2)配属先名 (日本語) リベラ県庁 保健・衛生・環境局保健課 <input type="radio"/> NGO 3)任地 リベラ県リベラ市 JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北東 方向 500 Km 主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 7 時間)					
4)配属先の規模・事業内容 同県はブラジルと国境を接する同国北部に位置し、人口約10万人。同国の中でも社会開発が最も遅れている県の一つで、貧困問題を始めとして様々な社会問題を抱えている。県庁は公共事業、財務、保健・衛生・環境、振興・開発、運輸交通の5局からなり、こうした社会問題の改善に総合的に取り組んでいる。年間予算約3700万米ドル、県職員約1,000人。県知事、保健・衛生・環境局長は、JICAの元研修員である。これまでSV4名が同県庁に派遣され、前任となる保健師SVは、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力で同県庁に供与された地域巡回用診療バスで域内を巡回、地域医療の向上に協力している。					
1)要請理由・背景 同県では人口の約9割が都市部に集中し、農村地域の社会開発が遅れている。そのため、農村地域の住民は基礎医療や行政手続等の基本的な公共サービスを受ける機会が非常に限定的となっており、地域間格差が大きな問題となっている。こうした状況を改善するため、同県庁は日本政府から簡易な医療設備を備えた農村地域巡回用バスの供与を受け、医者や専門の県庁職員らが定期的に農村を巡回しながら、診療活動、保健衛生に係る啓発活動(健康管理、疾病予防、栄養改善、家族計画等)、暴力や虐待等の社会相談、出生届や社会保障等の行政手続き等の支援を行っている。前任者は同バスで医師、歯科医師、看護師などとともに農村地域を巡回し、特に予防医療に関する活動に力点を置きながら地域医療改善に協力している。現場の医師や同僚の診療技術・知識は一定水準のものはあるが、予防医療に関する経験・知識がまだ十分とは言えないため、さらなる協力が要請された。					
2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 医師、歯科医師、看護師などで構成する巡回診療チームとともに、予防医療の観点から地域住民に対して保健衛生(健康管理、疾病予防、栄養改善、家族計画等)に係る指導・助言を行う。(地域住民の代表的な疾病は、糖尿病、高血圧症、肥満、虫歯など。) 2. 保健・衛生・環境局において、予防医療の観点を取り入れた地域医療計画、モデル作成について提言・協力する。					
3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 巡回診療バス(エスペランサ号)					
4)配属先同僚及び活動対象者 保健課長:男性 医者 50歳代 看護師:女性				5)活動使用言語 (スペイン語) 6)生活使用言語 (スペイン語) 7)選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (保健師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:幅広い経験・知識が必要 理由:				活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況 気候(温暖) 気温(3~34 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号 (SL 021 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H108)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	JOCV/SV	
カンボジア	臨床検査技師			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
3	/					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省					
	2) 配属先名 (日本語) 国立輸血センター(NBTC)				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 フノンペン JICA事務所の所在地(フノンペン)から 北 方向 0 Km 主要都市(フノンペン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 NBTCは、国の中心となる輸血センターである。主に行っている事業は、①献血者を募る(全国への発信、及びモバイルチームがフノンペン市内や近隣の州へ出向いての血液確保)、②貯血した血液の検査(感染症、血液型など)、③各種製剤の製造(赤血球製剤、新鮮凍結血漿、血小板製剤)、④フノンペンの病院の輸血依頼を受けての適合血の選択(各病院が受け取りに来るため、搬送はしない)、⑤各州立病院の年間の輸血に関する情報収集、⑥医療者専門学校の学生の受け入れ(血液型や交差適合試験等の指導)である。WHOの医師やオーストラリア赤十字のボランティアも活動をしている。職員数は48名、年間予算はおよそ60万ドル。					
要請概要	1) 要請理由・背景 カンボジアは、医療現場の人材が不足している。NBTCでさえも、医師、技師ともに輸血を専門としているスタッフがおらず、古い知識や誤った知識のまま理解しているスタッフも多い。また、地方の病院では、専門の知識なしに、医師や技師たちが検査を実施している状況である。この状況を改善すべく、NBTCはWHOの支援を受け、各州立病院の検査科の技師の研修を行った。今後は、この研修の成果が各病院で生かされているか、モニタリングとフォローアップが必要であるとNBTCは認識しているものの、専門の知識を持った人材が不足していることから、この支援のためにボランティア要請に至った。各病院でガイドラインを遵守するように巡回して指導をしていく役割が期待されている。本機関への要請は新規であるが、他機関に配属されていた臨床検査技師の隊員が、週に1日程度NBTCの技師の検査技術向上の支援をしてきた。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① スタッフへの輸血検査、感染症検査における技術指導と業務改善の支援 (主な検査は、血液型検査、交差適合試験、感染症検査。感染症(HBV、HCV、HIV、梅毒)は、富士レディオのセロディアやBIORADでELISA(試薬があれば)、他国のイムノクロマト法のキットを使用。持っている試薬は、抗A、抗A1、抗B、抗D、抗AB血清、自家製A、B、CC血球、LISS(低イオン強度溶液)、抗IgG血清。) ② AABB(American Association Blood Banks)やWHOを参考に、輸血検査に関するガイドラインの見直しの支援。 ③ 各州立病院の視察とガイドラインの周知徹底の支援。 ④ 新規導入する血液検査(血球計算機)のフォローアップ支援。(シスメックス血球計算機の導入を検討中)					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 血小板振転機、瞬間冷凍機、製剤用遠心機、血球計算機、遠心機、貯血装置、ELISA小型検査機器、輸血用遠心機、恒温槽など。					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 副所長(男性、59歳) ラボ検査科主任(男性、44歳) ラボスタッフ(男性10名、女性5名)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (クメール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (臨床検査技師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 輸血検査経験5年 理由: 検査を支援する立場になるため			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	血液製剤製造に関わった経験があるとさらに良い。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 26 日

要請番号 (SL 139 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H108)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
サモア	臨床検査技師			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1
			2 26 / 2		
			3 /		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国民保険機構				
	2) 配属先名 (日本語) サモア国立病院				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 アピア JICA事務所の所在地(アピア)から 南東 方向 1 Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 当国で唯一高度な専門的医療を受けることができる国立の総合病院。中国政府支援による建替え工事が現在進んでおり、2013年7月に現病院のサービスの一部が新病院へ移転された。臨床検査部門は最初に移転された部門の一つで、サモア全土の医療機関からの検査依頼を受けており、国内にて検査が困難な場合はニュージーランドなどへ検査を委託している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 サモア全土の検査依頼が集中する臨床検査部門であることから、素早く正確なデータを医師へ提供することが求められるが、マネジメントの問題からスムーズな運営ができていないと言いき難い。検査業務は過去数代によるJICAボランティアの支援や留学等により技術的には問題ないが、臨床検査部門のマネジメントに問題があり2012年10月までSVが本部門トップであるマネージャーをカウンターパートとし、検査レベルや労務管理など、部門全体の運営改善の活動を行っていた。しかしながら、まだ十分といえないことからこの要請に至った。 移転後の検査機器の配置なども含めて適宜助言することになる。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 臨床検査部門マネージャーと協働して、 1.国立病院臨床検査部門全体の業務改善に取り組む 2.各自が行っている通常業務の見直し、効率化に向けた改善策の提案 3.検査技師の技術能力向上に向けた助言(必要に応じてトレーニングプログラム等の立案・実施) 4.検査室及び機器の維持管理に向けた助言 あくまでも検査部門全体のマネジメント力を向上させることが目的となる。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 インキュベーター、遠心分離機、保存庫、試薬等の各種臨床検査業務に必要な機材及びコンピュータ 執務室には、机・椅子				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 臨床検査部門マネージャー(男性、50代) 臨床検査技師		5) 活動使用言語 (英語)		
		6) 生活使用言語 (その他)			
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります)				活動上の単車/自転車の必要性
	・免許 (臨床検査技師)				<input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
	・性別 () 理由:				現職教員特別参加制度
・学歴 () () 理由:				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 技術・管理業務の助言を行うため 理由:					
地域 概況	気候(熱帯海洋性) 気温(25~30 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記 事項	臨床検査技師として病院の臨床検査業務ばかりでなく、部門の管理業務経験があることが望ましい。				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 25 日

要請番号(SL 324 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H108)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /	
パラグアイ	臨床検査技師			〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
				〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 厚生省 2) 配属先名 (日本語) 中央研究所		<input type="radio"/> NGO			
概要	3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 東 方向 4 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)					
要請	4) 配属先の規模・事業内容 厚生省中央研究所は、1983年日本の無償資金協力によって建設され、その後プロジェクト方式技術協力、フォローアップやアフターケア協力を経て、2004年3月から延べ3名のSVが活動を行ってきた。同研究所は、当国における唯一の国家レベルのレファラル研究所で、現在血液、臨床化学、免疫、尿検査・寄生虫、臨床細菌、ウイルスの各部門からなっている。職員数は189人、検査対象患者の大半は低所得者層である。年間予算は約5,300千ドルで、約7割が人件費に充てられている。					
概要	1) 要請理由・背景 2004年から4年に亘って検査精度の管理を強化することを目的に2代のSVが派遣され、その貢献によって、所内の精度管理にも改善がみられるようになった。その後派遣された前任SVが汎用統計ソフトを投入したことにより、一気に活動が加速し、2011年には同配属先で検査の精度保証及び生物学的安全性確立のための3年間のプロジェクトが立ち上げられた。2013年には、精度保証の運営実現に向け着実に準備が進められているものの、外部精度管理及び国内各施設のデータのばらつきをいかに標準化するかが今後の課題である。そのため、今後は外部評価計画と地方の検査技術者のレベルアップのための生涯教育が求められている。引き続き機能強化に向けた取り組みが必要となっているところ、SVの継続派遣が検討されるに至った。					
要請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同配属先検査技師の技術の定着やスキルアップのため、データ処理や精度管理の業務を支援する。 2. 同配属先の全部署で精度管理システムを適用し、厚生省管轄の地方の医療施設でも適用されるよう業務支援する。 3. 同僚と共に厚生省管轄の地方医療施設を巡回し、当該技術者に対し、研修等を通じて外部精度管理や検査体制強化に係る助言・指導をする。 4. 報告義務のある病理(疾患検査)に係る外部精度管理プログラムについて、迅速・的確な情報提供ができるよう助言。 5. 技師のレベルアップのための生涯教育プログラムへの助言も期待されている。					
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン2台(汎用統計ソフトJMPを含む)、プロジェクター、プリンター					
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 品質管理課長:女性、検査技師(博士号取得) 品質管理担当:女性、検査技師(博士号取得)、細菌学		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります) ・免許 (臨床検査技師) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚検査技師への指導のため 臨床検査システムの構築経験 理由: 同僚検査技師への指導のため			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	前任SVが統計ソフト(JMP)を導入したことが同配属先のモチベーションアップにつながり、活動も加速している。そのため、統計解析の素養のある人で、技師の生涯教育の経験等があるとさらに頼もしい。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

要請番号 (SL 018 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	● 2 年	1 JOCV/SV
タイ	言語聴覚士			● 1 年	2 26 / 2
			○ ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省				
先	2) 配属先名 (日本語) マヒドン大学ラマティボディ病院医学部コミュニケーション障害科学学科				<input type="radio"/> NGO
概	3) 任地 バンコク JICA事務所の所在地(バンコク)から 北 方向 1 Km 主要都市(バンコク)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
要	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1943年に設立され50年以上の歴史を持つ総合医科大学。首都バンコクの3カ所のキャンパス内に、医学部をはじめ14の学部を有する。同学科は2010年11月に言語聴覚士養成コースとして独立し、これまでに約200名の有資格者を輩出した。同名総合病院内に教育設備を併せ持ち、発話病理学専攻と聴覚学専攻に分かれ指導している。毎年約30名の学部生と2年毎に8~10名の院生が入学。現在同病院の患者は構音・音声障害を中心に増加傾向にあり、年間患者数は約2万人に上る。				
請	1) 要請理由・背景 近年タイでも言語障害・摂食・嚥下障害を持つ患者は急増しているが、言語聴覚士(ST)による治療の歴史は浅く認知度は低い。タイ国内唯一の専門職養成機関である同大学においても人材育成、患者対応共に十分な対応が整っておらず、現在欧米より一定期間指導者を招き講義機会を設ける等、治療技術向上に努めている。今後さらにニーズは高まると予想されるため、増加する患者への効果的な治療技術の向上と人材育成への支援を求め、本要請に至った。理論と臨床両面における豊富な経験を持つSVが望まれている。また配属先教員と共に近隣福祉施設等に出向き、施設入所者に対して治療を行う場面も想定されるため、タイ語を母語とする現地STとの英語またはタイ語による協力が必要となる。				
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) <ul style="list-style-type: none"> ・ 学部生、学生、及び言語聴覚士に対する、治療技術向上への支援。 (特に無喉頭音声、運動性発話障害、失語症、嚥下障害、口唇口蓋裂、吃音障害のある入院・外来患者への治療) ・ 学部生、院生に対する英語による講義、及び個別指導への協力。 ・ 効果的な治療プログラム、検査・治療用教材の紹介。 ・ 配属先スタッフがやっている調査研究への協力。 ・ 近隣の福祉施設などへ訪問するSTへの同行及び協力。 				
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Nasometer II 6450、Computerized Speech Lab (CSL) 4500、Electroglottograph Dr.speech				
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 病院配属スタッフ:25名(発話病理学10名、聴覚学11名、聴覚技師4名) 学生指導担当:16名(発話病理学10名、聴覚学5名、特別支援教育1名) カウンターパート:学科教授(言語聴覚士)女性 40歳代 経験20年			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・ 免許 (言語聴覚士) 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (修士) () 理由:院生への指導が必要なため ・ 経験 (実務経験) (5年以上) 理由:教師陣への助言が求められるため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
格				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地	地域概況 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~ 38 ℃位) 電気(●安定 ○不安定 ○なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(●安定 ○不安定 ○なし)				
特	特記事項				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 25 日

要請番号(SL 242 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H112)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
ジャマイカ	言語聴覚士			2	26 / 1
			3	26 / 2	年 月 から
			0 ヶ月	/	
配属先概要	1)受入省庁名 (日本語) 教育省				
	2)配属先名 (日本語) 特別支援教育ユニット				<input type="radio"/> NGO
	3)任地 キングストン JICA事務所の所在地(キングストン)から 北 方向 0 Km 主要都市(キングストン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4)配属先の規模・事業内容 教育省の一部署として幼児から高校までの教育における反差別慣行の促進を目的とした政策主導の制度を開発することを担当している。「児童の権利に関する条約」や「障害者の権利に関する条約」などの普遍的な法規が遵守されることに責務を負っている。特別支援学校・学級あるいは障害者支援コミュニティ団体のプログラムへのサポートからカリキュラムの見直し、プログラムの企画と評価、トレーニングの提供など特別支援教育のすべての局面で必要な専門的な業務を実施している。当ユニットの年間予算は約8億円。				
要請概要	1)要請理由・背景 障害児の中で音声・言語の機能障害を持つ子供は多いが、言語聴覚士は全国で民間の医療機関に4名しかいないため、ほとんどの障害児がリハビリテーションを受けることができない状況である。言語障害を持つ児童は特別支援学校のみならず通常の学校にもいるが、言語障害を持っていることが診断されずにリハビリテーションを受けることなく卒業する児童もいる。教育省としては、必要な人材の育成を図りながら、障害を持つ児童の早期発見と早期療育を達成することを目指しており、そのために教師へトレーニングを施して、現状の改善を図る計画である。ボランティアは教師へのトレーナーとして要請された。				
	2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.トレーニングカリキュラムを作成して養護教諭に言語障害早期発見の技術を指導する。 2.言語障害を持つ児童に対する評価と療育方針作成を支援する。 3.地方の学校を巡回して教員を指導する。				
	3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的な事務機器				
	4)配属先同僚及び活動対象者 局長補 女性 50代 プロジェクトリーダー 女性 教育学博士 40代 ユニットスタッフ 学士~博士 35~40代 活動対象: 教員			5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (英語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (言語聴覚士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (保健医療) 理由: 教員への教育が求められる ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 他人への指導が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
	地域概況 気候(熱帯海洋性) 気温(22~32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	通勤等で車を運転するため免許があった方がよい				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 24 日

要請番号(SL 248 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H113)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
ニカラグ ア	作業療法士			2	26 / 1
			○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	2	26 / 2
				3	/
年 月 日 から					
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省				
	2) 配属先名 (日本語) メラニア・モラーレス公立特別支援学校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 マナグア県マナグア市 JICA事務所の所在地(マナグア)から 北 方向 0 Km 主要都市(マナグア)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1976年に設立された公立の特別支援学校である。現在は聴覚障害、視覚障害、自閉症や重度の運動機能障害など様々な障害をもつ0~23歳の障害児(者)710名が在籍している。学校では次の4つの支援プログラムを有し、障害児(者)に応じたを行い、また機能回復に向けリハビリテーションを行っている。①早期療育(0~4歳)プログラム:147名、②基礎教育プログラム(小学校6年生まで):430名、③就業支援など社会参画プログラム:88名、④インクルーシブ教育プログラム:45名。年間予算は約54万米ドル。職員の総数は113名。現在、外国からの援助はなし。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先はマナグア市内において特別支援学校の拠点となっている学校の一つで、養護学生の実習校にもなっている。10年ほど前から機能回復訓練を目的とした作業療法を前述した4つの支援プログラムの横断的支援として取り入れ、現在では知的障害、運動機能障害、脳性麻痺、その他の障害を持つ7~15歳の子供達51名を対象として、個人指導やグループで、日常生活やリクレーションなどを取り入れた訓練を行っている。しかしながら、現在は当国における作業療法士の養成機関がなく専門的知識が乏しいのが現状であり、より効果的な訓練をめざして本要請となった。ボランティアは作業療法室責任者とともに、障害児とその家族や教師たちを対象に作業療法を通じた機能回復訓練への支援を行う。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 学校内に設置されている作業療法室にて以下の活動を行う。 ・障害児を対象とした個別指導やグループでの機能訓練へ参加する。 ・月1度予定されている脳性麻痺や自閉症、運動機能障害などを持つ子供達の家族や特別支援学校の教師を対象とした、作業療法に関する研修会やワークショップへの支援を行う。 ・それぞれの障害に応じた機能回復訓練の計画策定および評価への支援を行う。 ・養護学生の作業療法室における実習への支援				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 作業療法室:基本的な事務設備及びリハビリ用備品(マットレス、クッション他)、PC(LG、Windows2007)、インターネット				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:女性、50代、学校長 C/P:作業療法室責任者 30代女性、作業療法士、経験10年(ただし障害児(者)との経験は1年半)なお、同校内における作業療法士はC/Pのみ 特別支援学校教師:13名(女性11名、男性2名) 障害児を持つ家族:約20名			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (作業療法士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:現場での経験実績が必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 11 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H113)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
チリ	作業療法士			2	26 / 1
			3	26 / 2	年 月 から
1) 受入省庁名 (日本語) 保健省					
2) 配属先名 (日本語) ペドロ・アギレ・セルダ国立身体障害者リハビリテーション病院					<input type="radio"/> NGO
3) 任地 サンティアゴ JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンティアゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先はチリ国唯一の国立身体障害者リハビリ専門病院。主に25才迄の身体障害者、さらに切断や脳血管障害による成人身体障害者に対し身体・精神・社会的な視点から総合的リハビリ治療を行う他に、大学教育、人材育成、研究活動も実施。職員149名。病床数39であるが、入院、診察、地域リハビリにより年間5000名を診察。リハビリチームはリハビリ医学、運動療法、作業療法、言語聴覚、栄養、心理、ソーシャルサービス、看護、小児科、神経科、特殊学校から成る。JICAは、身体障害者リハビリテーションプロジェクト、第三国研修等の南南協力、ボランティア(言語聴覚士、歯科衛生士等)派遣実績あり。					
1) 要請理由・背景 配属先の作業療法チームには9名の職員がおり、そのうち7名が幼児・子供、1名が成人、1名が就労支援の担当者である。配属先では治療法としてボバース概念に基づく神経発達学的手法を取り入れている。配属先の患者の臨床及び就労支援における評価、診断、治療、患者家族との連携、関連テーマの研究における改善を目指しており、これらの活動支援を行えるボランティアが求められている。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)					
1. 配属先の患者の臨床及び就労支援における評価、診断、治療における配属先同僚への指導 2. 患者家族との連携における配属先同僚への指導 3. 上述1.及び2.の活動及び課題点について作業療法士チーム及びリハビリチームへの指導 4. 上述3の結果を活用し、保健省の病院及び関連機関ネットワークに属するリハビリ分野の職員向けの研修 5. 配属先で実施している関連分野の研究開発への支援					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 神経発達学的治療(ボバース)用器具、感覚統合療法器具、装具作製機器等					
4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・30代前半男性(作業療法士) ・作業療法チーム長				5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (作業療法士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務遂行上必要 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況 気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 2 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H113)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	1	JOCV/SV	
チリ	作業療法士			2	26 / 1	日系/短期
				3	26 / 2	
				年 月 日	から	

配 属 先 概 要	1)	受入省庁名 (日本語) 保健省
	2)	配属先名 (日本語) 地域リハビリテーションセンター カルメラ・カルバハル <input type="radio"/> NGO
	3)	任地 プエルトモン JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 南 方向 1016 Km 主要都市(プエルトモン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4)	配属先の規模・事業内容 カルメラ・カルバハル医療センターは1972年に設立された、プエルトモン市に5つある公立医療センターの一つである。診療患者数約200人/日、職員約65名。入院設備なし。配属先のリハビリセンターは同医療センター内に2006年11月に草の根・人間の安全保障無償資金協力で設立された。運動療法士4名、作業療法士1名、言語聴覚士1名。来所患者数約50人/日。地域リハビリセンターとしての主な働きは、神経疾患や筋骨格疾患による障害を持つ患者へ個別・集団のリハビリを家族参加型で実施することである。また来所不能な患者の家庭を訪問し、利用者の住環境を知り、介護する家族へ適切な助言を行うことである。

要 請 概 要	1)	要請理由・背景 同センター配属の初代作業療法士SVは、同センターを含めその他、作業療法士・理学療法士などが不在のセンターに対して、評価・介護・治療・予防を含めた指導を一般介護スタッフへ実施した。2代目SVは初代の活動を引き継ぎつつ、作業療法の提供拡大、リハビリテーションに関する技術交流、在宅での訪問リハビリ等活動範囲を広げ高い評価を得ている。周辺の小センターは2010年2月の大震災での被災以降、利用者に対するリハビリ実施の復旧が思うように進まない状況もあり、引き続き同センター及び周辺センタースタッフへの指導を希望しており今回の要請に至った。
	2)	予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・同センターにおける作業療法士への技術指導 ・同センター以外の2つのリハビリテーションセンターにおける地域リハビリテーションへの協力 ・作業療法に関する知識普及・提供拡大 ・リハビリテーションに関する情報提供、技術交流のアドバイス等を行い、同センターの地域リハビリテーションの充実に貢献する
	3)	ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 リハビリテーション診療室・リハビリテーション機材(サンディングボード、ベグボード、アクリルコーン等の訓練道具やスプリント作成用熱可塑性プラスチック(ヒートガン等作成器具含む))
	4)	配属先同僚及び活動対象者 G/P:作業療法士 女性 20代(大卒)。 配属先同僚:地域リハビリセンターの看護師、理学療法士、運動療法士、医師など 活動対象者:リハビリセンター来所者、在宅リハビリ対象者等

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります)	活動上の單車/自転車の必要性
	・免許 (作業療法士)	<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
	・性別 () 理由:	現職教員特別参加制度
	・学歴 () () 理由:	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地 域 概 況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位)	電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)	水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)

特 記 事 項	
------------------	--



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号(SL 333 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H113)	○ グループ型 ◎ 個別	◎ 新規 ○ 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
ウルグアイ	作業療法士			◎ 2 年	1 26 / 1
		○ 1 年	2 26 / 2		
		○ ヶ月	3 /		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁				
	2) 配属先名 (日本語) テレthon基金小児リハビリテーションセンター				◎ NGO
	3) 任地 モンテビデオ市 JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0・ 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 テレthon基金は肢体不自由児のリハビリを通じた成長発達と社会参加を支援するため、1978年にチリで設立された福祉財団で、現在では中南米13カ国に支援の輪が広がっている。当国での設立は2003年。配属先となるモンテビデオ市のほか、フライブントス市に通所型のリハビリセンター(対象18歳以下)がある。作業療法士のほか、理学療法士、整形外科医、精神科医、小児神経科医、言語聴覚士等約70名の医療スタッフが連携して治療・リハビリを行っている。年間の患者は約2800人。その内約4割が2歳以下の乳幼児である。予算は主にテレビキャンペーンを通じた市民からの寄付金と患者の経済状況に応じて受領する診察料からなる。				
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先の作業療法士が対象とするのは主に小児疾患で、脳性麻痺が約4割、その他二分脊椎、脊髄損傷、外傷性脳損傷、神経・筋疾患等が代表的な疾患である。関係領域の専門医等と連携し、作業療法士7名が基本的な心身機能の発達促進や日常生活活動の獲得のために努めている。配属先の作業療法士は、米国やアルゼンチン等国外で資格を取得しており、一定レベルの技術・知識はあるといえるが、当国で作業療法士の専門課程が設立されたのは10年程前と歴史が浅く、国内で十分な経験を持った作業療法士は極少数であることから、資格取得後の研鑽の機会が少なく、技術・知識のフォローアップ、向上が課題として認識されている。実務経験が豊富なボランティアと協働することにより、適切な作業療法技術の習得のほか、新しい有効な作業療法のアプローチやアイデアを取り入れて、現在提供している作業療法サービスの内容、質の向上に繋げたいとして今回の要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同僚と協働しながら、適切な作業療法技術・知識の習得に協力する。 2. (当国の現場では見られない)日本における経験から効果的と考えられるアプローチや、自助具、訓練器具、教材などの新しいアイデアを紹介、意見交換しながら、作業療法サービスの内容・質の向上を支援する。 3. 配属先は当国の作業療法士専門課程の実習先ともなっているところ、実習生へのアドバイスも期待されている。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 作業台、椅子、マット、ロール、車椅子、パズル等ゲーム、パソコン等の作業療法機材				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 作業療法科責任者:50代女性 経験25年 同僚:6名(経験10年:2名、経験6年:2名、経験5年:2名)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許(作業療法士) 又は() ・性別() 理由: ・学歴() () 理由: ・経験(実務経験) (10年以上) 理由:幅広い知識・経験を要する 小児対象施設での実務経験 理由:小児疾患が主な疾患のため			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(温暖) 気温(3~34℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)				
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25年 7月 26日

要請番号 (SL 333 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H113)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
ウルグアイ	作業療法士			1	26 / 1	年 月 日 から
	○グループ型 ○個別			2	26 / 2	
		3	/			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省					
	2) 配属先名 (日本語) ビニエイロ・テル・カンボ病院				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 モンテビデオ市 JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 同病院は、1860年に貧困者の収容施設として発足、病院機能を備えた後、2001年に高齢者専門病院(276床)として開業した。以降、国内唯一の高齢者専門病院として当国でモデル的役割を担っている。65歳以上の政府保健サービス局の保険加入者で、老年期障害のある人や身寄りもなく経済的に生活ができない人等の社会的弱者に対し、ロングステイやデイケア、家族に対する介護指導などの医療サービスを提供している。作業療法士2名のほか、老人病専門医14名、精神科医、整形外科医、理学療法士、ソーシャルワーカー、臨床心理士等、医療スタッフは約60名。これまで高齢者介護・福祉の指導科目でSVが3名派遣されている。					
要請概要	1) 要請理由・背景 同病院で作業療法士が対象とするのは、主に老年期障害である。脳血管障害や、骨関節障害、骨折、老年期認知症などの疾患や、これらに起因する心身機能の障害が主な対象疾患である。整形外科医のもと、作業療法士2名が環境調整や福祉用具の選定・自具具などの作成を行いながら、日常的・社会的な自立の獲得と習熟に努めている。高齢化が進む同国であるが、国内で作業療法士の専門課程が設立されたのは10年程前と歴史が浅く、作業療法士の資格を持つ者は国内で極少数である。その内2名が同病院で勤務しているが、両者とも経験年数が4年と短いため、適切な作業療法技術と幅広い知識の習得が課題として認識されている。同病院が提供する作業療法サービスの内容の充実、質の向上を図りたいとして、実務経験が豊富なボランティアが要請された。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 本案件の先行案件としてH25年度第2回短期募集で短期案件(7か月)が要請されている。短期ボランティアからの引継ぎ事項も含め、以下の活動が求められている。 1. 作業療法士を含む同病院の関係者に対し、作業療法の適切な技術・知識の習得に協力する。 2. 同病院の作業療法サービスの内容の充実、質の向上に向けた助言・協力を行う。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 作業台、椅子、工具、車椅子、パソコン等の作業療法機材					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 病院院長 50代 女性 整形外科医 女性 作業療法士 30代 男女各1名 経験4年		5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります)			活動上の單車/自転車の必要性		
	・免許 (作業療法士) 又は ()			<input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
	・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 幅広い知識・経験を要する 理由: 高齢者専門病院であるため			現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温暖) 気温(3~34℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項						

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号 (SL 475 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H113)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
チュニジア	作業療法士			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 2 2 / 3 /
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 社会問題省				
	2) 配属先名 (日本語) NGO肢体不自由者協会(AGIM)本部カズナダール支部				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 チュニス県バルドー市カズナダール JICA事務所の所在地(チュニス県チュニス市)から 西 方向 10 Km 主要都市(チュニス県チュニス市)までの交通手段及び所要時間(バスで約 0.4 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、身体障害者と重複障害者を受け入れている通所施設で、全国の約20の支部の本部も兼ねており、通所者に対するリハビリや社会・余暇活動参加機会の提供、また社会適応のための教育や職業訓練機会の提供を行っている。現在4～15才の子どもたち約120名が在籍しており、多くは脳性麻痺による障害を抱えている。教育部門においては、算数・国語(アラビア語)などの基礎教育指導が行われ、リハビリ部門では、理学療法、言語療法、作業療法が行われている。今年ドイツから歩行器の機材供与を受けた。予算は年間約990万円。同本部へのボランティア派遣は今回が初めてであるが、現在地方支部にて、2名の隊員が派遣されている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 当国の障害者支援は、国営の障害者施設が未だ十分に発達していないため、代わりに同配属先のようなNGOが、社会問題省からの補助金援助などを受けながら、個々に行っているという状況である。そのため、運営資金面や教育やリハビリの質を確保するという面において困難を多く抱えている。同分野にはこれまでに地方支部に多くの協力隊員派遣を行ってきたおり、地域の草の根レベルの支援に寄与してきた。今回、首都近郊に位置する本部に初めてSVを派遣することで、現場のリハビリ支援だけでなく、本部から地方支部への発信や連携を強化するということを目指している。また、チュニジアにおいては、まだ十分な数の作業療法士がおらず、作業療法自体も十分に普及していないため、作業療法の大切さや意義等の理解を保護者や関係者に促すことも期待されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先において同僚の職員と協力し、以下の業務を行う。 ①作業療法を必要とする通所児を対象にリハビリを行いながら、より質の高い障害者支援提供を目指し、配属先にアドバイスを行う。 ②自宅で出来るリハビリなどに関して、保護者に助言を行う。 ③地方支部の療法士と勉強会を行うなど、本部と地方支部の連携強化を支援する。 ④その他、チュニジアの同分野におけるより効果の高い協力のあり方を考え、関係者に適宜アドバイスを行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 作業療法室(現在新たに設置中)、作業療法に必要な用具、その他ボランティアが必要な物は購入可能とのこと				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・NGO会長:男性1名、50代、大学教授 ・本部支部長:男性1名、40代 ・施設長:男性1名、40代、障害を抱えている ・通所児:4～15才の障害児、重複障害児約120名 ・全職員:45名(うち大卒特別教育士15名) ・理学療法士3名、言語聴覚士2名、作業療法士1名(女性20代大卒)、心理学士1名			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (作業療法士)) 又は ()) ・性別 (女性)) 理由: 同僚やイスラム文化に合わせて ・学歴 () ()) 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上)) 理由: 業務内容上必要 障害者分野でのリハビリ施術経験 理由: 対象者に合わせて			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(3~45℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	現地においては、フランス語も通用するが、一般的に口語においては、アラビア語チュニジア方言が使われている。配属先のHPは、www.agim.org.tn である。				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25年 6 月 18 日

要請番号(SL 060 - 13- D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H115)	○ グループ型 ● 個別	○ 新規 ● 交替 3 代目	○ 2年	1 JOCV/SV
ネパール	医療機器			○ 1年	2 /
			○ ヶ月	3 /	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健・人口省				
	2) 配属先名 (日本語) ビル病院				○ NGO
	3) 任地 カトマンズ郡カトマンズ市 JICA事務所の所在地(ライトプール)から 北東 方向 1 Km 主要都市(カトマンズ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 ネパール最古・最大の国立総合病院で、ベッド数450、医師数235、看護師数200。内科、外科、消化器外科、心臓胸部血管外科、熱傷形成外科、脳外科、泌尿器科、歯科、整形外科を持つ第3次リファラル病院で、治療費が安価なため、地方からも低所得者が多く来院する。2002年には日本のノンプロ無償で多数の医療機材が供与されている。過去20名以上の医療職JVが派遣され、2010年6月から2年間、前任SVが活動し、また、2013年1月から10か月間、カトマンズ地区の公立病院の医療機器メンテナンスを統括して管理するプログラムを立ち上げるため短期SVが活動中である。				
要請概要	1) 要請理由・背景 病院には教育を受けたエンジニアが配属されていないため、医療機器のほとんどの故障は修理が出来ないまま放置され短いライフタイムを終えるケースが多い。National Training Center(NTC)の施設を使い現状のメンテナンス要員のトレーニングは実施されているが、故障解析及び故障報告の格段のレベルアップが必要である。そのため、NTCと協力しこの教育カリキュラムのサポートをすると共に、ワークショップを設置してエンジニアに対する実践的なトレーニングが必要とされている。医療機器の保守管理を目的としたカリキュラムで、OJTにより実践的スキルを身につけたエンジニアの養成に向けた取り組みが始まった段階である。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. NTCと協力し、メンテナンス要員対象トレーニングのトレーナーとしてカリキュラムの一部を担当する。 2. ワークショップを設置し、新卒エンジニアのスキルアップのためにOJTによる上級コースのトレーニングを実施する。 3. カトマンズ地区の公立病院の医療機器のデータベースを作成し、サービスの対象とする医療機器を登録する。 4. ワークショップによる日常の保守管理。定期点検体制を作る。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 医療機器全般:医療診断機器、患者モニター、血液・体液分析装置、人口透析装置、手術関連機器、滅菌装置等				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 メンテナンスオフィサー(40代、男性1名)、エレクトリカルオフィサー(医療機器含む病院内の電気の保全担当/30代~40代、男性5名) ビル病院を含むカトマンズ地区の公立病院には、ディプロマ相当の資格を持ったエンジニアが少ない。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ネパール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 実践的な内容の指導に必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可	
地域概況	気候(亜熱帯) 気温(0~35 ℃位)		電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし)		
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号 (SL 551 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H115)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期
ザンビア	医療機器			<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1
			2	26 / 2	
			3	/	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省				
	2) 配属先名 (日本語) エブリン・フォン短期大学				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ルサカ州ルサカ市 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 市内 方向 0 Km 主要都市(ルサカ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 ザンビアの首都ルサカの中心部に位置する総合短期大学。学生総数約5000人(男女比はほぼ半々)、教授・講師総数約200人。3年制で、卒業時に学士を取得。今回要請の上った保健学部は5学科に分かれており、①薬学科②検査技術学科③衛生環境学科④放射線技術学科⑤理学療法学科がある。短大全体の年間予算約8億円(2013年)。同分野でのJICAによる技術協力プロジェクトは、質の高いケアサービスの提供、治療マネジメント体制の強化を目的とした「HIV/エイズケアサービス管理展開プロジェクト」や、子供の成長チェック・地域の環境衛生改善等を目的とした「都市コミュニティ強化プロジェクト」等が展開中である。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 当該短期大学の保健学部の学生総数は約1,700人、教授・講師総数約77人。上記5学科の内、放射線技術学科には生徒約200人、講師16名。この度同科内に「医用生体工学専攻」を新設することとなった。同専攻コースは2014年1月より開始予定。要請されたのは、医用生体工学の指導が行える人物。カリキュラムはザンビア国内共通のものがTEVETA(技術協力・職業訓練・起業家育成機構)よりすでに策定済みであるが、同技術における指導者が不足かつそのレベルも高いものとは言えない。派遣されるSVには、医用生体工学の講師の指導を行うとともに、直接生徒への実習が期待されている。学生の授業形態は、1年目に理数科系の一般教科を勉強し、2年目に医用生体工学の理論や実習を学習、3年目は他機関(企業や病院)での実習を行った後卒業論文作成となっている。短大に実習室の設備がないため、ザンビア大学付属教育病院にて行っている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・放射線技術学科の講師に、医用生体工学の指導法を教授する。 ・同僚講師とともに教壇に立ち、授業を行う。 ・講師や学生たちと勉強会を行い、さらなる技術向上に貢献する。 ・当国における将来の医用生体工学の充実を図るための助言を行う。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 医療機器チェッカー、心電図シミュレータ、機械工具一式、静電防止マット、定電圧電源、酸素濃度計、電気メス解析装置、デジタルマルチメータ等				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 医用生体工学専攻の講師6名(男性5名、女性1名、20~40歳代。内、学科長は放射線および超音波を専門とし大学院卒。他、大学卒(放射線学科))			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: A) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: ・経歴 (指導経験) (2年以上) 理由:講師や学生を指導するため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(サバンナ) 気温(5~35℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

要請番号(SL 115 - 13- D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H131)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
ミクロネシア	栄養士			1	26 / 1	年 月 日 から
				2	26 / 2	
3	/					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) チューク州政府 2) 配属先名 (日本語) 保健局公衆衛生課 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 チューク州ウエノ島モエン JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 西 方向 730 Km 主要都市(モエン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)					
概要	4) 配属先の規模・事業内容 チューク州は、ミクロネシア4州の中で最も人口の多い州である。一方で、漁業や農業といった地場産業が成長しておらず、加えて他州に比べインフラ整備が遅れており、道路や医療機関などの公共施設が十分整備されていない。配属先は、ウエノ島中心部の州立病院に隣接する保健局の公衆衛生課である。2013年度の年間予算は、443千米ドル。1990年代にJICAボランティアが派遣された実績がある。					
要請	1) 要請理由・背景 ミクロネシアでは、現地で採れる農作物や魚を中心とした伝統の食生活から、海外からの輸入食品に頼る食生活に変化している。その結果、生活習慣病や肥満といった健康問題が表面化している。そのため、チューク州では栄養士が果たす役割は重要であると考え、地域住民の食生活の改善に貢献できる栄養士が必要とされている。これらを受け同配属先は、JICAボランティアとして派遣される栄養士が同僚と協働して、母子を中心とした地域住民を対象に、健康と栄養の改善活動を展開することを期待している。					
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.食生活改善のための手順とガイドラインの策定 2.食生活改善のための教材作成(広告・パンフレットなど) 3.同僚や地域住民に対する適切な栄養学の指導 4.同州に配属されているSV(健康増進活動支援)との協働活動					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、椅子、事務用機器					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:所属長:女性1名50代、医療機関に20年以上勤務 プログラムコーディネーター:女性1名40代、医療機関に20年以上勤務			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (栄養士) 又は () ・性別 (女性) 理由: 女性中心の配属先の希望 ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 専門的な知識・経験を要する 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。舗装されている道路が少なく、悪路である。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

要請番号 (SL 115 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード H131)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
ミクロネシア	栄養士			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
3	/					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) ヤップ州政府					
	2) 配属先名 (日本語) 資源開発局農林部				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ヤップ州コロニア JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 西 方向 2,250 Km 主要都市(ヤップ州コロニア)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 農林部は、農業普及課、家畜課、森林課、外来生物対策課の4課で構成され、農業普及課の中に栄養計画係がある。職員数20名で、栄養計画係の担当は2名である。2012年度の年間予算は、農林部:約200千米ドル、栄養計画係:約50千米ドルである。農林部では、1990年から2008年まで、村落開発普及員、野菜、家畜飼育といった職種のJICAボランティアが活動していた。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先は、現地食の生産と消費拡大や国内外に向け販売可能な農産物の生産拡大によって、収入向上へと繋げていくことを目的としている。また、栄養計画係では、栄養に関する啓発活動を通して、住民が健康的な食習慣を身につけるよう指導している。一方、当国には栄養士の資格制度が存在しないため、専門的な知識と経験を有する人材が不足している。そのため、配属先では同僚と一緒に活動する経験豊富な人材を求めており、JICAボランティアの要請があげられた。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 地元の農産物を使い付加価値のある食品を開発し、その加工方法を紹介する。 2. これまでの料理方法を見直し、材料にあった新しいレシピを作成する。 3. 地元の栄養教育委員会(YINEC:Yap Inter-Agency Nutrition Education Council)に協力し、啓発活動のための教材づくりを支援する。 4. 地域や学校で開催される啓発活動のための料理教室を支援する。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 調理実習室、調理機器(オープン、冷蔵庫、ミキサー、乾燥機、台所用具一式)、巡回車両1台 ポスター作製用プリンター、移動用調理台					
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:女性50代(栄養専門職)看護師経験有 女性20代(助手)経験2年/短大卒			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)		
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (栄養士) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:専門的な知識・経験を要する理由: ・			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35 °C位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)			
特記事項	通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

要請番号(SL 115 - 13- D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード H132)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	1	JOCV/SV
ミクロネシア	公衆衛生			2	26 / 1
				3	26 / 2
					年 月 から

配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 保健・社会福祉省	
	2) 配属先名 (日本語) 保健局予防接種部門 <input type="radio"/> NGO	
概要	3) 任地 ポンペイ州パキキール JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 南西 方向 15 Km 主要都市(ポンペイ州コロニア)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)	
要請	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、ミクロネシア全4州の州立病院及び公衆衛生部を統括する保健・社会福祉省の一部門であり、EPI(予防接種拡大計画)の年次計画作成や各州でのモニタリングを実施している。2012年度の保健局の予算は約150万米ドル。同局のスタッフは約20名で、予防接種部門のスタッフは4名。現在、平成24年度1次隊SVが活動中である。	

要請	1) 要請理由・背景 2010年3月まで大洋州地域13カ国を対象としたEPIの支援を目的とする技術協力プロジェクトが実施され、ミクロネシアに対してもワクチンやコールドチェーン機材などの供与、医療スタッフへの研修などが実施されてきた。現在、後継技術協力プロジェクトを実施中(2011.2~2014.1)。この支援を継続し効果的に実施するため、SVの要請があり、これまで2代に亘って派遣されている。前任者に引き続き、コールドチェーンが適切に管理され、EPI活動が効果的に行われているかの評価をする。また、アウトリーチ活動のモニタリングを実施する。EPIが効果的に行われるように各州計画策定支援や各州への定期巡回指導を通じて、コールドチェーン政策の実現、予防接種率の向上、医療従事者の能力向上などEPIプログラム全般について取り組むことが期待されている。	
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.各州のEPIプログラムのモニタリングおよび、医療従事者への定期巡回指導 2.ワークショップやトレーニングでの講義を担当し、最新の予防接種等について指導 3.EPI活動の指導や助言	
要請	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン(Windows7)、プリンター、机、椅子等の執務用事務機器	
	4) 配属先同僚及び活動対象者 国家レベル予防接種プログラムマネージャー:50代 女性 同僚:男性3名(看護師、ワクチンサプライ担当、IT担当) 女性1名(ファイナンス担当)	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (保健医療) 理由: 専門的な知識が必要 ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: コールドチェーン実践指導を含む ・ 公衆衛生やEPIに関する知識・経験 理由: 経験に基づいた指導が必要	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~32 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項	通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。



長期 (長期 SV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

要請番号 (SL 009 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード I101)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 2 代目	◎ 2 年	1 26 / 1	
マレーシア	ソーシャルワーカー			○ 1 年	2 26 / 2	年 月 から
				○ ヶ月	3 /	
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省				○ NGO	
先概	2) 配属先名 (日本語) スラヤン病院精神科					
要請	3) 任地 スランゴール州 スラヤン JICA事務所の所在地(クアラルンプール)から 北 方向 16 Km 主要都市(クアラルンプール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.7 時間)					
概	4) 配属先の規模・事業内容 公立総合病院で20の科があり、精神科はその一つ。精神科は小児部門、外来部門、病棟部門、訪問看護部門の4部門から成る。統合失調症、躁うつ病、精神障害、薬物中毒や頭部外傷患者を受け入れている。小児部門では自閉症児(外来のみ)を受け入れ、保護者へのグループケア等を実施している。精神科のスタッフ数は約50人、予算は2,400万円、入院患者ベッド数は20床。 精神科では治療の一環として患者の自立を支援する職業訓練支援等も実施している。作業療法部門に2012年4月からJVが派遣されている。					
要請	1) 要請理由・背景 成人の精神障害者の社会的参加を支援するにあたり、近年マレーシアでは職業訓練や就労支援が必要不可欠とされているが、配属先スタッフは職業訓練や就労支援についての知識や経験が乏しい。前任の作業療法士は就労支援を含めた精神科リハビリテーションの支援を行ってきた。配属先ではメンタルヘルスケアセンターの設立が計画されており、通所型のデイケアセンターとしてのサービス、医療相談、就学及び就職相談等を実施しようとしているが、地域社会との連携が乏しく事業を展開できないため、地域社会との連携を強化するためにソーシャルワーカーボランティアの要請に至った。					
概	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 入院患者及び通院患者にリハビリテーションとして実施されている軽体操、手工芸、園芸、音楽活動等の実施の仕方を看護師やカウンターパートに指導する。(対象は統合失調症、躁うつ病、うつ病の患者約25人) 2 対象者各個人の評価や計画作成の手法、対象者それぞれの状態に合わせたアプローチの方法を指導し定着させる。 3 企業と連携して就労機会を開拓し、スタッフやNGOと協力して就労をサポートする。 4 訪問看護に同行し、必要に応じて対象者に日常生活活動(整容動作、入浴動作等)、応用動作活動(掃除、洗濯等)、服薬指導、余暇活動の推進や家族指導等を看護師及び薬剤師と協力して実施する。					
要請	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ガーデニング用各種道具、スポーツ用品(卓球台、ボール等)、楽器(ギター、キーボード)、手工芸用品等 作業療法部門に日常生活動作室(キッチン)あり					
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 【スーパーバイザー】精神科医師1名、40代、女性。主任作業療法士1名、40代、男性 【カウンターパート】作業療法士2名、20代、女性。看護師 2名、20代-30代、女性。		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (マレーシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (保健医療) 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 指導力が必要なため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25~35℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線)		水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)			
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号(SL 048 - 13- D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード 1101)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 26 / 1
ブータン	ソーシャルワーカー			1年	2 26 / 2
			ヶ月	3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 薬物依存更生機関				
	2) 配属先名 (日本語) 薬物依存更生機関 需要削減部				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 テンブー県テンブー市 JICA事務所の所在地(テンブー市)から 東 方向 1 Km 主要都市(テンブー市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 2006年に設立された独立機関であり、薬物、マリファナ、アルコール等による依存者の更生施設であり、需要削減部、供給削減部、たばこ規制部の3部から成る。年間予算は20百万ユルム(3,500万円)。当機関では、病院、警察、学校、コミュニティと協力しつつ、薬物依存者の撲滅に向けて活動をしている。全国に3か所のリハビリ施設と9か所の相談所(薬物依存から更生した若者をカウンセラーに任命)を設置している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 当国で管理されている鎮痛剤等薬物が国境から密輸入され、青少年への薬物等による汚染が深刻化している状況下にあつて、学校、コミュニティーで薬物使用防止対策としての活動が行われているが、スタッフの絶対数が不足していること、担当スタッフの経験が少ないこと等により、効果的な活動展開ができていないのが実情である。薬物対策に係る日本国内での経験を当国での活動の参考にすべくJICAボランティアの要請となった。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・薬物防止対策に向けた活動計画立案・実施 ・薬物防止対策に関し、地域スタッフへの研修 ・学校内での薬物防止活動に向けた、学校カウンセラー対象の研修会実施 ・リハビリ施設運営に関する助言				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 カウンターパート 2名(男39才 カウンセリング修士、男37才 教育学士) 同僚 20名(25歳~53歳 男14名 女6名)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (V^*M: B) 又は (V^*M:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚への指導を行う上で必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域 概況	気候(温帯性) 気温(-5~30 ℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記 事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 6 日

要請番号(SL 012 - 13- D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード 1102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期	
フィリピン	障害児・者支援			1	26 / 1	年 月 日 から
				2	26 / 2	
3	/					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁 ボランティア調整局					
	2) 配属先名 (日本語) 国立ウエストビサヤ大学 教育学部 特別支援教育科				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 イロイロ州イロイロ市 JICA事務所の所在地(マニラ市)から 南東 方向 500 Km 主要都市(イロイロ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 1902年に設立された教員養成校。大学全体の生徒数は7000人、教授陣は350名。特別支援教育科では①聴覚障害教育②精神障害教育③特別支援教育④知能優秀児教育の学部課程4コースが設置され、学部生350名、大学院生50名が在籍している。指導、調査、教育実習の実践の他、教材制作、特別支援教育アドボカシーとして現場実習プログラムを実施している。同大学他科には理数科教育にかかるJVが1994年から十数名派遣された。H25年7月に2名のJVが理科教育の「初等科」「中等科」に派遣される。年間予算は現場実習プログラムに対して約26万円、その他プロジェクト予算は10万円。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、教員志望の学生を対象に講義を実施し、毎週金曜にはソフィアグスティロ小学校で現場実習プログラムを通じ、教員と教育実習生に実習訓練を提供している。現場では一クラス30人～35人規模の障害混合クラス(検査費が高額なため、ほとんどの児童は障害未診断)を1名～2名の教師で担当している。配属先は実践力のある教育者の輩出と現場教員の能力向上を目標に指導をしているが、早期療育にかかる知識や専門性、最新のアプローチ、経験豊富な指導者が不足しており、今回のSV要請に至った。 イロイロ州では社会福祉分野にかかる協力隊複数派遣を行っており、将来的にはボランティアは派遣されているNGO、行政機関その他公立学校と横の連携を図りながらイロイロ州にアプローチしていくことが期待されている。同州の特別支援センターに25年度1次隊で養護JVが派遣予定。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.統合教育クラスにおける障害児教育のノウハウや、適した教材作成支援と教授法を、学生や教員に指導する。 2.講義内容やセミナー、ワークショップを改善し、特別支援教育を普及させる。 3.第6地域(バナイ島)に適した指導案や個人指導計画の作り方や考え方を講義やニュースレターで周知させる。(後にデータを配布/ワークショップは各地から教員が任地に集結する形で実施予定。) 4.リソースルーム(その児童に合った特別な教育を受けるための教室、個人指導等)の指導について助言する。 5.就学前児童に対して、読み聞かせや人形劇、折り紙、寸劇などの活動を行う。 *知能優秀児教育(Gifted)についての協力は求められておらず、LDの学習指導が中心となる。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ラップトップコンピューター(Acer,Lenovo),LCD(Samsung, View Sonic and Epson)					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 学部長1名女性60代、スーパーバイザー1名女性50代後半、カウンターパート1名女性40代、教員18名		5) 活動使用言語 (英語)			6) 生活使用言語 (その他)
		7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (特別支援学校教諭または養護学校教諭) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (教育学) 理由:同僚とのバランス ・経験 (指導経験) (10年以上) 理由:同僚への研修を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯性) 気温(25-35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input checked="" type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	生活は英語も通じるが、地域の人々は「イロongo」を話す。任国着任後、現地での簡単な訓練を実施予定。					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

要請番号 (SL 048 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード 1102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
ブータン	障害児・者支援			2	26 / 1	日系/短期 年 月 日 から
				3	26 / 2	
			〇 〇 ヶ月			
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) チャンガンカ小中学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 テンブー県テンブー市 JICA事務所の所在地(テンブー市)から 北 方向 0 Km 主要都市(テンブー市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 テンブー市内にある児童生徒数1167名、教員数57名、職員数13名(2013年6月現在)の公立小中学校。PrePrimary(幼稚園年長生相当)からClass10(中学校3年生相当)の児童生徒が通う。その中で、特別支援が必要な児童生徒は60名程在籍している。児童生徒の障害は、発達障害、脳性まひ、知能発育不全、運動障害等多岐にわたる。2013年7月中旬よりオーストラリア人ボランティアが特別支援教育教員として2年間の予定で活動中である。					
要請	1) 要請理由・背景 現在ブータンには特別支援教育の教員養成のための制度は存在しない。当配属先においては、特別支援が必要な児童生徒は通常のクラスに所属し、特定の教科(ゾンカ語、算数、英語)の時間に取り出し授業を行っている。特別クラスを担当するのはSEN Teamと呼ばれる特別支援教育班の教員だが、彼女らは当班への配置後、短期的なセミナーを受けたのみである。加えて、当国における体育教育はいまだ十分に普及しておらず、国内で体育を教えることのできる教員は数名しか存在しない。このような現状から、特別支援教育の知識、経験を持つ人材が児童生徒へ対して体育教育を行うとともに、当班教員に対しても助言、指導をすることが望まれ、本要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 生徒支援 ・個々人の障害や能力に合わせた体育授業案の作成、それを活用した授業の実施、状況観察を行う。 ・対象の児童生徒が今後の社会生活においても健康的な生活を維持していけるよう指導を行う。 2. 関係者支援 ・SEN Teamの教員に対し助言、指導を行う。 ・SEN Teamの教員を対象にした体育授業に関する勉強会を開催する。 ・教育省特別支援教育課に対し、適宜活動報告や改善提案等を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特別支援教室(自閉症児童生徒用) 1室 取り出し授業用教室 3室 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教員(SEN Team) 9名(30代-40代、全員女性、全員大卒) ※SEN Teamの殆どの教員は通常授業も担当する ※内2名は当校の特別支援教育コーディネーター役 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)					
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (特別支援学校教諭または養護学校教諭) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (教員経歴) (5年以上) 理由: 経歴に基づく助言が必要 ・ 特別支援学級等での体育指導の経験 理由: 経歴に基づく助言が必要			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(温帯性) 気温(-5~ 30 ℃位) 電気(〇安定 ●不安定 ○なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(〇安定 ●不安定 ○なし)					
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 11 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 10)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード 1102)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
チリ	障害児・者支援			<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	1 26 / 1	年 月 から
					2 26 / 2	
			3 /			
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省					
	2) 配属先名 (日本語) ペドロ・アギレ・セルダ国立身体障害者リハビリテーション病院				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 サンティアゴ JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンティアゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はチリ国唯一の国立身体障害者リハビリ専門病院。主に25才迄の身体障害者、さらに切断や脳血管障害による成人身体障害者に対し身体・精神・社会的な視点から統合的リハビリ治療を行う他に、大学教育、人材育成、研究活動も実施。職員149名。病床数39であるが、入院、診察、地域リハビリにより年間5000名を診察。リハビリチームはリハビリ医学、運動療法、作業療法、言語聴覚、栄養、心理、ソーシャルサービス、看護、小児科、神経科、特殊学校から成る。JICAは、身体障害者リハビリテーションプロジェクト、第三国研修等の南南協力、ボランティア(言語聴覚士、歯科衛生士等)派遣実績あり。					
要請概要	1) 要請理由・背景 配属先では、身体障害者の社会参加促進やコミュニティ内での障害者自助グループ支援を目的としたコミュニティ分野のプログラムの1つとして5才未満の身体障害児を対象にした就学前教育がある。配属先チームは同プログラムの調整を担当するコーディネーター1名、子供の家族との活動を行う臨床心理士1名、子供一人一人やグループでの活動を行う特殊教育スタッフ1名、合計3名から成る。重複障害児の就学支援のための教育及び社会・心理面での子供たち及びその家族への診断・その支援方法及び支援ツールの改善を目指しており、それらの活動における日本の経験を学びたいとしている。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 重複障害児の就学支援のための教育及び社会・心理面での子供たち及びその家族への診断・その支援方法についての就学前教育チームスタッフへの指導 2. 重複障害児の感覚行動発達のための教材開発に関する助言 3. 就学前教育チームスタッフと子供・その家族との活動の進め方についての指導 4. 上述1と2の活動及び課題点を考慮した上での 就学前教育チームスタッフやリハビリチームスタッフへの指導 5. 保健省が実施している子供の成長支援プログラム"Chile Crece Contigo"に参加している先生達等向け研修活動支援 6. 病院での関連分野の研究開発支援					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 診察室・教室					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・女性(特殊教育教師)、30代前半、経験年数13年 ・就学前教育プログラムコーディネータ			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務遂行上必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度		
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
通信	<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線					
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 424 - 13 - D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード 1102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
ヨルダン	障害児・者支援			年 月 から	日系/短期
1) 受入省庁名 (日本語) 社会開発省 2) 配属先名 (日本語) 知的障害者支援団体 サナ 3) 任地 アンマン JICA事務所の所在地(アンマン)から 北 方向 0 Km 主要都市(アンマン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)				<input checked="" type="radio"/> NGO	
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は障害児をもつ母親が中心となって2010年に設立したNGOで、障害児・者の社会参加、雇用機会促進を目的としたさまざまな障害児・者支援活動を行っている。主メンバー9名、会員約80家族。年間予算は約57000(USD) 主な活動は①障害児・者の親の情報共有、経験共有のための月例会議②ワークショップ、セミナーの実施による啓発活動、障害児ケアのためのトレーニング③特別支援教育奨学金制度④障害者の就労支援および職業訓練である。					
1) 要請理由・背景 配属先の活動のうち、上記①～③までは自分たちで運営管理しているものの、④の就労支援は新しい試みであり、未だ成功例が数少ない状態である。また、ヨルダン国内で授産施設の考え方は定着しておらず、大学で特別支援教育を学んだ者であっても障害者の就労支援まで取り組んでいる団体は少ない。日本の特別支援学校または授産所で行われている作業学習(企業からの受注作業、自主製品製造作業)や実習支援の手法を取り入れることによって、配属先の就労支援システムを強化することが期待されている。具体的には、民間企業から仕事を取り付け、その仕事の内容に沿った訓練を行い、やがてその会社に就職させるというシステムづくりを目指している。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先に登録している障害児・者に対し、以下の点で配属先スタッフと協力して支援を行う。 ①作業学習(民間企業からの受注作業、自主製品製造作業)プログラムの策定 ②現場実習支援 ③職場開拓、就労支援 ④生活相談、フォローアップ ⑤ジョブコーチの育成 その他配属先が行う各種活動を強化するために新たな視点で助言を行う。					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし					
4) 配属先同僚及び活動対象者 NGO代表(リハビリテーション博士号取得、男性、40代) 所長(女性、40代) スタッフ7名(女性、20代～40代) 会員約80家族(障害当事者含む)				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: スタッフの指導を行うため 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況 気候(地中海性) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		特記事項			



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 424 - 13 - D - 04)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード I102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
ヨルダン	障害児・者支援			2	26 / 1
			3	26 / 2	年 月 から
1) 受入省庁名 (日本語) 社会開発省					
2) 配属先名 (日本語) タフィーレケアセンター					<input type="radio"/> NGO
3) 任地 タフィーレ JICA事務所の所在地(アンマン)から 南 方向 120 Km 主要都市(タフィーレ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 配属先は2013年1月に開設された国内で4番目の入所施設である。ヨルダン政府による障害者支援は施設型の支援が中心であり、知的障害児の特別支援学校、通所リハビリセンターおよび障害者入所施設が全国各地に点在する。入所施設は、家庭生活が困難な重度の知的障害者も多く受け入れており、成人が半数以上を占める。同センターでのJICAボランティア受け入れは初めてであるが、他地域にある入所施設では作業療法士、養護が活動中。入所者は男女別各100人の受け入れが可能である。入所者の多くは18歳以上の成人知的障害者、重複障害者である。					
1) 要請理由・背景 ヨルダンの入所施設には中～重度の知的障害者および重複障害者が多く入所しており、施設生活も長期にわたるため、明確な目的や指針をもたないまま最低限のケアのみが行われていることが多い。スタッフの意識も停滞しがちで、適切な知育教育や生活支援、リハビリテーションサービスが提供されていない状態が見られる。入所者が安心して快適に暮らすためのデイケアの実施体制づくりや日中活動の充実化が必要とされている。 今年1月に新たに開設されたタフィーレセンターは、日本で研修経験のある施設長が、日本の入所施設のサービスを取り入れ、入所者の生活の質の向上および地域とつながった障害者支援を目指しており、新たな視点でスタッフの指導、育成ができるボランティアが求められている。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先同僚と協力して以下の点で支援を行う。 ①日中活動(創作活動、音楽活動、スポーツなど)プログラムの策定 ②入所者の社会参加に向けた活動の導入 ③ケース評価と個別支援計画の策定 ④スタッフを対象とした障害者支援に関するワークショップの開催					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし					
4) 配属先同僚及び活動対象者 所長(男性・50代) ソーシャルワーカー 理学療法士 看護師 ヘルパー				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 経験ある同僚と働くため ・ 障害者支援施設での業務経験 理由: 中・重度の障害者施設で活動				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況 気候(地中海性) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号(SL 424 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード 1102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
ヨルダン	障害児・者支援				日系/短期 年 月 日 から
1) 受入省庁名 (日本語) 社会開発省 2) 配属先名 (日本語) 南部障害者センター <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 マアン JICA事務所の所在地(アンマン)から 南 方向 210 Km 主要都市(マアン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
4) 配属先の規模・事業内容 1986年に設立されたヨルダン南部地区における最大の障害者支援NGO。障害者診断やリハビリの提供のほかに、聴覚障害者ためのクリニック、聴覚障害児のための学校や幼稚園も併設している。CBRIにも積極的で、センターに来ることのできない障害児・者にサービスを提供している。過去作業療法士および理学療法士がJICAボランティアとして派遣された実績がある。					
1) 要請理由・背景 同施設は従来より聴覚障害児を含めた統合幼稚園・小中学校を運営しているが、昨年より軽・中度の身体・知的障害児クラスを創設した。ボランティアには同僚教師とともにクラスを担当するかたわら、障害児教育についての教師に対するアドバイスや、母親に対する啓発活動など、学校のみならず地域を含めた障害児支援が期待されている。					
2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 障害児教育について日本の教育方法を紹介および助言を行う 2. 教師陣の技量向上をめざした取組みをする 3. 教師や親、地域の人々を対象としたワークショップを実施する					
3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 おもちゃ、遊び場、教室、実験室など					
4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(20代女性大卒) 教師 10名(全員大卒)				5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (養護学校教諭) 又は (特別支援学校教諭) ・性別 (女性) 理由: 同僚が女性であるため ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒であるため ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚のレベルが高いため 理由:				活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況 気候(地中海性) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号(SL 469 - 13 - D - 09)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード 1102)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 2 代目	○ 2 年	1 26 / 1
モロッコ	障害児・者支援			○ 1 年	2 26 / 2
			○ ヶ月	3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国民教育省				
	2) 配属先名 (日本語) タンジェ・アシラフ支局				○ NGO
	3) 任地 タンジェ県タンジェ市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北東 方向 300 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 4 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 本支局はタンジェ県内の小学校・中学校を管轄している。普通学校内に、特別支援教室が設置されているが、教育省の教員が配置されている教室と、アソシエーション(両親会などのNGOで、教育省及び連帯・女性・家族・社会開発省との協定を結んでいる)が運営し無資格の指導員が指導している教室がある。教育省の教員であっても、特別支援教育の講習を受けた教員は少ない。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 タンジェ市内の小学校5校に計9つの特別支援クラスが設置され、教員約25名が配置されている。教育支局が直接管轄しているクラスその他、地域のアソシエーションが小学校内の教室を借りて特別支援クラスを運営している。教育支局が直接管轄する特別支援クラスの一つに特別支援教育専任の指導員がおり、ボランティアは同指導員と共に教育プログラムの改善を図り、指導法に関する他の指導員への助言、研修会の企画、運営に関する助言等を行う。また、アソシエーションが管轄する特別支援クラスも巡回し、指導員の能力向上を図ることが求められている。 2013年9月まで長期SVが巡回及び研修会の実施を行っているが、教員及び指導員への研修の必要性から継続して要請が出された。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 市内の小学校内の特別支援クラスにて、同僚指導員と共に以下の活動を行う 1.市内の特別支援クラスを巡回し、障害者(自閉症児、聴覚障害児含む)の指導や教育活動に関する教員及び指導員への助言を行う。 2.教員及び指導員対象研修会の企画・運営を支援する。 3.図工や音楽、運動の定着・質の向上を図る。 4.障害者の保護者等への啓発についての現状調査及び企画・運営を支援する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、机、黒板				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 支局長 支局教育担当 特別支援クラス教員及び指導員 特別支援クラス児童・生徒			5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許(特別支援学校教諭または養護学校教諭) 又は() ・性別() 理由: ・学歴() () 理由: ・経歴(実務経験) (5年以上) 理由:指導員・教員への助言を行うため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度	
				○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(地中海性) 気温(5~35℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 11)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード I102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV
モロッコ	障害児・者支援			2	26 / 1
				3	年 月 から

配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 連帯・女性・家族・社会開発省
	2) 配属先名 (日本語) アルムスタクバル協会 <input checked="" type="radio"/> NGO
概要	3) 任地 ラバト県ラバト市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 0 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)
要請	4) 配属先の規模・事業内容 2003年設立された知的障害者の教育と専門指導を行うNGO。2011-12学年度は60名の在籍児童生徒が通所しており、内48名は午前中協会が運営する普通学校内の統合クラスに通学、午後は協会施設に通所、その他の児童生徒は施設のみに通所している。統合クラスを5クラス運営しており、教育省州事務所および県支局と学校との間で協定を結び、教員と指導員が教育を行っている。協会施設では16歳以上の軽度障害者に対し、裁縫、美容理容、ダンス・音楽の専門指導をしている。施設には教室の他にマッサージ療法室、発音矯正室、心理学者室があり、専門医による個別指導も行われている。国際NGOカリタスの支援を受けている。
概要	1) 要請理由・背景 配属先は連帯・女性・家族・社会開発省と障害者教育支援についての協定に基づき、資金援助を受けている。教育省は統合クラス運営にかかる協定を結び、小学校の統合クラスでは教育省の教員と協会の指導員が協働している。しかしながら、指導内容については省庁からの監督はなく、協会に任されている。指導員には特別な資格は求められていない。配属先では、毎年指導員に対する研修を行い、他機関が行う研修にも参加する等指導の質の向上を図る努力をしている。短期実習生や無償ボランティアも受け入れている。配属先としては、統合クラスの教育の質の向上、および協会施設での指導内容の質の向上のため、ボランティアの要請がされた。
要請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・指導員および教員を対象にして、指導内容・方法の改善を図るための支援を行う。 ・人材育成・指導者組織強化につながる研修会を開催する。 ・現在十分に行われていないダンス・音楽の指導について専門的なアドバイスをを行う。
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ミシン、木工機械、調理器具、PC、インターネット等
要請	4) 配属先同僚及び活動対象者 施設長/協会代表(女性、50歳代)、校長(女性、30歳代)、指導員(女性5名、男性2名)、
	5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (VA*N: C) 又は (VA*N:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 指導に必要なため 理由:	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(地中海性) 気温(5~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項	

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

要請番号(SL 545 - 13- D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード 1102)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	JOCV/SV	日系/短期
ウガンダ	障害児・者支援			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ジェンダー・労働・社会開発省				
	2) 配属先名 (日本語) ウガンダ障害児協会				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 カンバラ首都圏 JICA事務所の所在地(カンバラ)から 北 方向 0 Km 主要都市(カンバラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1985年、障害のある子供たちの生活向上を目的に設立された現地NGO。ドナーからの寄付金により首都を含む国内14県で事業を展開している。①障害についての社会啓発活動 ②障害児の保護者の人材育成 ③障害児を守るための法律や政策に関わる政府へのロビー活動の三つを柱に、子供たちに必要な医療やリハビリの提供や職業訓練などを行い、これまでに累計およそ25万人の障害児とその保護者が裨益した。年間予算はおよそ2200万円。短期のボランティアを主に欧米から受け入れている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同NGOはドナーからの寄付金を活動資金としているため、スタッフにかかる資金が不足しており、専門性の高いスタッフやプログラムの支援要員を雇用することが困難となっている。慢性的な人手不足は、子供たちの持つ障害の実態を正確に把握したり、支援実施後の状況をフォローしたりする活動を妨げ、ひいては資金源であるドナーへの報告が十分に行えないという状況を生み出している。現在、専門性を持った短期SVが同NGOに対して協力活動を展開しており、その継続を要請された。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同NGOに勤務するプログラムオフィサーや現地ボランティアと協力して、以下の活動を行う。 ・障害児やその保護者にかかる実態調査 ・在宅支援プログラムの立案、実施 ・上記調査に基づくデータベース作成				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務机				
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 (配属先同僚) NGO代表:大卒女性40歳代 プログラムオフィサー:大卒男性30歳代 (活動対象者) 障害児とその保護者、地域サポートグループリーダーなど			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: ・経験 (指導経験) (10年以上) 理由:経験に基づいた知識要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況		気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)					
特記事項					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

要請番号 (SL 730 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード I102)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
セルビア	障害児・者支援			2	26 / 1	日系/短期
				3	26 / 2	年 月 日
			〇 2年 〇 1年 〇 ヶ月	1	26 / 1	
				2	26 / 2	
				3	/	

配	1) 受入省庁名 (日本語) セルビア市民社会参加事務所
属	2) 配属先名 (日本語) 発達障害者支援協会/Nasa Kuca(我が家) <input checked="" type="radio"/> NGO
先	3) 任地 ベオグラード JICA事務所の所在地(ベオグラード)から 南東 方向 1 Km 主要都市(ベオグラード)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
概	4) 配属先の規模・事業内容 成人した知的障害者を支援するために、障害者の家族が集まって2007年に設立された。利用者は10人~15人/日程度。当初はデイケアを主な活動としていたが、利用者の雇用創出のために、①ピザやパンなどの持ち帰り用箱や紙袋の製造、②主にお年寄りを対象とした軽食のデリバリーサービス、などの施設内起業を行い軽作業労働を取り入れている。予算は568万円程度(約50,000EUR)、主にEUや外国の支援団体から資金援助を、活動の用地などについては地元役場の援助を得ている。①の売り上げは月約20万円程度。利用者家族である協会役員のほか5人の専属スタッフがあり、うち2名が①②の事業専任スタッフである。
要	1) 要請理由・背景 同協会では紙容器作製の軽作業について、施設利用者の職業としての持続性を確保し、より多くの施設利用者が作業に関われるようになることを計画している。これを達成するために受注の増加を目指しており、そのためには競争力を高める必要があると同協会では考えている。しかしながら同協会は商業的な知識や経験が浅いため、福祉分野で進んでいる日本に対し、作業所などの経験をもつボランティアを要請し、利用者がより魅力的な商品を作ることが出来るようにしたいと考えている。 なお、紙容器の製造は、作業の危険性が少ないことや作業が複雑でないと理由で選ばれた。
請	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・軽作業の事業と製品について現況を把握する。 ・同僚と共に事業性を高めるための製品展開や、生産性向上を検討する。 ・可能であれば市場調査も行う。 ・上記の活動に基づき、行動計画を立て同僚と実行する。 ・任期後半で事業の評価を行い、必要に応じて行動計画を変更する。
概	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 厚紙打ち抜き機、紙袋製造機
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 〈配属先同僚〉 プログラム・コーディネーター、30代女性 作業指導スタッフ、30代男性 〈対象者〉 18歳以上の知的障害者、10人程度、男性
	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)
資	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります)
格	・免許 () 又は ()
条	・性別 () 理由:
件	・学歴 (大卒) () 理由: 同僚と同じレベルが必要
等	・経歴 () () 理由:
	・ 障害者作業所での経験 理由: 業務に必要
地	活動上の單車/自転車の必要性
域	〇 單車 〇 自転車 〇 不要
概	現職教員特別参加制度
	〇 可 〇 不可
特	気候(大陸性気候) 気温(-5~30℃位) 電気(〇 安定 〇 不安定 〇 なし)
記	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(〇 安定 〇 不安定 〇 なし)
事	

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 11)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード 1103)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	1	JOCV/SV	
チリ	福祉用具			2	26 / 1	日系/短期
				3	26 / 2	
				1	年 月 から	

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 保健省
	2) 配属先名 (日本語) ペドロ・アギレ・セルダ国立身体障害者リハビリテーション病院 <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 サンティアゴ JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンティアゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先はチリ国唯一の国立身体障害者リハビリ専門病院。主に25才迄の身体障害者、さらに切断や脳血管障害による成人身体障害者に対し身体・精神・社会的な視点から統合的リハビリ治療を行う他に、大学教育、人材育成、研究活動も実施。職員149名。病床数39であるが、入院、診察、地域リハビリにより年間5000名を診察。リハビリチームはリハビリ医学、運動療法、作業療法、言語聴覚、栄養、心理、ソーシャルサービス、看護、小児科、神経科、特殊学校から成る。JICAは、身体障害者リハビリテーションプロジェクト、第三国研修等の南南協力、ボランティア(言語聴覚士、歯科衛生士等)派遣実績あり。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先の義肢装具製作室は、リハビリチームの作業のサポートユニットとして位置づけられており、子供、青年、大人、高齢者向けの義肢装具を製作している。公立病院においては国内唯一の義肢装具製作室であり、スタッフはリハビリ医1名、技師2名、助手3名、秘書1名の計6名から成る。同製作室では、運動療法士チームから患者の評価・リハビリの経過についての情報を受けながら製作作業を行っている。配属先では、昨年からの義肢装具製作室の設備改善及びスタッフの技術レベル向上を図っており、国際義肢装具協会(ISPO)の研修に同製作室から2名が受講している。特に、義肢・装具製作のための評価・処方、下肢装具・コルセット・義肢製作、製作した義肢・装具のアフターケアにおける改善を目指しており、これらの活動支援を行えるボランティアが求められている。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 義肢・装具製作のための評価・処方における義肢装具製作室スタッフへの指導 2. 義肢・装具製作における義肢装具製作室スタッフへの指導 3. 製作した義肢・装具のアフターケアにおける義肢装具製作室スタッフへの指導 4. 義肢・装具製作室及びリハビリチームへの指導
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 診察室・試着室(2部屋)、評価・型取りの為の部屋、下肢装具・コルセット・義肢等製作用機器

資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・40代半ば女性(リハ医) ・義肢・装具製作室長 ・集団研修「義肢・装具」帰国研修員(1990年代初め)	5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由:業務遂行上必要 理由:業務遂行上必要 ・義肢装具士	活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域概況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項	



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 12 日

要請番号 (SL 048 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード 1111)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 2 2 / 3 /
ブータン	労働安全衛生			年 月 から	
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 労働人材省				
	2) 配属先名 (日本語) 労働局労働者保護課				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ティンブー県ティンブー市 JICA事務所の所在地(ティンブー市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ティンブー市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は、労働環境の改善を通じて、労働者の健康と安全を守ることを目的に事業を展開している。Labour and Employment Act of Bhutan 2007に基づき、監察官が全国の事業所(建設現場、工場等)を査察し、改善命令を下す。全国に4支所、1現場事務所を持つ。2012年10月から2代目SVが活動中。外国の援助状況としては、WHO,ADB(アジア開発銀行)、JICAによるコンサルタント協力、短期研修が実施されている。				
要請概要	1) 要請理由・背景 労働者の安全衛生を守るための法律が2007年に施行され、その実施機関が同配属先である。JICAボランティアによるこれまでの協力活動は、当国建設業者向けの安全衛生ポケットマニュアルの作成及び労働安全衛生セミナーの実施等であり、今後の活動計画としては、各業種向け労働安全衛生規則のマニュアル及びガイドラインの作成、監査チェックリストの見直し、労働安全衛生マネジメントシステム、リスクアセスメント、災害報告及び記録システムのガイドライン作成、危険予知訓練のトレーニング等である。2012年施行の労働安全衛生規則の全業種への周知・徹底には一定期間のフォローが必要であり、継続的に支援する必要があることから後任の要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) <ul style="list-style-type: none"> ・事業所独自による査察システムの提案・指導 ・事故報告システム及び事故事案の記録システムの改善提案 ・事故査察マニュアルの作成および研修の実施 ・労働安全衛生規則の見直し ・労働安全衛生マネジメントシステムの推進、指導 				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC				
資格条件等	4) 配属先同僚及び活動対象者 労働保護課課長(カウンターパート)(女性 41歳 短大卒 経験8年) 労働者保護課の同僚6名(男5名 女1名 年齢20~30代、経験0~10年)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (10年以上) 理由: 同僚への指導を行う上で必要 ・衛生管理者資格 理由: 同僚への指導を行う上で必要			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(温帯性) 気温(-5~30℃位)		電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 25 年 6 月 8 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 12)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード・J101)	<input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 日系/短期
チリ	渉外促進			1 26 / 1 2 26 / 2 3 /	年 月 から
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁				
概	2) 配属先名 (日本語) タルカワーノ市役所 <input type="radio"/> NGO				
要	3) 任地 タルカワーノ JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 南 方向 500 Km 主要都市(コンセプション)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間)				
請	4) 配属先の規模・事業内容 活動先となる市役所の企画事務局は、市開発政策・予算の策定、開発計画、プログラム、プロジェクト策定・調整・評価を行うと共に、市長及び市議会に対し技術的助言を行っている。市長直轄部署であり、部署内に管理課、開発・投資誘致課、調査・事業課、都市計画課、災害リスク管理課がある。職員は約40名。年間事業予算は3.6億円(うち3億円が公共事業費)。2010年チリ地震・津波後UNDPの協力で震災復興支援プロジェクトを実施。2012年からSATREPS津波プロジェクトのモデル地域として2010年以降の経験を共有中。また、2015年10月迄市民参加型地域リスク管理モデル構築プロジェクトをEU支援で実施中。				
概	1) 要請理由・背景 2010年チリ地震・津波により人口160,000名の港町タルカワーノ市では死者37名、被災者53,637名の被害が出た。配属先ではUNDPの震災復興支援プロジェクトにより8分野からなる復興計画を策定し、震災教訓ガイド、防災ガイドを作成した。また、住民参加型による災害マネージメントサイクルに対応すべく、災害統合リスク管理課をあらたに設立した。同課では2013～2014年の取り組みとして①市内災害リスクの分類化、②住民リスク管理センターの稼働、③住民による自主防災推進協議会の設立、④災害モニタリングに必要な条件の確認、⑤機能する緊急時ネットワークの確認、⑥市災害管理計画と行動手順の策定、⑦WEB上の災害情報管理システムの設置開始、⑧災害リスクシナリオ作成を計画しており、②及び③の活動において阪神淡路大震災以降蓄積されてきた自主防災組織の経験を基にした日本からの協力が期待されている。				
要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. グループ派遣による他長期SVの活動計画策定・実施・モニタリング及び評価作業の支援 2. 生活及び活動環境確認・整備の支援 3. 配属先と共に作成するグループ派遣チームの活動報告書取り纏めの支援				
概	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC等執務室に必要な機材 折り畳み式担架、救急道具等訓練に必要な資機材				
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 30代後半男性(土木工学士) 都市計画・市民参加業務(災害対応も含む)6年 災害リスク管理課長 集団研修「巨大地震災害軽減のための総合戦略」帰国研修員(2012年)	5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由:業務遂行上必要 ・ 組織における管理・調整業務経験 理由:業務遂行上必要			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
格	現職教員特別参加制度				
条	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可				
件	地域概況 気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
等	特記事項				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

要請番号(SL 006 - 13- D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	1	JOCV/SV
インドネシア	日本語教育			2	26 / 1
				3	26 / 2
					年 月 から

配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 文化教育省 2) 配属先名 (日本語) 国立ジャカルタ大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ジャカルタ市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 東 方向 15 Km 主要都市(ジャカルタ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
要請概要	4) 配属先の規模・事業内容 ジャカルタ東部にある7学部(教育、言語・芸術、社会、数学・科学、工学、体育、経済)を持つ学生数約16,000名の国立総合大学。言語・芸術学部には、インドネシア語、英語、フランス語、ドイツ語、アラビア語、日本語、美術、舞踏、音楽の9学科がある。日本語学科(学生数260名、講師11名)は教育色が強く、多くの学生は中等教育機関の教師になることを目標としている。日本語学科の年間予算は約570万円。
要請概要	1) 要請理由・背景 日本語学科は2006年に4年制に移行し、2009年9月からは4学年全てが揃い、学生数は260名となった。多くの学生は中等教育機関の教師になることを目標としていることから、それら学生を指導する講師陣の更なる日本語能力向上を目指し、初代SVIに引き続きJICAからのボランティア派遣を強く希望している。
要請概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生への授業実施(週2クラス)及び論文作成のアドバイス(論文は要旨のみ日本語で作成する) ・講師に対する日本語教授法のワークショップ実施 ・授業や文化祭を通じた、日本文化の紹介
要請概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 共用PC3台、CDラジカセ、LCDプロジェクター、OHP、視聴覚室、図書室、各種日本語テキスト(みんなの日本語、ニューアプローチなど)
要請概要	4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(女性40代)、副学科長(女性30代) 常勤講師11名(うち5名が進学中で不在)、非常勤講師2名 日本語検定資格:N1は1名のみ、その他講師はN2レベル
要請概要	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)

資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 当国での高等教育機関で必要 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 論文指導や教授法指導のため 理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可
-------	--	---

地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(20~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
特記事項	

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

要請番号 (SL 006 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	○グループ型 ◎個別	◎新規 ○交替 代目	JOCV/SV	日系/短期
インドネシア	日本語教育			◎2年 ○1年 ○ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省				
	2) 配属先名 (日本語) 国立ガジャマダ大学				○ NGO
	3) 任地 ジョグジャカルタ特別州・ジョグジャカルタ市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 南東 方向 420 Km 主要都市(ジョグジャカルタ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1949年設立。18の学部を持つ総合大学。1989年に日本語学科が開設され、1998年には4年制となった。2009年には日本語学科から職業訓練学科の日本語プログラム(3年制)が分離した。4年制の日本語学科では日本語研究や学問としての日本語学習を継続する一方、3年制の日本語プログラムではより実務的・実践的な職業日本語の習得を目指す。現在、職業訓練日本語プログラムの学生数は115名。同プログラムの年間予算は約600万円。同大学の日本語学科には、数年前まで国際交流基金の専門家が派遣されていたが、現在は派遣されていない。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 4年制の日本語学科ではすでに体制が確立しており、教員のレベルも高い。一方、そこから分離して間もない職業訓練学科の日本語プログラムについては、現在まだ教材を揃えたり図書室の整備を行ったりしている段階である。現地日本語講師は全員同大学の日本語学科の卒業生で、比較的若く、やる気があり、日本語レベルも比較的高い。卒業生の進路は観光ガイド、通訳・翻訳者、日本語教師、日系企業勤務などであるため、職場で使われる実践的な日本語の習得を目標としており、SVIによる日本語ネイティブならではの支援を期待している。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同プログラムにおける日本語教育の質を向上させるため、以下の活動を行う。 1.職業訓練日本語に適したカリキュラム開発や教材選定の支援 2.現地講師への日本語指導、授業に関する助言 3.学生の論文、翻訳文、作文等の指導 4.日本文化祭などを通しての日本文化の紹介				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 みんなの日本語初級～中級、その他教員が探してきた教材。パソコン、視聴覚機材。				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(男性、50代) 日本語教師4名(20～30代の女性) 日本語検定旧1級1名、旧2級2名、未受験1名。 参考情報:1コマ100分、1クラス的人数は30～40名。会話・文法などの各クラスは週に1～2回程度実施。その他文科省試験に向けた対策授業なども実施。			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (V/N: D) 又は (V/N:)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学講師に必要な資格 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 学生・講師への指導のため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○單車 ○自転車 ◎不要 現職教員特別参加制度 ○可 ◎不可	
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25～35℃位)		電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 水道(◎安定 ○不安定 ○なし)		
特記事項	通信(☒インターネット可 ☒電話可 ☐無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

要請番号(SL 006 - 13 - D - 07)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
インドネシア	日本語教育		年 月 から		
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省				
	2) 配属先名 (日本語) ジェンデラルスティルマン大学				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 中部ジャワ州ブルオケルト市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 南東 方向 300 Km 主要都市(ジョグジャカルタ市)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 2 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1963年設立の農・工・経済・法・医学部等からなる、総学生数2万2千人、講師数千人の総合大学。以前は選択外国語としての日本語教育のみを行っていたが、2010年9月に4年制の日本語学科が認可され、2011年9月から日本語教育が本格的にスタートした。2012年2月より初代SVが派遣されている。大学の年間予算は、約40億円。				
要請概要	1) 要請理由・背景 当大学ではこれまで選択外国語としての日本語教育を行ってきたが、指導役となるネイティブスピーカーがいなかった。2010年9月に4年制の学科として認可されたため、カリキュラム編成、日本文化、論文指導等ができる指導者の育成が急務となり、初代SVが派遣された。現在、当大学に日本語や日本文化の発信拠点となりうる「日本文化センター」を立ち上げる準備をしている。また、日本の大学との姉妹校提携の可能性についても協議中であり、引き続きSVIによる支援が要請されている。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) <ul style="list-style-type: none"> ・日本語講師への教授法の指導 ・カリキュラム編成にかかる助言 ・授業運営にかかる助言、教材選定支援 ・卒業論文指導 ・日本文化祭等のイベントを通じての日本文化の発信 ・域内日本語講師へのセミナー実施 				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、インターネット、図書室、視聴覚教室、教科書「みんなの日本語」				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚講師:性別(男2、女5)、学歴(修士5、博士2) 年齢(30~40代) 日本語能力試験(旧2級2名、旧3級5名) 学生数:90名 授業は月曜日~金曜日。土曜日にイベント等が開催されることあり		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学講師として必要な資格 ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 学生・講師への指導のため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
	地域概況 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項	活動上は必要ありませんが、通勤には自転車が必要な場合もある。				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

要請番号 (SL 018 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G157)	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV	日系/短期	
タイ	日本語教育			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
		3	/			

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省
	2) 配属先名 (日本語) 教育省基礎教育局 (OBEC) <input type="radio"/> NGO
	3) 任地 バンコク JICA事務所の所在地(バンコク)から 北 方向 0 Km 主要都市(バンコク)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の規模・事業内容 当該組織は教育省の傘下であり、初等教育においては約30,000の小学校、中等教育においては約2,500の中高校を監督し、教育方針の作成、及びその統制の任を負っている。具体的には、タイ語、数学、社会、外国語等8科目についての基礎教育をマネージメントするとともに、全学生に平等にかかわる権利を提供している。

要 請 概 要	1) 要請理由・背景 日本語教育の質の向上が重視される中、本件配属先は、中高校における「日本語教育センター校構想」(地区毎に設置したセンター校とその周辺校とが連携して日本語教育の充実を図る取組み)を、2011年度より開始した。現時点でセンター校28、周辺校約300、JICAは、このうち重要性の高い4~5地区の学校に対して、日本語教育JVを集中派遣(グループ型派遣)し、各校の日本語教育の向上を図ると共に、同構想の推進を後押ししている。総勢15~20名のJVが、各校、各地区(センター校・周辺校間の連携)、及び全体といった各レベルで力を発揮できるよう、全体を俯瞰しての助言と調整が肝要。また、配属先による「日本語教育センター校構想」自体の定期レビューと改善が期待される。係る状況下、グループ型派遣による協力効果の向上、及び「日本語教育センター校構想」への助言を目的として、中央レベルへのSV派遣が要請された。
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・JV配属校を巡回し、その活動状況及び協力効果を把握すると共に、協力内容の向上に向けて、一隊員、一地区、派遣隊員全体といった各レベルにおいて必要な助言を行う。 ・学校巡回の結果をもって、グループ型派遣を通じた日本側支援の今後の方向性について配属先と協議し、必要な軌道修正を提言する。 ・配属先が行う「日本語教育センター校構想」全体のレビュー実施を支援すると共に、求めに応じて改善に向けた助言、提言を行う。 ・配属先による、日本語教員の指導力向上に資するセミナーやワークショップ等の開催を支援する。
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基礎教育事務局内に専用デスクを設置。パソコンプリンター、コピー機、インターネット等を使用。

4) 配属先同僚及び活動対象者 基礎教育局日本語担当官 女性 2名	5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)
--------------------------------------	---

資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: ・経歴 (実務経験) (10年以上) 理由: 隊員等の指導に当たる立場となる理由:	活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要
		現職教員特別参加制度
		<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可

地域 概況	気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)
----------	---

特記 事項	
----------	--



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 027 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	○ グループ型 ◎ 個別	○ 新規 ◎ 交替 3 代目	JOCV/SV	日系/短期
ベトナム	日本語教育			◎ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) ハノイ国家大学				
	2) 配属先名 (日本語) ハノイ国家大学外国語大学				○ NGO
	3) 任地 ハノイ市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 東洋言語文化学部、日本語日本文化学科の教員数は約40名、学部生は約400名、年間予算は約100万円。日本語日本文化コースと日本語教育コースに分かれ、2009年からは大学院を開講、附属の高校でも日本語教育が行われている。日本の大学との共同プログラムや、日系企業の支援を受けたビジネス日本語講座等、積極的に外部の支援を受け入れている。1998年にJVの派遣を開始。2007年まで7名のJVが派遣され、一旦派遣を終了。その後、新設コースや大学院開講等の新たなニーズを支援するため派遣を再開し、現在は派遣再開後の2代目SV(23年度派遣)が活動中。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先には1996年よりJVが派遣され日本語教育の基盤整備を行い、2005年派遣のJVで一旦支援を終了した。しかし、2008年に日本語教育コースが開講されたことにより、学生への直接指導と教師への指導、教師養成を支援するため、2009年からJVとSVの派遣を再開。これまでにJV1名とSV2名が派遣された。この間、大学院が開講されるなど、学科として着実に発展を遂げているが、引き続きベトナム人教師の教授能力向上、専門的な科目の授業担当、コース運営の改善に関する支援が求められている。現在活動中のSVは、1・2年生の会話クラスを担当しながら各種イベント・プログラムの支援、コースの運営改善・支援に同僚とともに取り組んでいる。その他にも論文指導の担当や指導法の改善への助言などの支援を実施している。なお、平現在2代目のJVを募集中。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の一員として、学部長、同僚教師と協力して以下の活動を行う。 ・授業を担当し学生への直接指導を行う(目安として活動中SVは現在週12コマを担当している。1コマは50分) ・学部生の卒業論文、大学院生の修士論文の添削、日本語表現の確認 ・大学で使用されている教材の編集や作成の支援 ・若手教師の指導力向上の支援(一例として日々の授業見学や長期休暇期間を利用した可能な範囲での勉強会、日本文化紹介等の実施) ・その他、必要に応じた学科運営、各種イベント・プログラム(交流、スピーチコンテスト等)への支援				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機、プロジェクター、教材「初級日本語」、「中級日本語」(東京外国語大学出版)、「ニューアプローチ中上級」、「日本語で学ぶ日本経済入門」、「国境を越えて」、その他各技能・クラスに応じた教材を使用				
要	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・学部長(女性/40代) ・副学部長2名(女性/30~40代) ・ベトナム人教師38名(女性34名/20~30代、男性4名/30~60代/経験0~20年) ・日本留学中教師8名(女性7名、男性1名) ・邦人非常勤講師1名(男性/60代/経験15年、ビジネス会話)に加え、9月に1名増員予定			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (V^N: D) 又は (V^N:)	
	資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (5年以上) 理由: 初級から上級までの指導 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ◎ 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域概況	気候(温帯夏雨) 気温(10~35℃位)		電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)		
特記事項	JVを募集中のため、任期中にJVと協力・連携して活動することが見込まれる。				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 3 日

要請番号(SL 066 - 13- D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	○グループ型 ◎個別	○新規 ◎交替 3 代目	JOCV/SV	日系/短期
スリランカ	日本語教育			◎2年 ○1年 ○ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 教育省				
	2) 配属先名 (日本語) 国立教育研究所				○ NGO
	3) 任地 コロンボ県マハラガマ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 南東 方向 15 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 配属先は日本の援助を受けて1986年に設立され、初等・中等教育と教員養成大学のシラバス作成、現役教師の研修を実施している。2011年の予算は3億円。全職員数は450名、ボランティアが所属する外国語局の職員は3名である。下記日本語ティプロマコースにおいては2012年10月から2月JICA短期JVが4ヶ月間講師を務め、それに続き国際交流基金専門家が講師を勤めている。他国からの支援としては2012年より韓国人専門家5名が韓国語コースで講師を務めている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 スリランカでは日本語が公立中学・高校において選択科目として教えられている。公立校で日本語教育にあたる教師の中では日本語能力試験2級合格者が徐々に増えつつあるものの、統一的な資格要件がないため、日本での滞在経験がある、あるいは高校卒業資格試験の選択科目で日本語に合格したのみという日本語能力試験3級程度の者が依然として主流である。また教授法の訓練受講者も極めて限定的である。かかる背景を踏まえ、配属先はJICAボランティアと現地人講師を講師として、現役教師の教授法向上のための研修を2012年10月より開始した。受講生は熱心に研修を受講しており、研修は配属先および受講生から高く評価されている。なお研修シラバスは同国のケラニア大学で活動する国際交流基金専門家が作成済みであり、必要に応じて同専門家と情報共有を行いながら活動を進めることが可能である。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同僚講師とともに以下の業務を実施する。 ①研修コースにて講義を行う。(25人の中学・高校現役教員を対象とし、1年間(50週)毎週土曜の一日6時間実施。教材は日本語教授法シリーズ(国際交流基金)とスリランカの高校の教科書、指導書等を使用) ②受講生が勤務する学校を訪問し、授業に対して評価・助言する。 ③受講生が行う日本語教育向上のための調査に対して助言する。 ④スリランカ全土の日本語教師が組織する日本語教師会の活動を支援する。(月1回程度) ※配属先には日本語に関する専門書が65冊あり、利用が可能である。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 LL教室・コンピュータ30台・プロジェクター・プリンター・コピー機、日本語に関する専門書。使用教科書は国際交流基金の日本語普及活動助成により購入し、受講生に貸し出している。				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 ・同僚:教育研究所職員(女性、30代) ・講師(女性、30代) ・指導対象者:現役教師30名(教師経験3年以上、日本語能力試験N4あるいはN3合格以上)		5) 活動使用言語 (その他) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる。 ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要。 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○ 單車 ○ 自転車 ◎ 不要	
				現職教員特別参加制度 ○ 可 ◎ 不可	
地域 概況	気候(熱帯) 気温(24~34 ℃位) 電気(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(◎ 安定 ○ 不安定 ○ なし)				
特記 事項	住居:国立教育研究所には外国人用宿舎があり、そこに入居が可能。				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

要請番号(SL 115 - 13 - D - 01)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	2年	1 26 / 1	
ミクロネシア	日本語教育			1年	2 /	年 月 日 から
				ヶ月	3 /	
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) チューク州政府					
	2) 配属先名 (日本語) ザビエル高校				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 チューク州ウエノ島サブック JICA事務所の所在地(ポンペイ州コロニア)から 西 方向 730 Km 主要都市(モエン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 イエズス会が運営するカトリック系私立高校(4年制)。1952年設立。全校生徒は180名程度と小規模であるが、ミクロネシア地域全体(マーシャル諸島共和国、ミクロネシア連邦、パラオ共和国)で屈指の進学校であり、大統領をはじめとする多くの政治家や指導者を輩出している。年間予算は613千米ドル。教師は、国際的なイエズス会組織から派遣される各国からのボランティア教師により構成されている。2011年まで過去5代にわたり、JICAから日本語教師隊員等が派遣された。					
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 配属先は、「有能で自覚と思いやりのあるリーダーの育成」を教育方針として、次世代の指導者を育成している。そして、生徒が、高校時代に日本語や日本の文化を学んでおくことが、将来、指導者となった時に日本との友好関係を築いていくための強みとなると考えている。また、日本語教育は、生徒の世界観を広げ、米国など海外の大学進学の一助となることから、ボランティア派遣を強く希望している。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同校では2011年以来、日本語教育が行われていないため、日本語教育再開の基礎作りから協力が求められている。 1.カリキュラムやシラバスの作成、必要に応じて教材の作成等を行う。 2.3・4年生を対象とした初級レベルの日本語授業実施。 (各学年2クラス、1クラスの生徒数は20~25名程度。配属先は、3年生は必須科目・4年生は選択科目と考えているが、詳細については、配属先とボランティアで協議の上、決定したい。) 3.授業や文化祭等の行事を通じた日本文化の紹介。					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プロジェクター					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 理事長、校長、教員13名、従業員18名 年齢18~50歳		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:)			
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (短大卒) () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 実践的知識と技術が必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(熱帯雨林) 気温(25-35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項	通勤等で車を運転する可能性があり、運転免許があった方がよい。舗装されている道路が少なく、悪路である。中等教育段階での日本語教師経験があると望ましい。					



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 30 日

要請番号(SL 227 - 13 - D - 02)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
エルサルバドル	日本語教育				年 月 日 から
1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) エルサルバドル国立大学人文科学部言語学科 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 サンサルバドル県サンサルバドル市 JICA事務所の所在地(サンサルバドル市)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 エルサルバドル国立大学は当国唯一の国立総合大学であり、学生数約5万4千名。人文科学部には言語、哲学、教育などの学科があり、学生数は約8千名、うち言語学科には約1,500名が在籍、教職員約50名で運営されている。英語、仏語、独語、日本語、中国語、韓国語の講座が実施されており、単位となる講座を実施しているのは英語、仏語、日本語である。配属先へのJICAボランティア派遣は、日本語教師を中心に約20名が派遣されており、現在14代目の日本語教師(SV)が活動中である。またLL教室が日本政府無償資金協力で設置された。http://idiomas.ues.edu.sv					
要請	1) 要請理由・背景 配属先では学科生対象の単位講座2クラス、一般公開講座5クラス(導入1、初級3、中級1)、計7クラスに約150名が学び、日本語学習機関としては当国最大規模である。日本文化祭、スピーチコンテストなどのイベントが実施されてきており、現在では中米大学(日本語教師隊員派遣中、2013年9月まで)と共同で開催されている。JICAボランティア派遣により、日本や日本文化に対する関心が高まり、現地人講師の育成も進んでおり、ようやく昨年から1名が常勤採用された。配属先では従来のクラス運営に関する協力はもとより、現地人講師の育成を更に進めたいとして、より経験豊富なSVを要請することとなり、前任者(2014年6月まで)が派遣された。現在では常勤講師の他、5名の無給講師、アシスタントがSVと共に運営、指導を行っており、彼らへの指導法のみならずコースデザインをはじめとする運営についての能力向上への協力が望まれている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.エルサルバドル人講師の指導と育成を支援する。 2.学科生対象の単位講座クラス及び一般公開講座の年間指導計画改善、各クラス実施(試験作成・実施、評価、教材作成・研究など)及び新規クラス開講に協力する。 3.日本文化祭、スピーチコンテストの企画運営に協力する。				
概要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 言語学科教員室内執務スペース、ラップトップPC、プロジェクタービデオカメラ、CDラジカセ、各種日本語教育教材 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・学科長:男性、英語専攻 ・アジア言語コーディネーター:男性、仏語講師 ・日本語講座常勤講師:男性、30歳代、日本語初級、中級の指導が可能 ・日本語講座無給講師、アシスタント4名:男性1名、女性3名、20~30歳代 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は スペイン語 (レベル: D)				
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は (日本語教授法) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 指導対象が大学生のため ・経歴 (指導経験) (5年以上) 理由: 講師への指導が必要なため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(熱帯) 気温(15~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)				
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 11 日

要請番号(SL 312 - 13 - D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	期間	日系/短期
チリ	日本語教育			<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁				
	2) 配属先名 (日本語) 国立サンティアゴ大学				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 サンティアゴ JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンティアゴ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 1849年創立。7学部63学科を擁する学生数約1万8千人の国立総合大学である。チリ国内高等教育機関として唯一、正式専攻過程として日本語教育が行われている。日本語講座は1993年に開始され、現在は人文学部言語文学学科翻訳課程に5年制の英語・日本語専攻としての日本語講座が開設されている。これまでに約300名の卒業生を送り出しており、専攻の在籍数は約40名である。2009年からの新カリキュラムでは卒業時に日本語能力試験N2合格レベルを卒業条件にしている。過去1997-99年に日本語教育JVが派遣された。2002~2009年にかけて国際交流基金から計3名講師派遣があった。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 同大学英語・日本語専攻には現在合計5名の日本語教師がおり、うち3名は日本人である。他方向専攻では2013年版シラバスより日本語関連の授業クラスを744時間から936時間に増加させており、更なる内容の充実や効率的な指導方法の確立が求められており、高等教育機関で第2外国語としての日本語教育経験が豊富なボランティアの指導を得るため本要請に至った。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 本大学をベースとして、 1)同大学の日本語専攻課程のレベル向上に関するアドバイス 2)同大学の日本語専攻課程のシラバス作成等に関するアドバイス 3)他機関を含めたチリにおける日本語教育者のネットワーク形成へのアドバイス を行い、同大学およびチリ全土の日本語教育普及に寄与する。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室、PC等一般事務機器、日本語教材				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:同講座の日本人日本語教師3名(30~50代)、チリ人教師4名(講座主任・副主任含む) 活動対象者:同学部日本語専攻学生			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: D) 又は 英語 (レベル: D)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (10年以上) 理由:業務遂行上必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)			電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)	
特記事項					

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

要請番号 (SL 312 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	JOCV/SV	日系/短期	
チリ	日本語教育			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
3	/					
配属先	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁 2) 配属先名 (日本語) 国立ラ・セレナ大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラ・セレナ JICA事務所の所在地(サンティアゴ)から 北 方向 470 Km 主要都市(ラ・セレナ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
概要	4) 配属先の規模・事業内容 1838年創立。4学部41学科を擁する北部の有力国立大学である。学生数約1万人。年間予算約15億円。教員・職員数約1,300人。同大学には2007年から2011年にかけて公開講座として日本語クラスが開設され、また日本大使館や民間企業の援助により日本文化サロン「和やか」が建設されている。毎年、チリ・日本友好週間と題する日本文化紹介のイベントが実施されており、書道、茶道、生け花、漫画、アニメ等の展示や実演が行われる等、日本や日本文化への関心も高い。					
要請	1) 要請理由・背景 同大学には2007年から2011年にかけて公開講座として日本語クラスが開設され、半年単位で年間6クラスが開講され、更に日本大使館や民間企業の援助により日本文化紹介サロン「和やか」が建設されたが、現在は適当な日本語講師が見つからず日本語コースは開講されていない。チリ・日本友好週間のイベントも主にサンティアゴ在住の日本人・日系人等の支援を受けて実演等は行われている。こうした実態に対し同大学では日本語コースの再開に強い意欲を持っており、日本語コース開講のための支援を求めて今回の要請に至った。					
概要	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同大学をベースとして、 1) 同大学の日本語コースの運営(半年間で3クラス)への主体的関与 2) 同大学の日本語コースのシラバス作成等に関するアドバイス 3) 同大学の日本文化サロン「和やか」の維持運営管理に関するアドバイス 4) チリ日本友好週間等を通じた日本語・日本文化発信に関するアドバイス等を行い、同大学およびチリ全土の日本語教育普及に寄与する。					
要	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務室、PC等一般事務機器、日本語教材					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 C/P: 同大学公開講座担当部長、50代女性 同僚: 公開講座担当者約15名 活動対象者: 日本語・日本文化に興味を持つ同大学学生及び同市民			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: D) 又は 英語 (レベル: D)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (10年以上) 理由: 業務遂行上必要 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性気候) 気温(乾季=9~4月、雨季=5~8月、0~30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 5 月 27 日

要請番号(SL 327 - 13 - D - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 6 代目	<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / /
ペルー	日本語教育				日系/短期
					年 月 日 から
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁				
	2) 配属先名 (日本語) ペルー日系人協会 日本語普及部				<input checked="" type="radio"/> NGO
	3) 任地 リマ市 JICA事務所の所在地(リマ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(リマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 ペルー日系人協会は、文化センター、医療機関等を運営しており、日系人以外も対象とした事業を行っている。同協会の一部門である配属先は、国内における日本語の普及を目的とし、日本語能力試験の実施、弁論大会の開催、日本語教師育成講座の開講等を行っている。現在日本語教育のSVが活動中(~2014年9月)。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ペルーの首都リマには、日系小学校および幼稚園が計5校あり、日本語・日本文化を授業に取り入れている。しかしながら、ペルーでは日系人教師でも流暢な日本語を話せるとは限らず、レベルの高い日本語力と日本語教授技術を備えた教師は少ない。また、地方においても教師数・レベル不足が深刻である。配属先は日本語普及を推進する中心的役割を担っており、日本語教師の教授能力向上に努めているが、レベルの高い教授法を指導できる人材が乏しいため、SVの継続的派遣が望まれている。現在「みんなの日本語」を教材として使用しているが、配属先ではより現地のニーズに合ったペルー独自の教材開発を行いたいとも考えている。また、現在派遣されているSVは学習室でのLAN構築を手がけており、電子教科書を作成中である。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①日本語教師養成講座の企画・実施 ②地方日本語教師へのセミナー開催 ③配属先が行う行事(日本語弁論大会、日本語能力試験に実施等)への支援 ④ペルー独自の教材開発への助言 ⑤学習室の充実への助言(LAN構築等の環境整備)				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター、DVD・CDプレイヤー、テレビ、ホワイトボード等				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先部長:40代女性、弁護士 カウンターパート:40代女性			5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 スペイン語 (レベル: C) 又は (レベル:)	
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下間となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:実践指導のため必要 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要	
				現職教員特別参加制度	
				<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域 概況	気候(砂漠) 気温(15~25 ℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記 事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 20 日

要請番号(SL 333 - 13- D - 03)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	○グループ型 ◎個別	○新規 ◎交替 7 代目	JOCV/SV	日系/短期
ウルグアイ	日本語教育			◎2年 ○1年 ○ヶ月	1 26 / 1 2 26 / 2 3 /
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 共和国大学				
	2) 配属先名 (日本語) 共和国大学人文科学部外国語センター				○ NGO
	3) 任地 モンテビデオ市 JICA事務所の所在地(モンテビデオ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(モンテビデオ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 共和国大学は1849年創立の同国内唯一の国立総合大学である。人文科学部のほか、法、経、工、農、獣医、教育、建築、医、歯学部など16学部を擁し、学生数約8万人。授業料は無料である。外国語センターは人文科学部言語学科に付属し、日本語のほか、英語、ドイツ語、イタリア語、フランス語、ポルトガル語、ギリシャ語など10言語がある。同センターの予算は非常に限られており、各言語コースは当該言語の関係公館等から講師派遣や資金援助を得て開講している。				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 日本語コースは日・ウ修好80周年を記念して2001年に開設された。毎年、約100名の学生が受講登録している。現在、日本語レベル1・2・3の3コースから成り、それぞれ120分の授業を週2回実施している。歴代のSVは、カリキュラムやコースデザインの見直し、教材の改善、図書整備等を行ってきたほか、課外授業として日本語能力試験対策への協力や日本文化紹介等も行なうなど、授業内容の質を充実・向上させると同時に、学生の日本に対する関心を喚起し、モチベーション向上に資する取組みを積極的に行ってきた。その結果、これまで課外授業扱いであったレベル3が近年正規科目に昇格した。日本語コースは人文科学部だけでなく、他の学部の学生も多く学ぶなど人気が高いコースの一つで、引き続き日本語コースの水準を維持・向上させていくことが求められている。現地にはまだ適した人材がいなかったことから、経験豊富なボランティアが要請された。				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 日本語コースの学生に対し、日本語レベル1・2・3の各コース(120分/回)を週2回実施する。(レベル2は終了時レベルの目標を日本語能力試験N5相当と設定。レベル3はN4に向けて必要な内容の一部を勉強している。) 2. 学生の到達目標に合わせたカリキュラム、コースデザインを作成する。 3. 学生のレベルや経験に合わせた指導を効果的に実施するために、既存の教科書・教材の改善を図る。 4. 日本文化紹介や学内外の文化交流イベント等を通じ、学生の日本に対する関心を喚起し、更なるモチベーションの向上に繋げる。				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プロジェクター、スピーカー(PC接続用)				
	4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先調整役:センター長、女性、40代(ポルトガル語/フランス語/スペイン語教師) 指導対象者:大学生(日本語レベルは初級~初中級)		5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:)		
資 格 条 件 等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は (日本語教授法) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (業務関連分野) 理由: 大学で授業を実施するため ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由: 独力で授業を運営するため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 ○單車 ○自転車 ◎不要	
				現職教員特別参加制度 ○可 ◎不可	
地域 概況	気候(温暖) 気温(3~34℃位)		電気(◎安定 ○不安定 ○なし) 水道(◎安定 ○不安定 ○なし)		
特記 事項	通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線)				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号(SL 469 - 13- D - 05)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 7 代目	JOCV/SV	日系/短期
モロッコ	日本語教育			<input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月	1 26 / 1
			2 26 / 2		
			3 /		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省				
	2) 配属先名 (日本語) ハッサン二世大学モハメディア校				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 モハメディア県モハメディア市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南西 方向 70 Km 主要都市(カサブランカ)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 本大学は全国に15ある総合大学の一つで学生数は約40,000名が、教員・研究者約900名が在籍している。本大学はモハメディア(人文学部、理工学部、法社会学部、国立技術高等学校)及びカサブランカ(人文学部、理工学部、法社会学部等)2か所の3つのキャンパスを有する。モハメディア校のENSET校舎では学生と一般を対象とした公開講座を6代目のSVが運営している。 http://www.univh2m.ac.ma/				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 ENSET校舎の日本語コース公開講座は、初心者から中級者を中心としたクラスで学生向けの平日コースと社会人向けコースを開設している。2012年6月には約120名の登録者が在籍する。2010年から国際交流基金が運営する日本語能力試験がモロッコで実施され、大学は合格率向上に期待している。大学主催の文化祭における日本文化紹介ブースへの出展や、他の日本語クラスと合同で日本語スピーチコンテストの開催といったイベントも行っている。 本大学は日本語学習を重要視しており継続して講座を運営するため、後任の要請が出された。2013年度以降、日本語能力試験N2レベル対象者クラスを新設予定である				
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 公開講座「日本語」運営(受講者の募集、クラス編成、会計、試験事務等含む) 2. 公開講座「日本語」教授 3. 日本語関連のイベントの実施(日本語能力試験、日本語スピーチコンテスト等) 4. 日本関連のイベントの企画・運営				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ホワイトボード、CDプレイヤー、テレビ、DVDデッキ、ロッカー、デスクトップPC、プリンター				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 スタッフ:大学副学長 大学協力担当官(渉外担当) アシスタント1名(初心者クラスを週1回担当) 指導対象者:学生、社会人(18-60歳、初心者~中級レベル)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: D) 又は 英語 (レベル: D)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります): ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学での講義を行うため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 大学での講義を行うため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性) 気温(5~35℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				

事務局記入欄	受験番号
--------	------



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 06)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 6 代目		
モロッコ	日本語教育			1	26 / 1
		2	26 / 2		
		3	/		
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省				
	2) 配属先名 (日本語) モハメッド五世大学—アグダル				<input type="radio"/> NGO
	3) 任地 ラバト県ラバト市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 0 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の規模・事業内容 モハメッド五世大学は、モロッコ全土に15校ある国立総合大学のひとつで、3学部5学院で構成されている。文学人間科学部は1957年に創設され、授業はフランス語とアラビア語で行われている。地理、史学、哲学、心理学、社会学、英語、独語、仏語、伊語、西語、葡語、アラビア語、イスラム学等の学科がある。学科外では日本語の他、中国語、韓国語、トルコ語、ウルドゥー語及び葡語を各国の協力の下に行っている。 http://www.um5a.ac.ma/				
要 請 概 要	1) 要請理由・背景 モハメッド五世大学では国際交流基金による日本語教育を1982年から2005年まで実施し、その後JICAボランティアに引き継がれている。現在はSVIによって学生及び一般社会人を対象とした公開講座が開講されている。日本語教育の一環として日本文化祭や日本語スピーチコンテストが開催されるほか、日本の大学との交流を含め文化的な交流プログラムを推進し、日本文化の相互交流の役割を担っている。同大学は日本語学科設立を構想している等、日本語教育の重要性を感じており、SV2名での講座運営を行うこととなった。				
	2) 予定されている活動内容 (最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) SV2名体制で、以下の活動を行う。 1. 公開講座「日本語」運営(受講者の募集、クラス編成、会計、試験事務等含む) 2. 公開講座「日本語」教授(週3時間/クラス、年間約30週) 3. 日本語関連のイベントの実施(日本語能力試験、日本語スピーチコンテスト) 4. 日本関連のイベントの企画・運営 5. 日本語教育アシスタントの育成				
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 専用教室(最大25名収容:Souissi校構内)ビデオ、テレビ、ラジカセ、DVD				
資 格 条 件 等	4) 配属先同僚及び活動対象者 文学人間科学部副学長 日本語教育アシスタント(大学院生、土曜日の初級クラス担当) 指導対象者:学生・社会人 約270名 18歳~50歳 レベル:日本語初心者~中級前半(9クラス)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (レベル: D) 又は 英語 (レベル: D)	
	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学での講義を行うため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 大学での講義を行うため 理由:			活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可	
地域概況	気候(地中海性) 気温(5~35℃位)		電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)		
特記事項	通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線)				



長期 (長期 SV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

要請番号 (SL 469 - 13 - D - 08)		区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
国名	職種 (コード G157)	<input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 7 代目	期間	日系/短期	
モロッコ	日本語教育			1	26 / 1	年 月 から
				2	26 / 2	
3	/					
配属先概要	1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究・幹部養成省					
	2) 配属先名 (日本語) モハメッド五世大学—アグダル				<input type="radio"/> NGO	
	3) 任地 ラバト県ラバト市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 北 方向 0 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)					
	4) 配属先の規模・事業内容 モハメッド五世大学は、モロッコ全土に15校ある国立総合大学のひとつで、3学部5学院で構成されている。文学人間科学部は1957年に創設され、授業はフランス語とアラビア語で行われている。地理、史学、哲学、心理学、社会学、英語、独語、仏語、伊語、西語、葡語、アラビア語、イスラム学等の学科がある。学科外では日本語の他、中国語、韓国語、トルコ語、ウルドゥー語及び葡語を各国の協力の下に行っている。 http://www.um5a.ac.ma/					
要請概要	1) 要請理由・背景 モハメッド五世大学では国際交流基金による日本語教育を1982年から2005年まで実施し、その後JICAボランティアに引き継がれている。現在はSVIによって学生及び一般社会人を対象とした公開講座が開講されている。日本語教育の一環として日本文化祭や日本語スピーチコンテストが開催されるほか、日本の大学との交流を含め文化的な交流プログラムを推進し、日本文化の相互交流の役割を担っている。同大学は日本語学科設立を構想している等、日本語教育の重要性を感じており、SV2名での講座運営を行うこととなった。					
	2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) SV2名体制で、以下の活動を行う。 1.公開講座「日本語」運営(受講者の募集、クラス編成、会計、試験事務等含む) 2.公開講座「日本語」教授(週3時間/クラス、年間約30週) 3.日本語関連のイベントの実施(日本語能力試験、日本語スピーチコンテスト) 4.日本語関連のイベントの企画・運営 5.日本語教育アシスタントの育成					
	3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 専用教室(最大25名収容;Souissi校構内)ビデオ、テレビ、ラジカセ、DVD					
	4) 配属先同僚及び活動対象者 文学人間科学部副学長 日本語教育アシスタント(大学院生、土曜日の初級クラス担当) 指導対象者:学生・社会人 約270名 18歳~50歳 レベル:日本語初心者~中級前半(9クラス)			5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 フランス語 (V^N: D) 又は 英語 (V^N: D)		
資格条件等	条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または下問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学での講義を行うため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 大学での講義を行うため 理由:			活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要		
				現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可		
地域概況	気候(地中海性) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし)					
特記事項						

